
Getting Started Tutorial

Extension Key: doc_tut_quickstart

Language: en

Version: 1.0.0

Keywords: forBeginners, forEditors, forAdmins

Copyright 2000-2010, Documentation Team, <documentation@typo3.org>

This document is published under the Open Content License

available from <http://www.opencontent.org/opl.shtml>

The content of this document is related to TYPO3

- a GNU/GPL CMS/Framework available from www.typo3.org

Official documentation

This document is included as part of the official TYPO3 documentation. It has been approved by the TYPO3 Documentation Team following a peer-review process. The reader should expect the information in this document to be accurate - please report discrepancies to the Documentation Team (documentation@typo3.org). Official documents are kept up-to-date to the best of the Documentation Team's abilities.

Tutorial

This document is a Tutorial. Tutorials are designed to be step-by-step instructions specifically created to walk a beginner through a particular task from beginning to end. To facilitate effective learning, Tutorials provide examples to illustrate the subjects they cover. In addition, Tutorials provide guidance on how to avoid common pitfalls and highlight key concepts that should be remembered for future reference.

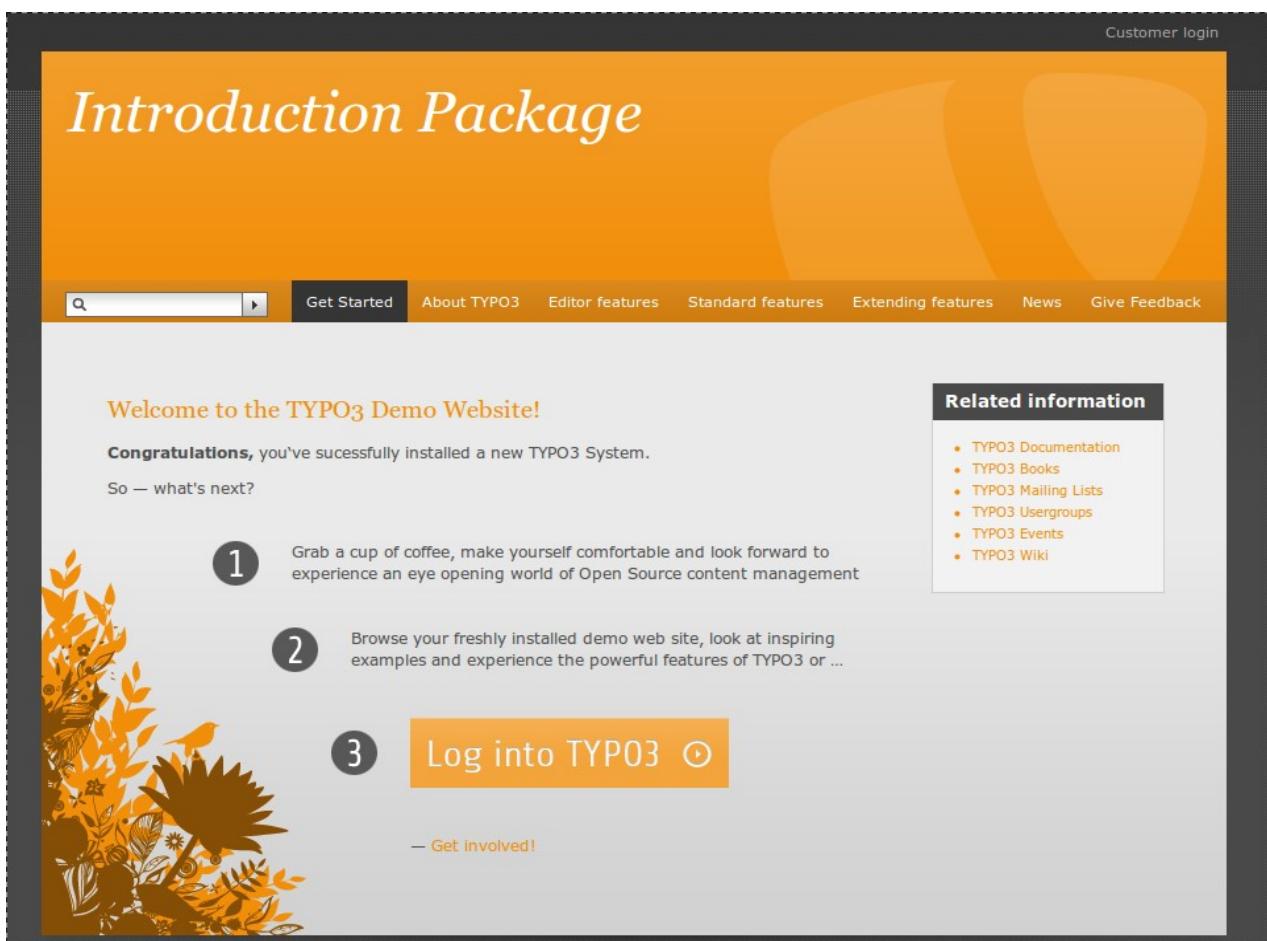
Table of Contents

Getting Started Tutorial.....	1
イントロダクション	5
1このドキュメントについて	5
2What's new.....	5
3クレジット	5
5フィードバック	6
インストール.....	7
1前提条件	7
2イントロダクション・パッケージの取得.....	7
基本的な概念.....	10
1バックエンドとフロントエンド	10
3一般的なバックエンドの構造.....	12
4ページ・ツリー	12
6特別なページ	18
7ページコンテンツ	26
ページとコンテンツの編集と作成	30
1ページとコンテンツの編集	30
2新ページ	33
3ページの移動とコピー	46
4表示許可の設定—ページを隠す、時間による表示制限等	48
5リッチ・テキスト編集：太字、斜体、リスト、画像の挿入	52
6リンクの作成	53
7パスワードで保護されたページ	68
8ユーザー／グループの作成	71
9ログインフォームの作成	78
10制限の掛かったブランチ（ページツリーの枝）を作成する	81
11メール・フォーム	82
バックエンド・モジュール	89
1バックエンド・ユーザーの追跡	89
テンプレート	91
1テンプレートに変更を加える	93
2Setup フィールド	98
4オブジェクト・ブラウザ	101
5マルチ・カラムのコンテンツ	102
6テンプレートとバックエンド設定の免責事項！	104
ファイルモジュールあるいは；イメージ・アーカイブ	105
1TYPO3 におけるファイル管理	105
2アーカイブに画像をアップロードする	108
リストモジュールとクリップボード	111
1リストモジュールを効果的に利用する	111
3数字付きクリップボード・パッドーたくさん のエレメントを管理する	115
5選択的編集	119
ユーザー管理	123
1分散型の管理	123
2バックエンド・ユーザーズ	123
3ユーザー・パーミッションの設定	127
4グループ	128
5イントロダクション・サイトの新しいユーザーを作成する	141
エクステンション・マネージャを少しだけ覗いてみる	145
2バックエンドの言語を変更する	148
トラブルシューティング	153
1人に優しい URLs	153
2TYPO3 における画像処理について	153
3history モジュールにおける差分の色分け	153
次のステップへ	154
1編集者向けチュートリアル	154
2管理者を目指す人向けのチュートリアル	154
3リファレンス	154
4セキュリティに留意する	155

イントロダクション

このドキュメントについて

このドキュメントはTYPO3の基本的な仕組みについて紹介します。この紹介で利用する例題のウェブサイトを使えば、あなた自身の初めてのTYPO3サイトをすぐにでも立ち上げることができるでしょう。このチュートリアルを修了すればTYPO3に何ができるか、その一般的な構造、エクステンション（拡張機能）の可能性について理解することができるでしょう。プロフェッショナルなテンプレートの作成や、TYPO3の開発全般に関してはこのドキュメントでは扱いません。



What's new

現在のバージョンは、TYPO3 4.5 LTS での変更を反映するため更新されました。

クレジット

"Quickstart Guide"の初版はKasper Skårhøjによって書かれました。現在のバージョンはPhilipp GampeとMartin Holtz、Susanne Moog、Francois Suterによって書かれました。

フィードバック

ドキュメントに関する一般的な質問はdocumentation@typo3.orgまでメールで連絡してください。

このマニュアルに間違いがあるのを見つけた場合は、このマニュアルのバグトラッカー:
http://forge.typo3.org/projects/typo3v4-doc_tut_quickstartに問題を提起してください。文書類の質を維持することは非常に大変な作業で、ドキュメンテーションチームはいつもボランティアを募集しています。もし手伝って見ようと思ったら、どうかドキュメンテーショ

ンメーリングリスト(ists.typo3.org の typo3.projects.documentation)に参加してください。

インストール

前提条件

<http://typo3.org/about/system-requirements/> にある動作環境を満たした、ちゃんと設定されたすぐに使える Web サーバーが必要です。

Web サーバーがなく Windows OS を使っている場合は [TYPO3Winstaller](#) を試すのもいいでしょう。あなたのローカルコンピュータにインストラクション・パッケージと一緒に Web サーバーもインストールしてくれます。

インストラクション・パッケージの取得

まず最初にこのチュートリアルで TYPO3 の説明をするのに用いている、インストラクション・パッケージをダウンロードし、インストールする必要があります。

<http://typo3.org/download/> からパッケージを取得してください。初めての Web サイトをインストールするには [Installation and Upgrade Guide](#) の quick install の部分にある手順にしたがってください—TYPO3 を本格的に使おうとすると、いずれガイドを全て読む必要が出てきますが。“短いインストール・ガイド”の下にステップ・バイ・ステップのガイドがあります。

手っ取り早くやりたい方は、この非常に短いインストールガイドをお試しください：

- ダウンロードしたインストラクション・パッケージの zip / tar をあなたの Web サーバーのルートフォルダに解凍します
- Web サーバーのユーザーに対して fileadmin/ と typo3conf/, typo3temp/, uploads/ のフォルダへの書き込み権限が与えられていることを確認します
- ブラウザで <http://your-site.example.org/typo3> にアクセスすると、TYPO3 インストーラーにリダイレクトされるはずです
- もしそうならない場合は、typo3conf フォルダに ENABLE_INSTALL_TOOL という名前のファイルを作成します
- インストーラーの手順に従ってください

ステップ・バイ・ステップ - インストラクション・パッケージのインストール

このガイドではインストラクション・パッケージのダウンロード、解凍、アップロード、インストールについて手順を追って説明します。あなたが Windows オペレーション・システムを使っていると想定しています。

ダウンロード

1. "<http://typo3.org/download/>" に行きます。
2. "Download TYPO3 version 4.5 LTS| with the new Introduction Package" というラベルのボタンをクリックします。
3. そうすると Sourceforge へアクセスすることになり、まもなくダウンロードが始まります。もしそうならない場合は、Web サイトの指示に従ってください。

解凍

1. .zip ファイルを開きます。
2. 中身をどこでもよいので空のフォルダに展開します。どこに解凍したか、覚えておいてください。

- a. "Files" >> "Extract All" をクリックします。
- b. 空のフォルダを指定するか、新たに作成します。
- c. extract/go/next ボタンをクリックします。

アップロード

フォルダの中身のアップロードには、好きなFTPクライアントを使ってください。以下のステップ・バイ・ステップの説明ではプラットフォームに依存しないフリーのFTPクライアント [FileZilla](#) を使ってています。

1. FileZilla を開きます
2. あなたの Web サーバーに接続します
 - a. あなたの FTP サーバーのアドレスを入力します。よくあるのは `ftp.your-site.example.org` のような感じです。
 - b. あなたのユーザー名とパスワードを入力します。
 - c. ポートを入力します。もしあなたのサーバーが sFTP をサポートしているならば 22 と入力する必要があります。ポート番号が分からぬ場合は、21 と入れるか空にしておきましょう。
 - d. "Connect"を押します。
 - e. 何かうまくいかないことがあれば、connect バーのすぐ下にあるログウインドウに赤線が何本か出ているはずです。接続が確立できない場合は、サーバー管理者に連絡してください。
 - f. うまくいくと、ウインドウの右側にいくつかのフォルダかファイルが見えるはずです。
1. サーバー（右側）のフォルダを移動します
 - a. 実際の Web サイトは `website`, `docroot`, `htdocs` あるいは `html` 等と呼ばれるフォルダの中にあることが多いです。そのフォルダを探して開きます。
 - b. あなたのサイトに既にコンテンツがあれば、それが見えるはずです。通常は `index.html` あるいは `index.php` という名前のファイルがあるはずです。
1. あなたのローカルコンピュータ（左側）のフォルダを移動します。`.zip` ファイルを展開したフォルダです。
 - a. フォルダを開きます。
 - b. `index.php` という名前のファイルと `fileadmin`, `t3lib`, `typo3`, `typo3conf`, `typo3temp`, `uploads` という名前のフォルダが存在するはずです。
1. 全てのファイルを選択します。
2. コンテキスト・メニュー開きます（右クリックで）。
3. "Upload"をクリックします—選択したファイルが下のキュー（待ち行列）に追加されすぐにアップロードが始まります。

キューのファイルが無くなればアップロードは終了です。

インストール

先に進む前に、アップロードしたファイルとフォルダの権限を調整する必要があります。

1. 全てのアップロードしたファイルを選択し、コンテキスト・メニューを開きます（右クリックで）。
2. `chmod` をクリックします。

- a. 全てのフォルダに対して 755 を入力します。
 - b. ファイルに対しては 644 を入力します。
 - c. 含まれているサブフォルダも忘れずチェックしてください。
1. Web ブラウザを起動します。
2. アドレスバーにあなたの Web サーバーのアドレスを入力します。例えば、<http://www.your-site.example.org/> のように。
3. <http://www.your-site.example.org/typo3/> にリダイレクトされ、インストーラーが歓迎のメッセージを表示するはずです。
4. もしインストール・ツールがロックされていると知らせる、黄色の大きなボックスが表示されたら、次のようにしてください。
 - a. ローカルフォルダをもう一度開きます。
 - b. ENABLE_INSTALL_TOOL という名前のファイルを作成します。種類は何でもかまいません。
 - c. このファイルを Web サーバーの typo3conf/ フォルダの中にアップロードします。
 - d. どんな拡張子(.doc, .txt, ...)も付いていないように名前を変更します。サーバー側での名前は厳密に"ENABLE_INSTALL_TOOL"でなければなりません。
 - e. Web ブラウザで Web サイトをリロードします(F5 キーを押して)。
1. continue をクリックします。
2. あなたのデータベースの詳細を入力します
 - a. DB のユーザーネームを入力します。
 - b. DB のパスワードを入力します。
 - c. DB サーバーのアドレスを入力します。通常は localhost です。知らない場合は localhost と入力して見ましょう。
 - d. continue をクリックします。
1. データベースを選択します。もし権限が与えられていれば新規に作成することもできます。空っぽのデータベースを使ってください—TYPO3 よって使用されるテーブルは全て上書きされます！
 - a. continue をクリックします。
1. もう一度 continue をクリックします。インストールにはしばらく時間がかかります。気長に待ってください。もし5分以上かかるようなら、ページをリロードしてください (F5 を押して)。
2. パスワードを入力します。パスワードを覚えておいてください。後で Web サイトを管理するのに必要になります。ありきたりなパスワードを利用しないでください。
3. 色を選択します。
4. 最後の continue をクリックします。
5. "Go to your website"をクリックします :)

完了です！あなたの Web サイトができ上りました。"About TYPO3"のセクションでも読んでみてください。

基本的な概念

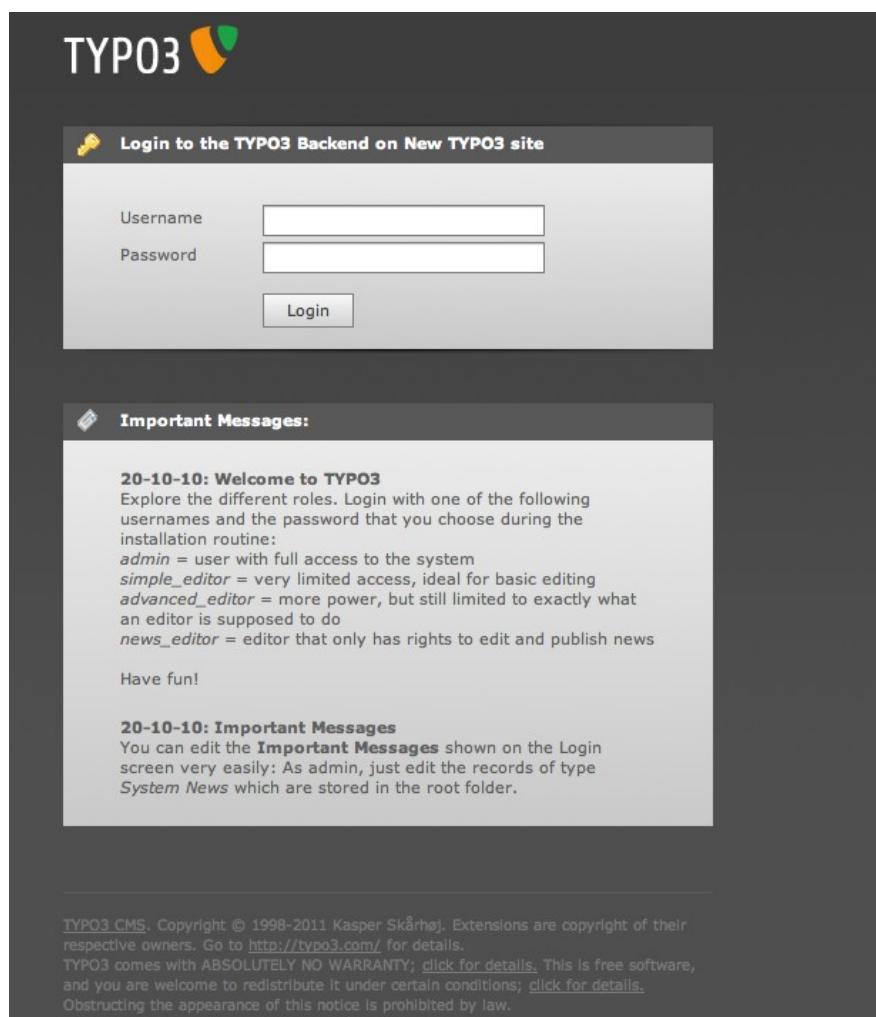
バックエンドとフロントエンド

TYPO3は2つのエリアー、バックエンドとフロントエンドに分かれています。フロントエンドがウェブ上の全ての人のためのもの—TYPO3によって作り出されるウェブ・サイトであるのに対し、バックエンド—ウェブ・サイトの管理用エリアーにはあなただけがアクセスできます。バックエンドにアクセスするには、常にユーザー名とパスワードを求められます。後で他の人—編集者や管理人仲間のような人にバックエンドへのアクセス権を与える方法について学びます。

フロントエンドにアクセスするには、アドレスバーに <http://www.your-site.example.org/> と入力します。ここではバックエンドへ進みましょう。

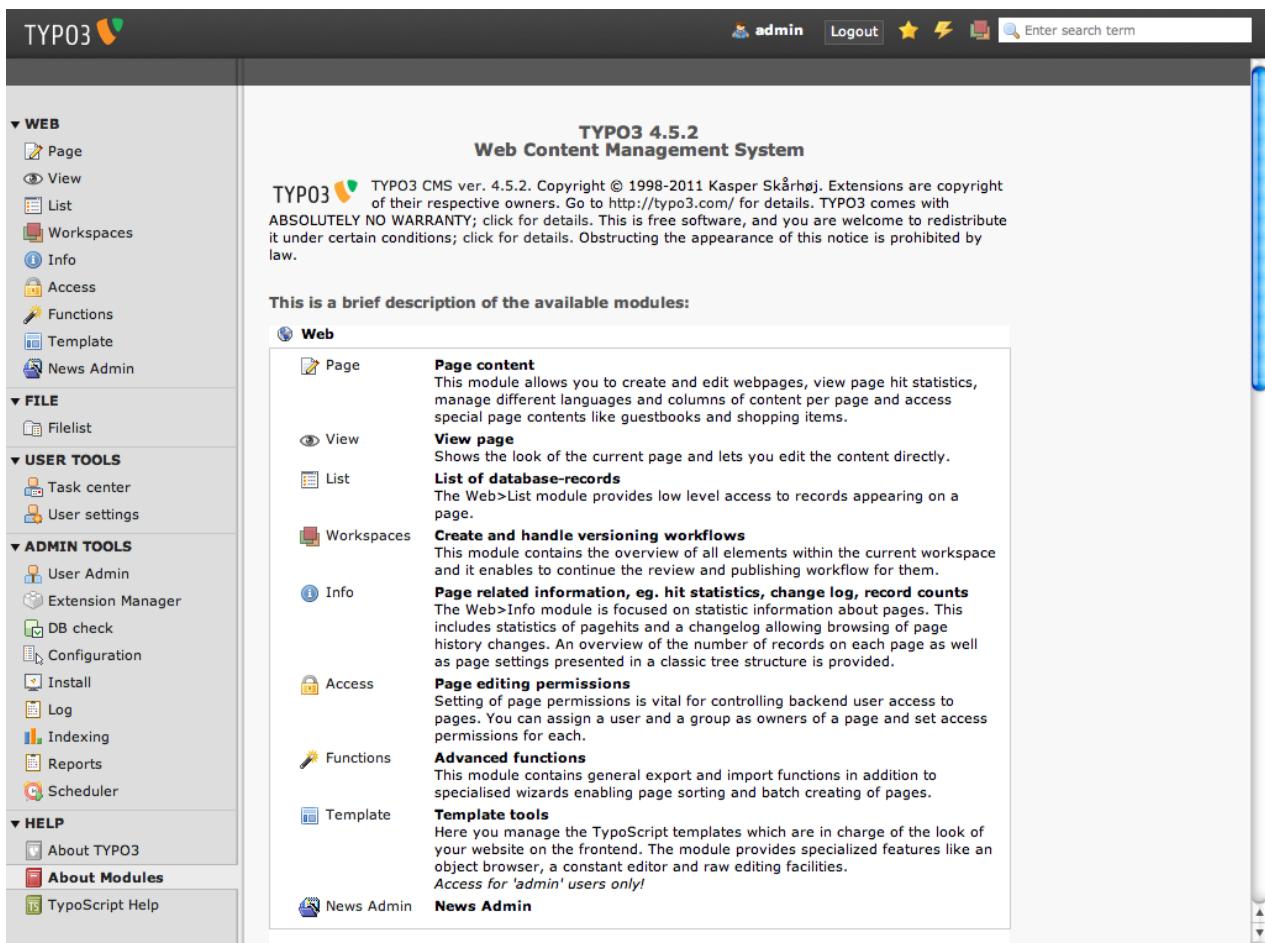
あなたの新しいウェブ・サイトのバックエンドにアクセスするにはブラウザを開き <http://www.your-site.example.org/typo3/> と入力します。

このようなログインページが表示されるでしょう：



ユーザー名"admin"とTYPO3をインストールした際に入力したパスワードを入力します。

loginボタンを押すとTYPO3のバックエンドのあらましへリダイレクトされるはずです。



TYPO3 4.5.2
Web Content Management System

TYPO3 CMS ver. 4.5.2. Copyright © 1998-2011 Kasper Skårhøj. Extensions are copyright of their respective owners. Go to <http://typo3.com/> for details. TYPO3 comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; click for details. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; click for details. Obstructing the appearance of this notice is prohibited by law.

This is a brief description of the available modules:

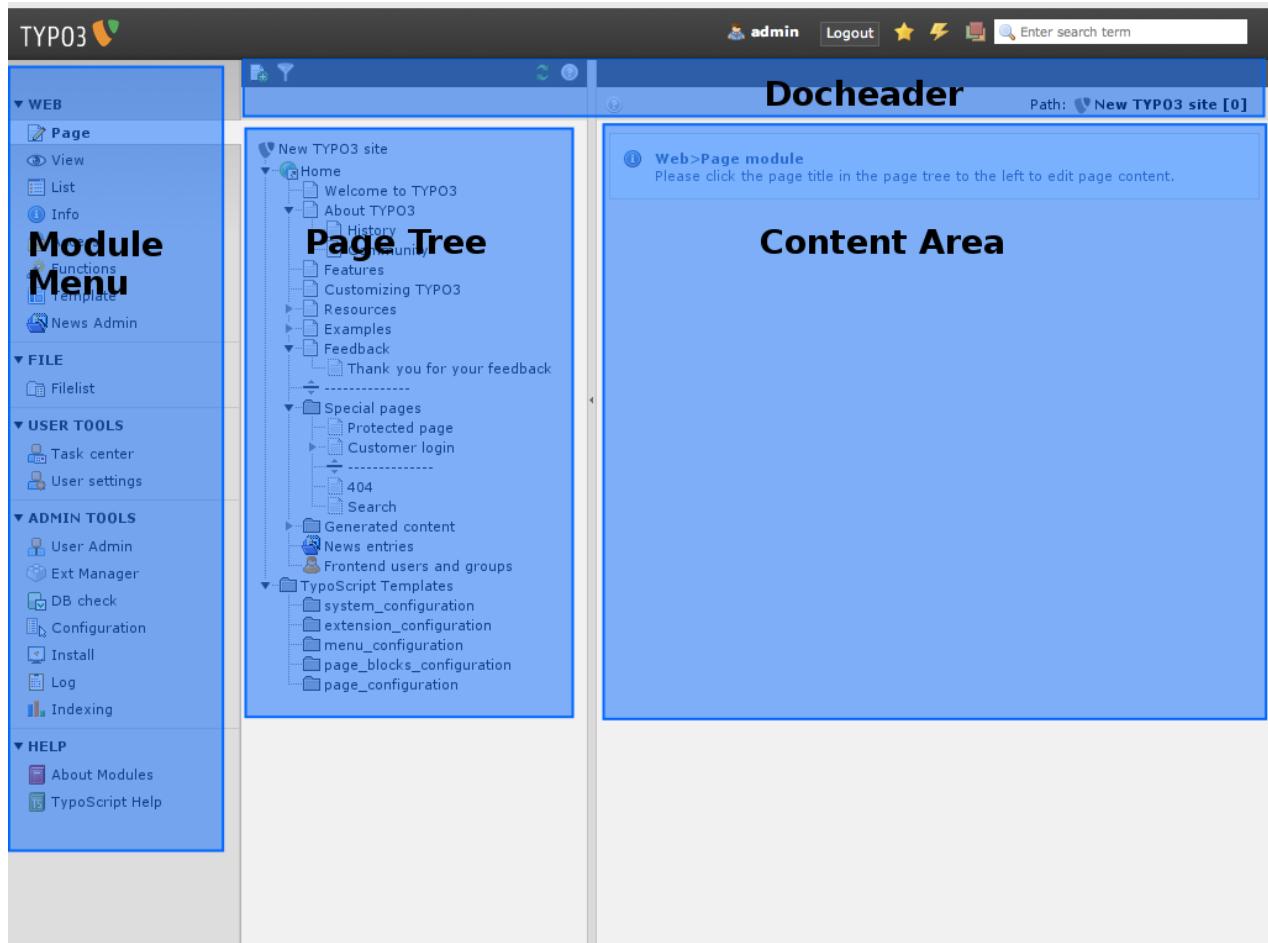
Web

Page	Page content This module allows you to create and edit webpages, view page hit statistics, manage different languages and columns of content per page and access special page contents like guestbooks and shopping items.
View	View page Shows the look of the current page and lets you edit the content directly.
List	List of database-records The Web>List module provides low level access to records appearing on a page.
Workspaces	Create and handle versioning workflows This module contains the overview of all elements within the current workspace and it enables to continue the review and publishing workflow for them.
Info	Page related information, eg. hit statistics, change log, record counts The Web>Info module is focused on statistic information about pages. This includes statistics of pagehits and a changelog allowing browsing of page history changes. An overview of the number of records on each page as well as page settings presented in a classic tree structure is provided.
Access	Page editing permissions Setting of page permissions is vital for controlling backend user access to pages. You can assign a user and a group as owners of a page and set access permissions for each.
Functions	Advanced functions This module contains general export and import functions in addition to specialised wizards enabling page sorting and batch creating of pages.
Template	Template tools Here you manage the TypoScript templates which are in charge of the look of your website on the frontend. The module provides specialized features like an object browser, a constant editor and raw editing facilities. <i>Access for 'admin' users only!</i>
News Admin	News Admin

左側にはTYPO3のメイン・モジュールバックエンドのメイン・メニューがあります。さあ、ページモジュールにアクセスするため"Page"をクリックしてください。

一般的なバックエンドの構造

左側にはモジュールの一覧が表示されたままですが、中央にはページツリーが、右側にはコンテンツエリアが現れます。



ページ・ツリー

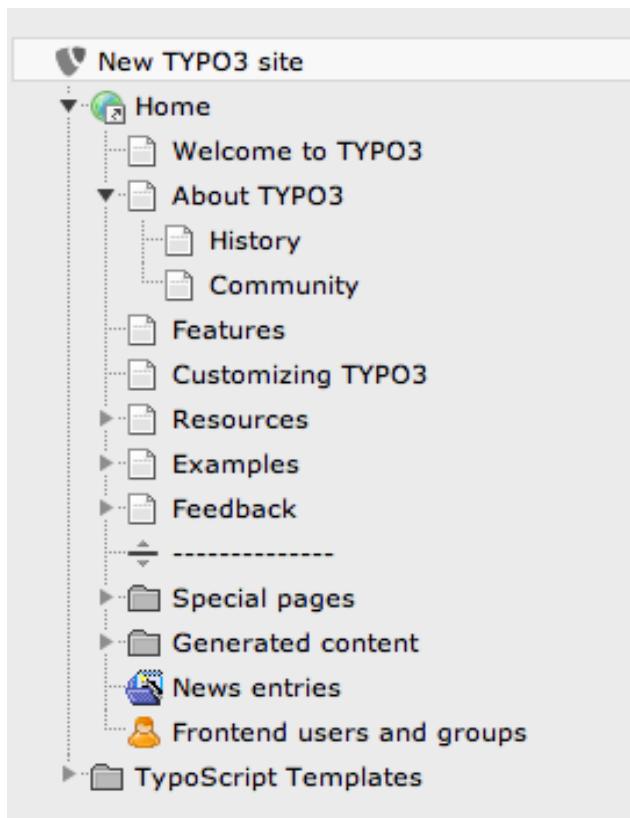
ページ・ツリーはあなたのページの階層的構造を表しています。大抵の場合、この構造はあなたのウェブ・サイトのナビゲーションで見られるものと正確に対応しています。ページツリーはそれぞれの項目の左側についている小さな矢印をクリックすることで開きます。



要注意

ページ・ツリーはTYPO3 4.5 LTSで完全に書き換えられました。古いバージョンとはかなり違った動きをします。もしTYPO3の古いバージョンを使っている場合は、このドキュメントの古いバージョンを参照してください：http://typo3.org/documentation/document-library/tutorials/doc_tut_quickstart/1.0.0/view/1/3/

ではあなたのページツリーを見て見ましょう：



同時に"About TYPO3"をクリックした際のフロント・エンド側のナビゲーションを見ます。

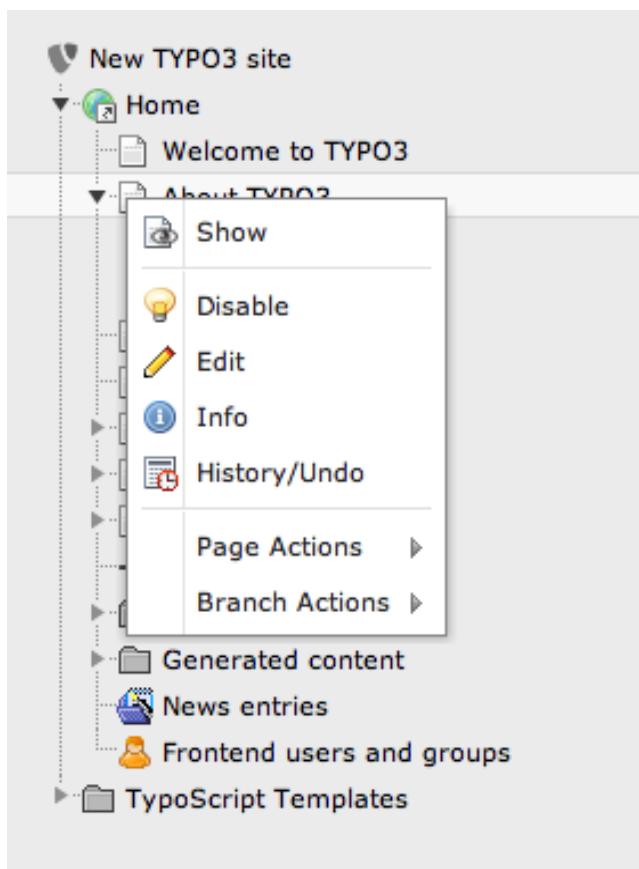
A screenshot of the TYPO3 website front-end. The page title is 'Introduction Package'. The navigation bar includes 'Customer login', 'Get Started', 'About TYPO3' (which is the active page), 'Editor features', 'Standard features', 'Extending features', 'News', and 'Give Feedback'. The main content area shows the 'About TYPO3' page with the sub-section 'The History' selected. The page text describes TYPO3 as a free open source content management system and its popularity. The footer contains links for 'Published by', 'Related Links', and 'TYPO3 in social networks'.

あなたのウェブ・サイトのメイン・メニューがページ・ツリーの第一階層と対応していること、サブメニューがページ・ツリーの"About TYPO3"の下にあるページとどのように対応しているか分かるでしょう。

"Web"カテゴリの下に表示されている全てのモジュールで、ページ・ツリーが表示されます。これはこれらのモジュールは全てページ単位で動作することを示しています。

ページ・タイトルをクリックすると、右側のコンテンツ・フレームにそのページが開きます。ページのアイコンにマウスを乗せると、その内部IDが表示されます。このIDはフロント・エンドでページを表示する際にも使われます。

アイコンをクリックすると、コンテキスト・メニューが開きます。



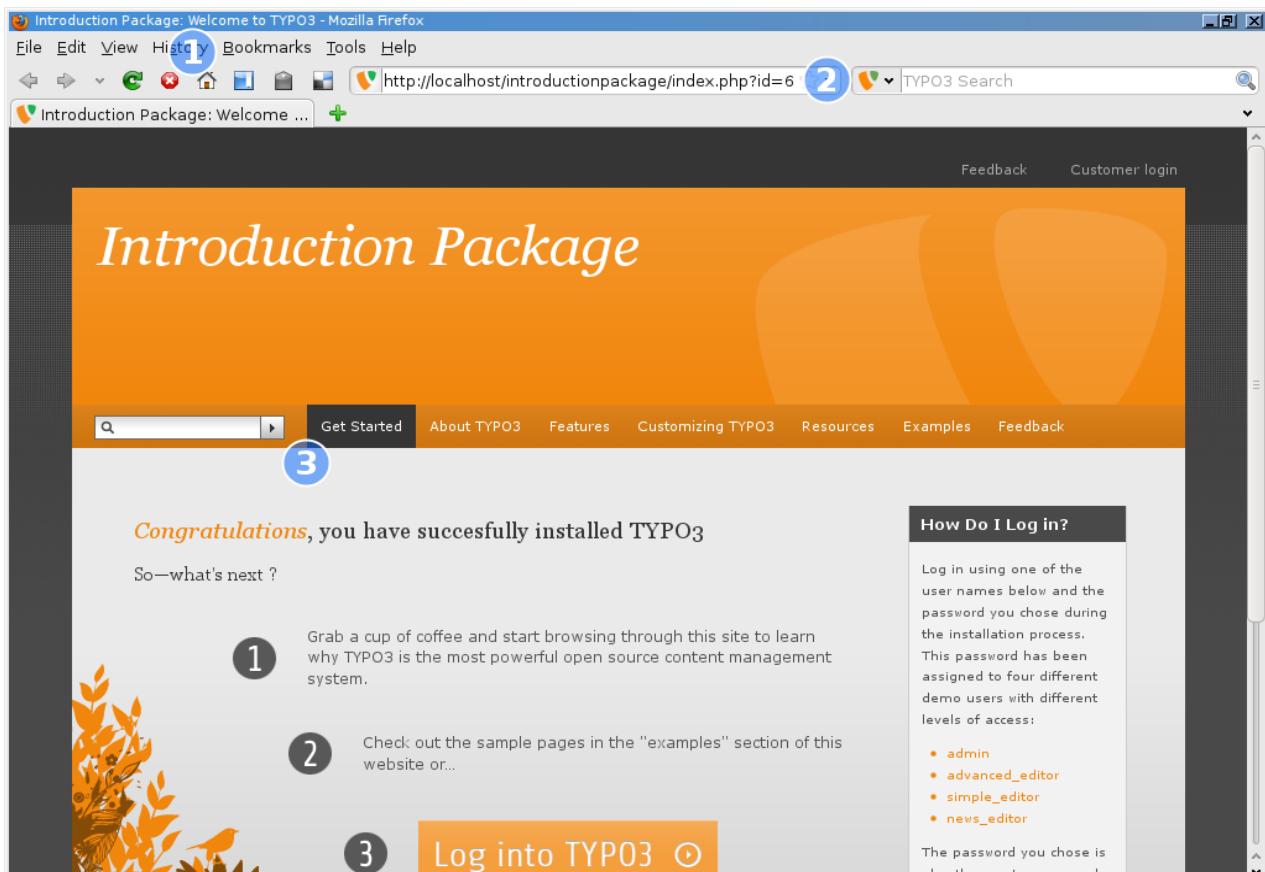
コンテキスト・メニュー

ページのコンテキスト・メニューは、ページと一番関連のある機能に素早くアクセスするのに利用できます。これらのオプションでこんなことができます：

- Show: クリックしたページをブラウザで開きます（フロント・エンド）
- Edit: ページのプロパティの編集ができます
- Disable: ページを無効にします（フロント・エンドからは今後アクセスできなくするように）
- Info: ページに関する幾つかの情報を表示します

- History/Undo: ページの更新履歴を表示します（誰が何時どの変更を行ったか）
- Page Actions: 選択したページに対するアクション
 - New: 新しいページあるいは新しいコンテンツを作成できます
 - Cut: ページを切り取ります
 - Copy: ページをコピーします
 - Delete: ページを削除します
- Branch Actions: ブランチ全体に対するアクション
 - Mount as treeroot: 選択したページを一時的にツリーのルートにします
 - Expand Branch: “閉じた” 矢印をクリックするのと同じ
 - Collapse Branch: “開いた” 矢印をクリックするのと同じ
 - Export to .t3d: 選択したページが予め選択された状態でエクスポート・ツールを開きます
 - Import from .t3d: 選択したページが予め選択された状態でインポート・ツールを開きます

コンテキスト・メニューによっては、利用できる機能がこれより少なかつたり多かつたりすることもあるでしょう。

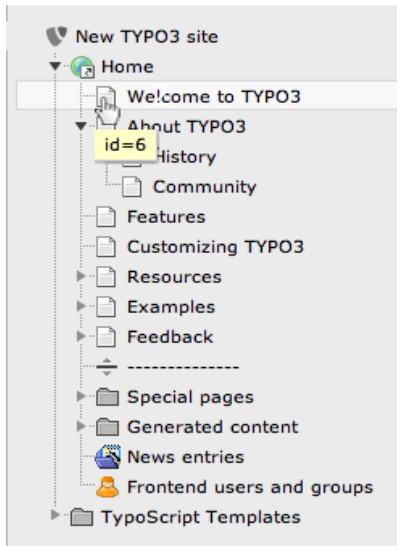


では、コンテキスト・メニューを使って "Welcome to TYPO3" ページをフロントエンドで開

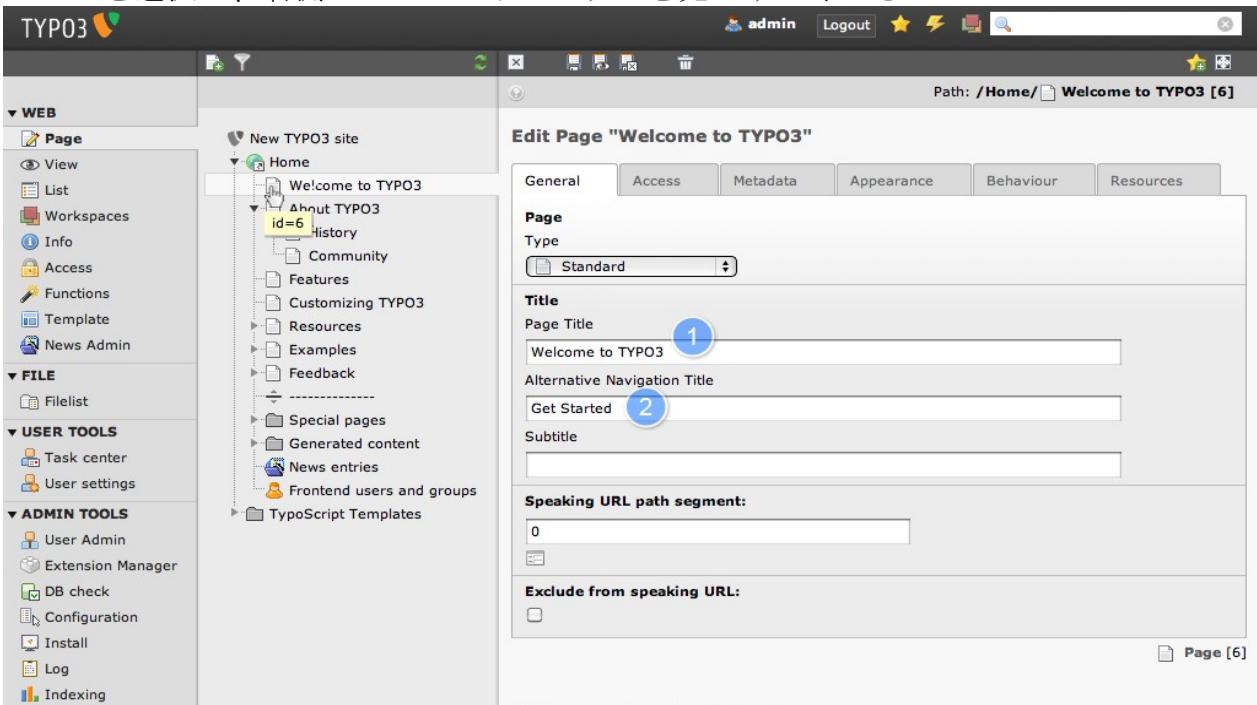
いて見ましょう。

ブラウザ・バーのタイトルの最後の部分(青い1)がページ・ツリーのページ・タイトルと対応しているのが確認できるでしょう。

(2)はこのページがID6のものであることを示しています。ページ・ツリーに戻りこのページのアイコンにマウスを乗せて見てください。ID6が表示されるはずです：



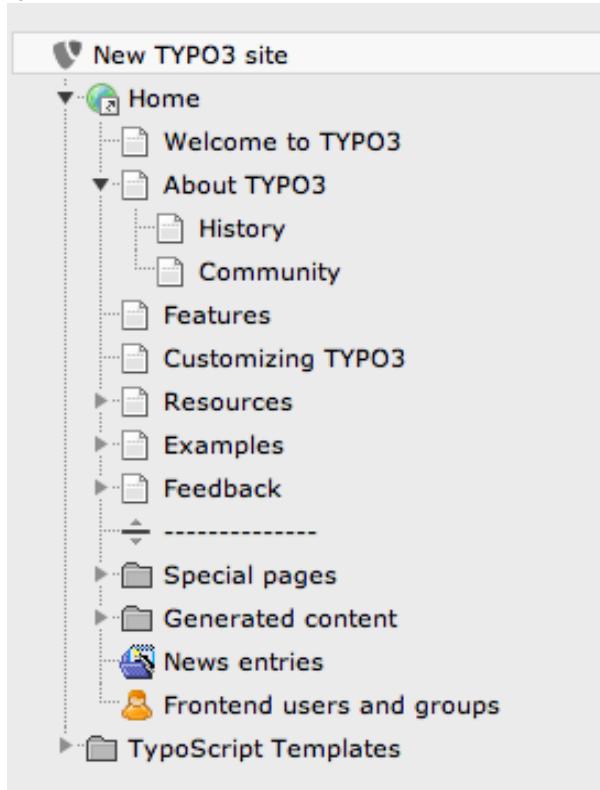
(3)は不思議に思うかも知れません—ページ・ツリーとタイトル・バーではページ名は "Welcome to TYPO3" であるのに、このメニューでは突然"Get Started"になっています。どうしてでしょう？ 原因を見つけるためには、そのページのコンテキスト・メニューで"Edit"を選択し、右側のコンテンツ・エリアを見てみてください：



そこでは、ページ・タイトル(1)が"Welcome to TYPO3" になっています。しかし同時に (2) に"Get Started"があるのにも気づくでしょう。これは"Alternative Navigation Title" と呼ばれ、ナビゲーション用のエレメント (メニュー、パンくずリスト、サイトマップ等) で表示されるタイトルであることを意味しています。もし空の場合は、ページ・タイトルが使

われます。

特別なページ



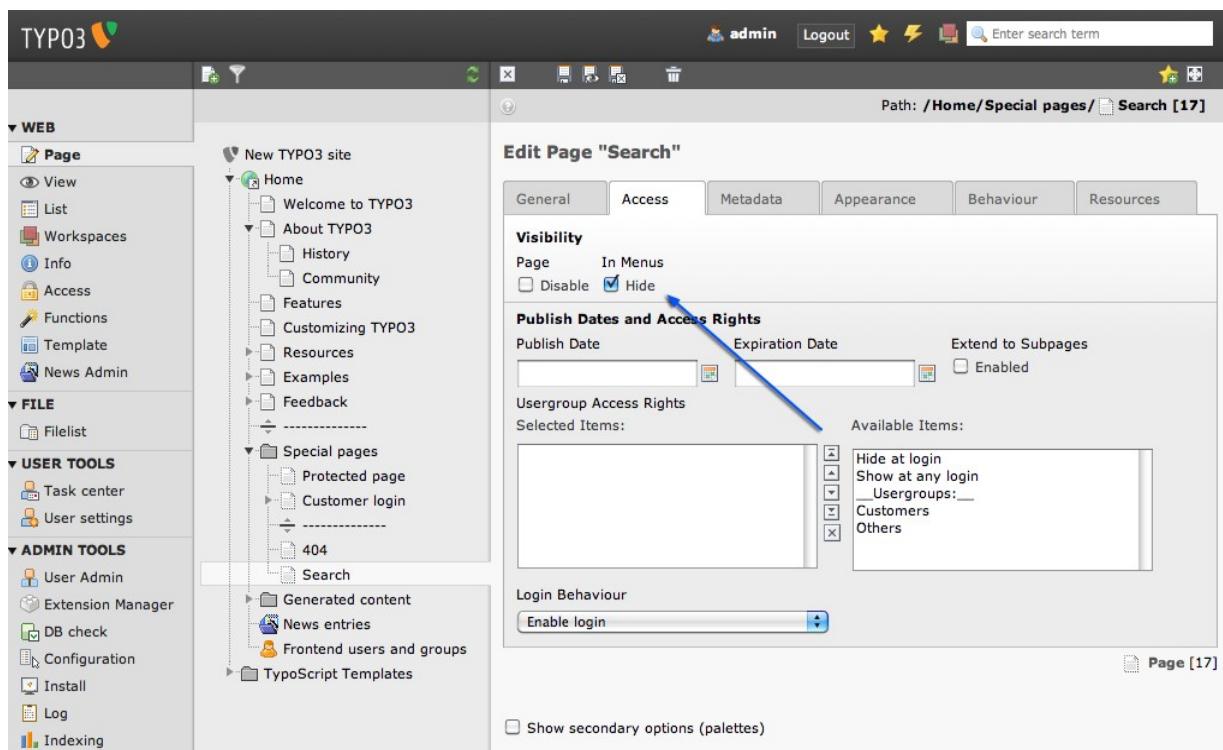
ページ・ツリーをたどっていくと、異なるページ・タイプに使われている異なったシンボルに気づくでしょう。あなたのウェブ・サイトのメニューに表示されているのは通常のページです。それらには何も特殊なことはありません。その他にページアイコンの縁が破線になっているものがあります。これらのページはメニューでは隠れているページです。

メニューでは非表示

メニューでは非表示のページは、基本的には通常のページと同じですが、メニューでは表示されません。これは、リンクはしたいけれどメニューに表示したくないページがある時に便利です。

"Search" ページのページ・プロパティを編集します（コンテキスト・メニューを使いましょう）。“Access”タブを選択します：

“Visibility” – “In Menus” – “Hide”的チェックが入っているのに気づくでしょう：

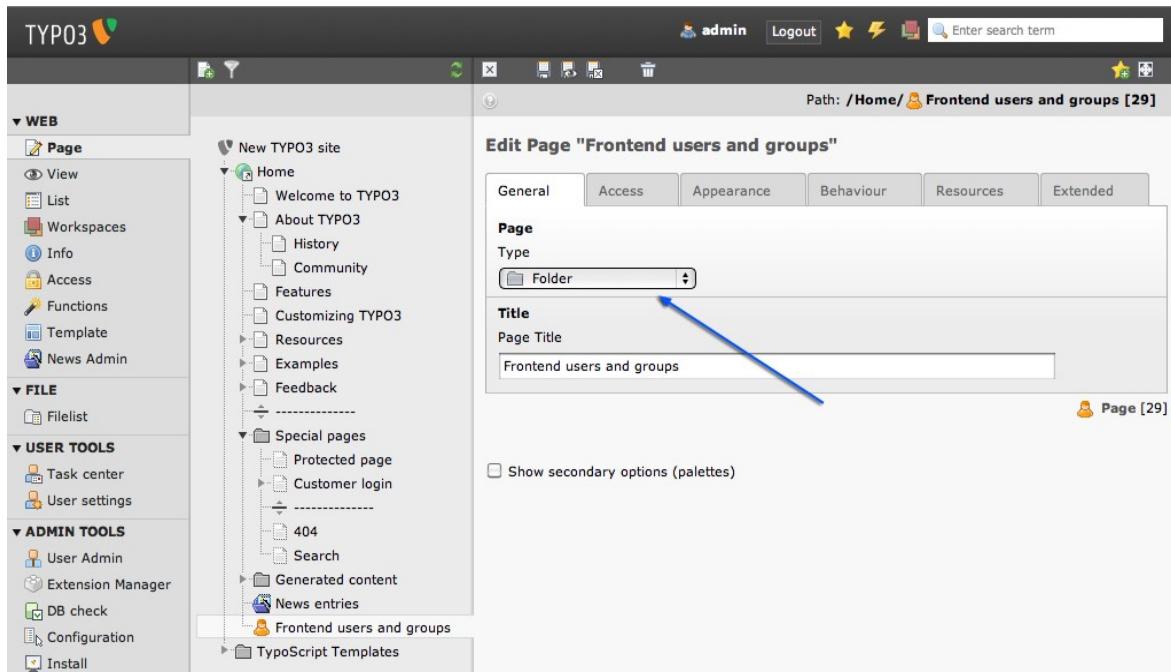


The screenshot shows the TYPO3 backend interface. On the left is the navigation sidebar with sections like WEB, FILE, USER TOOLS, and ADMIN TOOLS. The main area shows a tree view of pages under 'Home' and 'Special pages'. A blue arrow points to the 'Hide' checkbox in the 'Visibility' tab of the 'Edit Page "Search"' configuration panel. The configuration panel also includes tabs for General, Access, Metadata, Appearance, Behaviour, and Resources. It shows 'Publish Dates and Access Rights' and 'Usergroup Access Rights' settings, as well as 'Login Behaviour'.

フォルダ

ページ・ツリーの中に幾つかフォルダ・アイコンをしたページがあるのが見えるでしょう。デフォルトでは、TYPO3においてページはウェブ・ページ・コンテンツの入れ物として作成されます。それらをメニューに表示し、タイトルを付けることができます。全てのページのうち、95%はそのような形で用いられます。しかしページは、ウェブ・ページで表示するつもりのないデータベース要素の入れ物としてだけ使うこともできます。フォルダはそのためのものです。自分のコンピュータのファイル・システムで色んな種類のファイル分類するのに使っているように、フォルダを使ってください。同じように、フォルダはTYPO3内部のデータベース要素をうまく整理できます。データベース要素とは、例えばフロント・エンド・ユーザー やフロント・エンド・グループ、ニュースのデータ等です。

ページプロパティで「Type」のドロップダウン・リストで選択することで、フォルダを作成することができます：



ショートカット

ショートカットは中身は空であるにもかかわらず一例えばー他のページの親となるようなページを作成するのに使うことができます。あなたが何か製品販売をして、次のようなウェブ・サイトのナビゲーションを持っているとしましょう：

- About us
- 製品
- 免責事項
- お問合せ

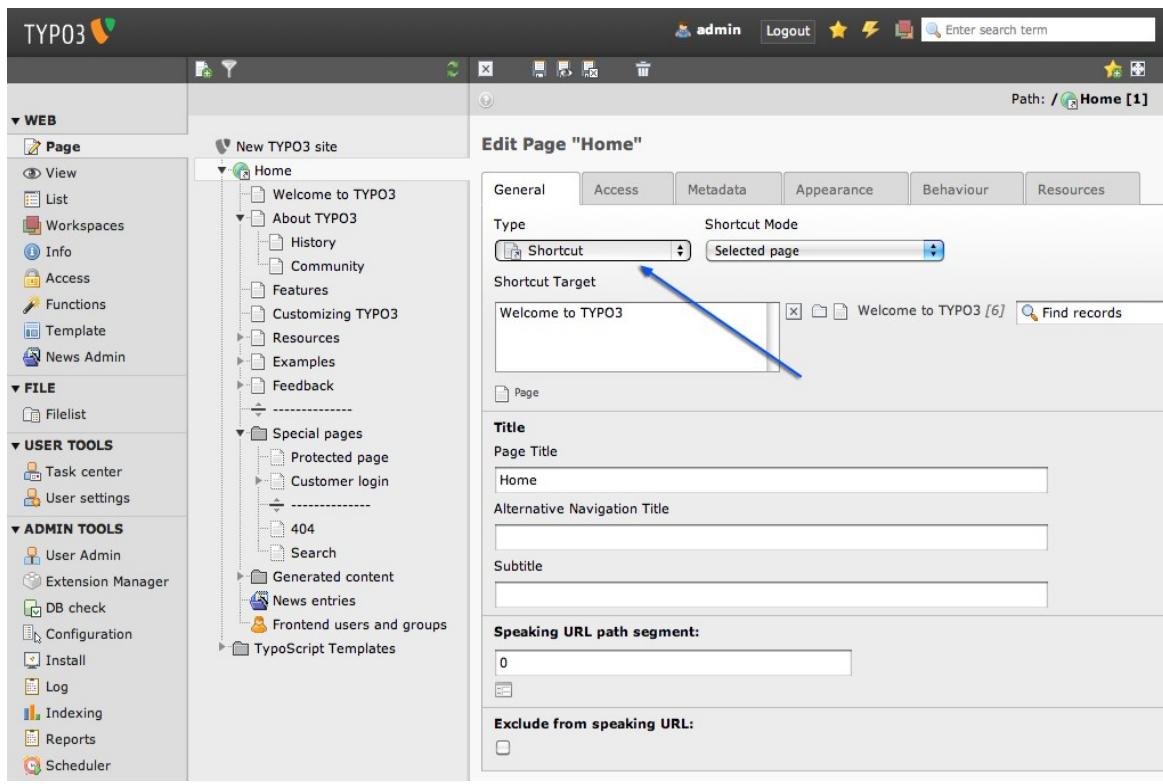
そこであなたは製品の情報を伝えるため、「製品」の下にサブページを幾つか付け加えたいと考えます：

- About us
- 製品
 - 概要
 - 技術的詳細
 - 価格と送料
- 免責事項
- お問合せ

あなたは実際には製品ページのコンテンツは持っていないません。メニューに表示したいだけです。そこで「製品」ページが「概要」ページを指すようにショートカットを利用するすることができます。どうなるでしょう？ メインメニューの「製品」をクリックすると必ず概要ページが直接表示されます。メニューの構造を望んだ通りにすることはできましたが、製品ページのコンテンツが必要ありません。

このイントロダクション・パッケージでもショートカットを見つけることができます。"Home"ページです。ショートカットのシンボルは右下の小さな矢印です。"Home"ページはあなたのウェブ・サイトのルートでもあり、独自のドメインを持っていますー地球儀のアイコンが付いているのはそのためです。

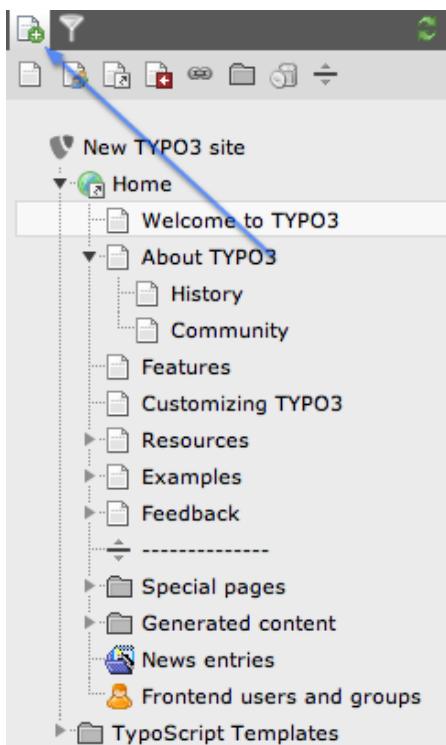
あなたはフォルダを作成したように、ショートカットを作成することができます—ページ・プロパティを編集する際にドロップダウンリストでそのタイプを選ぶことで：



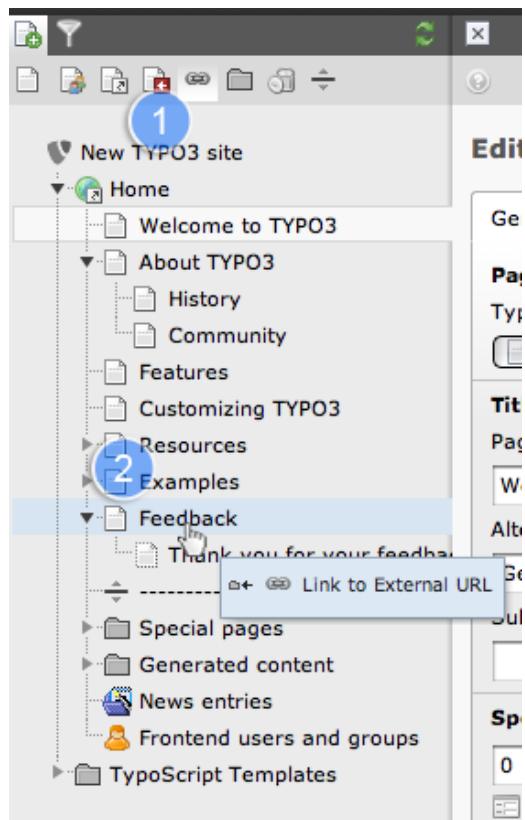
外部URLへのリンク

外部リンクは、あなたのページのメニューに外部のページへのリンクを表示する際に利用することができます。一緒にやってみましょう。メニューに <http://typo3.org> へのリンクを追加したいとしましょう。

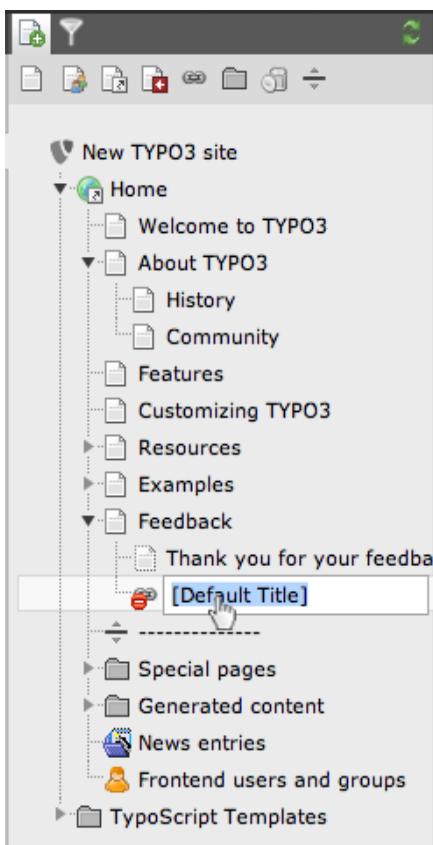
まず最初に、ページ・ツリーの左側の一番上にある *new* アイコンをクリックします：



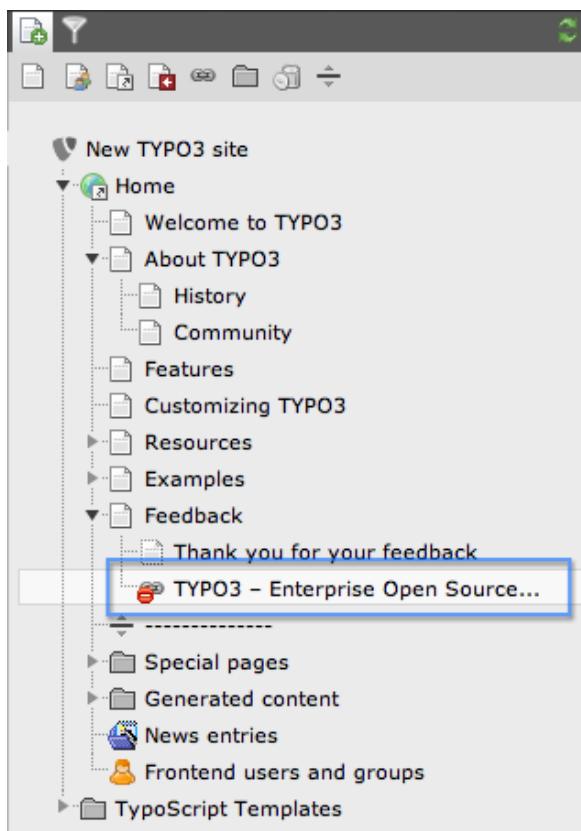
メニューが開き、違った種類のページを示す幾つかのシンボルが現れます。マウスを乗せてそれらの名前を確かめてください。次に「*Link to External URL*」のアイコンを「Feedback」ページの上にドラッグ&ドロップします：



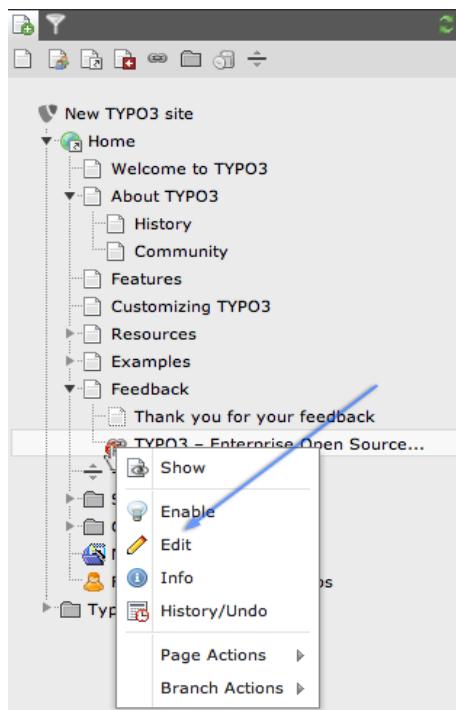
[Default Title]というタイトルの、無効になったページが現れます。タイトルをダブルクリックします：



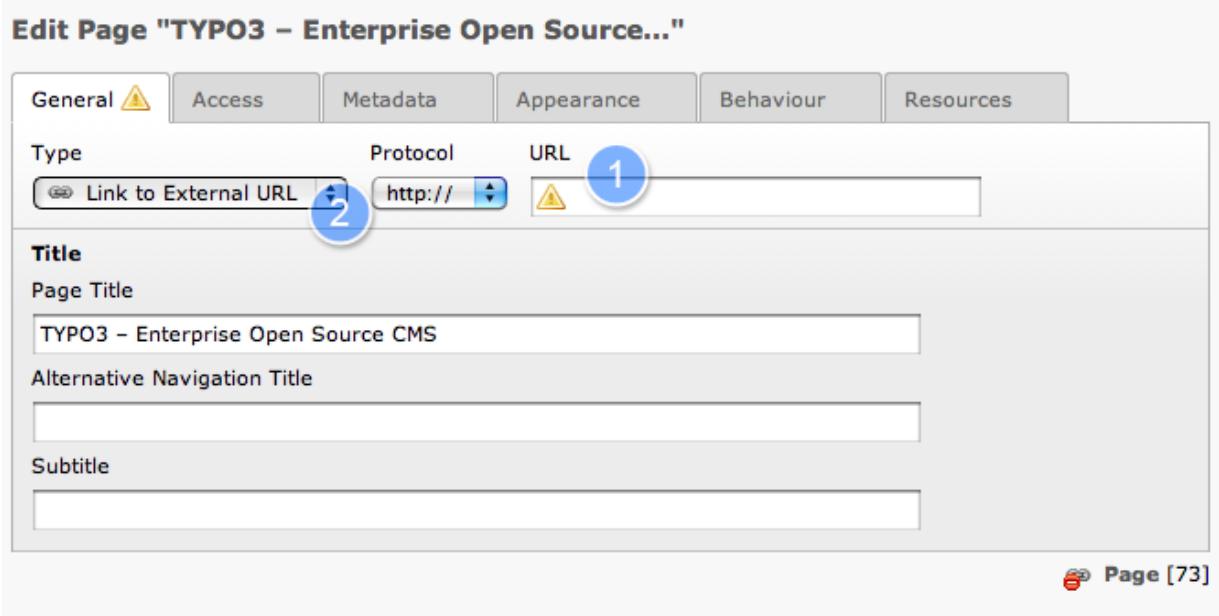
そのまま名前を入力することができます。「TYPO3 - Enterprise Open Source CMS」と名づけることにしましょう。リターンキーを押して変更を保存してください。



次にコンテキスト・メニューを開き、edit をクリックします。



既に見たことのある"Edit page properties" ダイアログが開きます：



少し違って見えます。なぜなら現在のコンテキスト—a link to an external URL に適応しているからです。「General」タブと「URL」フィールドのオレンジ色のびっくりマークに注意してください。これは未だあなたがする必要があることが残っていることを示しています。

もちろんこれが一番重要な箇所—リンクしたい外部の URL です。(1)に URL を入力し、(2)でリンク方法を選択します。もし(2)を利用したくない場合は「Auto」にセットし、URL を丸ごと(1)に入力してください。

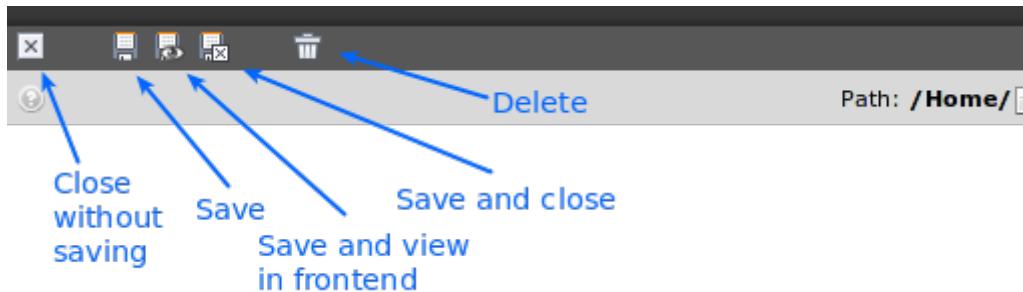


正しいタイプを選びましょう

「Type」センタクボックスに注意しましょう！ ここで正しいURLス

キームを選ぶか、あるいは既にスキームを含んでいる(typo3.orgではなくhttp://typo3.orgのような)URLを入力したい場合は「Auto」にセットしてください。

ここで変更を保存しましょう。docheaderに保存用のアイコンが幾つかあります：

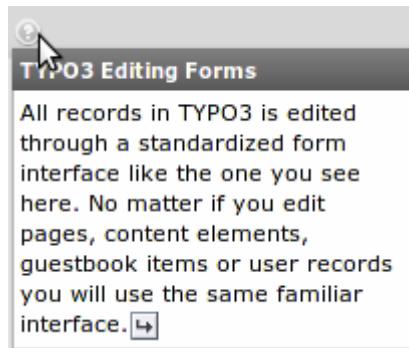


大抵の場合、マウスを上に乗せてツールチップの説明が現れるのを待てば、何のためのボタンか分かるようになっています。



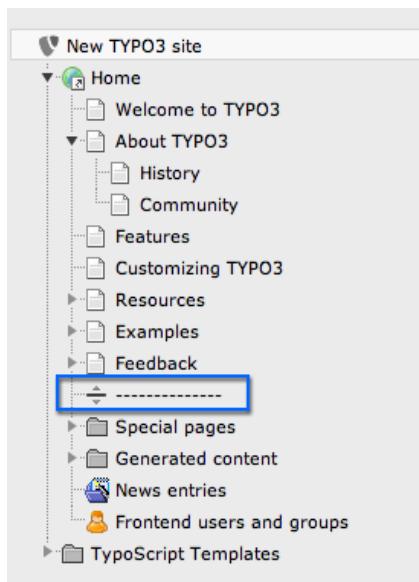
ツールチップ

TYPO3のどれかのエレメントがどんな働きをするのか知りたくなった時は、こまめにラベルやアイコンにマウスを乗せてヘルプ・テキストを表示させてください。テキストをクリックした場合は長めの説明が表示されます。



ビジュアル・メニュー・スペーサー

我々のページ・ツリーにまだ他にも異なるページ・タイプが有るに気づくと思います：



このタイプはビジュアル・ページ・セパレータと呼ばれていて、TYPO3をデフォルトでインストールした場合は、基本的に何もしません。よりページ・ツリーを見やすくするためにパートに分割するのに使ってください。

ページコンテンツ

ここまで、ページ・ツリーを通してページがどのように構成されているのか、異なるページ・タイプがどのように働くのか見てきました。ここからはコンテンツについて見ていきましょう。

最初にページ上でコンテンツがどのように構成されているか見てみましょう。

- ブラウザで「Editor Features」 > 「Text and Images」 ページを開きます
- ブラウザのもう一つのウインドウでTYPO3のバック・エンドを開きます
- page モジュールを選びページ・ツリーから「Editor Features」 > 「Text and images」 を選択します
- 二つのビューを比べてみます

フロントエンド：

Introduction Package: Text and images - Mozilla Firefox <2>

File Edit View History Bookmarks Tools Help

http://localhost/introductionpackage/index.php?id=42

TYPO3 Search

Introduction Package: Text and i...

Feedback Customer login

Introduction Package

Get Started About TYPO3 Features Customizing TYPO3 Resources Examples Feedback

Home » Examples » Text and images

Easily Position Text and Images 1

TYPO3 makes working with text and images a snap. TYPO3's text with image content element gives editors precise control over captions, alternative text attributes, image size and quality, and layout. TYPO3's core tools for manipulating images can automatically optimize image files uploaded by back-end editors to reduce file size and reduce the time required to load a page.

Position: In text, left 2

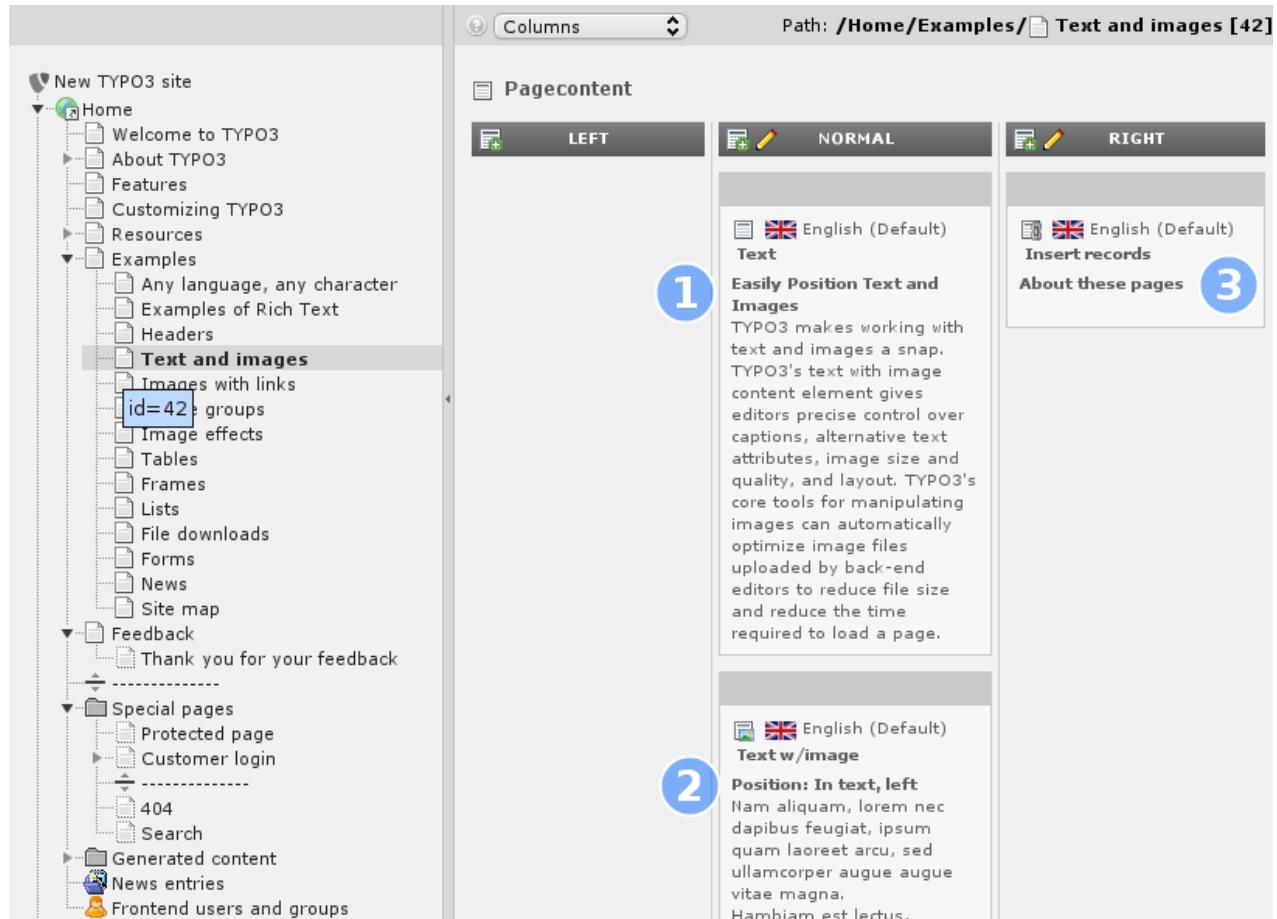
 Nam aliquam, lorem nec dapibus feugiat, ipsum quam laoreet arcu, sed ullamcorper augue augue vitae magna.

About these pages 3

The pages in this section of the introduction package demonstrate the various content elements available to editors in the TYPO3 back-end interface, and their appearance in the front-end.

The layout and behavior of these examples are configurable via TypoScript and, of course, CSS.

バックエンド：



Path: /Home/Examples/ Text and images [42]

Pagecontent

LEFT NORMAL RIGHT

1

2

3

1 English (Default)
Text

Easily Position Text and Images

TYPO3 makes working with text and images a snap. TYPO3's text with image content element gives editors precise control over captions, alternative text attributes, image size and quality, and layout. TYPO3's core tools for manipulating images can automatically optimize image files uploaded by back-end editors to reduce file size and reduce the time required to load a page.

2 English (Default)
Text w/image

Position: In text, left

Nam aliquam, lorem nec dapibus feugiat, ipsum quam laoreet arcu, sed ullamcorper augue augue vitae magna. Hambiam est lectus.

3 English (Default)
Insert records

About these pages

見ての通り、ウェブ・ページのコンテンツ・エレメントの順番とバック・エンドのコンテンツ・エレメントの順番が同じになっています。コンテンツ・エレメントはさらコラムに分かれています。バック・エンドの右側のコラムコンテンツは、あなたのページの右側のコラムにあります。あなたのページのそれぞれのコンテンツ・エレメントは、違ったタイプのもの(text や text with image など)を利用することもできるので、非常に柔軟性に富んだページを作ることができます。

コンテンツ・エレメントを移動するとどうなるか見て見ましょう。

- このページのコンテンツ・エレメントの灰色のバーの上にマウスを乗せて見てください：

Pagecontent

LEFT

NORMAL

RIGHT

English (Default) Text
Precise control over content
 Working with images and text is made easy with TYPO3. Inserting images in text is intuitive and hazzle free, and gives you precise control over captions, alternative texts and positioning

English (Default) Text w/image
Position: In text, left
 Nam aliquam, lorem nec dapibus feugiat, ipsum quam laoreet arcu, sed ullamcorper augue augue vitae magna.
 Hambiam est lectus, interdum id, accumsan a, blandit quis, mauris placerat sit amet, nibh. Lacus lectus est mattis vel, pharetra sit amet. Nam laoreet, erat ac laoreet euismod, sapien felis pretium libero, semper euismod mauris metus quis tortor.

English (Default) Text w/image
Position: In text, right
 Nam aliquam, lorem nec dapibus feugiat, ipsum quam laoreet arcu, sed ullamcorper augue augue vitae magna.
 Hambiam est lectus, interdum id, accumsan a, blandit quis, mauris placerat sit amet, nibh. Lacus lectus est mattis vel, pharetra sit amet. Nam laoreet, erat ac laoreet euismod, sapien felis pretium libero, semper euismod mauris metus quis tortor.

English (Default) Insert records
About these pages

そのエレメントのための編集用アイコンが幾つか現れたと思います。右側の矢印を使って上か下に動かしてください。エレメントを移動した後で、ウェブ・サイトのフロント・エンドを見てください。あなたが変更した順番に反映されているはずです。

エレメント・ヘッダにある他のアイコンは、このエレメントに対して行うことのできるそれぞれの操作を示しています：

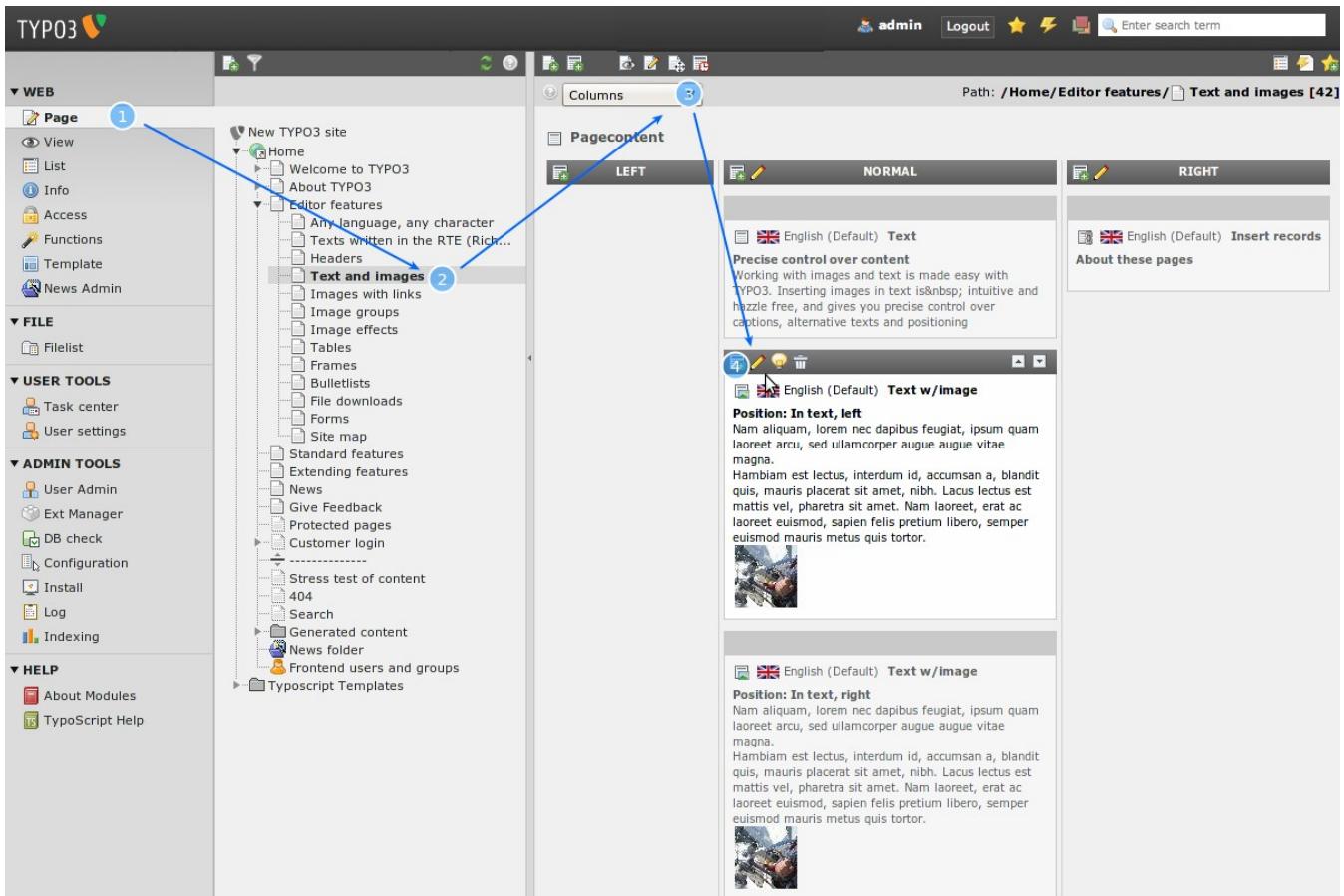


ページとコンテンツの編集と作成

ページのコンテンツは、ページ・コンテンツ・エレメントに保存されていることを学びました。なので、ページ上のコンテンツを編集したいと思ったら、ページ・コンテンツ・エレメントを編集しなければなりません！

ページとコンテンツの編集

TYPO3 でページ・コンテンツを編集するのは、非常に簡単です。Page モジュール(1)を選び、編集したいと思うページのページ・タイトル(2)をクリックし、「Columns」ビュー(3)で変更したいページ・コンテンツ・エレメントの編集アイコン(4)をクリックするだけです：



するとこのような編集フォームが表示されます：

Edit Page Content "Position: In text, left" on page "Text and images"

General Images Access Appearance

Content Element

Type Column Language

1 Text & Image: 2 Normal Default

Header

Header 2

Position: In text, left

Type Alignment Date

Layout 2 Default

Link

Text

Block style: No block style

Text style: No text style

B I x x² Paragraph

3

Nam aliquam, lorem nec dapibus feugiat, ipsum quam laoreet arcu, sed ullamcorper auctor augue vitae magna.

Hambiam est lectus, interdum id, accumsan a, blandit quis, mauris placerat sit amet, nibh. Lacus lectus est mattis vel, pharetra sit amet. Nam laoreet, erat ac laoreet euismod, sapien felis pretium libero, semper euismod mauris metus quis tortor.

まず第一に、「Type:」フィールド (1) ページ・コンテンツ・エレメントの種類が分かれます！ この例では「Text & Images」です。「Text」(前に出てきました)あるいは「Images」(画像)、「Table」(表)等の場合もあります。自分で確認して見ましょう！ それぞれのコンテンツ・エレメントのタイプはは、それに応じた独自の一連の入力欄を備えています。色んなエレメントを挿入することで、ウェブ・サイトを変化に富んだものにすることができます。

ヘッダー・フィールド(2)はコンテンツ・エレメントの見出しが保存されています。

「Text」フィールド(2)にテキストを打ち込むことで、テキストを挿入できます。

エレメント・タイプが異なるれば、オプションも異なります。それぞれのタブでどんなことができるのか、少し遊んで見てください。エレメント・タイプを変更することは、漏れなくそのエレメントを保存することになることに注意してください。



QuickEdit - クリック数を減らす…

ページ・コンテンツ・エレメントに素早くアクセスしたい場合は、Page モジュールのビューを「Columns」から「QuickEdit」に変更することができます—そうすると、最初のコンテンツ・エレメントが直ぐに出てきます：

新ページ

以前に「External URL」のページを作成した際、新しいページの作り方を一つ学びました。しかしながら、TYPO3には一つのことをするのに、複数の方法が存在します。ページを作成する別の方法はこうです：

docheader にあるボタンをクリックすると、次のステップで新しいページの挿入場所を選択する画面が出てきます：

New record

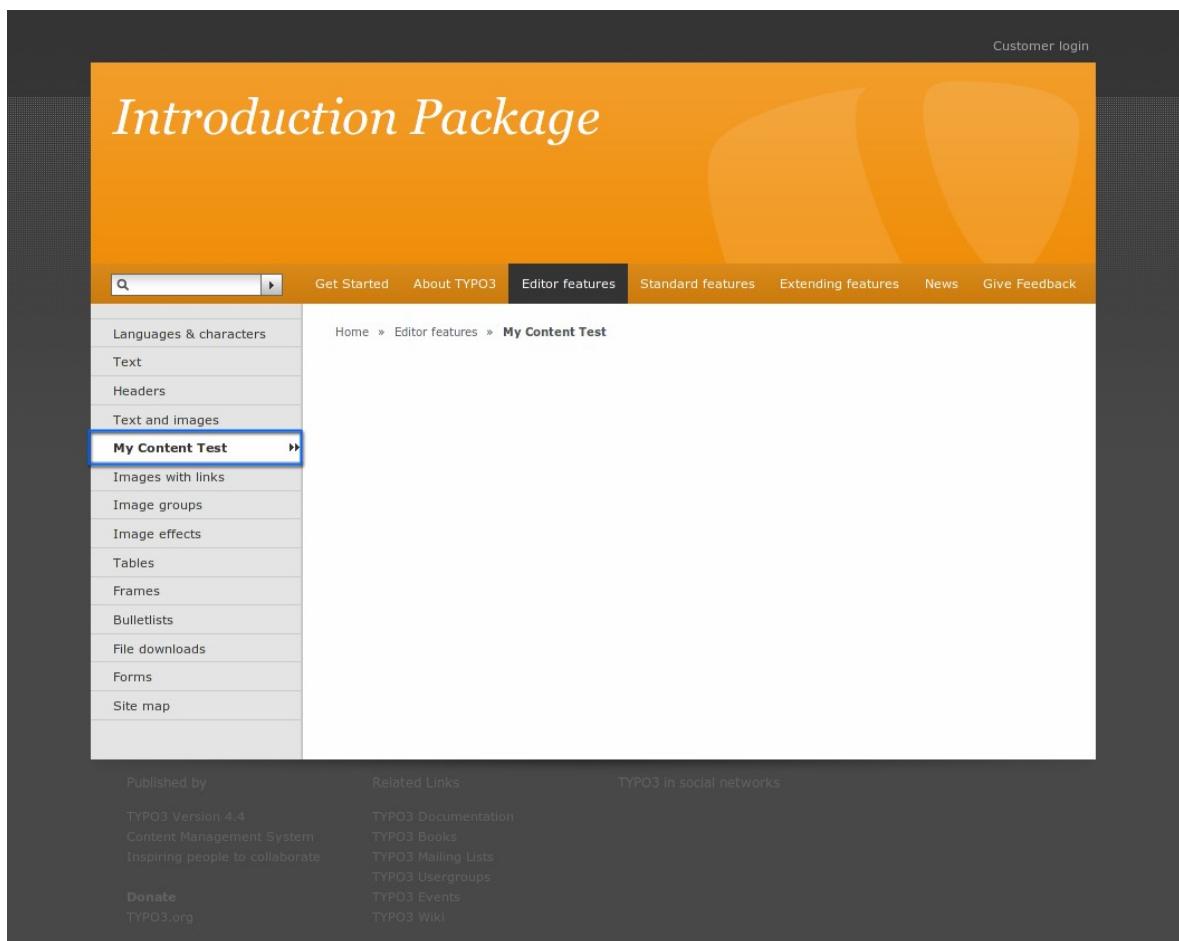
Text and images

Select a position for the new page:

- Any language, any character
- Examples of Rich Text
- Headers
- Text and images**
- Images with links
- Image groups
- Image effects
- Tables
- Frames
- Lists
- File downloads
- Forms
- News
- Site map

さあ、新しいページ「My Content Test」を「Text And images」の（中ではなく）下に作成してください。メニューの「Text and images」ページの次にそのページが現れるはず。

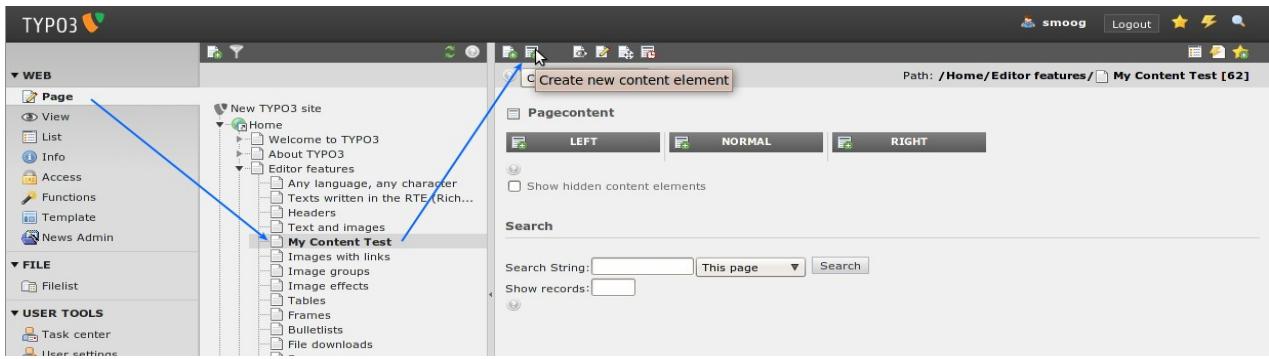
The screenshot shows the TYPO3 CMS Backend interface. The left sidebar is organized into sections: **WEB** (Page, View, List, Workspaces, Info, Access, Functions, Template, News Admin), **FILE** (Filelist), **USER TOOLS** (Task center, User settings), **ADMIN TOOLS** (User Admin, Extension Manager, DB check, Configuration, Install, Log, Indexing, Reports, Scheduler), and **HELP** (About TYPO3, About Modules, TypeScript Help). The main content area is titled "Page Content" and shows a tree view of content elements. The element "My Content Test" is selected and highlighted with a blue box. The top right of the screen shows the user "admin", a "Logout" link, and a search bar with the placeholder "Enter search term". The path in the top right is "/Home/Examples/My Content Test [76]". Below the search bar are tabs for "Left", "Normal", and "Right" content columns, and a checkbox for "Show hidden content elements". A search section with a "Search String" field, a dropdown for "This page", and a "Search" button is also present.



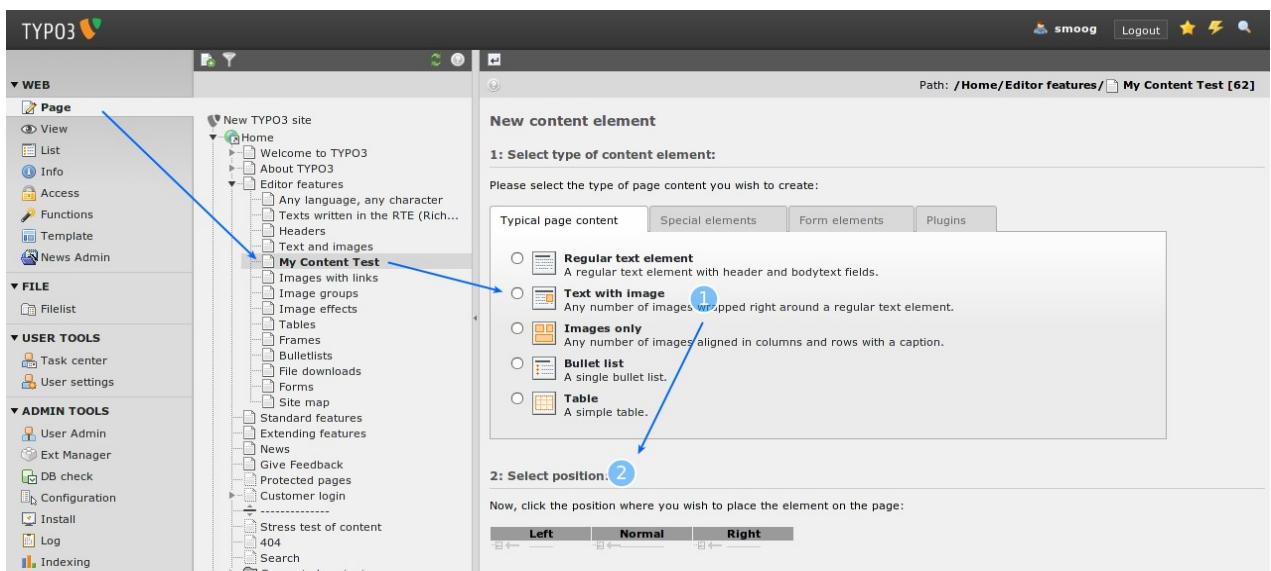
まだ空白のページです—ページ上に幾つかページ・コンテンツ・エレメントを作成する必要があります！

ページ・コンテンツ・エレメントの作成

Page モジュールで、ページ・ツリー上の「My Content Test」のページ・タイトルをクリックします。次に docheader にある、小さな緑色の「+」の付いたコンテンツ・エレメントのアイコン「Create new content element」をクリックします：



直ぐにこの（下の）ような素敵なフォームが現れます。ここでページ・コンテンツ・エレメントのタイプ(1) — 前に説明したように、それぞれのコンテンツ・エレメント・タイプによって、それぞれ違った種類のコンテンツがウェブ・ページ上に作成されます — エレメントの配置場所(2)を選ぶことができます。「Text & Images」を作成してみましょう：



表示されたフォームの「General」タブの下に見出し(1)とダミーのコンテンツ(2)を入力します。

Edit Page Content "Position: In text, left" on page "Text and images"

General Images Access Appearance

Content Element

Type Column Language

Text & Image: Normal Default

Header

Header 1

Type Alignment Date

Layout 2 Default

Link

Text

Block style: No block style

Text style: No text style

B I x_z x^z Paragraph

Nam **2** quam, lorem nec dapibus feugiat, ipsum quam laoreet arcu, sed ullamcorper augue vitae magna.

Habiam est lectus, interdum id, accumsan a, blandit quis, mauris placerat sit amet, nibh. Lacus lectus est mattis vel, pharetra sit amet. Nam laoreet, erat ac laoreet euismod, sapien felis pretium libero, semper euismod mauris metus quis tortor.

それが終わると、「Media」タブを選択します。あなたのハード・ディスク・ドライブ ダミーの画像を選択します(1)。ついでにその画像へのリンクを入力することもできます(2)。

Create new Page Content on page "My Content Test"

General Images Access Appearance

Images and Captions

Images Captions (one per line)

GIF JPG JPEG TIFF BMP ICO TGA PNG PDF AI
Datei auswählen 1 Date...usgewählt

Behavior

Enlarge on Click Links (one per line, one link per image)
Enabled 2

Accessibility

Alternative Labels (one per line) Titles (one per line)

Long Description URLs (one per line)

次に「Appearance」タブを選択します。大きな画像を選択した場合は、(1)でサイズを変更することができます〔もしこれがうまくいかない場合は「トラブルシューティング」の章を参照してください〕。その下でテキストに対して画像を配置する場所を指定することができます(2)。

Create new Page Content on page "My Content Test"

General Images Access Appearance

Content Element Layout

Layout Top Margin Bottom Margin Indentation and Frames
Default 1 Default Frame

Image Adjustments

Width (px) Height (px) Border
1 Enabled

Quality and Type Effect
Default None

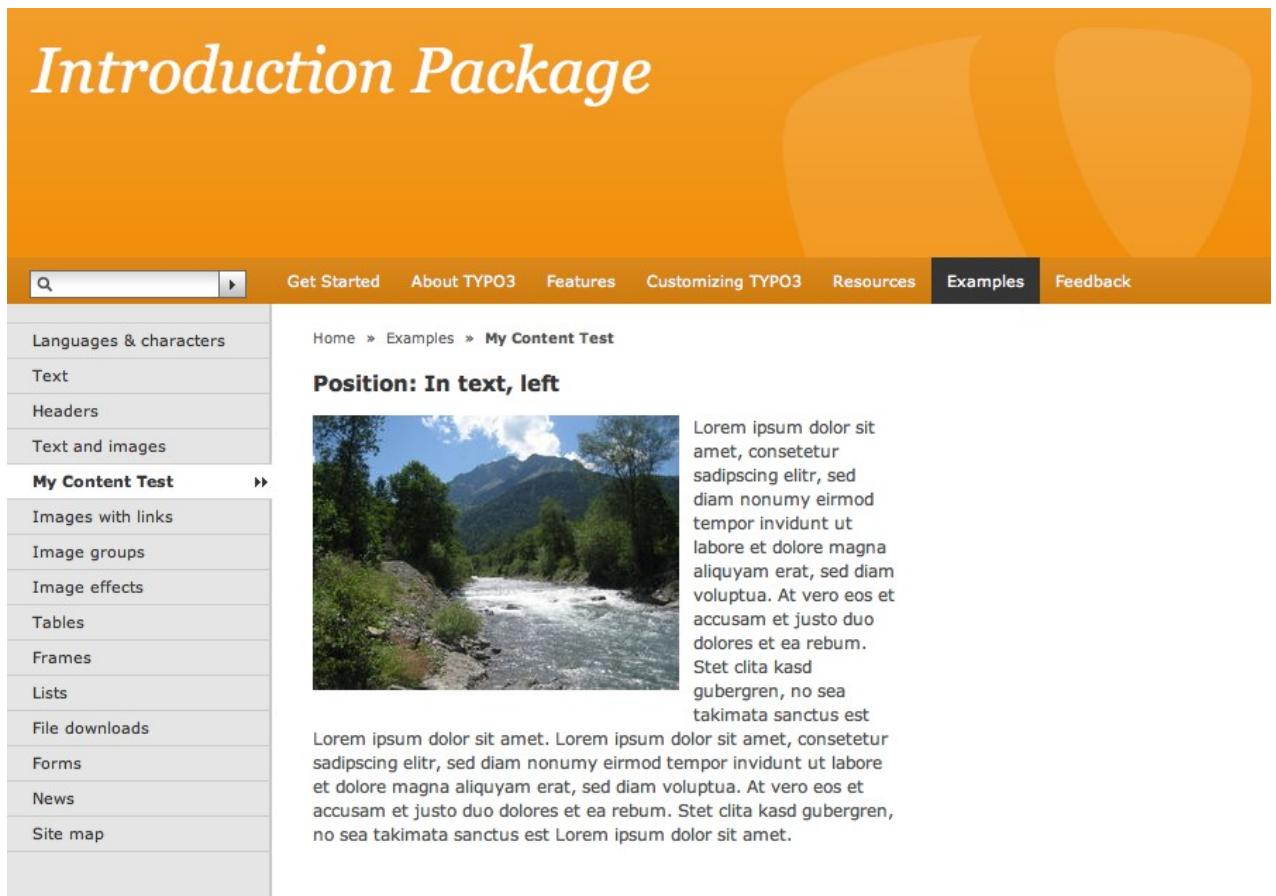
Image Alignment

Position and Alignment Number of Columns
In text, right 2 1

Display as Rows Caption Alignment
Deactivate Default

「Save document」ボタンを押します。そうすると画像がウェブ・サーバーにアップロードされ、新しいページ・コンテンツ・エレメントに添付されます。

全てがうまくいくと、ウェブ・ページでこのように表示されるはずです：



Introduction Package

Get Started About TYPO3 Features Customizing TYPO3 Resources **Examples** Feedback

Languages & characters

Text

Headers

Text and images

My Content Test

Images with links

Image groups

Image effects

Tables

Frames

Lists

File downloads

Forms

News

Site map

Home » Examples » **My Content Test**

Position: In text, left

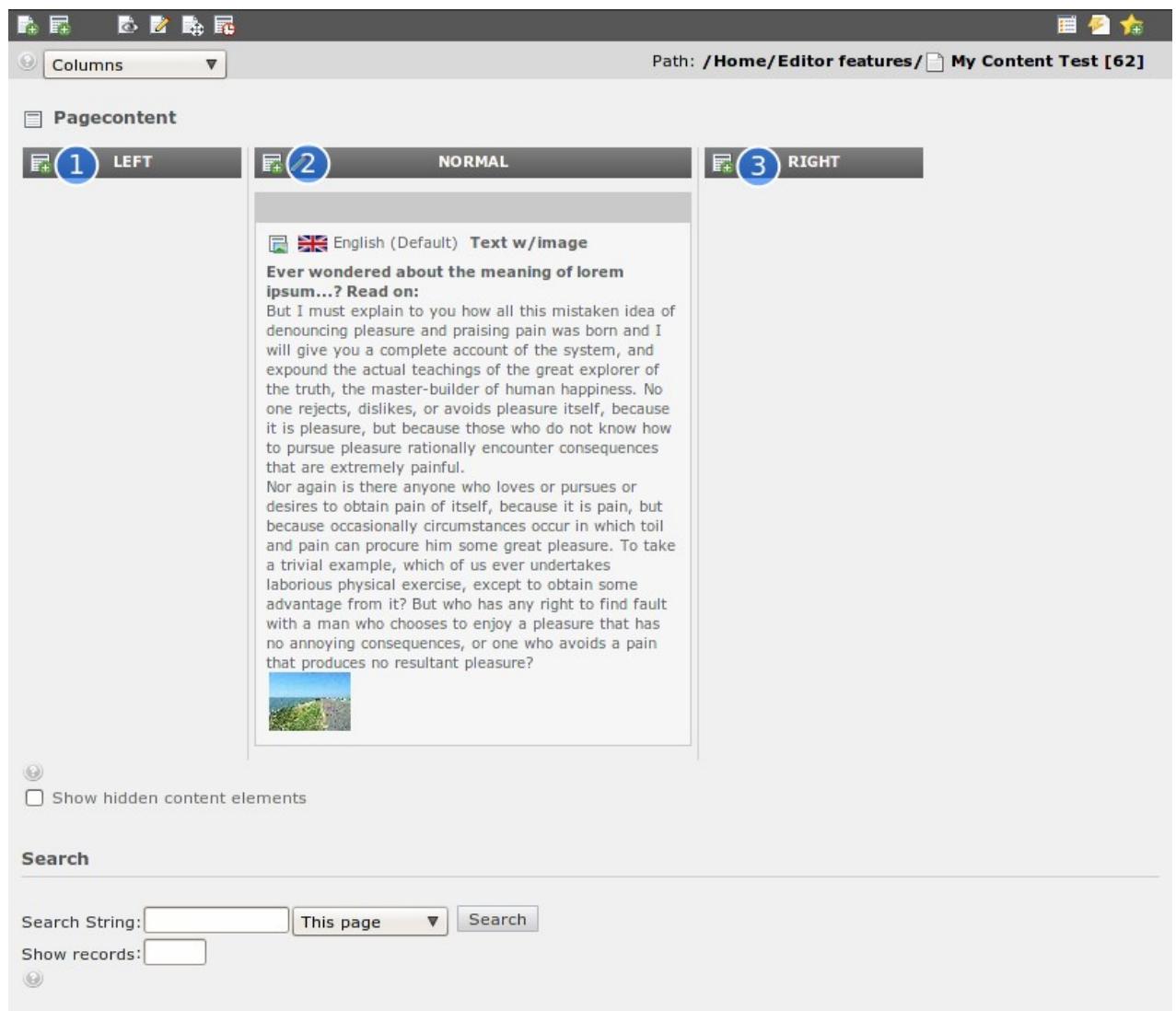


Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est Lorem ipsum dolor sit amet.

Lorem ipsum dolor sit amet. Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est Lorem ipsum dolor sit amet.

別のコンテンツ・エレメントを挿入する

Page モジュールに戻ると、ちゃんと新しい・コンテンツ・エレメントが表示されています。別のコンテンツ・エレメントを作成して見ましょう。コンテンツ・コラムのヘッダー・バーにある、プラスの付いた小さなコンテンツ・エレメントのアイコンは、そのコラムにコンテンツを追加するためのものです。右コラムにあるアイコン(3)を使って、そこにコンテンツを追加してみましょう。



The screenshot shows the TYPO3 Page content editor interface. At the top, there's a toolbar with various icons. Below it, a 'Columns' dropdown is set to 'Columns'. The path 'Path: /Home/Editor features/ My Content Test [62]' is displayed. The main area is titled 'Pagecontent'.

The content is organized into three columns:

- LEFT:** Contains a 'Text w/ image' element. The text is a famous passage from Cicero's 'De Officiis' (On Duties). It starts with 'Ever wondered about the meaning of lorem ipsum...? Read on:'. Below the text is a small thumbnail image of a landscape.
- NORMAL:** Contains the same 'Text w/ image' element as the LEFT column.
- RIGHT:** This column is currently empty.

Below the columns, there's a section titled 'Search' with fields for 'Search String' (with a dropdown for 'This page'), 'Show records' (with a dropdown), and a search button.

At the bottom left, there's a checkbox for 'Show hidden content elements'.

今回は「Sitemap」と呼ばれる特別なエレメントを作成するものを選びます。

New content element

Please select the type of page content you wish to create:

Typical page content Special elements Form elements Plugins

- Filelinks**
Creates a list of files for download.
- Media**
Inserts a media element like a Flash animation, audio file or video clip.
- Sitemap**
Creates a sitemap of the website.
- Plain HTML**
With this element you can insert raw HTML code on the page.
- Divider**
This element inserts a visual divider, which is by default a horizontal line.

この site map エレメントを使うと、あらゆる種類のページ・リンク・リスト（本当の際とマップ、サブ・ページのメニューなど）を挿入することができます。ここでは幾つか手動で選んだページのリンク・リストを挿入したいと思うので、「Menu of these pages」を選択します：

Create new Page Content on page "My Content Test"

General Access Appearance

Content Element

Type Column Language

Menu/Sitemap Right Default

Header

Header

Type Alignment Date

Default Default

Link

Menu and Sitemap

Menu Type

▶ **Menu of selected pages**

Selected Pages

Find records

Page

リンクしたいと思うページを選んでください。方法は2通りあります。小さなフォルダ・アイコン(1)を押して現れるポップアップ画面からページを選ぶか、ページ・タイトルをテキスト・フィールドに入力しオート・サジェスト・サーチ機能(2)を使います：

Create new Page Content on page "My Content Test"

General Access Appearance

Content Element

Type Column Language

Menu/Sitemap Right Default

Header

Header

Type Alignment Date

Default Default []

Link

1 2

Menu and Sitemap

Menu Type

▶ Menu of selected pages

Selected Pages

Find records

Page

ここでは「About TYPO3」のサブ・ページを幾つか追加しました：

Create new Page Content on page "My Content Test"

General Access Appearance

Content Element

Type Column Language

Menu/Sitemap Right Default

Header

Header

Type Alignment Date

Default Default []

Link

Menu and Sitemap

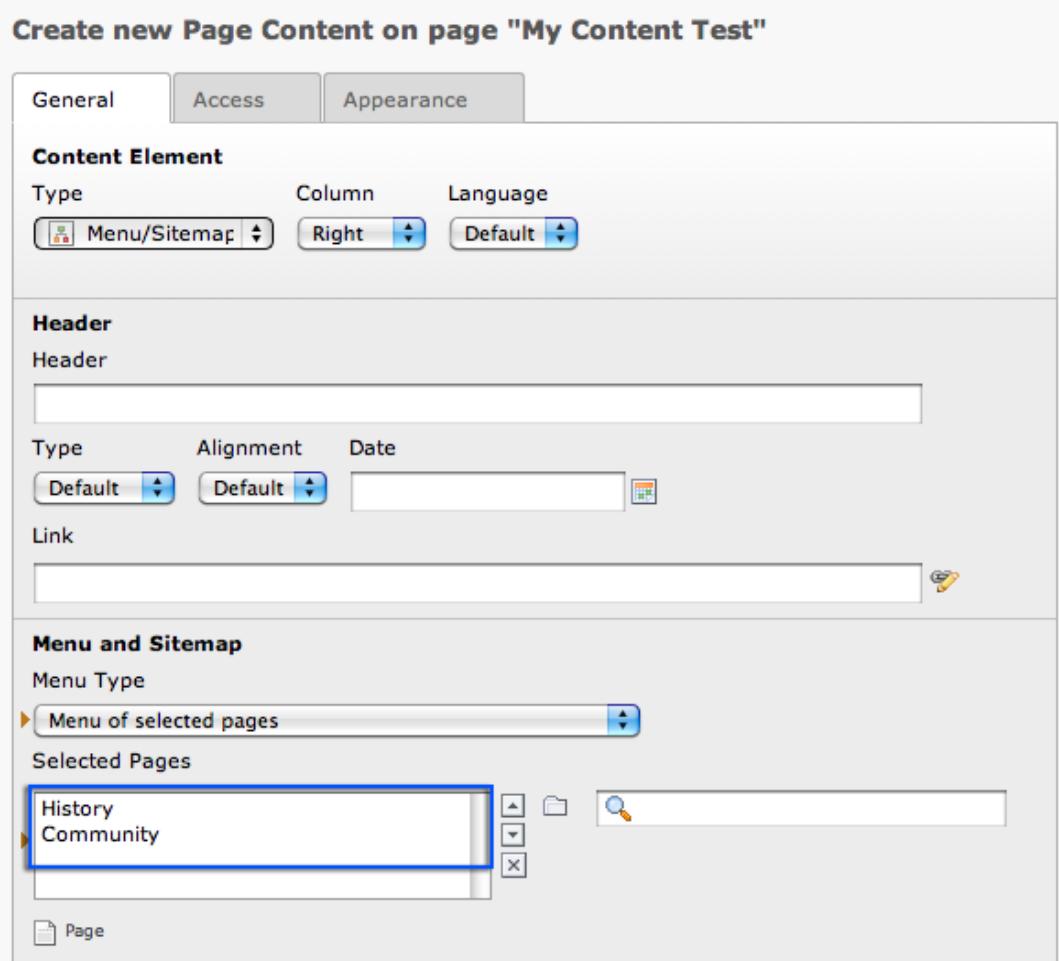
Menu Type

▶ Menu of selected pages

Selected Pages

History Community

Page

The screenshot shows the TYPO3 Backend interface for creating new page content. The title is 'Create new Page Content on page "My Content Test"'. There are three tabs at the top: 'General' (selected), 'Access', and 'Appearance'. The 'Content Element' section is expanded, showing 'Type' (set to 'Menu/Sitemap'), 'Column' (set to 'Right'), and 'Language' (set to 'Default'). The 'Header' section is expanded, showing a text input field for 'Header' and a date input field. The 'Menu and Sitemap' section is expanded, showing 'Menu Type' set to 'Menu of selected pages'. Under 'Selected Pages', there is a list box containing 'History' and 'Community', with 'Community' selected. There are also buttons for adding, removing, and searching pages, and a 'Page' button at the bottom.

今やページには二つのコンテンツ・エレメント、ノーマル・コラムの「Text & Images」と右コラムの「Sitemap」が存在します：

Introduction Package

Get Started About TYPO3 Features Customizing TYPO3 Resources Examples Feedback

Languages & characters
Text
Headers
Text and images
My Content Test ►
Images with links
Image groups
Image effects
Tables
Frames
Lists
File downloads
Forms
News
Site map

Home » Examples » **My Content Test**

Position: In text, left



Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est.

Lorem ipsum dolor sit amet. Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est. Lorem ipsum dolor sit amet.

Menu Header

- History
- Community

ページ・モジュールでは、こんな風に見えます：

Page Content

Left **Normal** **Right**

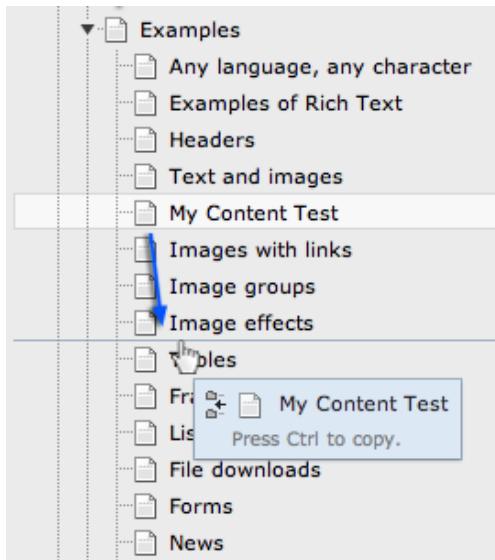
English (Default) Text & Images
Position: In text, left
 Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est. Lorem ipsum dolor sit amet. Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est. Lorem ipsum dolor sit amet.



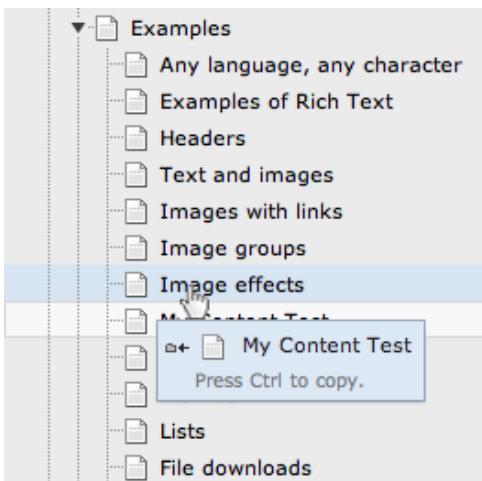
English (Default) Menu/Sitemap
Menu Header
52,53

ページの移動とコピー

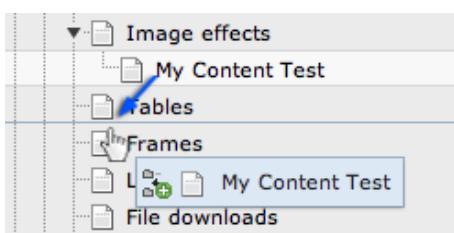
ページの移動は非常に簡単です。ページ・ツリーでページを新しい場所までドラッグするだけです。新しい場所を示すための細いラインが現れるでしょう。



そのページの中に挿入したい場合は、挿入したいページのタイトルの上に移動します。

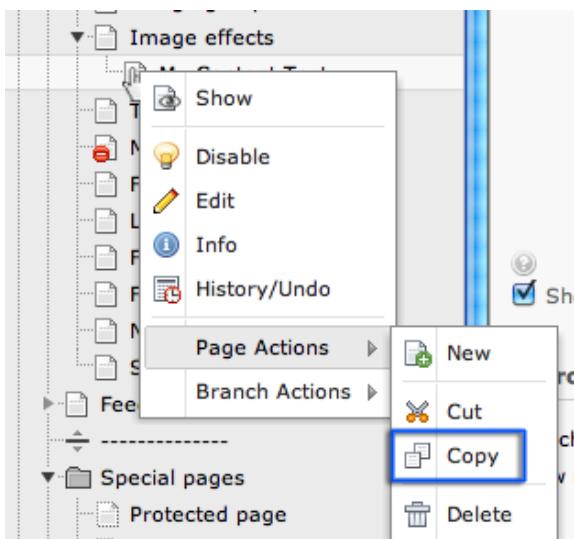


同様にして、デスクトップでやるのと同じように CTRL キーをトグルすることでコピーできます。



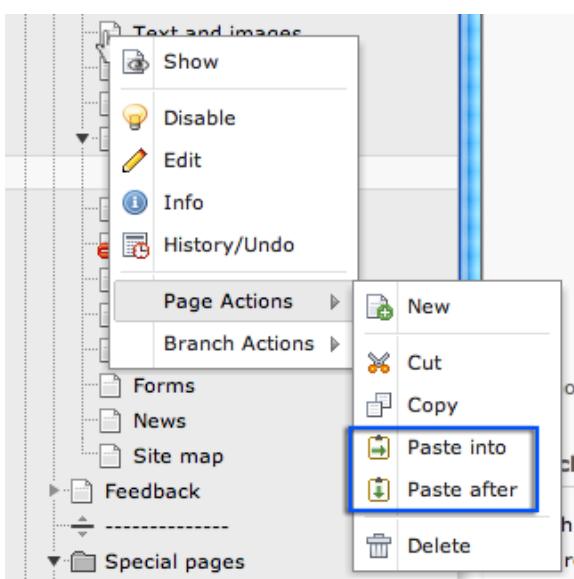
移動モードに戻すには、CTRL キーをもう一度トグルします。

カット&ペーストとコピー&ペースト



移動やコピーをするのにカット&ペーストとコピー&ペーストを利用することもできます。コピーしたいページのコンテキスト・メニューから「Page Actions: Copy」を選択します：

そして、移動先のページのコンテキスト・メニューから「Page Actions: Paste after」（あるいは必要に応じて「Page Actions: Paste into」）を選択します：



要注意—基盤の一貫した概念！

同じコピー／カット&ペーストの原則がページだけでなく、ページ・コンテンツ・エレメントでも利用できることに注目してください—そう、実際TYPO3が管理するどんなデータベース・エレメントやファイルもこの機能性に従います！これはTYPO3が首尾一貫してシステム全体にわたって同じコンセプトを利用していることを示すよい例です—そのため一つ機能を覚えると、他の多くの機能についても同様に分かってくるでしょう！そのことを念頭においておくと、何かがどんな風に作られているか調べようとした時、このような「あ、そうか」をたくさん経験できるでしょう。

表示許可の設定—ページを隠す、時間による表示制限等

多くのエレメント—特にページとページ・コンテンツ・エレメントで目にする機能は、

発行を制御するフィールドあるいは表示するかどうかの設定です。ページの場合はこのような形です：

Edit Page "My Content Test"

General Access Metadata Appearance Behaviour Resources

Visibility

Page In Menus

Disable Hide

Publish Dates and Access Rights

Publish Date Expiration Date Extend to Subpages

Enabled

Usergroup Access Rights

Selected Items: Available Items:

Hide at login
Show at any login
__Usergroups:__
Customers
Others

Login Behaviour

Enable login

アクセスの設定は、コンテンツ・エレメントの場合でも同じです。

ページを無効にする

「Page: Disable」 チェックボックスにチェックを入れます：

Edit Page "My Content Test"

General Access Metadata Appearance Behaviour Resources

Visibility
Page In Menus
 Disable Hide

Publish Dates and Access Rights
Publish Date Expiration Date Extend to Subpages Enabled

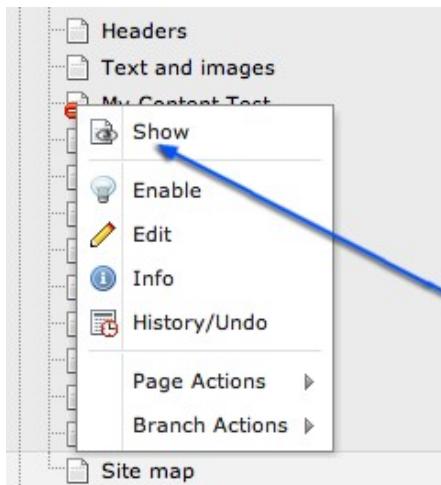
Usergroup Access Rights
Selected Items: Available Items:
 Hide at login
 Show at any login
 Usergroups:
 Customers
 Others

Login Behaviour
Enable login

ページを保存し、ページ・ツリーを確認してください。ページ・ツリーが更新されない場合は、再読み込みするため一番上にある緑色の矢印(1)を押してください。無効にされたページには、その状態を示すアイコン(2)が付いています。

- New TYPO3 site
- Home
 - Welcome to TYPO3
 - About TYPO3
 - History
 - Community
 - Features
 - Customizing TYPO3
 - Resources
 - Examples
 - Any language, a character
 - Examples of Rich Text
 - Headers
 - Text and images
 - My Content Test e
 - Images with links
 - Image groups

無効にされたページは、フロント・エンドでは表示できません。しかしながらバックエンドにログインしていれば、まだそのページをプレビューすることができます。無効にされたページのコンテキスト・メニューから「Show」を選択してください：

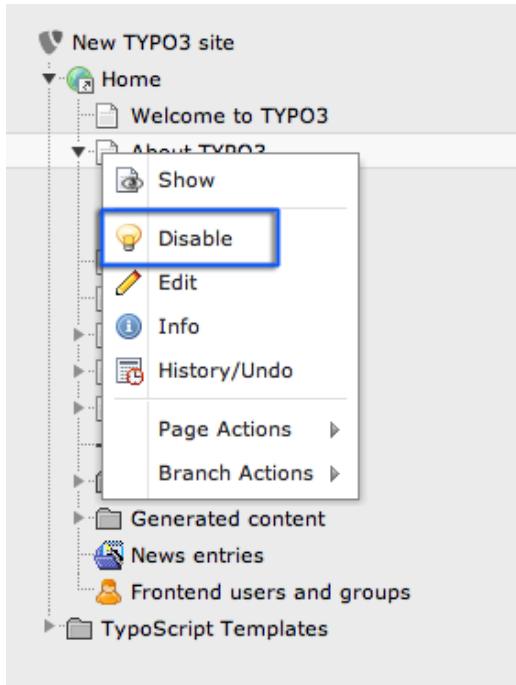


無効にされたページはフロント・エンドでは、通常の訪問者は見ることができないということを知らせる「preview」の注意書きが付いた形で表示されます：

A screenshot of the TYPO3 frontend showing a page titled 'Introduction Package'. The page content area has a red 'preview' watermark. The page navigation bar includes: Get Started, About TYPO3, Features, Customizing TYPO3, Resources, Examples (highlighted with a blue arrow), and Feedback. The left sidebar contains a navigation menu with: Languages & characters, Text, Headers, Text and images, My Content Test (highlighted with a blue arrow), Images with links, Image groups, Image effects, Tables, Frames, Lists, File downloads, Forms, News, and Site map.

ページやコンテンツ・エレメントを無効にする方法は、おそらく表示設定の中でもっと

も典型的なものでしょう。非常に一般的なので、実際コンテキスト・メニューにもあります：

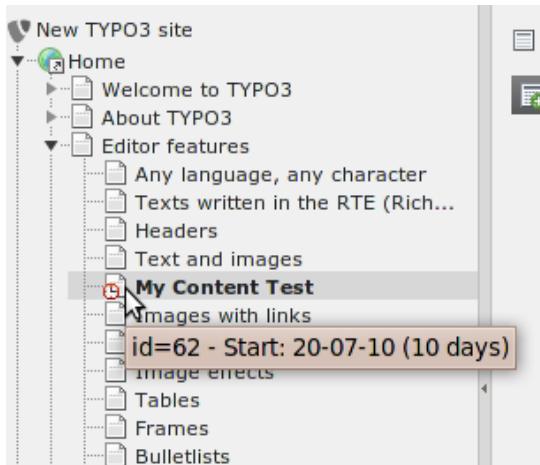


ページとコンテンツ・エレメントの表示期間制御

無効にする方法が最も一般的ですが、ページを何時公開するか、その日付を指定することもできます！ 例えば、「Publish Date」欄に「d+10」というコードを入力して見てください：



自動的に現在の日付に10日足した日付がセットされます！ ページを保存し、ページ・ツリーのアイコンの上にマウスを乗せると、その設定が反映されているのが確認できます：



もちろん、単に日付を直接入力することもできるし、日付ピッカーで選択することもできます。

そして何とこのページは現在は見えないのに10日後の2010年7月20日に自動的に表示されるようになるのです！ 開始日によって発行の情報を制御するのは、このように簡単です。もちろん同じ原則が「Expiration Date（終了日）」にも当てはまります。そして、ページ・コンテンツ・エレメントや、ニュース・エレメント、ゲストブック・エレメント等、何に対しても当てはまります。多くの箇所で同じ原則－非常に理解し易くなっています。

リッチ・テキスト編集：太字、斜体、リスト、画像の挿入

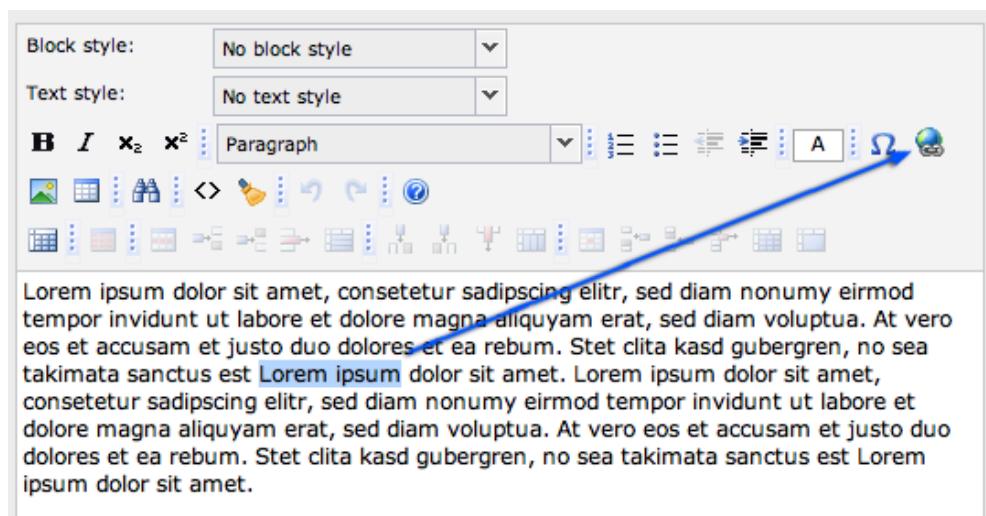
ページに表示するテキストを扱う際、ワードプロセッサーでお馴染みの書式のオプションを幾つか利用することができます。ボディ・テキスト・フィールド用のリッチ・テキスト・エディタ(RTE)を使うことができます。「リッチ・テキスト」と言うのは単に書き込むだけでなく、書式を付け加えることができる意味しています。

見ての通り、リストを作成したり、太字や斜体の書式を適用したり、表を挿入することができます。このエディタはあなたの要求を全て満たすように設定することもできます。設定に関してはこのチュートリアルで扱う範囲ではありません。[rtehtmlarea manual](#)に説明があります。

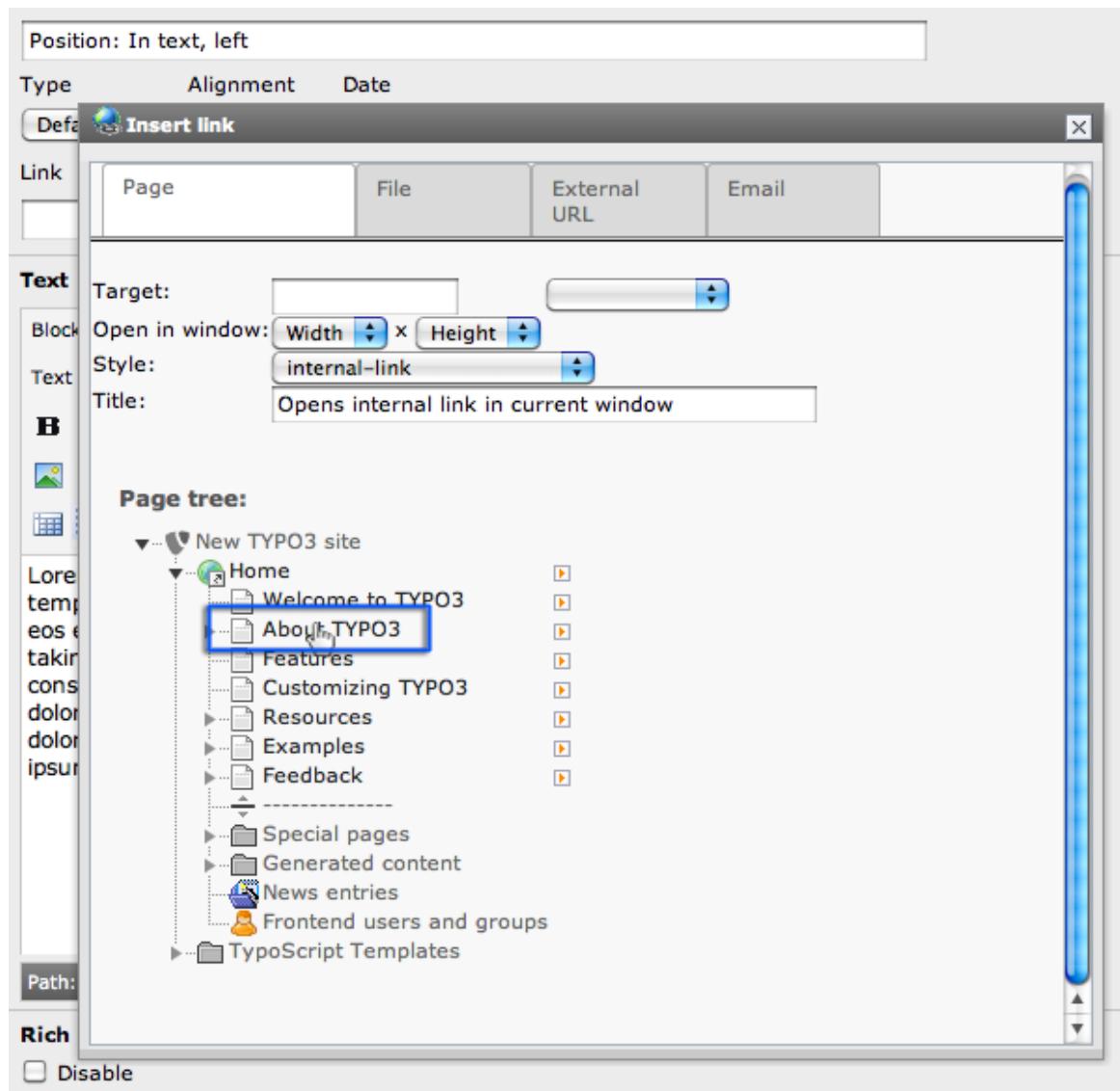
リンクの作成

ハイパー・リンクはインターネットを繋ぎ合わせる接着剤のようなものだという人もいます。あなたは既にTYPO3が自動的に作成したリンクを持っています。というのも階層的なページ・ツリー上でページを作成することそのものが、メニューを自動的に作成することだからです。

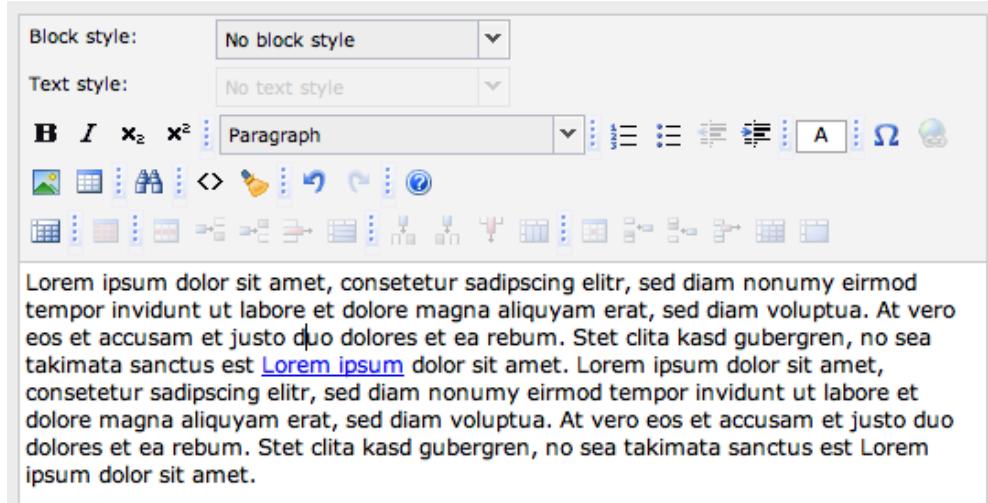
しかしそれでもなお、テキストの一部から別のページ、あるいはファイル、別のウェブ・サイト、Eメールアドレス等にリンクしたいと思うはずです。そうでしょう？ リッチ・テキスト・エディタを使うとこれは非常に簡単です。単にテキストを選択し、「Insert Link」アイコンを押します：



作成したいリンクのタイプを選ぶことができるポップアップ画面が開きます。この例では「About TYPO3」ページへのリンクを作成するため、「Page」タブを選び、ページ・ツリー上の「About TYPO3」をクリックします。



ポップアップ画面は自動的に閉じるはずです。そして選択したテキストにリンクがかかるているのを確認できるでしょう：



リンクを編集するには、その上で右クリックしコンテキスト・メニューからリンク・オプションを選択するだけです（あるいはカーソルをリンク・テキストのどこでもいいので上に置いた状態で、もう一度リンク・アイコンをクリックします）。

Home » Examples » My Content Test

Position: In text, left

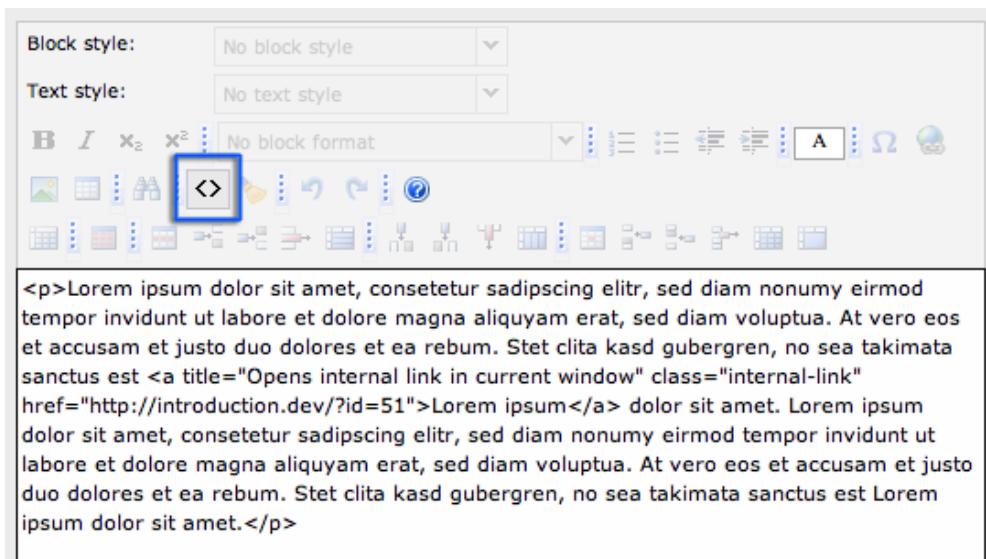


Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est

>Lorem ipsum dolor sit amet. Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est Lorem ipsum dolor sit amet.

フロントエンドではあなたが期待したように、こんな風に表示されます。それをクリックすれば、「About TYPO3」のページへ移動するでしょう：

エディタで何かうまくいかない場合は、ソース・コード・ビューに切り替え、どんなコードが出力されているか確認することができます：



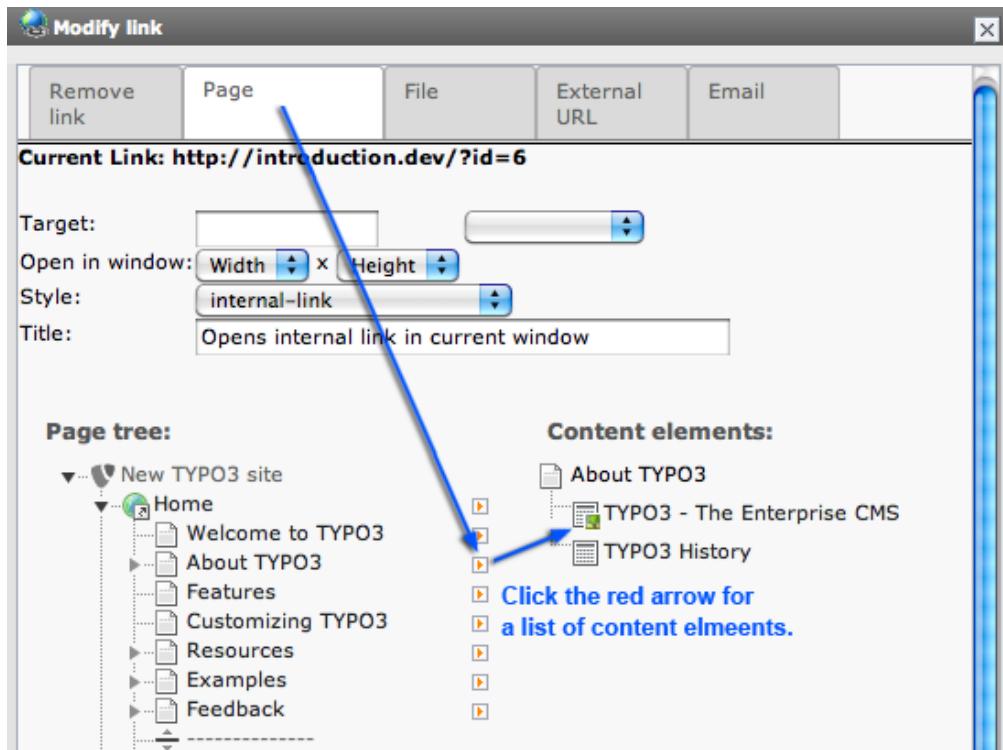
それはシンプルな HTML コードです。しかし忘れないでください : RTE はそのコードをペースし、認識できない、あるいは許可しないよう設定されているものは全て取り除いてしまいます。なので単純にそこに自分の HTML を書き込むというわけにはいきません。

別の種類のリンクはどうでしょう？

ローカルのファイルや外部のウェブ・ページへのリンクを作成することができます – ページ上の特定のコンテンツ・エレメントへの直接のリンクや E メールアドレスへのリンクさえも。

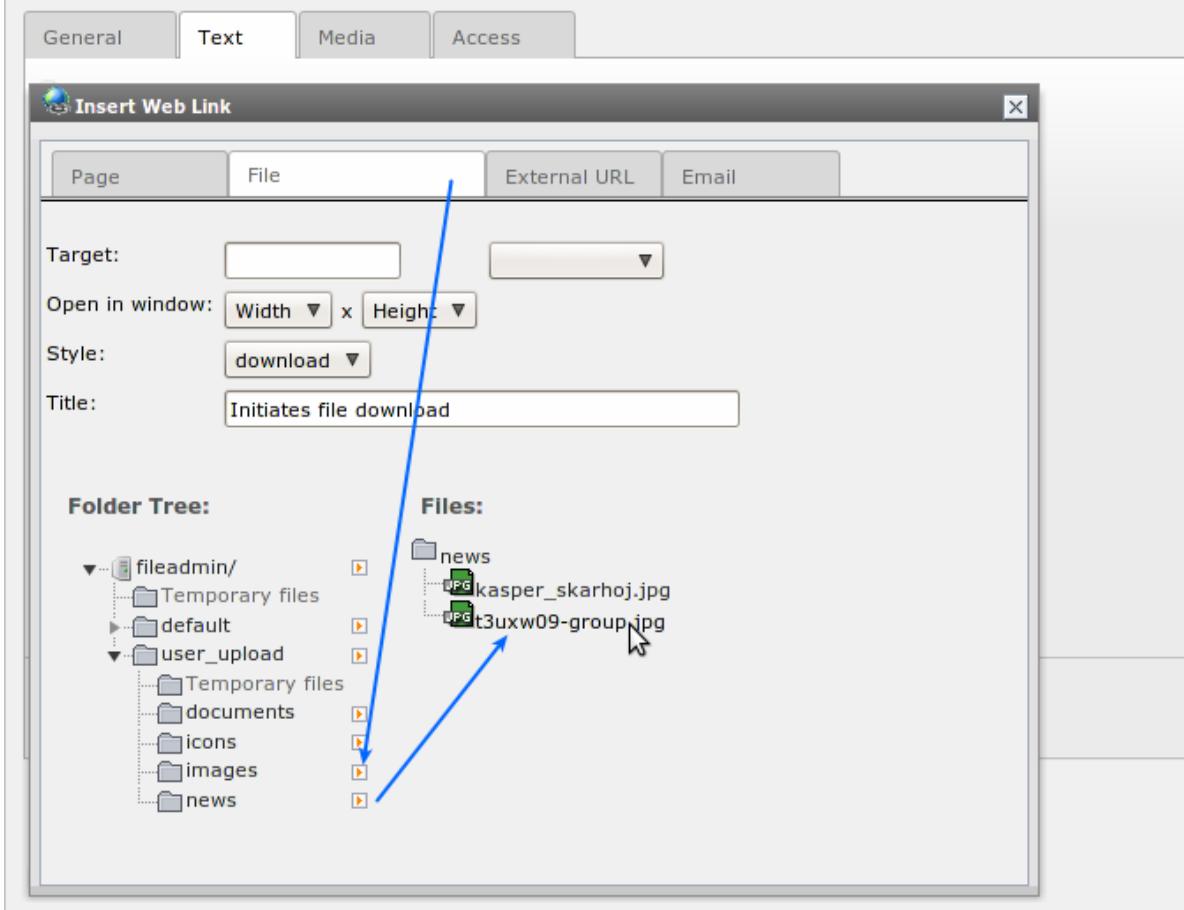
内部のページへのリンクについては既に学びました。次のスクリーンショットは異なるタイプのリンク方法を示しています。

特定のコンテンツ・エレメントへのリンクを作成する



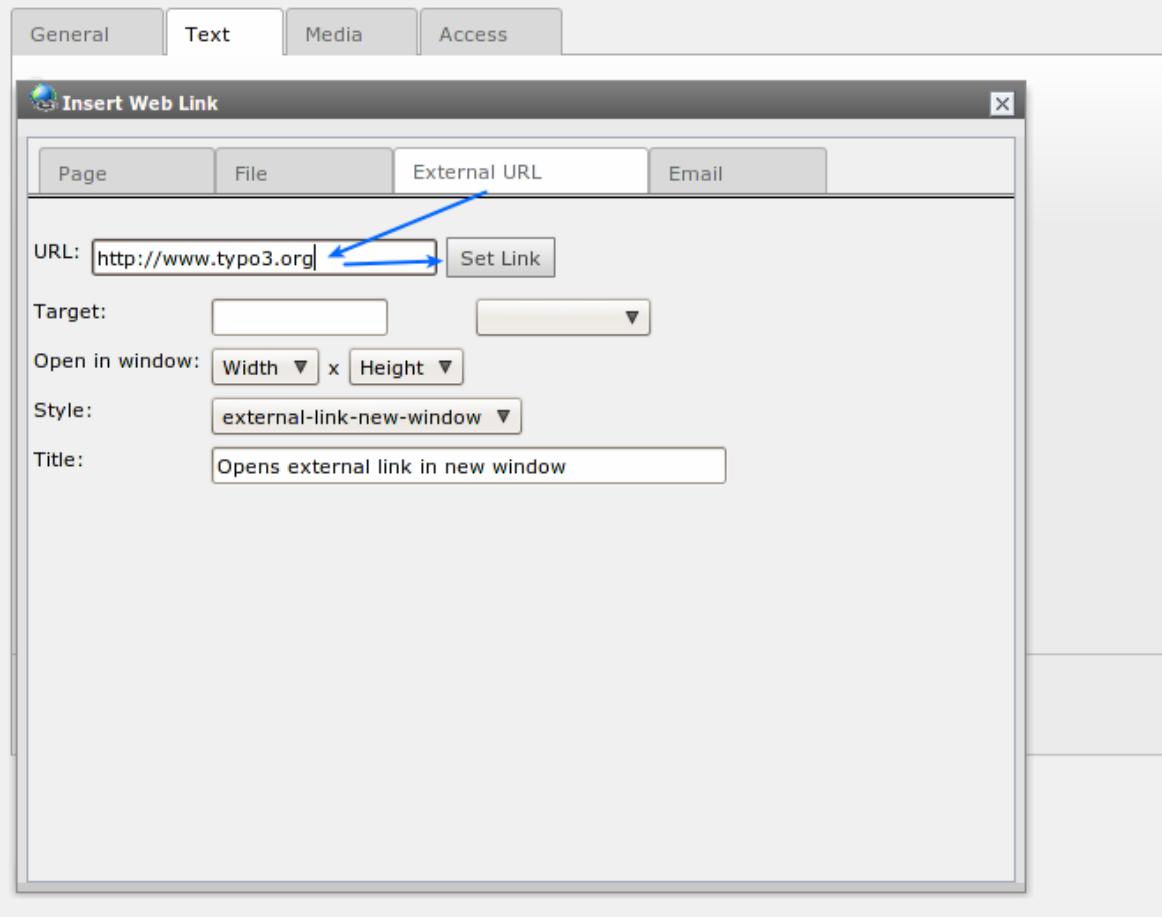
ファイルへのリンクを作成する

Edit Pagecontent "Ever wondered about the meanin..." on page "My Content Test"



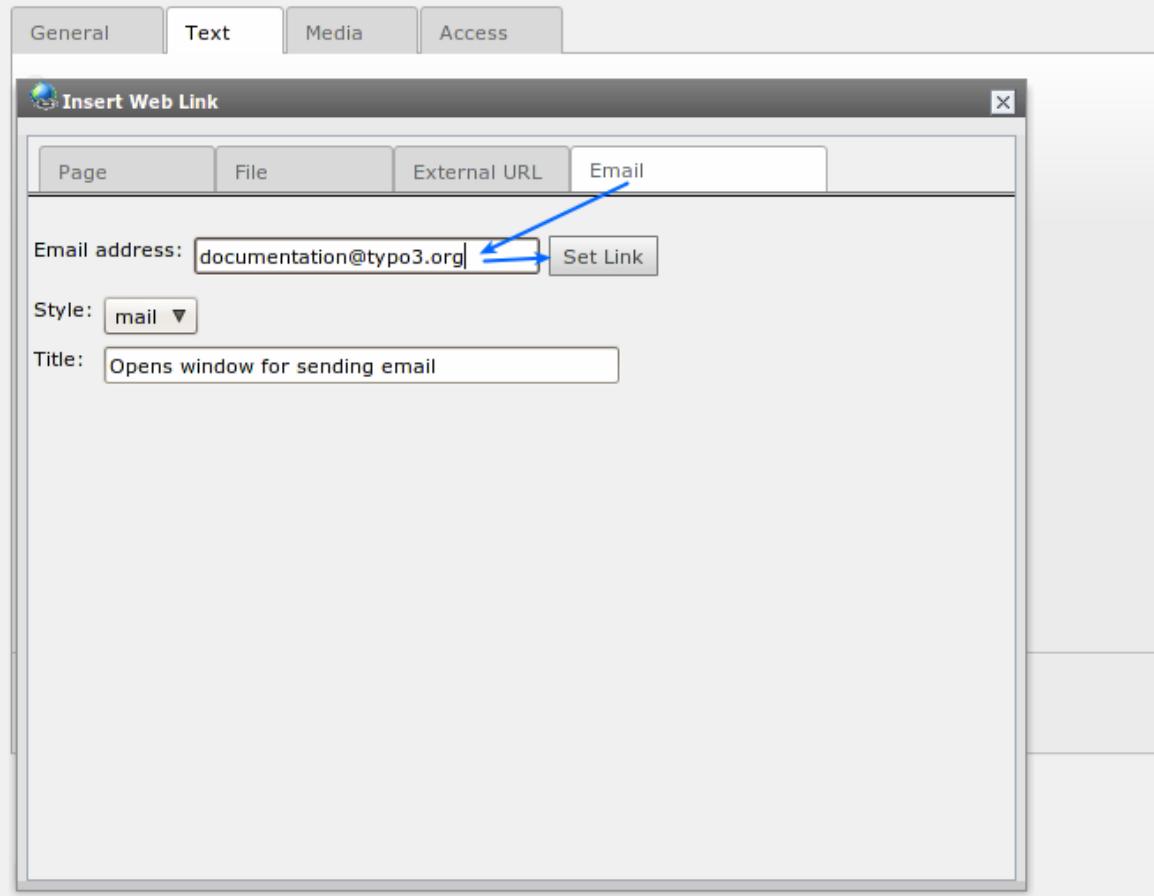
外部 URL へのリンクを作成する

Edit Pagecontent "Ever wondered about the meanin..." on page "My Content Test"



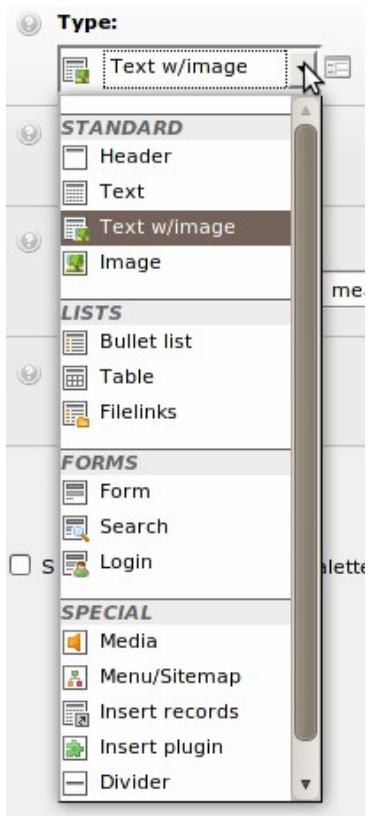
Eメールアドレスへのリンクを作成する

Edit Pagecontent "Ever wondered about the meanin..." on page "My Content Test"



コンテンツ・エレメントの種類

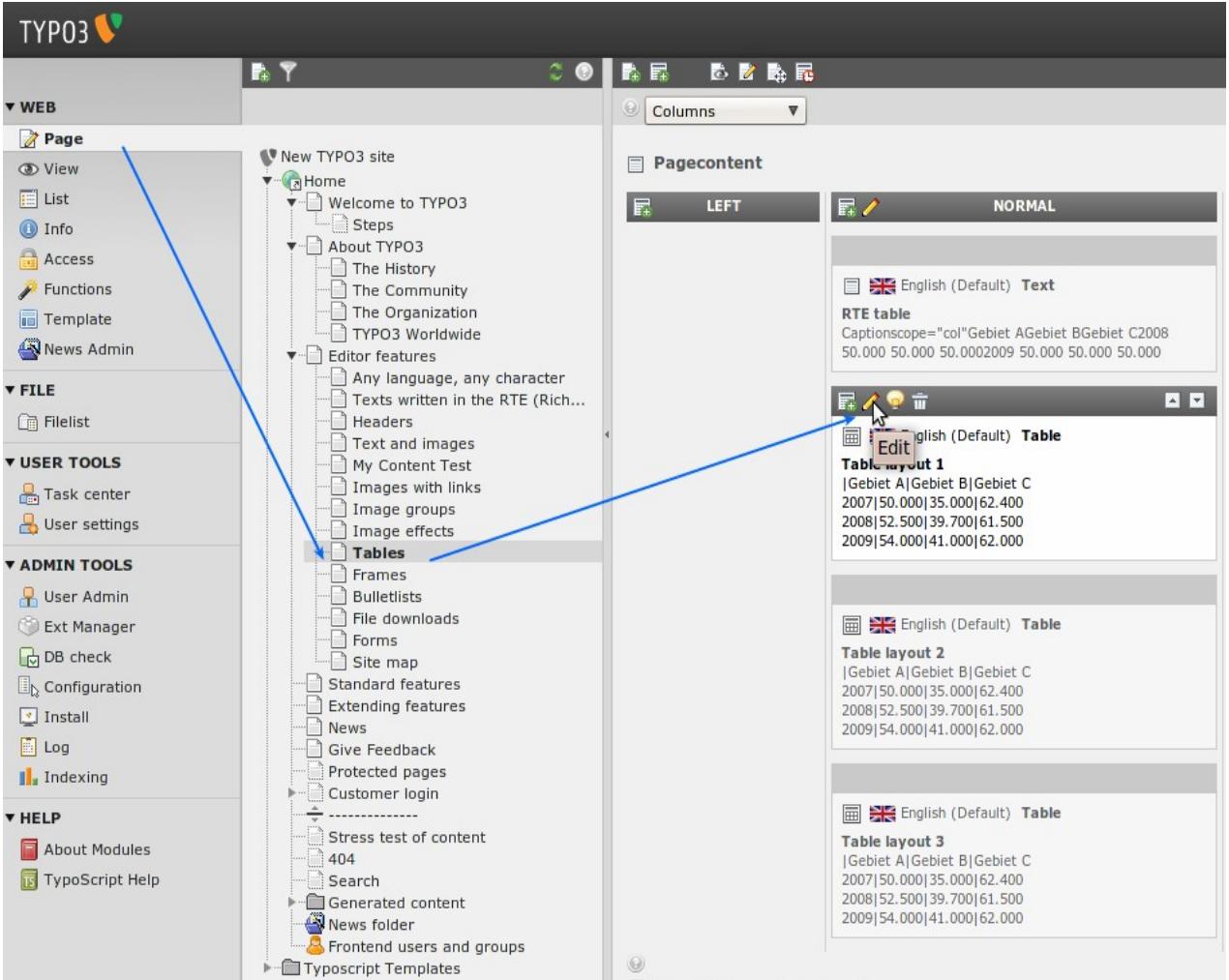
既にご存知のようにページ・コンテンツ・エレメントには、幾つかのタイプがあり、それらを組み合わせることが、変化に富んだウェブ・ページを作る鍵となります。あなたのサイトのどのページを見ても同じに見えるようないようになります！



異なる種類のものはカテゴリによってグループ化されています。一番使われるアイテムは「Text」と「Text & Images」です。

ウィザード

幾つかのエレメントにはちょっとしたウィザードが付いていることに気づいてください。例えば「Tables」ページ（「Examples」のブランチにあります）にある、コンテンツ・エレメントの一つを編集してみてください：



The screenshot shows the TYPO3 backend interface. On the left, the navigation sidebar is open, showing various sections like Page, FILE, USER TOOLS, ADMIN TOOLS, and HELP. In the center, the content editor is displayed under the 'Pagecontent' tab. A blue arrow points from the 'Tables' item in the navigation sidebar to the 'Tables' feature in the content editor. Another blue arrow points from the 'Edit' button in the content editor to the 'Tables' feature. The content editor shows three table layouts:

- RTE table**

Captionscope="col" Gebiet A Gebiet B Gebiet C
2008 50.000 50.000 2009 50.000 50.000
- Table layout 1**

Gebiet A | Gebiet B | Gebiet C
2007 | 50.000 | 35.000 | 62.400
2008 | 52.500 | 39.700 | 61.500
2009 | 54.000 | 41.000 | 62.000
- Table layout 2**

Gebiet A | Gebiet B | Gebiet C
2007 | 50.000 | 35.000 | 62.400
2008 | 52.500 | 39.700 | 61.500
2009 | 54.000 | 41.000 | 62.000
- Table layout 3**

Gebiet A | Gebiet B | Gebiet C
2007 | 50.000 | 35.000 | 62.400
2008 | 52.500 | 39.700 | 61.500
2009 | 54.000 | 41.000 | 62.000

表のコンテンツをプレイン・テキスト・モードで更新するか(1)、あるいはウィザードを起動することもできます(2)。

Edit Pagecontent "Table layout 1" on page "Tables"

General Table Access

Layout:
Layout 1 

Table Columns:
Auto 

Text:

	Gebiet A	Gebiet B	Gebiet C
2007	50.000	35.000	62.400
2008	52.500	39.700	61.500
2009	54.000	41.000	62.000

1 2

Plugin Options:

Accessibility Table parsing

Table caption (<caption>)
Caption

Table summary ("summary" attribute in <table> tags)
Summary

Use table-footer (<tfoot> around last table row)

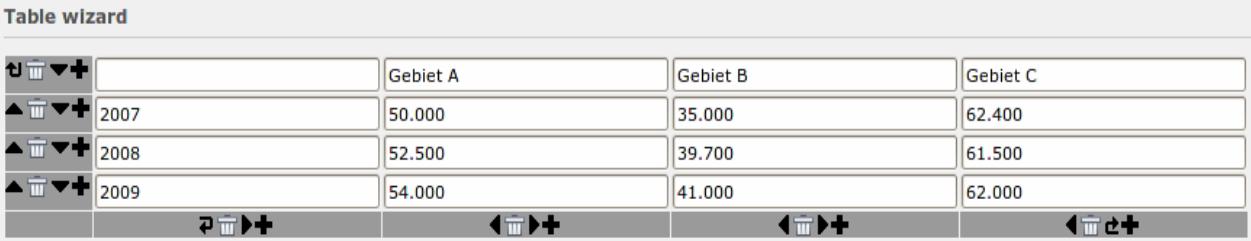
Table Header position
top 

No CSS styles for this table

CSS class for the table.

「Text」フィールドのそれぞれの行を、表の「row」として解釈して表が作成されます。そして垂直線の「|」が互いに「columns」に分割する為に使われます。これは低レベルの方法で、手作業でメンテナンスすることができます。

しかし大半の人にとって「Table wizard」を使う方がよいでしょう。これを使うと指定されたフォーム・フィールドと表の中身を追加、削除したり動かしまわったりするためのボタンが呼び出されます：



The screenshot shows the 'Table wizard' interface. It features a 3x4 grid of data cells. The columns are labeled 'Gebiet A', 'Gebiet B', and 'Gebiet C'. The rows represent years: 2007, 2008, and 2009. Each cell contains a numerical value. Below the grid are several icons for managing the table structure. A checkbox labeled 'Small fields' is checked at the bottom left.

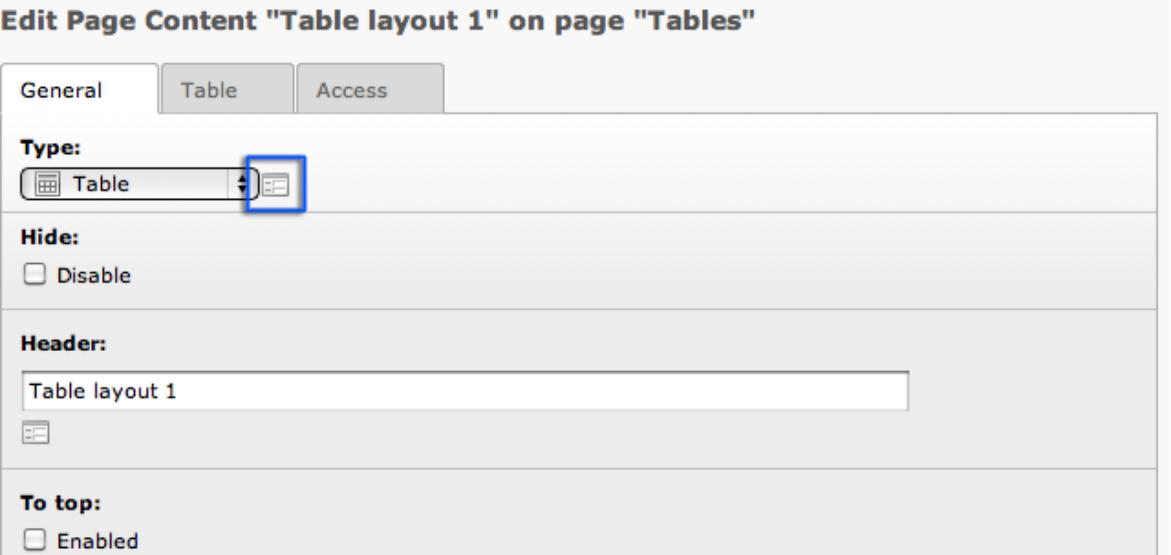
セカンダリー・オプション - 「パレット」

初期の頃からTYPO3は「プライマリ」と「セカンダリ」フォーム・フィールドのコンセプトを備えていました。TYPO3の編集フォームには、たくさんのフィールドがあり、さらに拡張することもできます。しかし一度にたくさんのフィールドを表示すると、標準的なユーザーにとっては見づらくなってしまいます。特にあなたが初心者であって、覚えておかなければならぬ新しいことが他にたくさんある場合は。

「プライマリ」と「セカンダリ」フィールドのコンセプトは、通常は一番重要でよく使われるフォーム・フィールド（プライマリ）だけが表示されていることを意味しています。そしてより詳細なオプションは、必要に応じて呼び出されるセカンダリ・フィールドに隠されています。

大半のコンテンツ・エレメントとページにはセカンダリ・フィールドは存在しませんが、たくさんのエクステンションがこのコンセプトを今も使っています。

ページ・ツリーにある「Tables」ページに行き、2つ目のコンテンツ・エレメントを編集しましょう。基本的なフィールドだけが表示されているでしょう。そこで「Type」ドロップダウンの右にあるボタンを押してみましょう：



The screenshot shows the 'Edit Page Content' dialog for 'Table layout 1' on the 'Tables' page. The 'Table' tab is selected. The 'Type:' field is set to 'Table' and has a dropdown arrow with a blue box around it. The 'Header:' field contains 'Table layout 1'. The 'To top:' field has a checkbox 'Enabled' with a blue box around it.

今度はいわゆるセカンダリ・オプションのパレットが表示されます：

Edit Page Content "Table layout 1" on page "Tables"

General Table Access

Type:
Table

Language: Default Columns: Normal Before: After: Frame: Default Frame Index: Enabled

Hide:
 Disable

Header:
Table layout 1

To top:
 Enabled

 Page Content [102]

このように複雑さがこのボタンに隠され、通常のインターフェイスをすっきりと分かりやすくし、上級のオプションがワンクリックするだけで呼び出せるようになっています。

この欠点はこれらのセカンダリ・オプションが必要になった時に、どのアイコンにそれが隠れているのか思い出せない時（あるいはたくさんのフィールドを使っている場合）に、それらを探すこと自体が混乱の原因になるでしょう！ そんな時には全ての編集フォームの一番下にある「Show secondary options」オプションを有効にすることができます：

Edit Page Content "Table layout 1" on page "Tables"

General Table Access

Type:
Table

Language: Default Columns: Normal Before: After: Frame: Default Frame Index: Enabled

Hide:
 Disable

Header:
Table layout 1

To top:
 Enabled

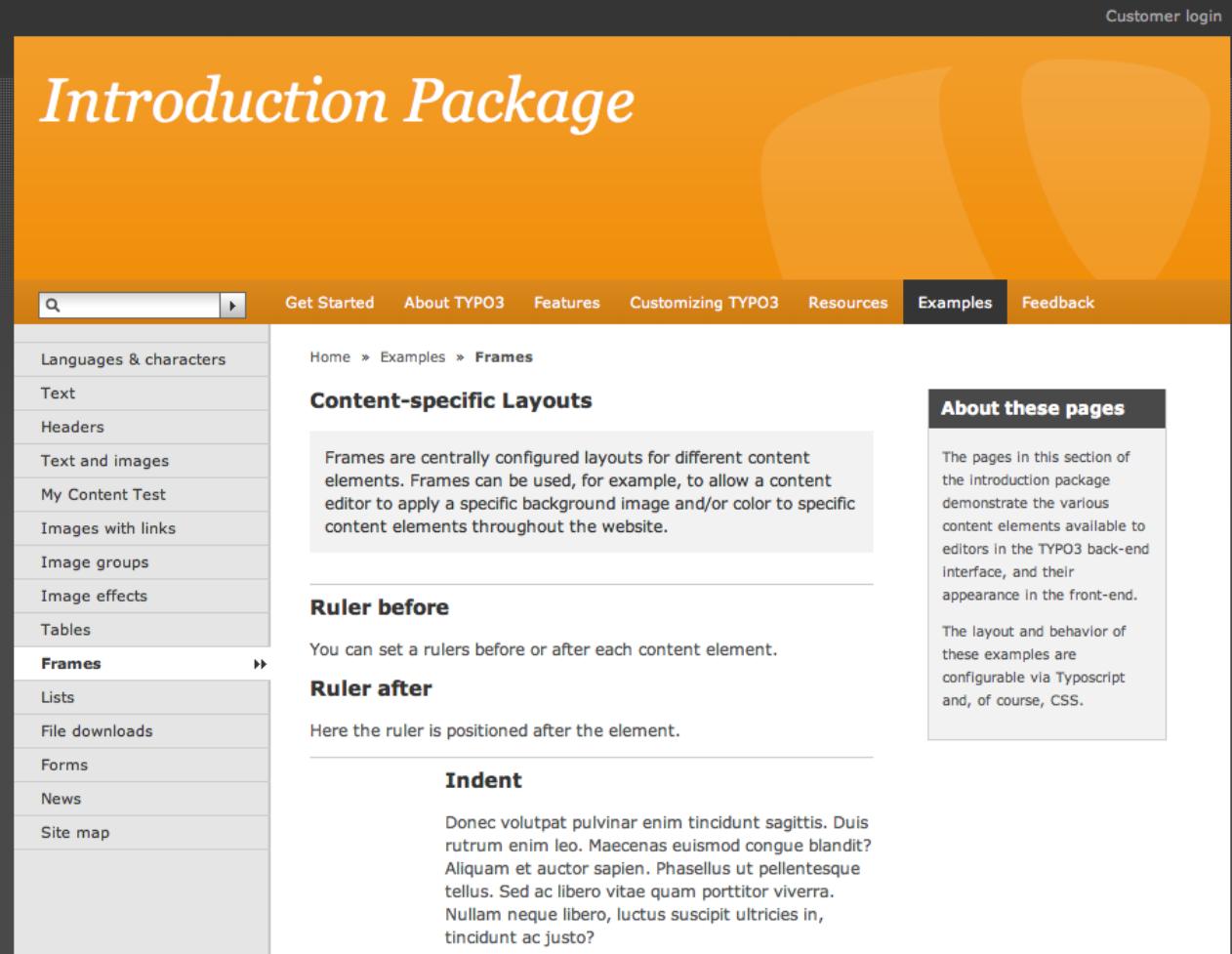
 Page Content [102]

Show secondary options (palettes)

セカンダリ・オプションを有効にした後は、デフォルトで全てのエレメントが表示されます。

フレーム

セカンダリ・オプションのフィールドのうちの一つ「フレーム」がイントロダクション・パッケージで使われています。フロントエンドで、「Frames」というページまでたどってください：



The screenshot shows a TYPO3 front-end page titled 'Introduction Package'. The main content area features a large orange background with the title 'Introduction Package' in white. Below the title is a search bar and a navigation menu with links: Get Started, About TYPO3, Features, Customizing TYPO3, Resources, Examples (which is highlighted in a dark bar), and Feedback. The main content area has a breadcrumb navigation: Home > Examples > Frames. The main content is titled 'Content-specific Layouts' and contains a text block: 'Frames are centrally configured layouts for different content elements. Frames can be used, for example, to allow a content editor to apply a specific background image and/or color to specific content elements throughout the website.' Below this is a section titled 'Ruler before' with the text: 'You can set a rulers before or after each content element.' Another section titled 'Ruler after' with the text: 'Here the ruler is positioned after the element.' A sidebar on the right is titled 'About these pages' and contains text: 'The pages in this section of the introduction package demonstrate the various content elements available to editors in the TYPO3 back-end interface, and their appearance in the front-end. The layout and behavior of these examples are configurable via TypoScript and, of course, CSS.' A sidebar menu on the left includes links for Languages & characters, Text, Headers, Text and images, My Content Test, Images with links, Image groups, Image effects, Tables, Frames (which is also highlighted in a dark bar), Lists, File downloads, Forms, News, and Site map.

ルーラーを挿入したりテキストをインデントするフレームが、デフォルトで設定されています。

今度は同じページのバックエンドに行き、「Ruler before」コンテンツ・エレメントを編集してください：

Edit Page Content "Ruler before" on page "Frames"

General Access Appearance

Content Element Layout

Layout Top Margin Bottom Margin Indentation and Frames

Default Ruler Before

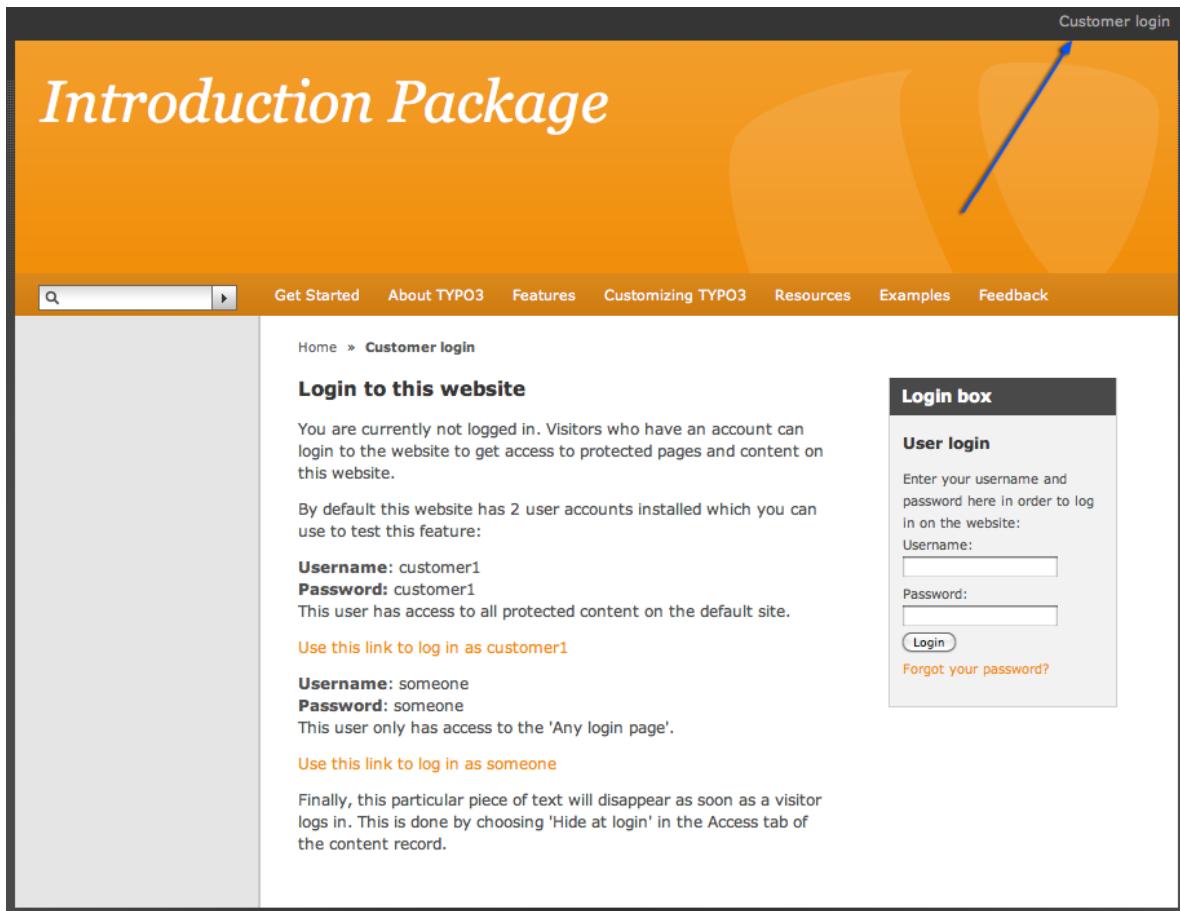


「Appearance」タブの「Indentation and Frames」で「Ruler before」が選択されているのが見つかるでしょう—これがエレメントの前の水平線を作成します。基本的にフレーム・エレメントがしているのは、コンテンツ・エレメントを特定の html 要素あるいは css クラスで囲むことで、それらを利用して自分の css スタイルシートで異なる見た目のエレメントを作成することができます。

パスワードで保護されたページ

あなたはもうページを作成したり、編集することができるようになりました！ それほど難しいことではなかったでしょう？ TYPO3 を使うと非常に簡単にウェブ・マスターになることができます。全世界に向けてウェブ・ページを公開するのも一つの方法です。もし世界の一部の人が見ることができるようにしたいと思ったらどうでしょう？ パスワードによって保護できるでしょうか？ ええ、できますとも！

実際、私たちがインストールしたものには既にパスワードで保護されたページがいくつか含まれています。フロントエンドで「Customer login」（右上のリンクです）を開いてください：

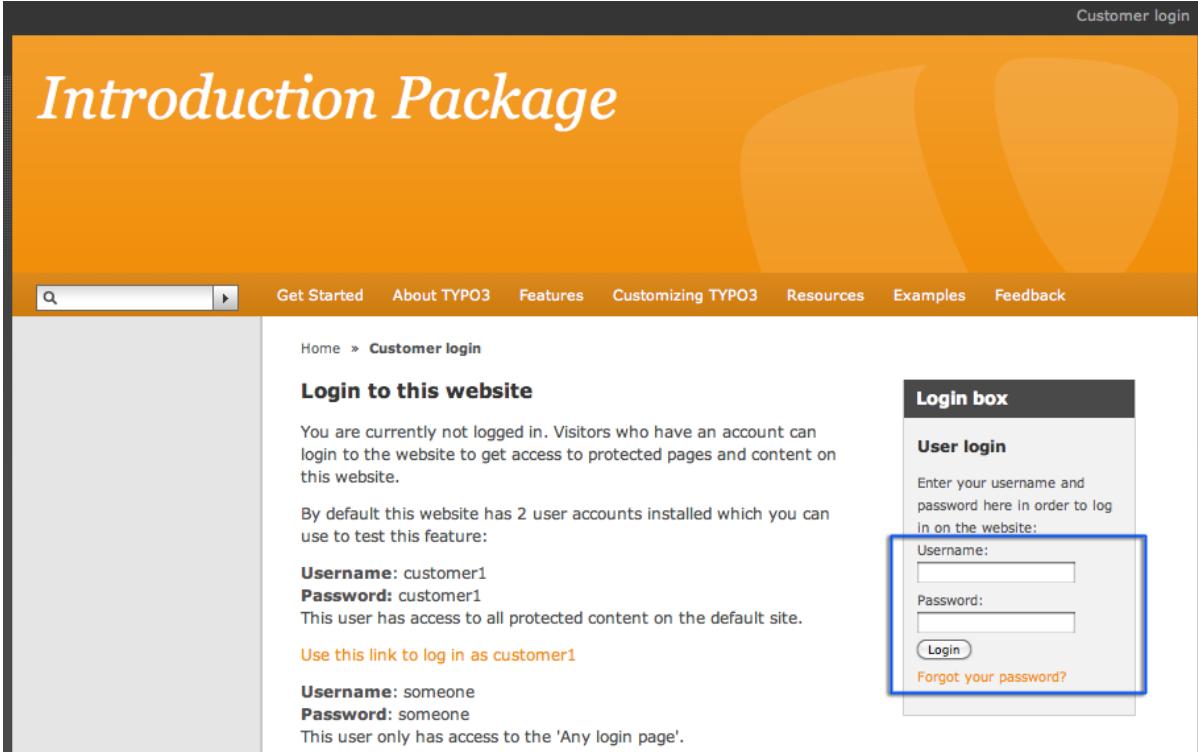


The screenshot shows the TYPO3 front-end with the following details:

- Header:** The page has a header with a search bar and a navigation menu with links: Get Started, About TYPO3, Features, Customizing TYPO3, Resources, Examples, and Feedback.
- Page Title:** The main title is "Introduction Package".
- Page Content:** The content area contains text about the customer login feature, mentioning two user accounts: "customer1" and "someone". It provides links to log in as either user.
- Right Sidebar:** A sidebar titled "Login box" contains a "User login" form with fields for "Username" and "Password", and a "Login" button. Below the form is a link "Forgot your password?".
- Header Link:** A blue arrow points to the "Customer login" link in the top right corner of the header.

ページの文章を読み右側のログイン・ボックスから customer1 としてログインしてください。

ログインが成功すると、左側メニューにページが幾つか現れるのが見えるでしょう。



Customer login

Introduction Package

Get Started About TYPO3 Features Customizing TYPO3 Resources Examples Feedback

Home » Customer login

Login to this website

You are currently not logged in. Visitors who have an account can login to the website to get access to protected pages and content on this website.

By default this website has 2 user accounts installed which you can use to test this feature:

Username: customer1
Password: customer1
This user has access to all protected content on the default site.

[Use this link to log in as customer1](#)

Username: someone
Password: someone
This user only has access to the 'Any login page'.

Login box

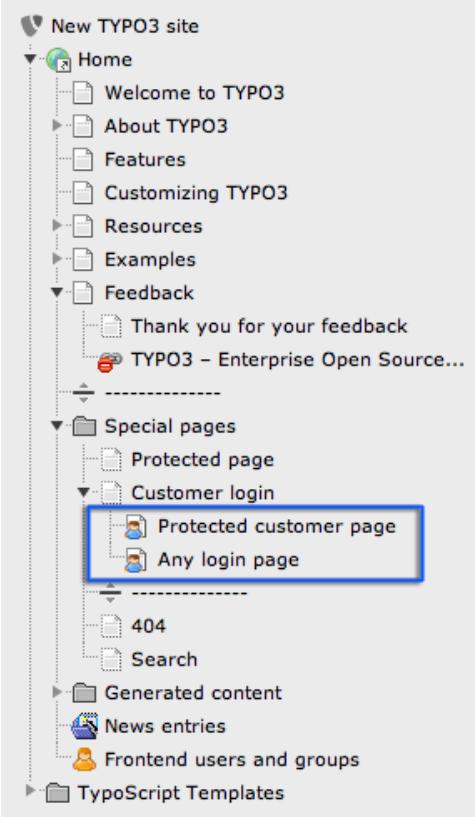
User login

Enter your username and password here in order to log in on the website:

Username:
Password:

[Forgot your password?](#)

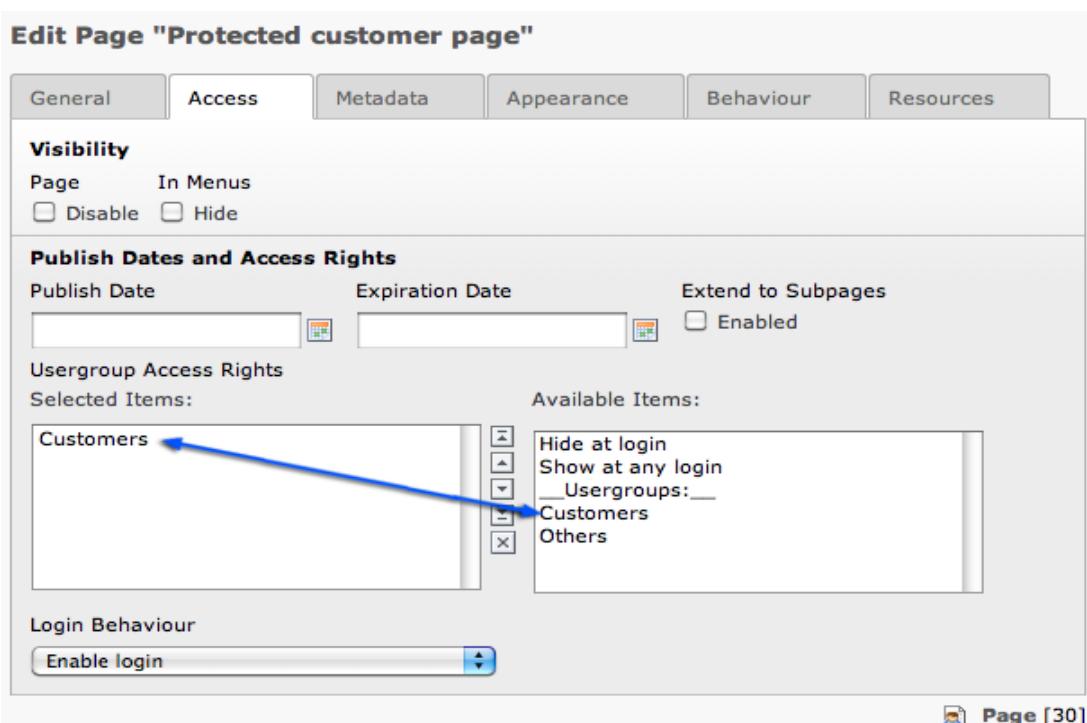
今度はバックエンドにいき、ページ・ツリーでそれらのページを見てみてください：



New TYPO3 site

- Home
 - Welcome to TYPO3
 - About TYPO3
 - Features
 - Customizing TYPO3
 - Resources
 - Examples
 - Feedback
 - Thank you for your feedback
 - TYPO3 – Enterprise Open Source...
- Special pages
 - Protected page
 - Customer login
 - Protected customer page
 - Any login page
 - 404
 - Search
- Generated content
- News entries
- Frontend users and groups
- TypoScript Templates

ページについている小さい青い人は、これらのページには何らかのユーザー制限がかかっていることを示しています。Go and edit the page properties of the page 「Protected customer page」 ページのページ・プロパティの編集に行き(Context menu > Edit) 「Access」 タブを開きます：



Edit Page "Protected customer page"

General Access Metadata Appearance Behaviour Resources

Visibility

Page In Menus

Disable Hide

Publish Dates and Access Rights

Publish Date Expiration Date Extend to Subpages Enabled

Usergroup Access Rights

Selected Items: Customers

Available Items:

- Hide at login
- Show at any login
- Usergroups: Customers
- Others

Login Behaviour

Enable login

Page [30]

ここで「Customers」グループのみがこのページの閲覧を許可されていることが確認できます。ページを「Show at any login」にセットすることもできます。これは登録されたユーザーであれば（そのユーザーグループに関係なく）そのページを閲覧できることを意味します。

次のステップで、ユーザーとユーザーグループを作成する方法を学びます。

ユーザー／グループの作成

制限の掛かったページを作成する前に、何よりもまずフロントエンド・ユーザーとグループを一つ以上作成する必要があります。これらはウェブサイトを作成する前に、あるいは途中で、後で、作成することができます。順序は関係ありません。

フロントエンド・ユーザーとバックエンド・ユーザー

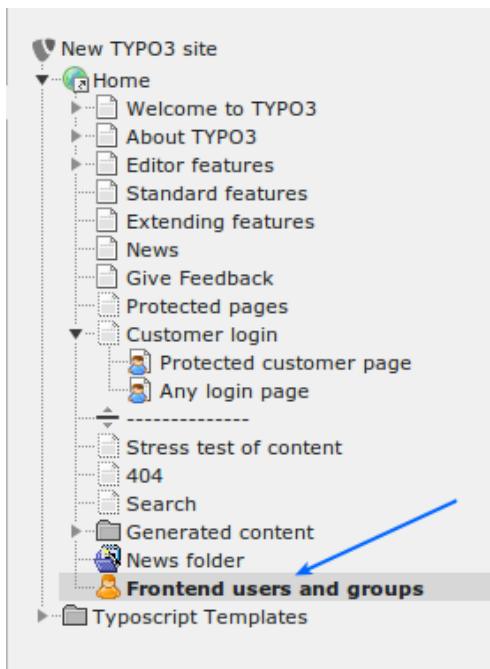
えっ、ちょっと待った！ ユーザーにはどれだけの種類があるんですか？

えっと、たったの2種類です。TYPO3には2つのエリアーフロントエンド（ウェブサイト）とバックエンド（管理画面）があることを忘れないでください。

フロントエンド・ユーザー

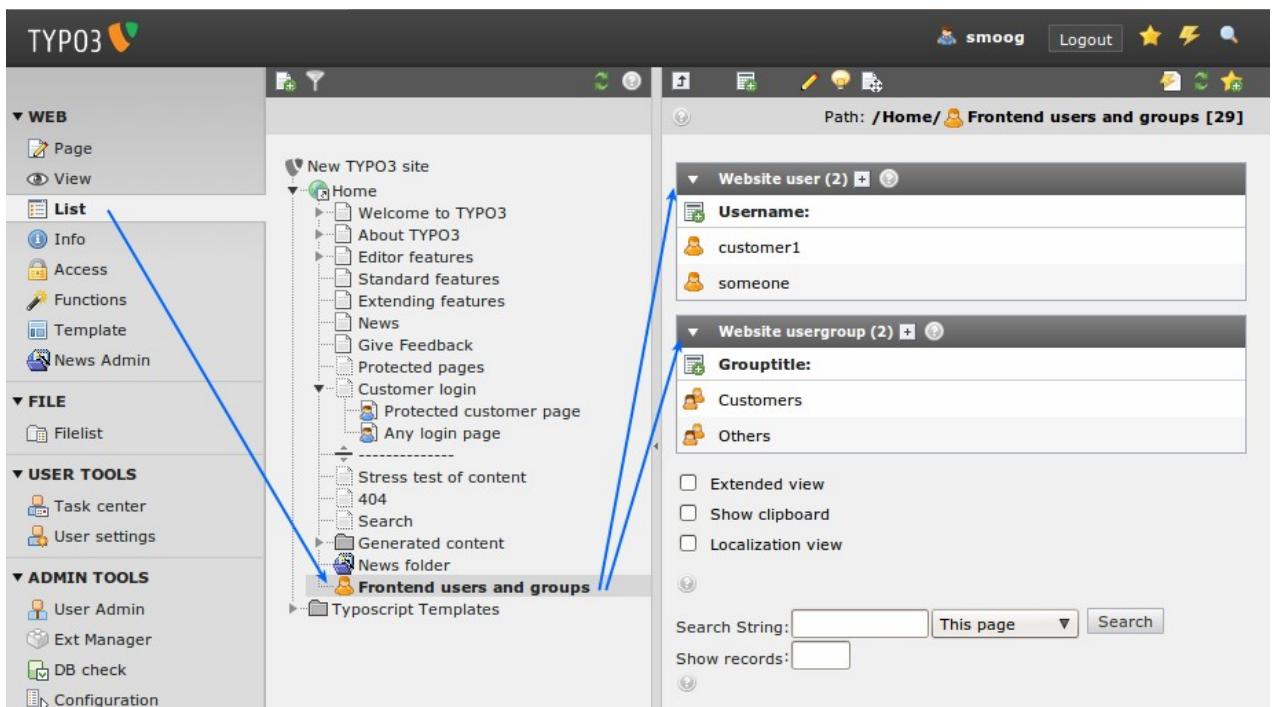
フロントエンド・ユーザー（オレンジ色のアイコン）は、当然ウェブサイトにログインできます。彼らはコンテンツを変更することはできません（彼らはバックエンドとは何の関係も持たないので！）、しかしウェブサイトの情報にアクセス制限をかけられるようになります！

フロントエンド・ユーザーズ（ウェブ・サイトユーザーズとも呼ばれます）はシステム上の好きなところに作成することができます。ここではユーザーとグループの両方を保存するための「Frontend users and groups」という素敵なフォルダを作成しました。このフロントエンド・ユーザーの保管場所で唯一必要なことは、ログインフォームがこの場所にユーザーを探しに来るように設定するだけです。



たぶんもうあなたは、ユーザー や グループは コンテンツ・エレメントではなく レコードだと思つて いること で しょ う。な で そ う は ペ ー ジ・モ ー ジ ュ ー ル の コ ラ ム の コ ンセプト に は 合 い ま せ ん。そ こ で TYPO3 の list モ ー ジ ュ ー ル が 役 に 立 ち ま す。list モ ー ジ ュ ー ル は ペ ー ジ 上 の 全 て の レ ー コ ー ド を 表 し ま す。コン テンツ・エ レ メ ン ト は 特 別 な 種 類 の レ ー コ ー ド で ペ ー ジ・モ ー ジ ュ ー ル で 表 し で き ま すが、他 の 全 て の レ ー コ ー ド は、通 一 般 list モ ー ジ ュ ー ル のみ で 表 し さ れ ま す。

「Frontend users and groups」ページを list モ ー ジ ュ ー ル で 開 き ま す：



2 つ の テ ー ブ ル が 表 し さ れ、一 つ に は ユ ー ザ ー が、も う 一 つ に は ユ ー ザ ー グ ル プ が 含 ま り ま で い ま す。そ れ ぞ れ の テ ー ブ ル は list ビ ュ ー に お け る 一 つ の レ ー コ ー ド・タ イ プ を 表 し て い ま す。

バックエンド・ユーザーズ

バックエンド・ユーザー（青または緑色のアイコン）は、バックエンドで作業し、舞台裏での情報の変更に関わります。バックエンド・ユーザーはウェブ・サイトの管理に関連するので、ウェブ・サイト自身のアクセス制限とは何の関係もありません（もちろん、バックエンド・ユーザーは隠されたフロントエンド・ページをプレビューできるので、全く間当てはまらないわけではありませんが）。

バックエンド・ユーザーを作成できる場所は一箇所—ページツリーのルート(pid = 0)だけで、「admin」ユーザー (admin フラグがセットされ、青いアイコンになっている)のみが作成できます。というのも彼らだけがページツリーのルートのレコードにアクセス可能だからです：

The screenshot shows the TYPO3 Backend interface. On the left, the navigation sidebar includes sections for WEB (Page, View, List), FILE, USER TOOLS (Task center, User settings), ADMIN TOOLS (User Admin, Ext Manager, DB check, Configuration, Install, Log, Indexing), and HELP (About Modules, TypoScript Help). The main content area displays the 'Page (2)' list, showing 'Page (2)' and 'Backend user (4)'. The 'Backend user (4)' list shows four users: 'advanced_editor' (1), 'news_editor', 'simple_editor', and 'admin' (3). The 'Backend usergroup (5)' list shows five groups: 'Administrators', 'Advanced editors' (2), 'All users', 'News editors', and 'Simple editors'. The 'Filemount (3)' list shows 'Label' entries: 'News', 'Images', and 'Documents'. A blue arrow points from the 'List' icon in the sidebar to the 'Page (2)' list in the main content area. Another blue arrow points from the 'Page (2)' list to the 'Backend user (4)' list. A third blue arrow points from the 'Backend user (4)' list to the 'admin' user entry.

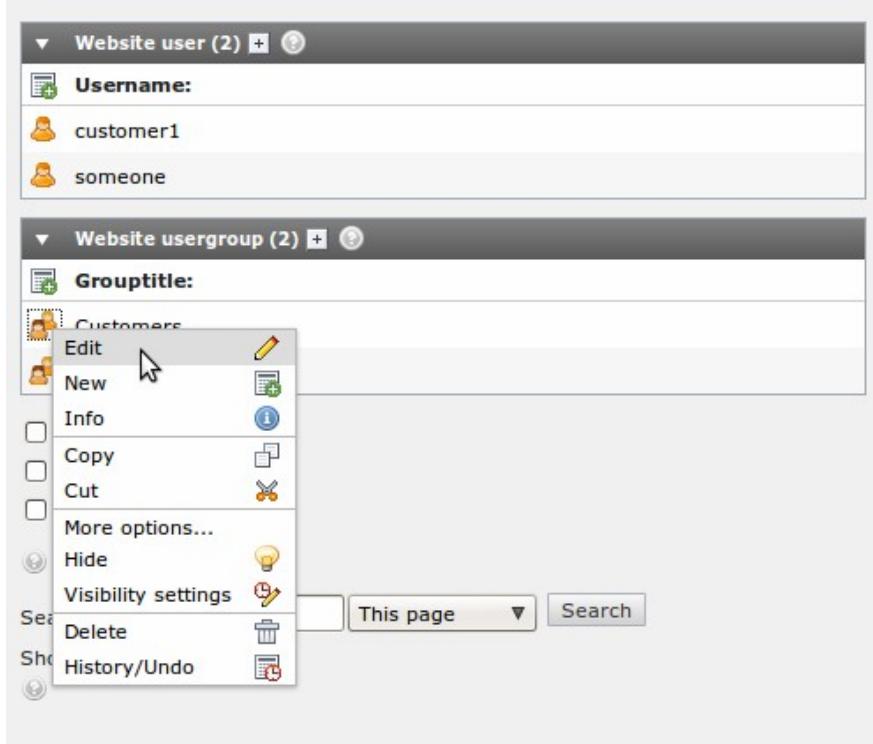
3人の緑色したバックエンド・ユーザー(1)がそれぞれウェブサイトのごく一部をメンテナンスできるよう設定されています—詳細については後ほど [users section](#) で説明します。(2)にはあなたのサイトのための、バックエンド・ユーザーグループが設定されているのが見られます。最後が「admin」ユーザー (3)です- 我々が利用するものは青色で全く制限されずにシステムのどんな部分にでもアクセス可能です。

ユーザーあるいはグループの編集

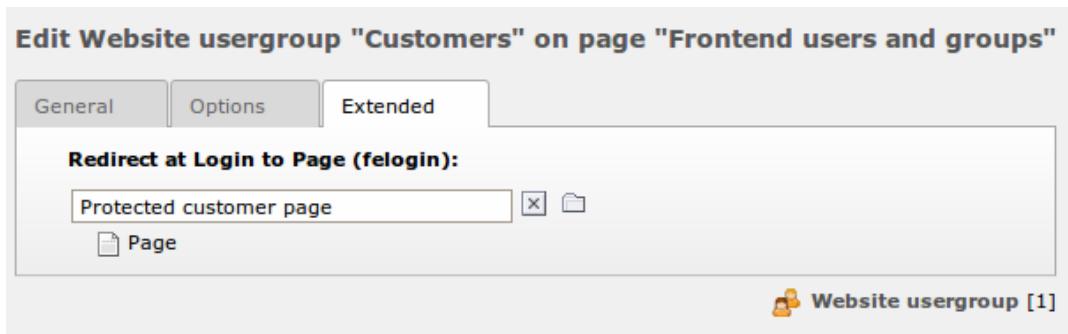
見ての通り、我々は既に「Frontend users and groups」フォルダを持っていて、その中にユーザー・グループと二人のユーザーが存在します。

ユーザー・グループ「Others」はダミーグループに過ぎません。特別な設定も何もありません。ユーザー・グループ「Customers」には一つ特別な設定があります：ユーザーがログイン後にリダイレクトされるページを含んでいます。

その設定を見てみましょう（リスト・モジュールで何かを編集するのは非常に簡単です。Customers の前にあるユーザー・グループのアイコンをクリックするだけで、コンテキスト・メニューが再び表示されるので、編集を選択します）：



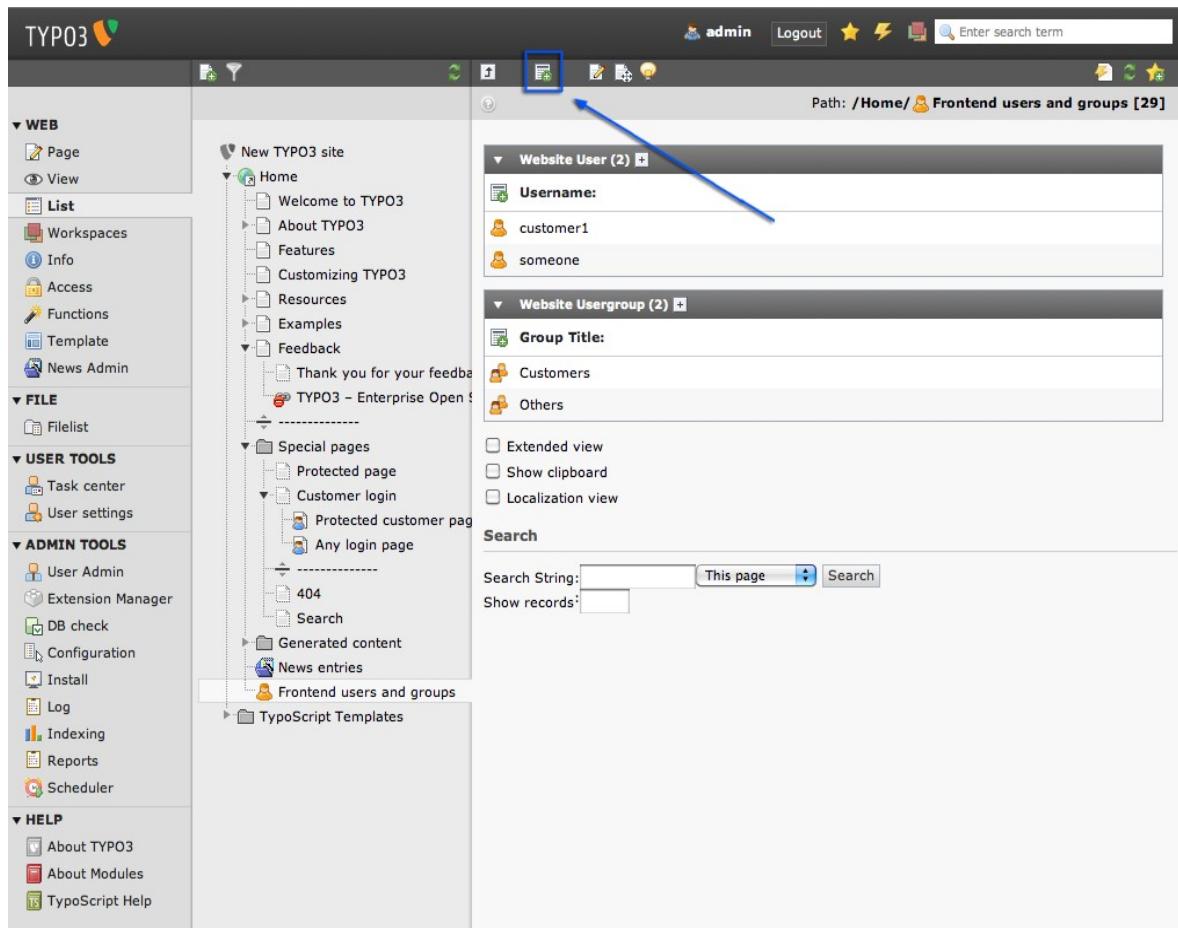
「Extended」タブを開くと、リダイレクトの設定が見つかるでしょう：



ユーザーの作成

ユーザーを作成してみましょう。フロントエンド・ユーザーは（ページやページ・コンテンツ・エレメント、ニュース記事等と同様に）、TYPO3 の意見によればデータベース・レコードに過ぎないので、他のエレメントと同様の作成方法が可能です。そういうわけで、これは一般的な新しいエレメントの作り方の説明でもあります！

準備はいいですか？ 簡単です。まずページツリー上で、新しいエレメントを作成したいページを選択します。コンテンツエリアの左上の「*Create new record*」アイコンをクリックします：



次に「Website user」エレメントを選択します：



... そして情報を入力します。



隠れた素材

このページはユーザーとグループのみを保存するよう設定されています。なので、これらの数種類のタイプのみ作成できます。もし他のページで新規作成用アイコンを利用すると、もっとたくさんの選択肢があるはずです。

ここでは、username と password と group が必須項目です：

Create new Website user on page "Frontend users and groups"

General Personal Data Options Access Extended

Disable:

Username:

Password:

Groups:

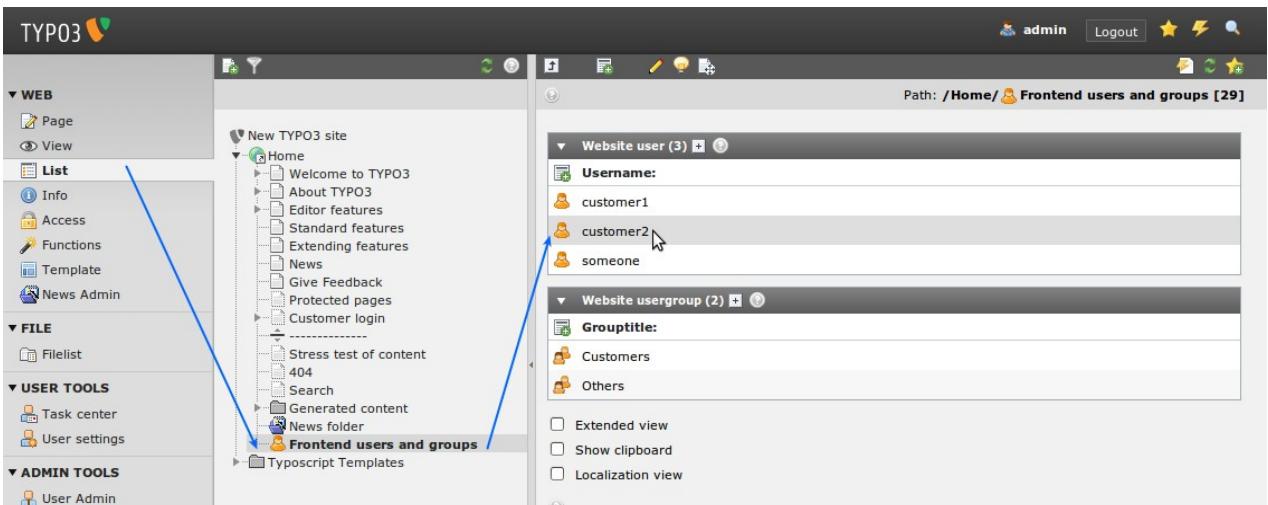
Selected: Customers

Items: Customers
Others

Last login: 01:00 01-01-1970

 **Website user NEW**

ユーザーを保存します。「Users」フォルダのタイトルをクリックすると、このような一覧が見られるはずです：



The screenshot shows the TYPO3 backend interface. The left sidebar has sections for WEB (Page, View, List, Info, Access, Functions, Template, News Admin), FILE (Filelist), USER TOOLS (Task center, User settings), and ADMIN TOOLS (User Admin). The 'Frontend users and groups' item under the 'List' section is highlighted with a blue arrow. The main content area shows a list of users under 'Website user (3)'. The 'customer2' user is selected, indicated by a blue arrow. The 'Customer' group is also selected, indicated by another blue arrow. The 'customer1' user is not selected. The bottom right corner shows the path: /Home/Frontend users and groups [29].

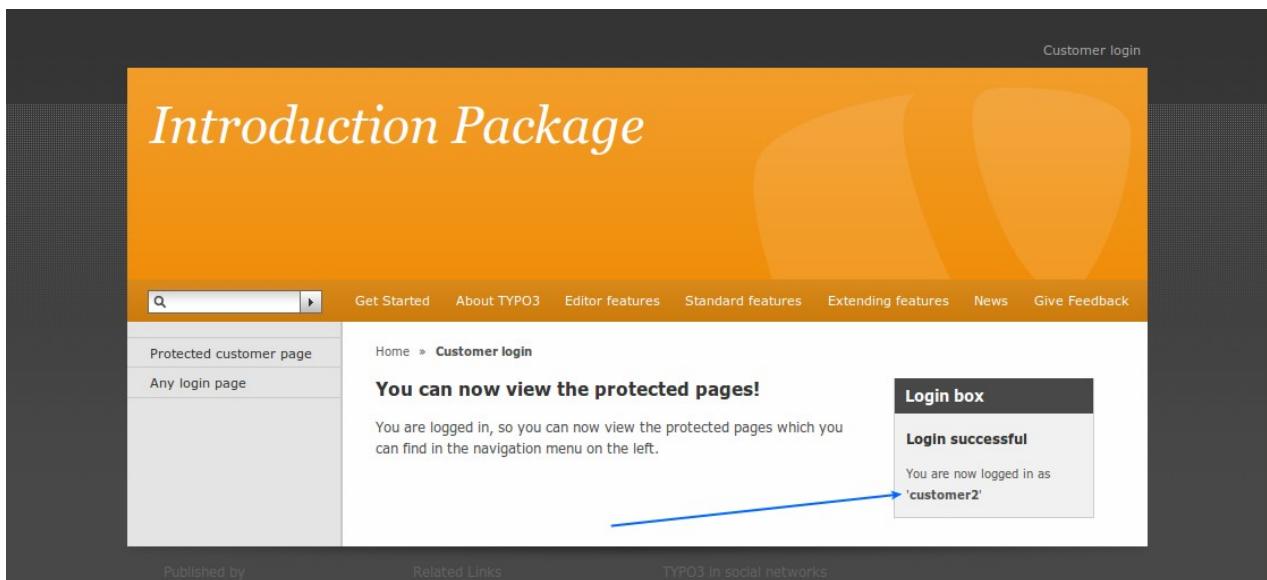


ページ・モジュール

便利なようにページ・モジュールもユーザーの一覧を表示するでしょう。しかしこれはグループや他のいかなる種類のレコードにはあてはまりません。

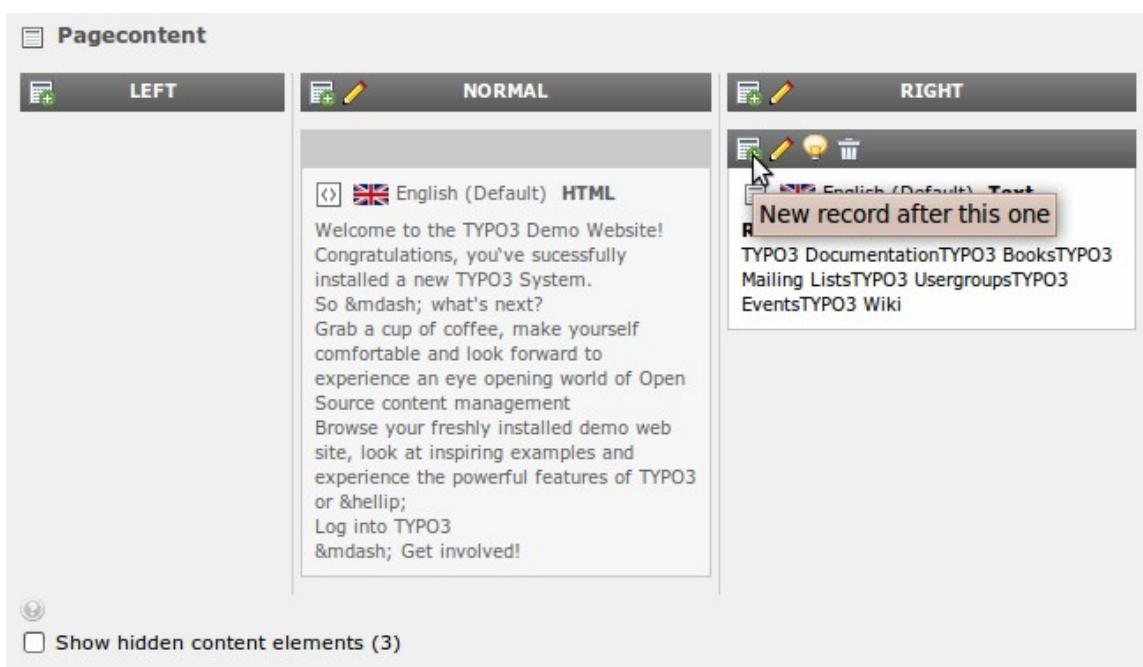
それゆえに、フォルダを選択した際にはいつも一番上に表示されるリスト・モジュールへのリンクを使うようにしてください。そうすると同じ

フォルダが選択されたまま、リスト・モジュールに切り替わります。
もう一度ログイン・フォームページを開き、あなたが新しく作成したユーザーでログインしてみてください：



ログインフォームの作成

インストロダクション・パッケージには既に完全に設定されたログイン・フォームが最初から存在します。しかしもしあなたが別のフォームを、例えばホームページに作成したいと思ったらどうでしょう？ 問題ありません。一般的にログイン・フォームは他の text や text with image 等と同じコンテンツ・エレメントにすぎません。「Welcome to TYPO3」ページ（バックエンドの）へ行き、page モジュールが選択されていることを確認し、「Related information」コンテンツ・エレメントのヘッダにある緑色の+印が付いた小さなコンテンツ・エレメントのアイコンをクリックします。これで、この後に新しいコンテンツ・エレメントが作成されます。



「Form elements」タブに切り替え、「Login Form」を選びます：

New content element

Please select the type of page content you wish to create:

Typical page content Special elements **Form elements** Plugins

 **Mail form**
A mail form allowing website users to submit responses.

 **Search form**
Draws a search form and the searchresult if a search is performed.

 **Login form**
Login/logout form used to password protect pages allowing only authorised website users and groups acces

login を設定するためのフォームが表示されます。login のヘッダを入力し、「Plugin」タブを開きます。ここで一番重要なことは「User Storage Page」を指定することです。これは login がユーザーを探しに行く先のフォルダです。「User Storage Page」フィールドの隣にある小さなフォルダアイコンをクリックします：

Create new Page Content on page "Welcome to TYPO3"

General **Plugin** Access Appearance

Plugin Options

General Redirects Messages

Display Password Recovery Link
 Enabled

Display Remember Login Option
 Enabled

Display Logout Form After Successful Login
 Enabled

User Storage Page



Page

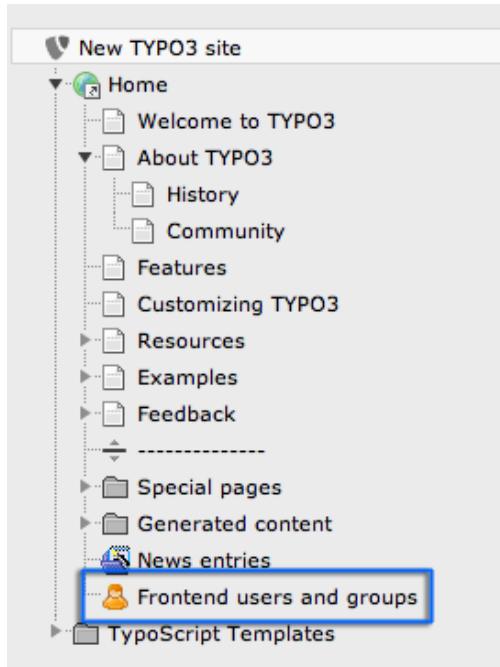
Recursive:
0 levels (only selected page)

Template File

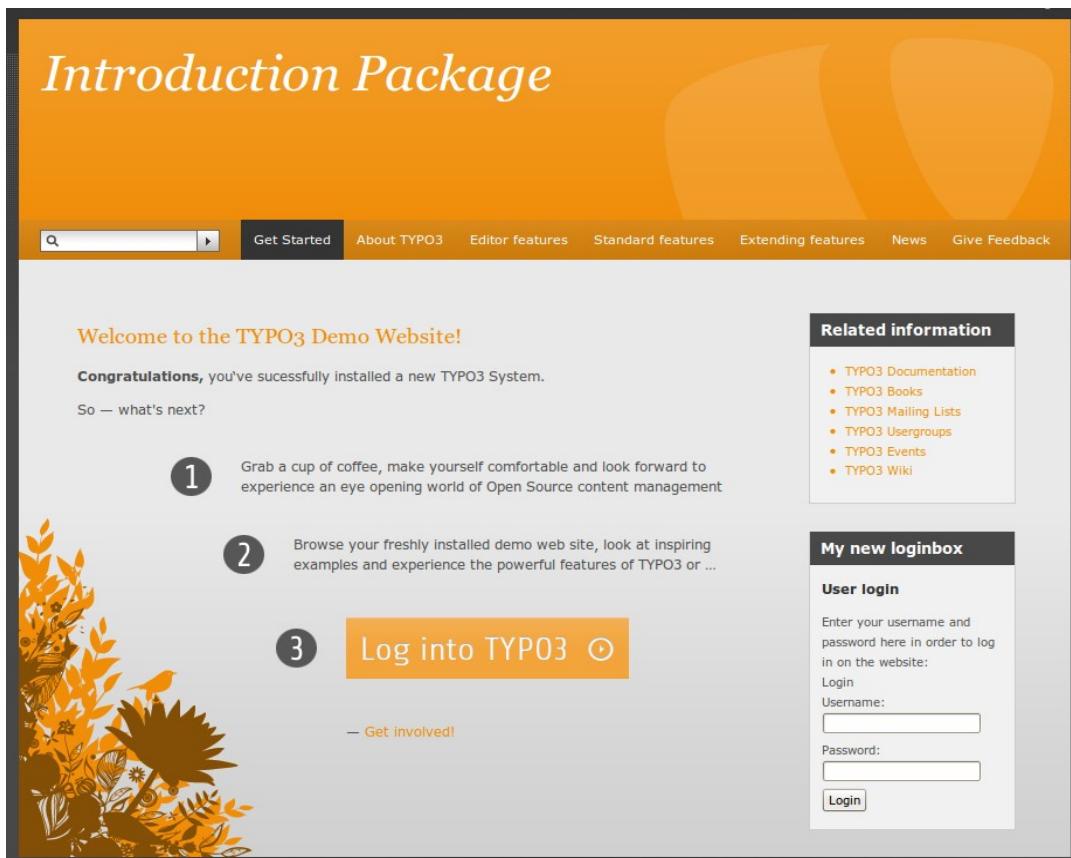


TMPL HTML HTM
 Keine ausgewählt

表示されるポップアップ画面で、「Frontend users and groups」ページを選びます：



あなたがしなくてはならないのは、これで全てです。そこであなたのウェブ・サイトを確認してみると、ホームページに真新しいログイン・ボックスが表示されているはずです：



制限の掛かったブランチ（ページツリーの枝）を作成する

以前にページに制限を掛ける方法を学んだと思います（ページ・プロパティの access タブを覚えているでしょう？）。しかしながら往々にしてページ単位だけでなく、ブランチ全体を特定のユーザーのみに制限することができた方が便利な時があります。例えば、Examples のブランチ全体をログインユーザーにのみに公開するよう制限したいとします。今のあなたの知識では、それぞれのページをアクセスの制限が掛かるように手作業で編集する必要があります。そのブランチ内に新しいページを作成する度に同じ操作が必要になります。面倒そうですね？ そうです。だから簡単な方法が用意されているのです。

「Examples」ページに行きページ・プロパティー「Access」タブをもう一度編集します：

Edit Page "Examples"

General Access Metadata Appearance Behaviour Resources

Visibility

Page In Menus

Disable Hide

Publish Dates and Access Rights

Publish Date Expiration Date

Extend to Subpages Enabled

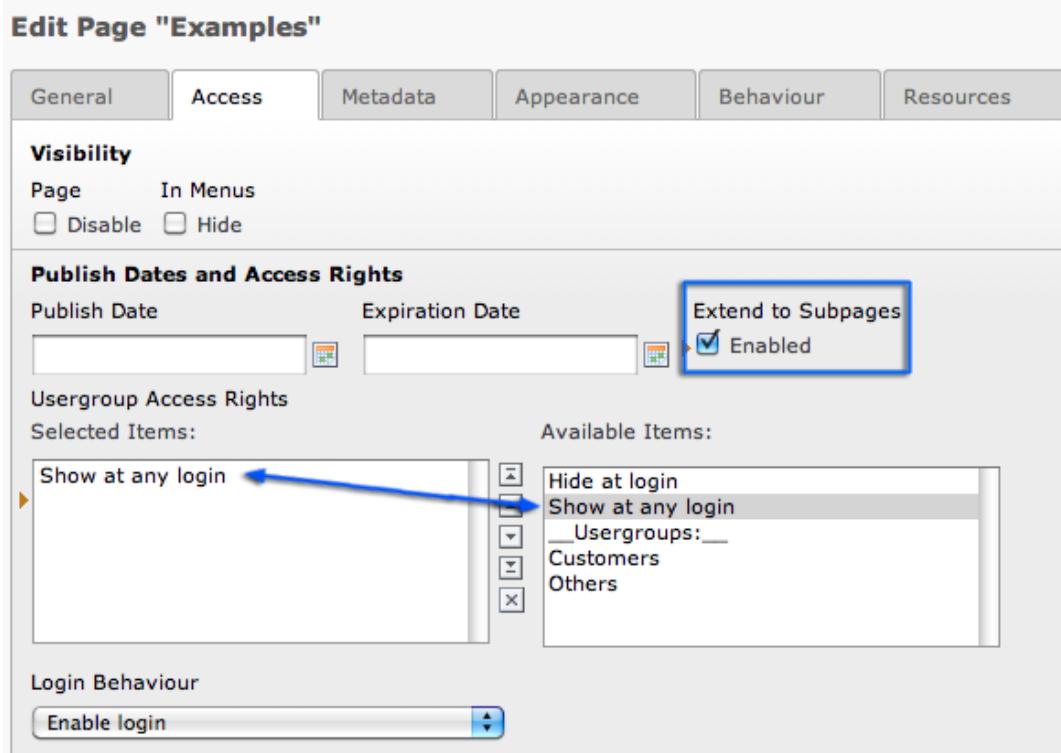
Usergroup Access Rights

Selected Items: Show at any login

Available Items: Hide at login Show at any login Usergroups: Customers Others

Login Behaviour

Enable login



もし「Extend to subpages: Enabled」にチェックを入れると、全てのサブ・ページが親ページと同じアクセス制限の設定になります。これは login が必要な場合のみだけでなく、開始日や終了日の設定もブランチ全体に適用できるということです！

アクセス・オプション

基本的に、アクセス制限はこのようにシンプルな仕組みです—ウェブサイト・ユーザーグループを選択するだけです。そういう観点から、どのユーザーがどのグループのメンバーにするかを学んだばかりです。

ユーザーは一つあるいはそれ以上のグループに所属することができます。それでもしあなたがウェブ・サイトの全てのセクション毎にグループを持っていて、ある種のフロントエンドに於けるスーパー・ユーザーを作成したいと思えば、彼に全てのグループを割り当ればいいだけです。

最後に「Hide at login」オプションは、ユーザーがログインしているとページが表示されないことを意味しています！これはログイン前のユーザーにのみ関係するページがある場合に役に立ちます。もちろん「Show at any login」オプションはそれとは反対です—ログインしたユーザー全てにページが表示されるようになります。特定のグループのメンバーである必要もありません—ログイン状態だとページが表示されます。

スペシャル・コンテンツ・エレメント

コンタクト・フォームや検索フォームなど、よく使われるけれどもスペシャルなコンテンツ・エレメントについてこのセクションで説明します。Content Elements in general についてのセクションで既にスペシャル・エレメントの sitemap については学んだと思います。

メール・フォーム

私たちのサイトには既にメール・フォームが存在します。「Feedback」のページを開くと、ベーシックなコンタクト・フォームが表示されます：

Customer login

Introduction Package

Get Started About TYPO3 Standard features Extending features News Give Feedback

Home » Give Feedback

TYPO3 - Inspiring people to share

The TYPO3 community is all about sharing, so please go ahead and share your experience with us, send us your feedback about this introduction package and most importantly contribute whatever you can to make the system better. A lot of people have great ideas but even greater are those ideas, that are put into practice. Let's hear yours!

Contact us

Name:

Email:

Your enquiry

About the Demo Site

This TYPO3 Demo web site package is maintained at [Demo package at the TYPO3 Forge web site](#).

If you have any issues with the demo site or suggestions for improvements please get in touch with us.

バックエンドで「Feedback」ページを探し出し、フォームを編集しましょう：

The screenshot shows the TYPO3 backend interface. The left sidebar is divided into three main sections: WEB, FILE, and ADMIN TOOLS. Under WEB, the 'Page' section is selected, showing a tree view of the site structure. A blue arrow points from the 'Page' icon in the sidebar to the 'Give Feedback' page in the tree view. The main content area is titled 'Pagecontent' and contains three columns: LEFT, NORMAL, and RIGHT. The 'NORMAL' column displays a 'Text' element with the content: 'TYPO3 - Inspiring people to share. The TYPO3 community is all about sharing, so please go ahead and share your experience with us, send us your feedback about this introduction package and most importantly contribute whatever you can to make the system better. A lot of people have great ideas but even greater are those ideas, that are put into practice. Let's hear yours!'. Below this is a 'Form' element titled 'Edit' with the following configuration:

```

Name: | *name=input,40 | Enter your name here
Email: | *email=input,40
Your enquiry | *Your_enquiry=textarea
| formtype_mail=submit | Send mail
| html_enabled=hidden | 1
| subject=hidden | From Demo Site mail form
# Example content:

```

Edit Pagecontent "Contact us" on page "Give Feedback"

The screenshot shows the 'Edit Pagecontent "Contact us" on page "Give Feedback"' dialog. It has three tabs: General, Form (selected), and Access. The 'Form' tab contains the following configuration:

```

Name: | *name=input,40 | Enter your name here
Email: | *email=input,40
Your enquiry | *Your_enquiry=textarea
| formtype_mail=submit | Send mail
| html_enabled=hidden | 1
| subject=hidden | From Demo Site mail form
# Example content:

```

The 'Jump to page:' field is empty. The 'Recipient-email:' field contains the value 'info@typo3.org'. The bottom right corner shows the 'Pagecontent [204]' count.

「Form Structure」フィールドでフォームが定義されています：

Edit Page Content "Contact us" on page "Feedback"

General Access Appearance Behaviour

Content Element

Type Column Language

Form Normal Default

Header

Header

Contact us

Type Alignment Date

Default Default []

Link

Form Structure

```
Name: | *name=input,40 | Enter your name here
Email: | *email=input,40
Your enquiry: | *Your_enquiry=textarea
| formtype_mail=submit | Submit Feedback
| html_enabled=hidden | 1
| subject=hidden | From Demo Site mail form
# Example content:
```

「Behavior」タブにある「Target Page」フィールドで、フォームから送信した後に転送されるページを指定することができます：

Edit Page Content "Contact us" on page "Feedback"

General Access Appearance Behaviour

Target and Recipient

Target Page

Thank you for your feedback

Page

Recipient Email

introduction-feedback@typo3.org

ここが空白のままだと、送信後も転送されません。通常はなんらかの「Thank you」ページを入力します。

form structure を詳しく覗いて見ましょう。テーブル（表）のコンテンツ・エレメントでパイプ (|) がセパレータとして使われるのを既に学びました。このメール・フォームではフォームのフィールドを定義するのに使われます。それぞれの行がフォームの一つのフィールドを表しています。フィールドの右側にあるウイザード・アイコンをクリックしましょう：

Edit Page Content "Contact us" on page "Feedback"

General Access Appearance Behaviour

Content Element

Type Column Language

Form Normal Default

Header

Header

Contact us

Type Alignment Date

Default Default []

Link

[]

Form Structure

```
Name: | *name=input,40 | Enter your name here
Email: | *email=input,40
Your enquiry: | *Your_enquiry=textarea
| formtype_mail=submit | Submit Feedback
| html_enabled=hidden | 1
| subject=hidden | From Demo Site mail form
# Example content:
```

ご覧の通り、上のコードがこんな風に素敵なフォームに変換されます。

Forms wizard

Preview of element:	Element type:	Detailed configuration:
Name:	Type: Input field 2 Label: Name: 1 Required: <input checked="" type="checkbox"/>	Field: name 3 Size: 40 Max: Value: Enter your name here 4
Email:	Type: Input field 2 Label: Email: Required: <input checked="" type="checkbox"/>	Field: email Size: 40 Max: Value:
Your enquiry	Type: Text area 2 Label: Your enquiry Required: <input checked="" type="checkbox"/>	Field: Your_enquiry Columns: Rows: No Wrap: Value:
	Special configuration for mail forms:	
	Send button label:	Send mail 5
	HTML mode enabled:	<input checked="" type="checkbox"/>
	Subject:	From Demo Site mail form 6
	Recipient email:	info@typo3.org 7

ここではフォームのそれぞれのフィールドが、視覚化された入力枠として作成されています。あなたが入力する必要があるフィールドは、もちろん(1)のラベルと(2)のタイプです。これらは目に見える部分です。内部的な名前(3)も入力する必要があります。これは、受信者が受け取るメールに表示されるものです。「Input field」のタイプによってはデフォルトの値(4)を入力することができます。

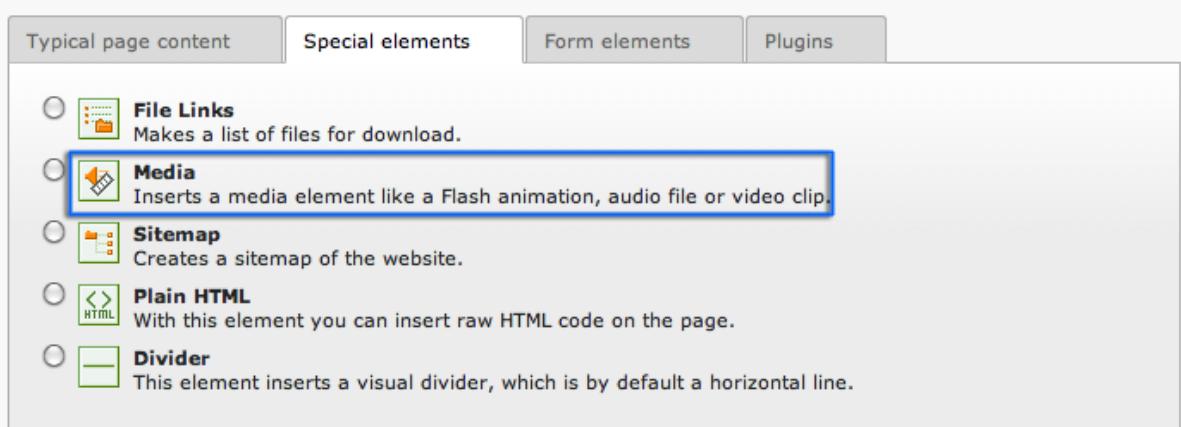
全てのメール・フォームにおいて設定する必要がある共通の値が3つあります：送信ボタンの名前(5)、送信されるEメールの件名(6)と最後にEメールを受信することになる人のEメールアドレス(7)です。通常、これはあなたです！　あるいはあなたのチームの中でフィードバックへの対応を任せられている誰かです。

Media

Media エレメントはインストラクション・パッケージではまだ利用されていません。しかしあなたはウェブ・サイトにビデオを載せたいと思うかも知れません。ビデオを fileadmin にアップロードします。そして「media」タイプの新しいコンテンツ・エレメントを作成します。

New content element

Please select the type of page content you wish to create:

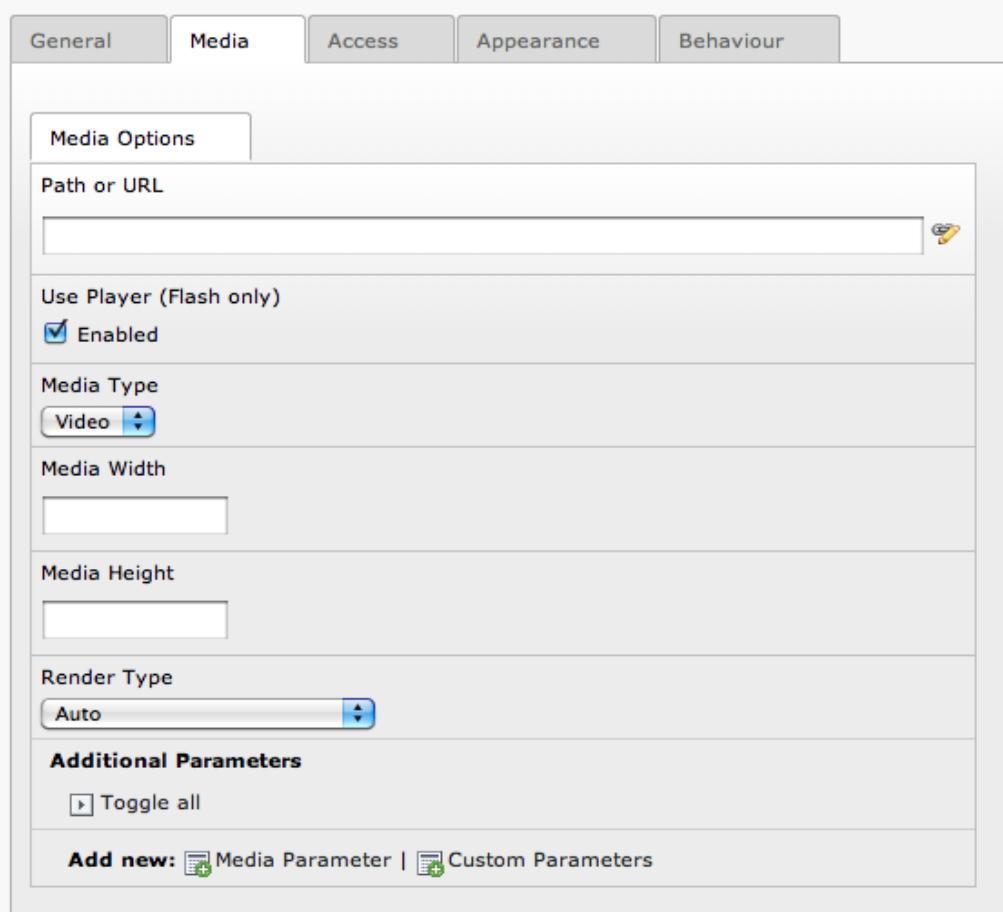


Typical page content Special elements Form elements Plugins

- File Links**
Makes a list of files for download.
- Media**
Inserts a media element like a Flash animation, audio file or video clip.
- Sitemap**
Creates a sitemap of the website.
- Plain HTML**
With this element you can insert raw HTML code on the page.
- Divider**
This element inserts a visual divider, which is by default a horizontal line.

「Media」タブを選択し、あなたのビデオを選択します。必要に応じて他のパラメータをセットし、「Behavior」タブでビデオを見ることができない人のための、代替となるコンテンツを選びます。

Create new Page Content on page "Feedback"



General Media Access Appearance Behaviour

Media Options

Path or URL

Use Player (Flash only)

Enabled

Media Type

Video

Media Width

Media Height

Render Type

Auto

Additional Parameters

Toggle all

Add new: Media Parameter | Custom Parameters

コンテンツ・エレメントを保存し、あなたのウェブ・サイトでビデオを閲覧します。

Home * Examples * Media



バックエンド・モジュール

バックエンド・ユーザーの追跡

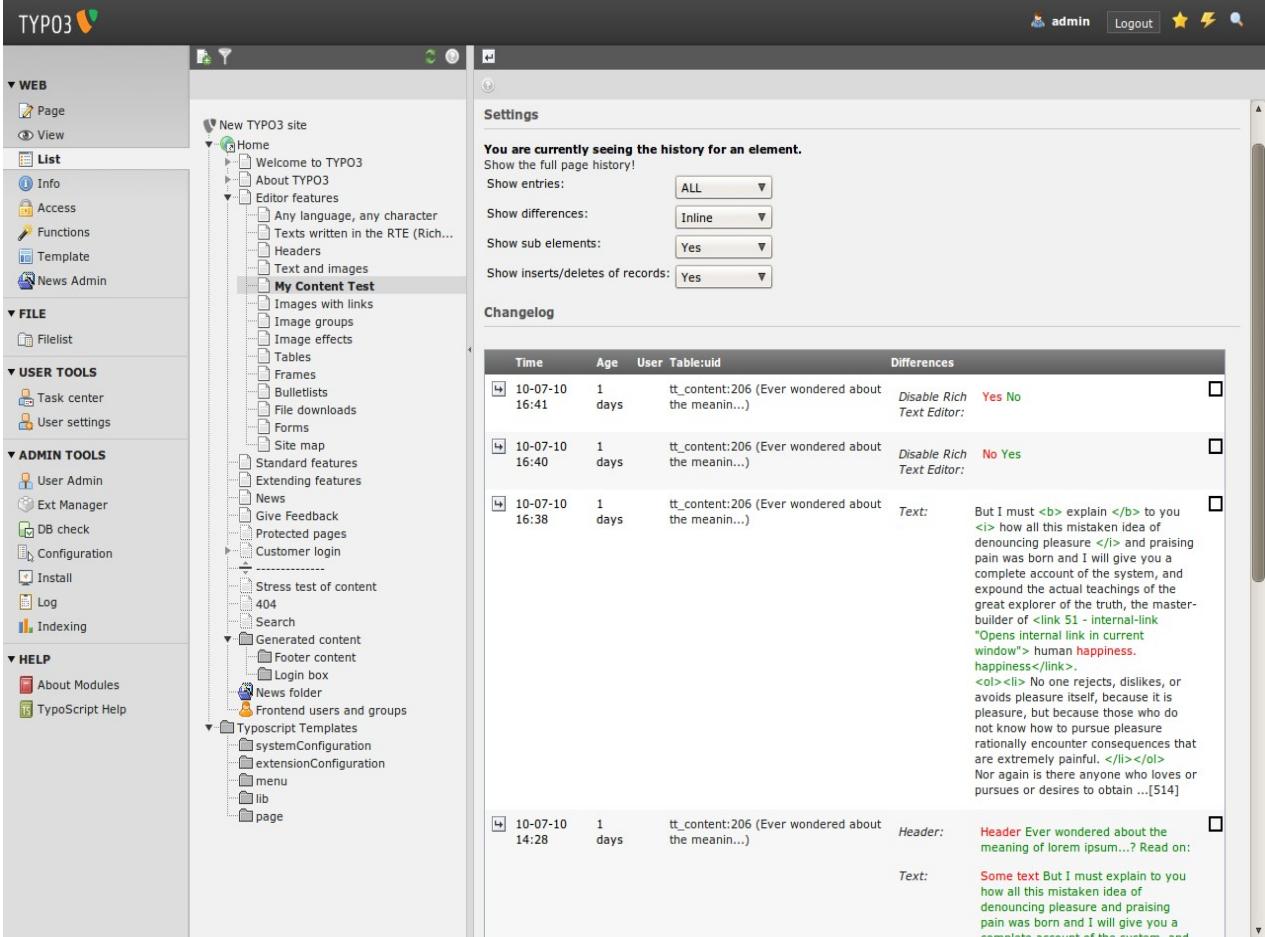
どの編集者がどういう作業をしたのか知りたくなる、バックエンド・ユーザーの行動の追跡のようなことがしたくなる時があると思います。TYPO3の統合されたログ機能を使えば可能です。メニューの"Admin Tools" > "Log"を選ぶだけで、あなたのユーザーたちが最後に何をしたか一覧することができます：

Time	User	Type	Error	Action	Details
16:25:25	admin@LIVE	DB		Delete	Record 'My new loginbox' (tt_content:208) was deleted from page 'Welcome to TYPO3' (6)
16:24:48	.	.		Update	Record 'My new loginbox' (tt_content:208) was updated. (Online). (msg#1.2.10)
16:24:40	.	.		.	Record 'My new loginbox' (tt_content:208) was updated. (Online). Changes in fields: list_type, I18n_diffsource. (msg#1.2.10)
16:24:35	.	.		.	Record 'My new loginbox' (tt_content:208) was updated. (Online). Changes in fields: CType. (msg#1.2.10)
16:23:37	.	.		.	Record 'My new loginbox' (tt_content:208) was updated. (Online). Changes in fields: I18n_diffsource. (msg#1.2.10)
16:23:30	.	.		.	Record 'My new loginbox' (tt_content:208) was updated. (Online). Changes in fields: CType. (msg#1.2.10)
15:38:04	.	.		.	Record 'Contact us' (tt_content:204) was updated. (Online). Changes in fields: pages. (msg#1.2.10)
15:37:53	.	.		.	Record 'Contact us' (tt_content:204) was updated. (Online). Changes in fields: bodytext, pages, I18n_diffsource. (msg#1.2.10)
15:36:31	.	.		.	Record 'Contact us' (tt_content:204) was updated. (Online). (msg#1.2.10)
15:26:16	.	.		.	Record 'Editor features' (pages:4) was updated. (Online). Changes in fields: fe_group, extendToSubpages. (msg#1.2.10)
15:08:38	.	.		.	Record 'Editor features' (pages:4) was updated. (Online). Changes in fields: fe_group, extendToSubpages. (msg#1.2.10)
15:00:40	.	.		Insert	Record 'My new loginbox' (tt_content:208) was inserted on page 'Welcome to TYPO3' (6) (msg#1.1.10)
14:04:28	.	.		.	Record 'customer2' (fe_users:3) was inserted on page 'Frontend users and groups' (29) (msg#1.1.10)
13:01:27	.	.		Delete	Record 'smoog' (be_users:11) was deleted from page '[root-level]' (0)

ログに小さな時計のアイコンが付いているのに気がつきましたか？ これはレコードの履歴です。TYPO3ではそれぞれのレコードには履歴が付随しています。それで間違ってレコードを変更してしまった場合は、変更を取り消す場合にこの履歴を利用することができます。

レコードの履歴に手っ取り早くアクセスするには、リストモジュールを利用してください。

あなたが加えた変更による違いが色分けされています（もし色による違いが表示されない場合は「トラブルシューティング」を参照してください）：



The screenshot shows the TYPO3 Backend interface. The left sidebar contains navigation links for WEB, FILE, USER TOOLS, ADMIN TOOLS, and HELP. The main content area shows a list of content elements under 'My Content Test', including 'Images with links', 'Image groups', 'Image effects', 'Tables', 'Frames', 'Bulletlists', 'File downloads', and 'Forms'. Below this is a 'Changelog' table with the following data:

Time	Age	User	Table:uid	Differences
10-07-10 16:41	1 days	tt_content:206	(Ever wondered about the meaning...)	Disable Rich Text Editor: Yes No
10-07-10 16:40	1 days	tt_content:206	(Ever wondered about the meaning...)	Disable Rich Text Editor: No Yes
10-07-10 16:38	1 days	tt_content:206	(Ever wondered about the meaning...)	Text: But I must explain to you how all this mistaken idea of denouncing pleasure and praising pain was born and I will give you a complete account of the system, and expound the actual teachings of the great explorer of the truth, the master-builder of internal-link "Opens internal link in current window" human happiness . happiness .
10-07-10 14:28	1 days	tt_content:206	(Ever wondered about the meaning...)	Header: Header Ever wondered about the meaning of lorem ipsum...? Read on: Some text But I must explain to you how all this mistaken idea of denouncing pleasure and praising pain was born and I will give you a complete account of the system, and

テンプレート

この長いドキュメントを読みながらあなたは幾度と無く一どうやってタイトルを変えたらしいんだろう？ あるいは自分のロゴを載せることはできるのだろうか等と考えたことでしょう。

これらの話に入る前に、大半の CMS がどのように機能しているのか、基礎的な事柄について知つておく必要があります： CMS ではコンテンツは見た目とは切り離されています。これは、ページとコンテンツは、それらに関連する色やフォントや背景の画像等を何一つ持たずにデータベースに保存されていることを意味しています。それらの情報は代わりにテンプレートやスタイルシートに保存されていて、通常、ページが表示される際にウェブサイト全体に適用されます。このようにテンプレートを一箇所修正しただけでつウェブサイトの全てのページの見かけに丸ごと影響を与えます。これは CMS の偉大なそして重要な特徴です！ html ファイルベースで 100 以上のページを作成した人にデザインを変更したいかどうか尋ねてみればわかるでしょう…

静的コンテンツと動的コンテンツ

「Introduction Package」 ウェブサイトを詳しく見てみましょう：



動的部分： このウェブサイトではメニュー (#1)、(#2) とパンくずナビ (#3) は、ページの直接的ではない動的部分です。それらがページ毎に自動的に変化することを意味しています。我々はページ毎にそれらのアイテムを直接変更することはできません。それらはテンプレートの動的にプログラムされた部分です。しかしながらコンテンツ・エリア (#4)、(#5) はページの直接的に動的な部分です。ここにページ独自のコンテンツが挿入されるからです。ページ・コンテンツエレメントを追加したり、取り除いたり並べ替えたりして変更することができます！このエリアはテンプレート（色やフォントを指定している以外は）には全く含まれていません。コンテンツ・エレメントによって直接コントロールできるので。

静的部分： 動的部分とは別にテンプレートにはいつも同じサイトタイトル (#6)、同じ背景画像 (#7)、フロントエンド・ログインへのリンク (#8)、そして検索フィールド (#9) が含まれています。これらの部分もまた（非直接的な動的ページと同じように）テンプレート

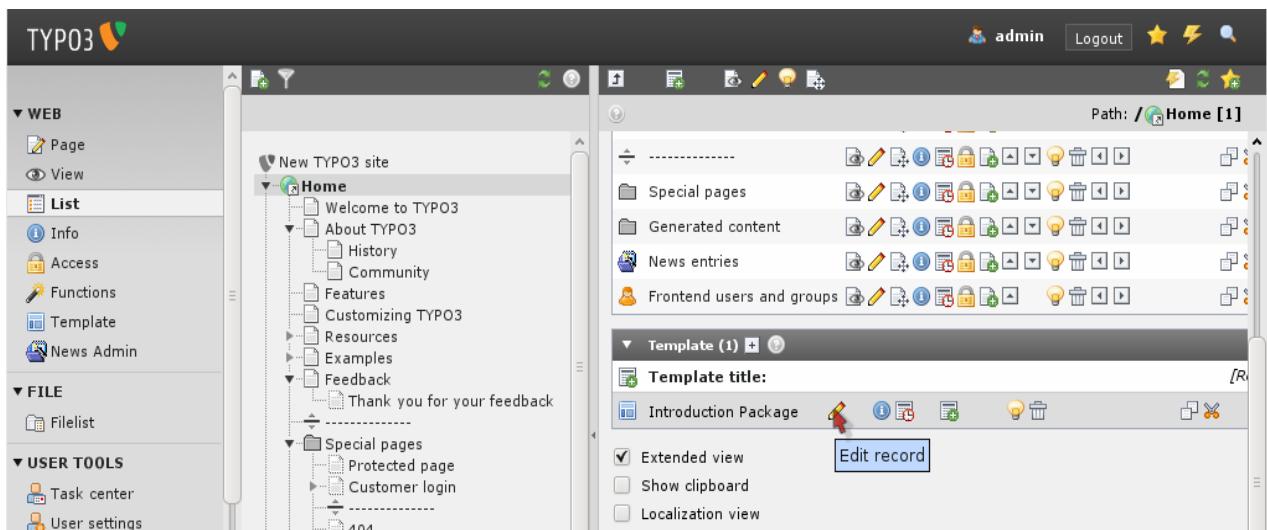
の一部です。しかしそれらはどんな操作によっても変化しません。どのページでも常に同じです。

テンプレート・レコード?

ではTYPO3はどうやってこの原理を実装しているのでしょうか？ そうですね、詳しい情報は [recommended approach for professionally made website in the tutorial Modern Template Building](#) を読めば得られるでしょう。しかしながらこれは開発者やデザイナー等チームを組んでウェブ・デザインを専門的にやっている人に向けて書かれています。そのためレベルがこのチュートリアルで求めるものより少し高くなっています。

しかし重要なポイントは—テンプレート・レコードです。これがTYPO3にページ・ツリーのある枝（ブランチ）部分をどのように扱うかを指示しているエレメントです。最初はこのアプローチが分かりづらい物に思えるかも知れませんが、それはそれでかまいません—実際これらはあなたが今までに学んだことと非常に首尾一貫しています。そして今後あなたが同一のページツリーの中に複数のテンプレートを含むたくさんサイトを作りたいと思った際にその意味がよく分かると思います。

我々の場合のようなシンプルなイントロダクション・パッケージのウェブサイトを見ると、ウェブサイトのルートページにそのようなテンプレート・レコードが含まれていることに気づくでしょう：



もし「Introduction Package」テンプレートを編集してみると、大半のフィールドが空であることに気づくでしょう。それぞれのウェブサイトルートレベルにTypoScriptテンプレートが必要です。この場合は「Introduction Package」テンプレートがそれにあたります。ウェブサイトのTypoScript設定は非常に長くなる可能性があるので、たくさんの小さなTypoScriptテンプレートがメインのテンプレートにインクルードされる可能性があります。メンテナンス性を高めるために、イントロダクション・パッケージの全てのTypoScriptは「TypoScript Templates」フォルダに保存されています。「Introduction Package」テンプレートが行っている唯一のことは代わりに他のテンプレートをインクルードしている「ROOT」テンプレートをインクルードしていることです。

テンプレートに変更を加える

「ROOT」テンプレート・レコードに幾つか変更を加えて見ましょう。「Introduction Package」テンプレートを編集し、「Includes」タブを選択します。「Include basis template」セクションで「ROOT」の前にあるアイコンをクリックし、編集を選択します。

Edit Template "Introduction Package" on page "Home"

General Options Includes Resources Access

Include Static Templates After Basis Templates:

Include static (from extensions):

Selected Items: Available Items:

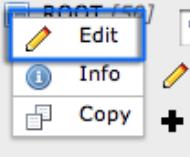
- CSS Styled Content (css_styled_content)
- CSS Styled Content TYPO3 v3.8 (css_sty)
- CSS Styled Content TYPO3 v3.9 (css_sty)
- CSS Styled Content TYPO3 v4.2 (css_sty)
- CSS Styled Content TYPO3 v4.3 (css_sty)
- CSS Styled Content TYPO3 v4.4 (css_sty)
- Clickenlarge Rendering (rtehtmlarea)
- Fluid: Default Ajax Configuration (fluid)
- News settings (tt_news)
- News CSS-styles (tt_news)

Include Basis Template:

ROOT

Template

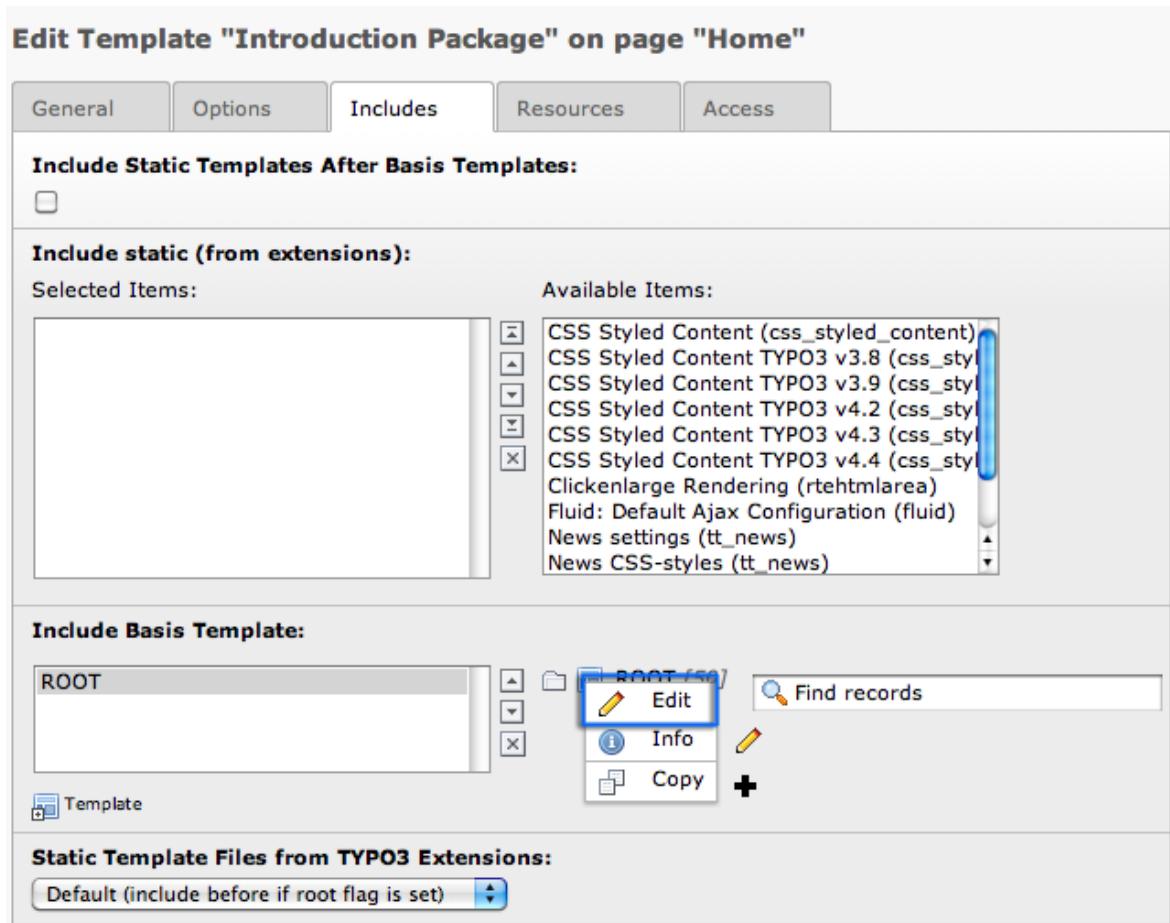




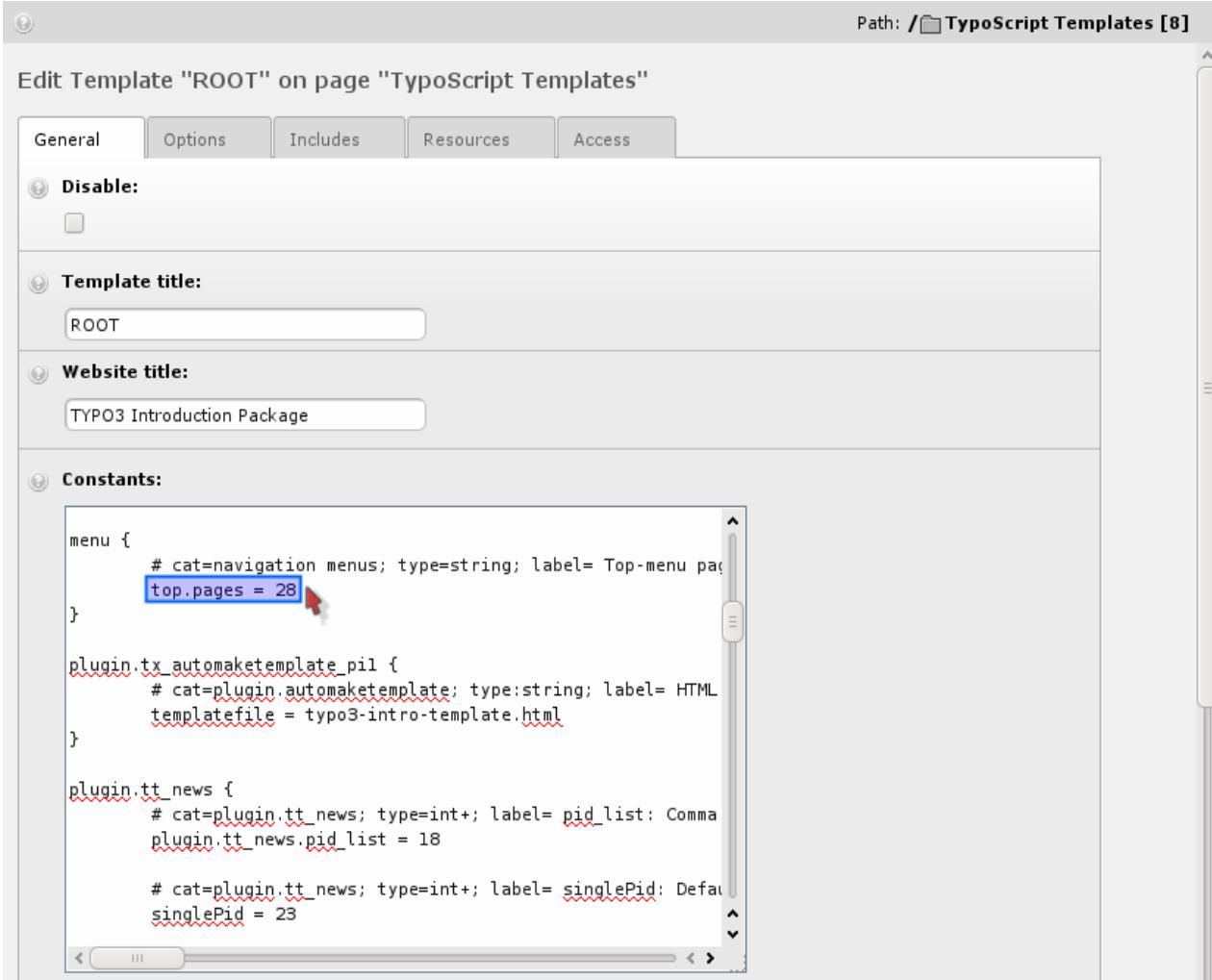
Find records

Static Template Files from TYPO3 Extensions:

Default (include before if root flag is set)



「ROOT」テンプレートが編集できる場所にたどり着きました：



Path: / TypoScript Templates [8]

Edit Template "ROOT" on page "TypoScript Templates"

General Options Includes Resources Access

Disable:

Template title: ROOT

Website title: TYPO3 Introduction Package

Constants:

```

menu {
    # cat=navigation_menus; type=string; label= Top-menu page
    top.pages = 28
}

plugin.tx_automaketemplate_pil {
    # cat=plugin_automaketemplate; type:string; label= HTML
    templatefile = typo3-intro-template.html
}

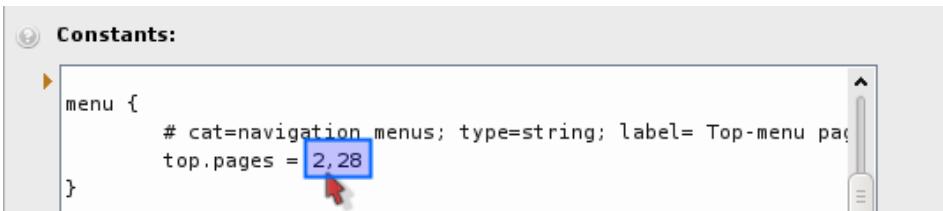
plugin.tt_news {
    # cat=plugin_tt_news; type=int++; label= pid_list: Comma
    plugin.tt_news.pid_list = 18

    # cat=plugin_tt_news; type=int++; label= singlePid: Default
    singlePid = 23
}

```

標準的なテンプレートにおいては、「Constants（定数）」フィールドで値が変更できるようになっています。Constantsはテンプレートの中で多くの場所で使われているものを定義しています。例えばデフォルトのテンプレートの名前や、あるいはあなたのニュースが保存されているページ等です。Constantsはそれから「Setup」で利用することができます。例えば `menu.top.pages = 28` と `constant` で定義しておくと、後で `setup` で `{$menu.top.pages}` として参照することができ、それは自動的に値（この場合は 28）と共に置き換えられます。そのため、`constant` の 1箇所修正するだけで最終的なテンプレートの TypoScript コードの設定で異なった多くの場所が変更されることになります。

ここでは、右上のメニューに feedback ページを追加してみましょう。



Constants:

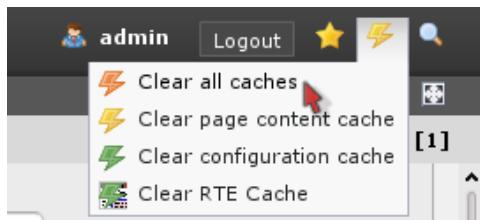
```

menu {
    # cat=navigation_menus; type=string; label= Top-menu page
    top.pages = 2,28
}

```

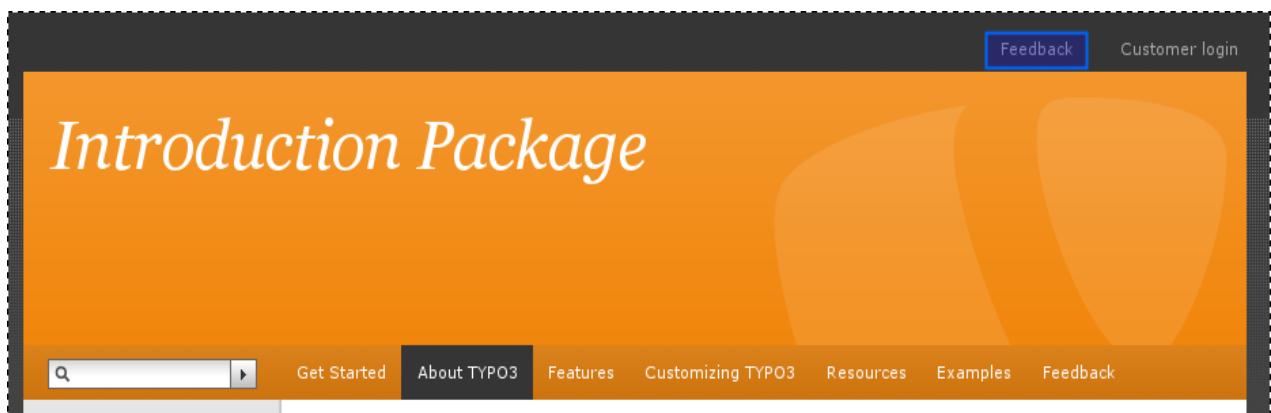
右上メニューのページの一覧に「Feedback」(id 2)ページを付け加えるだけです。

テンプレート・レコードを保存した後で、「Admin Functions」メニューの「Clear all cache」をクリックします：



もしテンプレート・レコードを直接編集した場合は常にそうします。

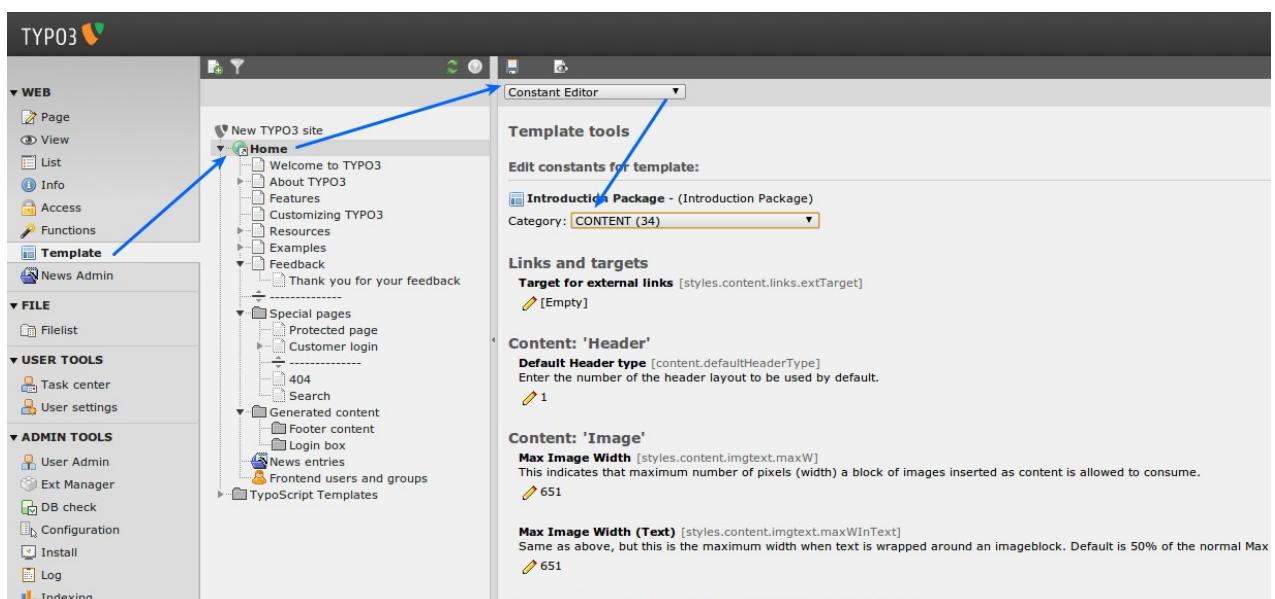
結果は：



他の値でも試して見ましょう！

コンスタント・エディタ：

これらの変更を行うのにもっと良い方法は Template モジュールの「Constant Editor」ビューを使うことです：



constant editor を使うと大半の定数をより楽に編集することができます。それらにはどう

いう働きをするのか、追加の説明が付いています。全ての定数はいずれかのカテゴリに属しています。「Category」セレクトボックスでカテゴリを切り替えることができます。

先ほど行った変更（右上のメニューに Feedback ページを追加）と同じことをするには、カテゴリで「Navigation Menus」を選択し、定数を編集します：

Constant Editor

Template tools

Edit constants for template:

Introduction Package - (Introduction Package)

Category: NAVIGATION MENUS (1)

Top-menu pages [menu.top.pages]
Comma separated list of page id's to be included in top-right menu.

2,28 Range: 0 -

さあ、他にどんなことができるのか調べ、オプションで遊んでみてください。十分試したと思ったら戻ってきてください。

Setup フィールド

constant フィールドは定義されている定数を素早く編集し、あなたのウェブサイトの一般的なことを変更することを可能にしてくれます。次のレベルでは、詳細なことや右上のメニューがいるかいらないかというような、より一般的な事柄を変更します。そうする一番簡単な方法は、「Info/Modify」ビューを使うことです。そうするとテンプレートの重要な部分にアクセスすることができます。

TYPO3

admin Logout

Path: / TypoScript Templates [8]

Template tools

Template information:

ROOT - (TYPO3 Introduction Package)

Title: ROOT

Sitetitle: TYPO3 Introduction Package

Description: The ROOT template.

This template will be called by the "Introduction Package" template record in the root page. It reads the root templates for every part, like page, menu, systemConfiguration and extensionConfiguration.

Resources:

Constants: (edit to view, 147 lines)

Setup: (edit to view, 0 lines)

Edit the whole template record

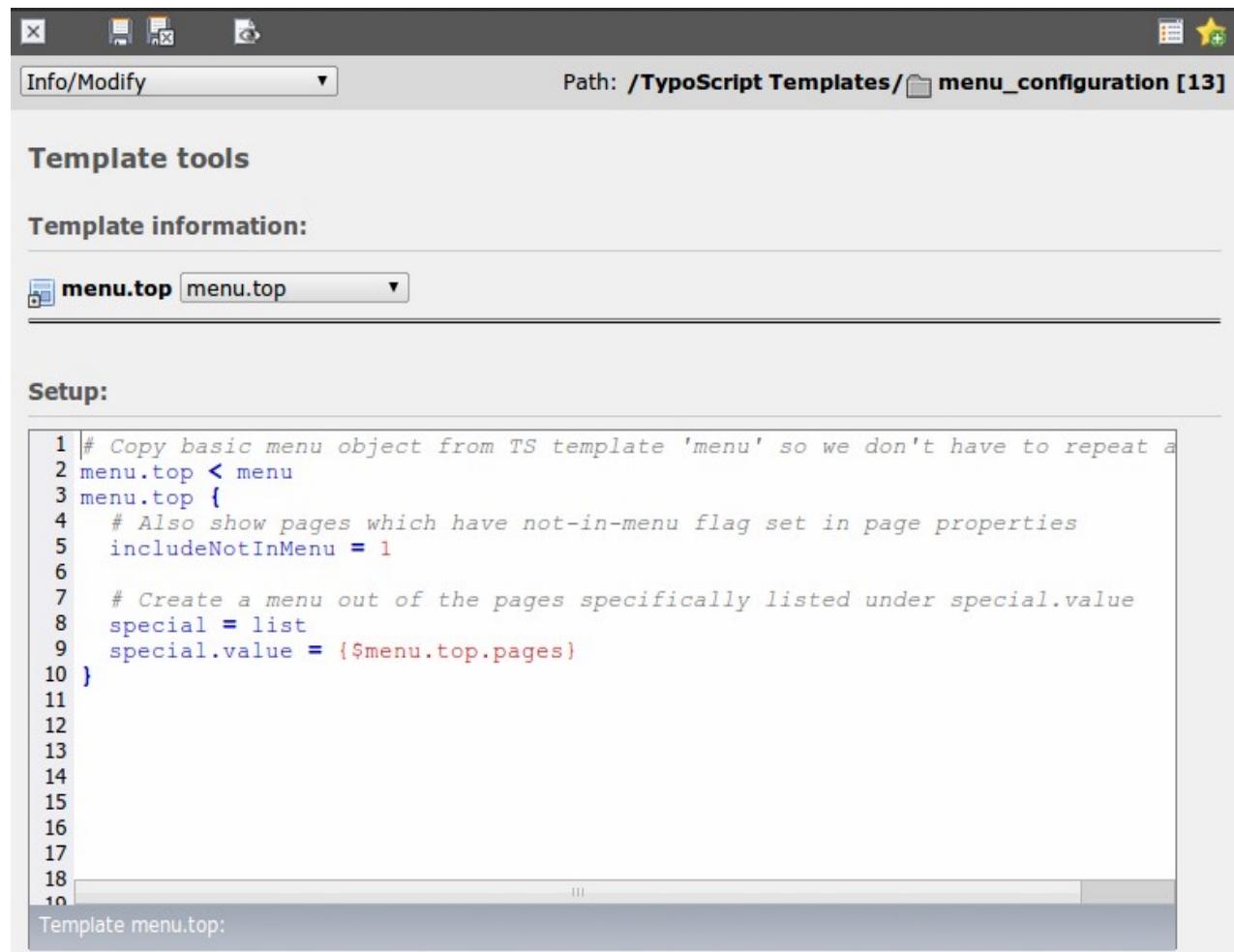
ご覧の通り、テンプレートには何をするのか簡単な説明が付いています。イントロダクション・パッケージのテンプレートには全てこのような短い説明が付いていますので、それらを全てクリックしてみてれば、全体像をつかむことができます。

ではサブフォルダの `menu_configuration` をクリックしてください。その中に一つではなく複数のテンプレートが保存されているのが分かるでしょう。

テンプレート「menu.top」を選択し、右上のメニューの定義が表示されたなら、「Setup」の隣にある鉛筆をクリックします（必要であればテンプレート全体のレコードを編集することができるリンクが、メニュー ブロックの下にあることに気づいてください）：

今目にしているものが未だ理解できなくても気にしないでください。このチュートリアルは一般的な原則とどこに何があるかを説明しているだけです。次のチュートリアルで

TypeScript とは何なのか、それを使って自分のウェブサイトを作るのにはどうすればよいのか、詳しく説明します。



The screenshot shows the TYPO3 Backend interface with the title 'Info/Modify' and the path 'Path: /TYPO3 Templates/menu_configuration [13]'. The main content area is titled 'Template tools' and 'Template information:'. A dropdown menu shows 'menu.top' is selected. Below this, a code editor displays the TypeScript code for the 'menu.top' template. The code is as follows:

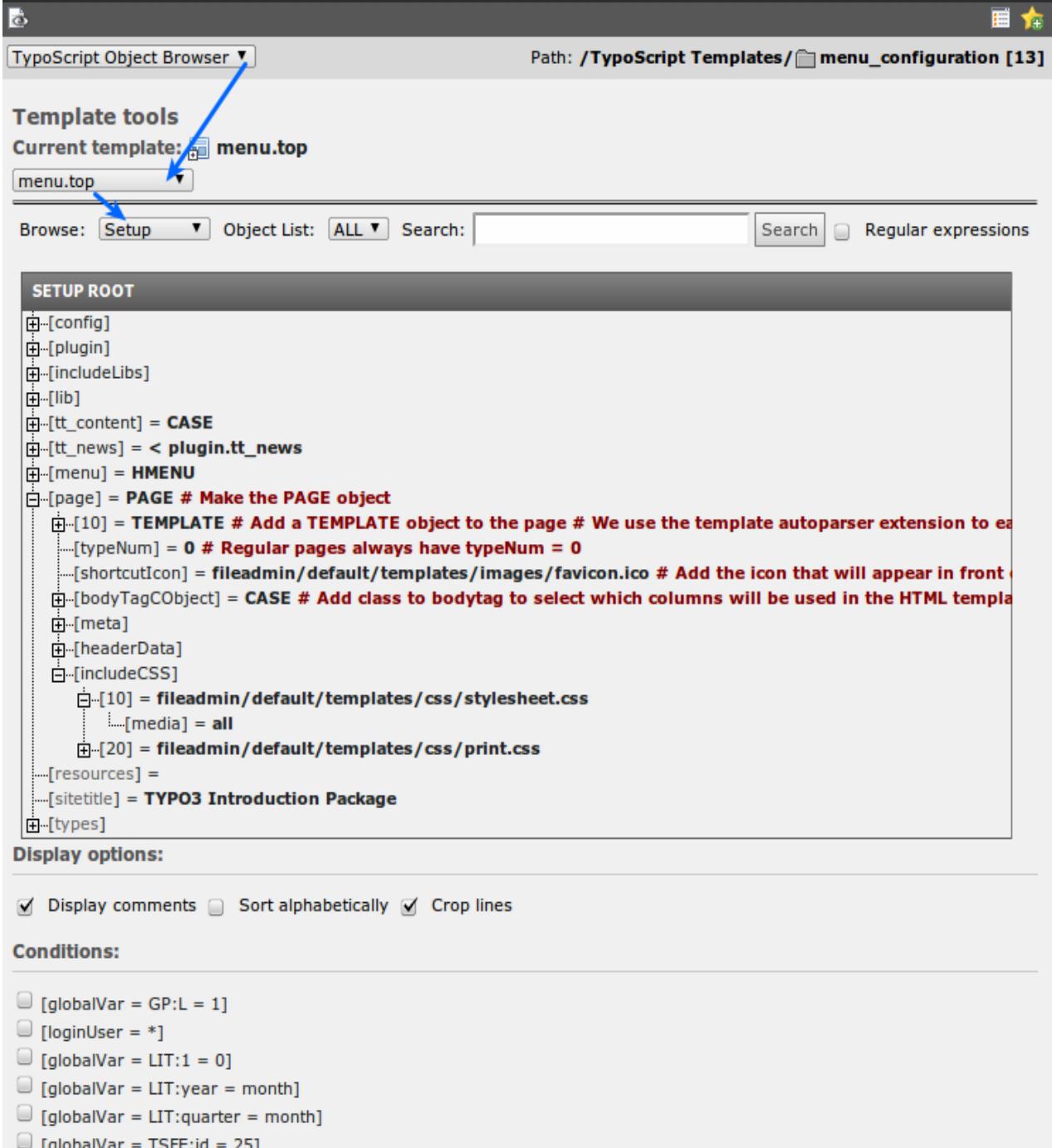
```
1 # Copy basic menu object from TS template 'menu' so we don't have to repeat a
2 menu.top < menu
3 menu.top {
4     # Also show pages which have not-in-menu flag set in page properties
5     includeNotInMenu = 1
6
7     # Create a menu out of the pages specifically listed under special.value
8     special = list
9     special.value = {$menu.top.pages}
10 }
```

The code editor has line numbers 1 through 10 on the left. The status bar at the bottom of the code editor says 'Template menu.top:'.

このテンプレートであなたが確認してもらいたい一つは、以前に変更加えた定数、`{$menu.top.pages}` の使われ方です。

オブジェクト・ブラウザ

TypoScript を利用する上で知ってもらいたいツールがもう一つあります。「Object Browser」と呼ばれています。テンプレート・モジュールの一番上にあるセレクト・ボックスで「TypoScript Object Browser」に切り替えます：



Template tools
Current template: **menu.top**

Path: /TypoScript Templates/menu_configuration [13]

menu.top

Browse: **Setup** Object List: ALL Search Regular expressions

SETUP ROOT

```

[config]
[plugin]
[includeLibs]
[lib]
[tt_content] = CASE
[tt_news] = < plugin.tt_news
[menu] = HMENU
[page] = PAGE # Make the PAGE object
  [10] = TEMPLATE # Add a TEMPLATE object to the page # We use the template autoparser extension to ea
    [typeNum] = 0 # Regular pages always have typeNum = 0
    [shortcutIcon] = fileadmin/default/templates/images/favicon.ico # Add the icon that will appear in front
    [bodyTagCObject] = CASE # Add class to bodytag to select which columns will be used in the HTML template
    [meta]
    [headerData]
    [includeCSS]
      [10] = fileadmin/default/templates/css/stylesheet.css
        [media] = all
      [20] = fileadmin/default/templates/css/print.css
    [resources]
    [sitename] = TYPO3 Introduction Package
  [types]

```

Display options:

Display comments Sort alphabetically Crop lines

Conditions:

[globalVar = GP:L = 1]
 [loginUser = *]
 [globalVar = LIT:1 = 0]
 [globalVar = LIT:year = month]
 [globalVar = LIT:quarter = month]
 [globalVar = TSFE:id = 25]

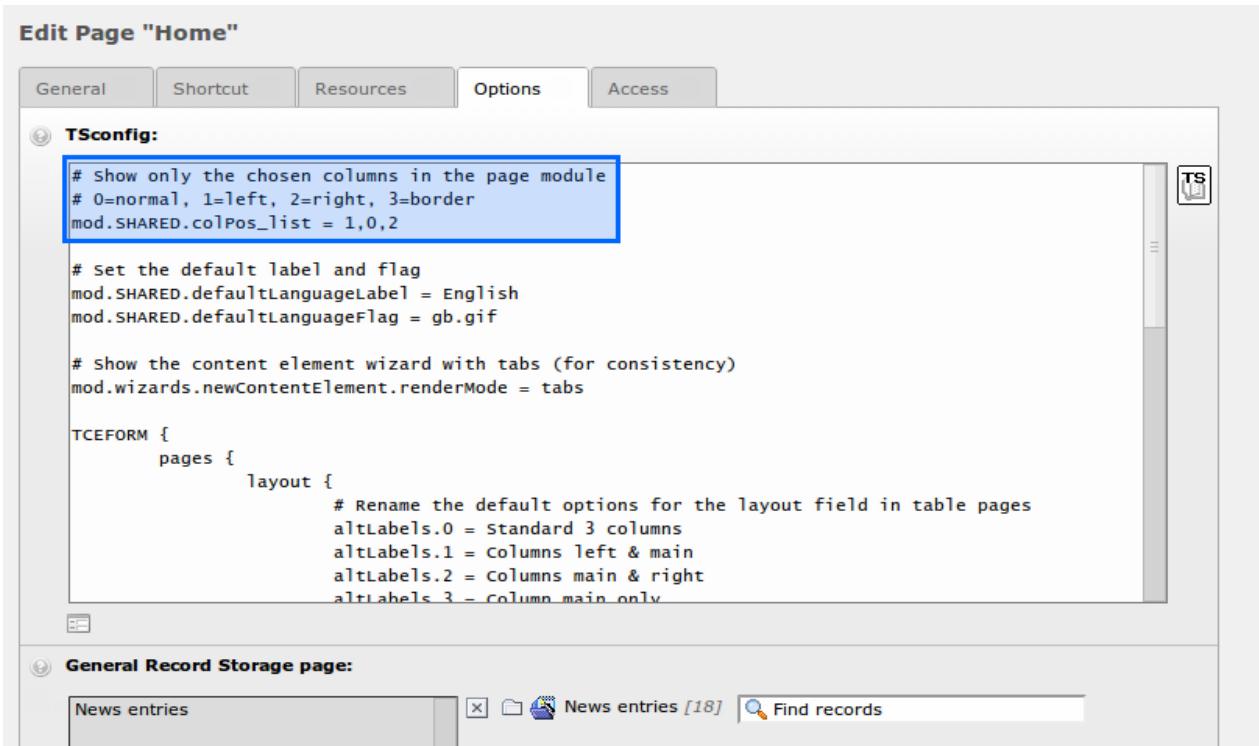
オブジェクト・ブラウザはあなたのウェブサイトの TypoScript 設定をオブジェクトツリーとして表示してくれます。例えば上の図で、「page.10.includeCSS.10 = fileadmin...」というコマンドが、どのような形でツリー構造に組み込まれているか確認できます。テンプレートのプロパティをクリックし、それらを直接変更することもできます。いかなる変更も現在（カレント）のテンプレートに書き込まれます。（どのテンプレートがカレントのテンプレートかって？ オブジェクト・ブラウザのヘッダを確認しなさい！）

マルチ・カラムのコンテンツ

既にお気づきのことと思いますが、インストロダクション・パッケージではページ・モジュールで三つのカラム、左、通常、右が表示されています。さらに詳しく見ていくと、左側のカラムが空であることに気づくでしょう。それでTYPO3をもっと使いやすく分かりやすいものに設定したいと思ったら、役に立たない空っぽのカラムを隠したいと思うことでしょう。今からやってみましょう。

TYPO3のバックエンドの見た目を設定するのには、TSconfigと呼ばれるものを使います。TSconfig (TypoScript Configuration) はページに保存され、そのページとそれより下にあるページに影響を与えます。それで、もし我々のウェブサイトの全ての場所で左カラムを隠したいと思ったなら、ルートのページのTSconfigを変更する必要があります。

ルート・ページのページアイコンをクリックし、「Edit page properties」を選択し、「Resources」タブを選び、「TypoScript configuration」フィールドを覗きます：



The screenshot shows the TYPO3 Backend interface for editing a page. The top navigation bar has tabs: General, Shortcut, Resources (which is selected), Options, and Access. Below the tabs is a 'TSconfig:' section. The code in the TSconfig field is:

```
# Show only the chosen columns in the page module
# 0=normal, 1=left, 2=right, 3=border
mod.SHARED.colPos_list = 1,0,2

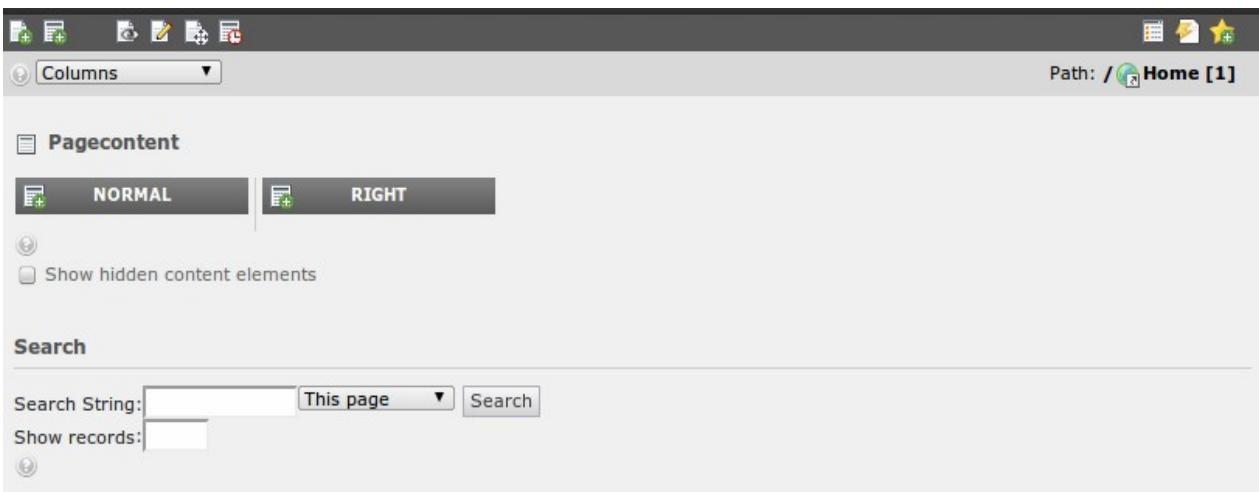
# Set the default label and flag
mod.SHARED.defaultLanguageLabel = English
mod.SHARED.defaultLanguageFlag = gb.gif

# Show the content element wizard with tabs (for consistency)
mod.wizards.newContentElement.renderMode = tabs

TCEFORM {
    pages {
        layout {
            # Rename the default options for the layout field in table pages
            altLabels.0 = Standard 3 columns
            altLabels.1 = Columns left & main
            altLabels.2 = Columns main & right
            altLabels.3 = column_main_only
        }
    }
}
```

Below the TSconfig field is a 'General Record Storage page:' section. It shows a list of 'News entries' with a 'Find records' button.

コメントから推測できるように、ページ・ビューで左側カラムを無効にするには、3行目から「1」を削除するだけです。簡単でしょう？ そのページを保存した後はこのようになります：



The screenshot shows the TYPO3 Backend interface for editing page content. The top navigation bar has tabs: Columns (selected), Pagecontent, and a search bar. The 'Pagecontent' tab is active, showing a 'Pagecontent' section with a 'Pagecontent' icon. Below it is a 'Search' section with 'Search String:' and 'Search' buttons. The 'Pagecontent' section has a 'NORMAL' tab selected, indicated by a dark grey background. Other tabs include 'RIGHT' and 'HIDDEN'. There is also a 'Show hidden content elements' checkbox.

Page TSconfig を確かめる

ページ TSconfig はそれが保存されていページとそれより下のページに影響を与えます。もし、今いるページで TSconfig のオプションが有効になっているのかどうか不安になった場合は、info モジュールを使って現在の設定を表示します。メイン・モジュールの中から「Info」モジュールを選択し、それから調べたいページを選択します。その後で info ページにあるセレクトボックスで Page TSconfig を選びます：

再び階層化されたツリーが表示されますが、今回はTYPO3のバックエンド設定のものです。

テンプレートとバックエンド設定の免責事項！

「テンプレート」はあなたが移植の可能性を検討する際、非常に重要なポイントとなるので、このチュートリアルがTYPO3のテンプレートにおける可能性を深く追求したものではないということを強調しておくのは重要なことでしょう。

テンプレートに関する事実と可能性

しっかりと心に刻んでおいてもらうために、ここにTYPO3のテンプレートに関する事実をあげると：

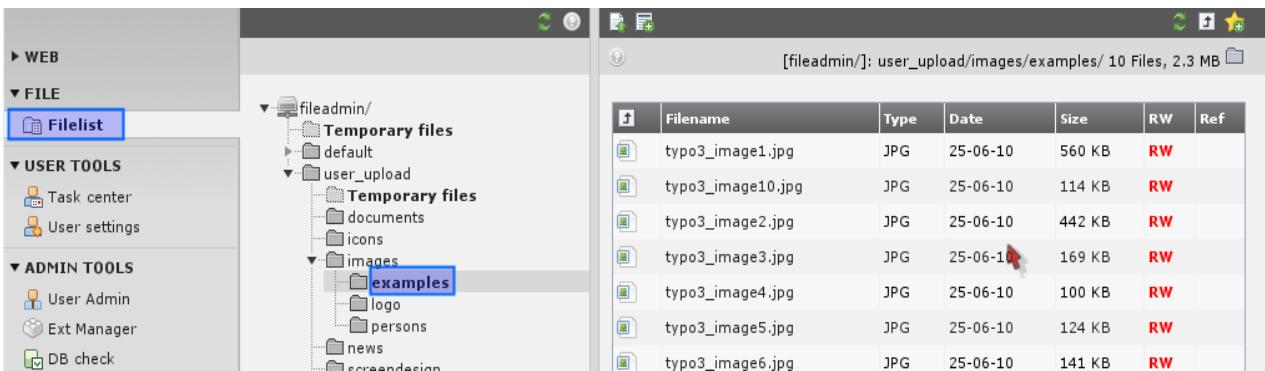
- あなたはどんなデザインでも、好きなように実装することができます。
- メニューのレベルは好きなだけ深くできます。
- 複数のサイト、複数のテンプレートを所有することができます。

- ページを制限無く多言語化できます。
- 一つのページに複数のコンテンツエリア（カラム）を持つことができます。
- PHP で書かれたプラグインを使えばあらゆる種類の外部データ構造と連携できます。
- TYPO3 の様々なページで実行されるウェブ・アプリケーションを好きなだけ追加できます。
- PHP を使って全てのことを拡張できます（完全に後方互換を保ったままで！）。
- あなたは何でもできます—より直接的なものも（非常に典型的なもの）でも、よりトリッキーなもの（あまり典型的でないもの）でも。

ファイルモジュールあるいは；イメージ・アーカイブ

TYPO3 におけるファイル管理

もう一つの興味深いモジュール—File モジュールを見てみましょう：



The screenshot shows the TYPO3 fileadmin interface. The left sidebar has a 'FILE' section with 'Filelist' selected. The main area shows a file tree under 'fileadmin/'. It includes 'Temporary files', 'default', and 'user_upload'. 'user_upload' contains 'Temporary files', 'documents', 'icons', 'images' (which is expanded to show 'examples', 'logo', 'persons', 'news', and 'screenshots'), and 'news'. The 'examples' folder is selected. To the right is a table listing files in the 'examples' folder:

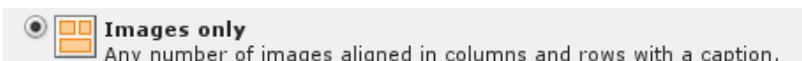
	Filename	Type	Date	Size	RW	Ref
	typo3_image1.jpg	JPG	25-06-10	560 KB	RW	
	typo3_image10.jpg	JPG	25-06-10	114 KB	RW	
	typo3_image2.jpg	JPG	25-06-10	442 KB	RW	
	typo3_image3.jpg	JPG	25-06-10	169 KB	RW	
	typo3_image4.jpg	JPG	25-06-10	100 KB	RW	
	typo3_image5.jpg	JPG	25-06-10	124 KB	RW	
	typo3_image6.jpg	JPG	25-06-10	141 KB	RW	

これはデータベース・エレメントを扱う List モジュールと同じ原則にしたがい動作します—フォルダのツリーとフォルダ内のファイルの一覧ビューがあります。

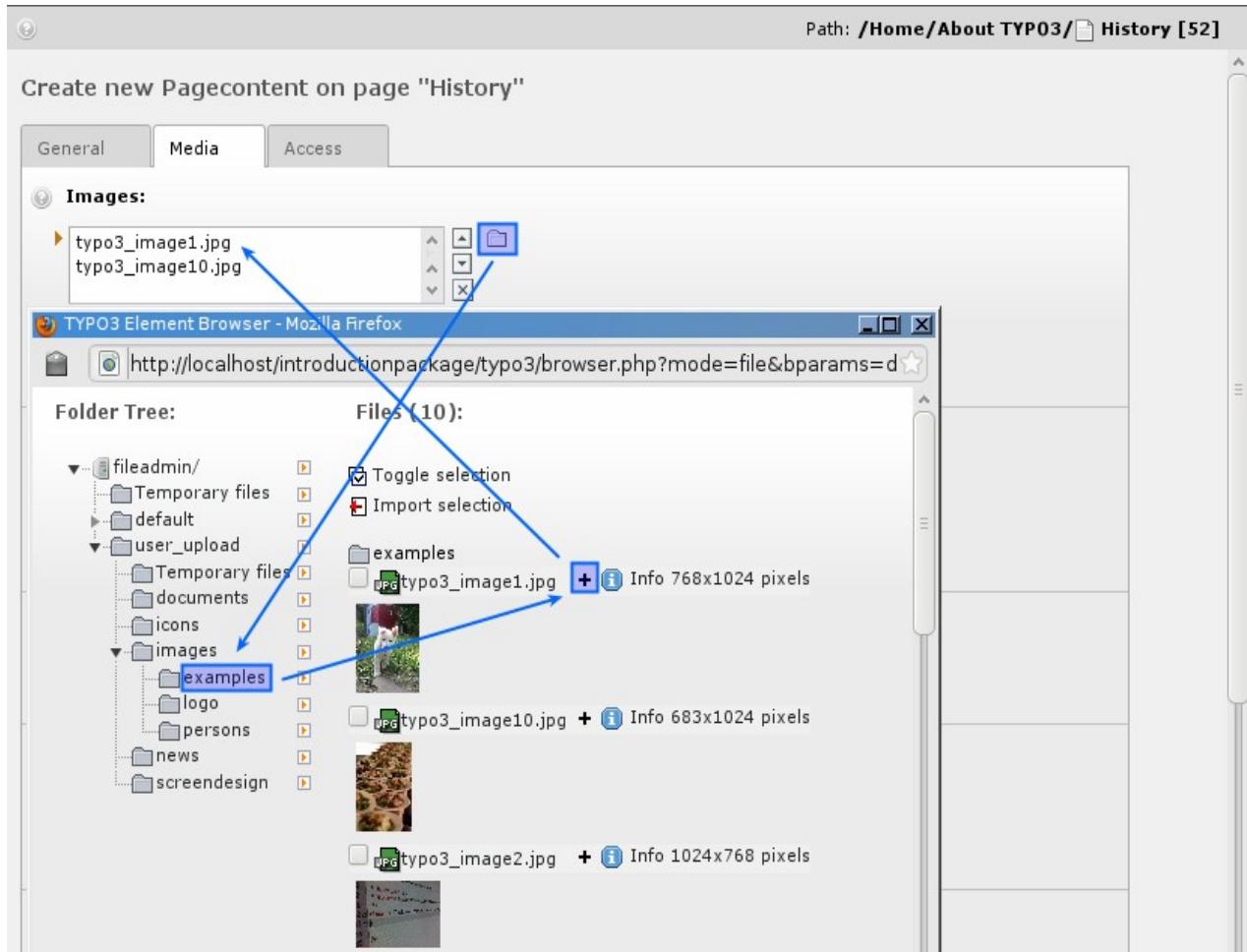
デフォルト（「admin」ユーザー用に）で表示されているフォルダは、「fileadmin/」フォルダで、あなたのウェブサーバーのディレクトリのルートに存在するフォルダです。ここには既に画像が少し保存されています。これらの画像はウェブ・サイトでは直接利用されていません。もしそうしたいのなら a) コンテンツ・エレメントから画像にリンクするか、あるいは b) コンテンツ・エレメント用のファイルを選択するプロセスで、これらのファイルを選択することができます。

コンテンツ・エレメントでアーカイブのファイルを使う

後の方の方法がより標準的です。「History」サイトのフロントページにイメージ・エレメントを挿入して見ましょう：

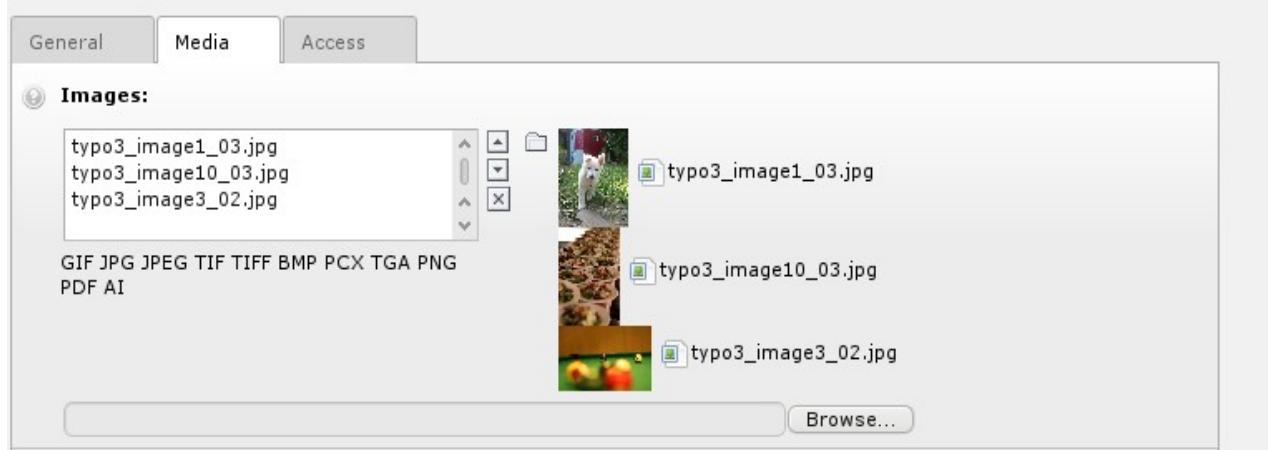


そして、「Browse」ボタンで一度に一つずつ画像をアップロードする代わりに、既にサーバーに存在する複数のファイルを選択することができます！

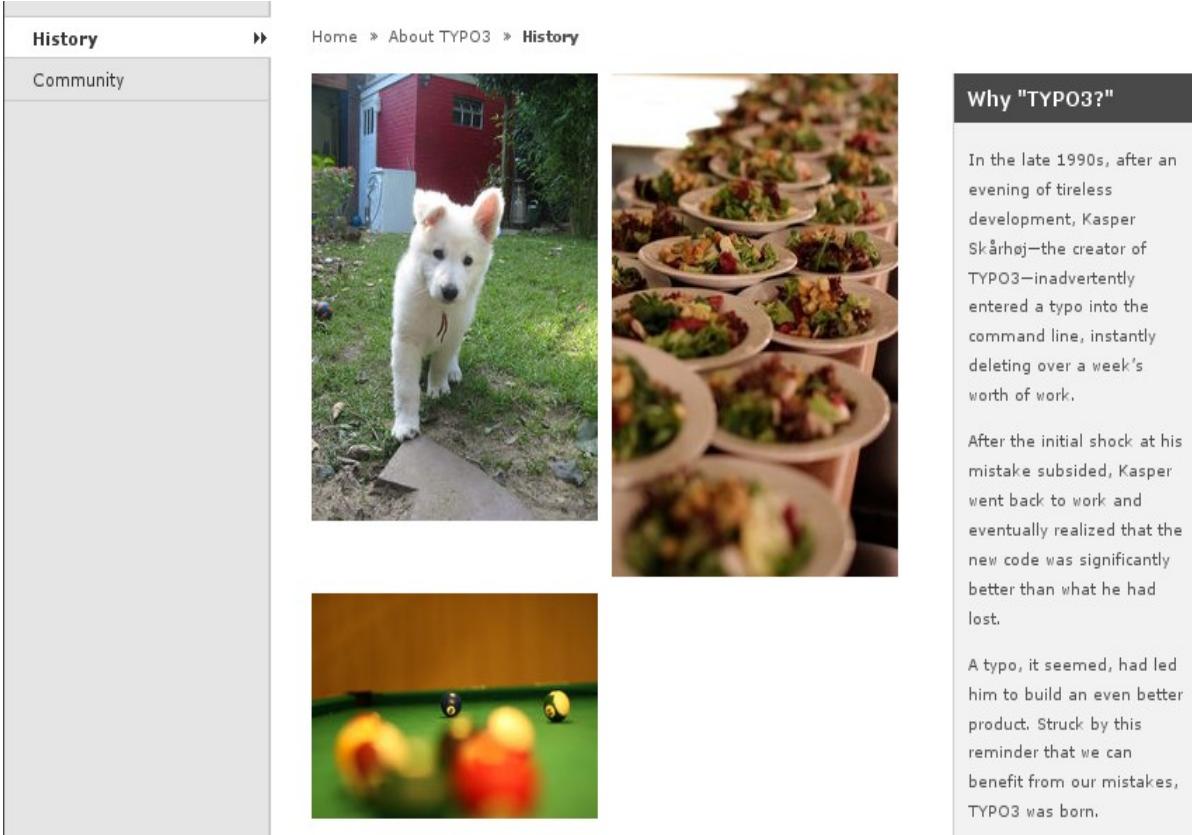


保存すると、そのレコードにファイルが添付されます。おそらくあなたが考えていたのとは違って、それらのファイルが今では uploads/pics/ フォルダにコピーされていることを確認してください。TYPO3 はページコンテンツエレメントに付属した画像をそこに保存します。

Edit Pagecontent on page "History"



そしてフロントページには素敵な画像のかたまりができています：



The screenshot shows a TYPO3 frontend page with a sidebar on the left containing 'History' and 'Community' tabs. The main content area displays a grid of three images: a white dog standing on a path, several plates of salad, and a pool table with balls. To the right of the images is a sidebar with a dark header 'Why "TYPO3?"' and a text block explaining the origin of the name.

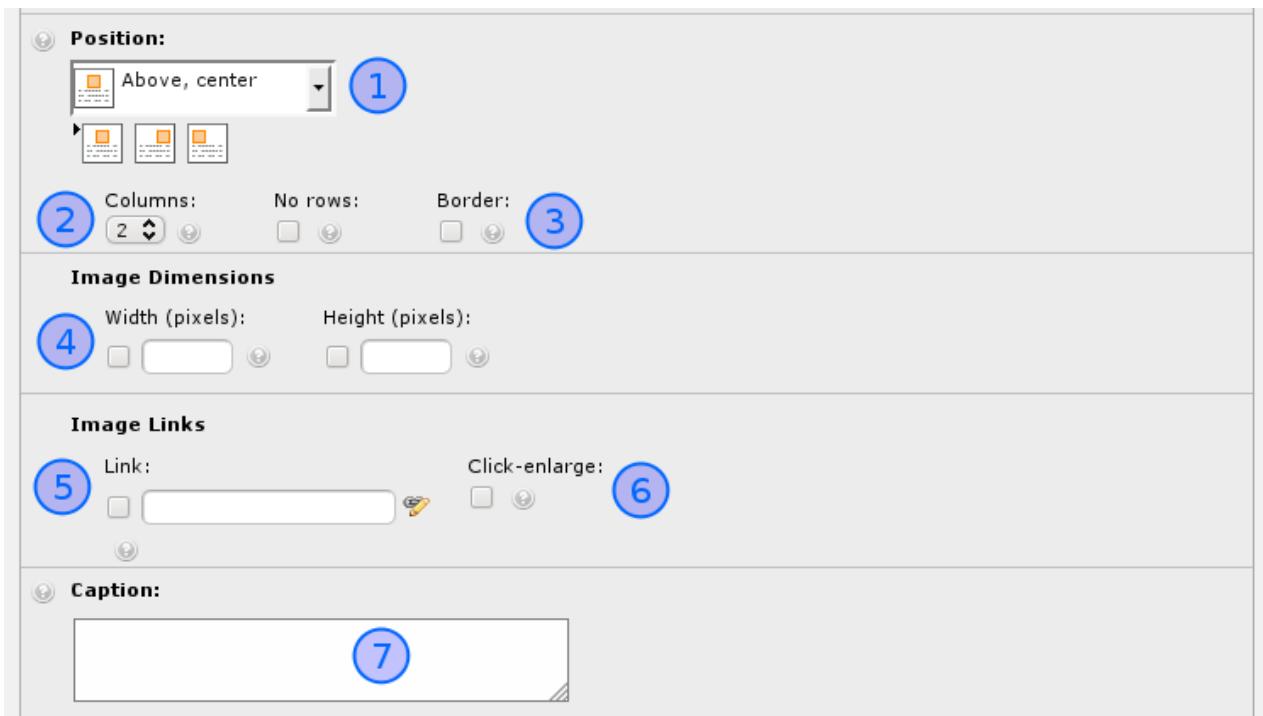
Why "TYPO3?"

In the late 1990s, after an evening of tireless development, Kasper Skårhøj—the creator of TYPO3— inadvertantly entered a typo into the command line, instantly deleting over a week's worth of work.

After the initial shock at his mistake subsided, Kasper went back to work and eventually realized that the new code was significantly better than what he had lost.

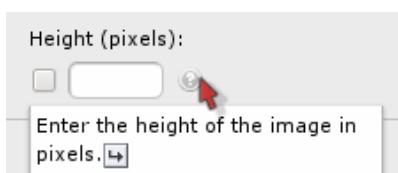
A typo, it seemed, had led him to build an even better product. Struck by this reminder that we can benefit from our mistakes, TYPO3 was born.

TYPO3 ではの画像に関するオプションが本当にたくさんあるのに気づいてください。 Images タブの「Links」ボックス(#5)で画像へのリンクをセットすることができます。ただし、「Click-enlarge」オプション(#6)が選択されていない場合のみです。そのオプションは中に拡大された画像を表示したウインドウを開きます！ ギャラリーを作成するのに素敵な機能です！ 「Caption」フィールドは画像の下に表示するテキストの為のものです。



「Appearance」タブの中にはそれ以外のオプションも存在します。「Border」オプション(#3)は、黒い縁取りで画像を囲みます。大抵の場合よく見るので、優れたオプションです。「Width」フィールド(#4)は画像ブロックの横幅をピクセルで指定します—これも非常に便利です。最も重要なオプションは「Image Alignment」選択ボックス(#1)です。これでTYPO3に画像の塊（思い出してください、画像は3枚あります！）をテキストに対してどの位置に配置するか指示します。当然のことですがこれは「Text w/Image」エレメント・タイプを使うときに一番重要です。二番目には「Number of Columns」選択ボックス(#2)が重要です。なぜならこれによって画像を何列、この場合は「2」列、に配置するか決まるからです。

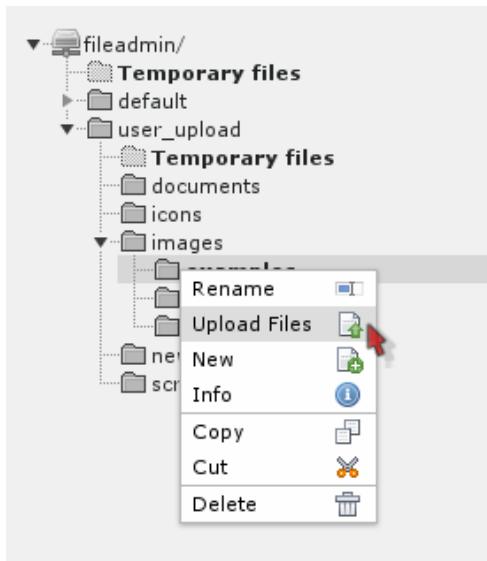
そして最後に覚えておいてください：



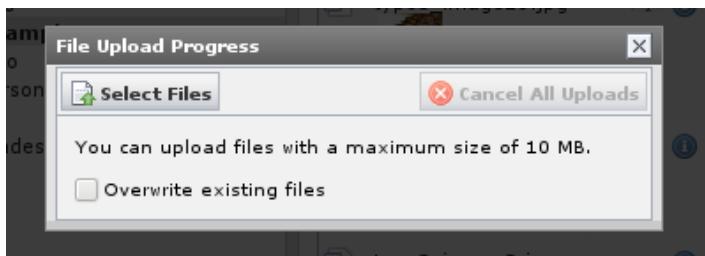
全てのラベルの上にマウスを乗せることができます—簡単にヘルプを参照できます！利用しましょう！

アーカイブに画像をアップロードする

画像をアーカイブする方法の一つはFTPを使うことです。しかしもちろんFileモジュールで直接アップロードすることもできます。フォルダアイコンクリックしてみてください：

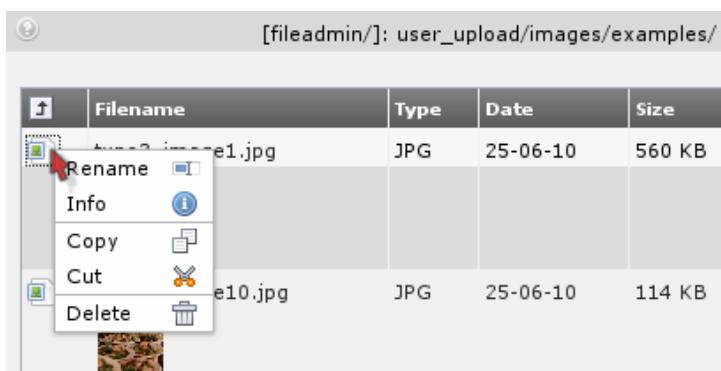


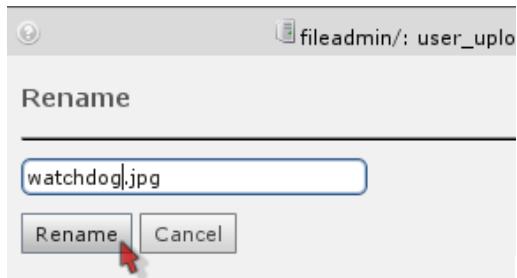
そうすると、複数のファイルを一度にアップロードできるフラッシュがポップアップします：



もしあなたのブラウザがフラッシュをサポートしていない場合は、あなたのユーザー・セッティングでこの機能を無効にすることができます。そうすればシンプルなアップロードフォームが表示されます。

さらに、ファイルは名前を変更したり、コピーしたり削除したり等ができます—全てはすでにおなじみのコンテキスト・メニューの中にある機能によって可能です：



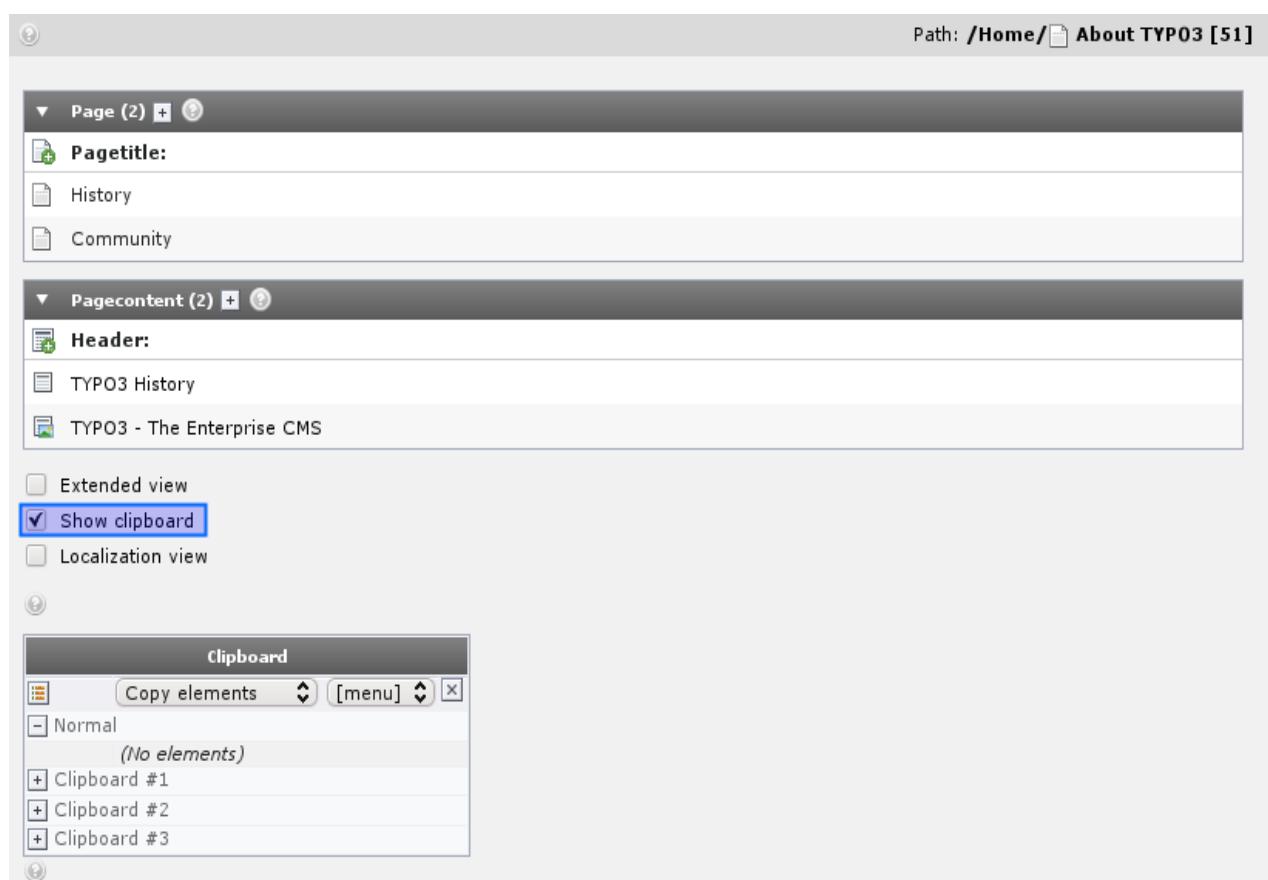


リストモジュールとクリップボード

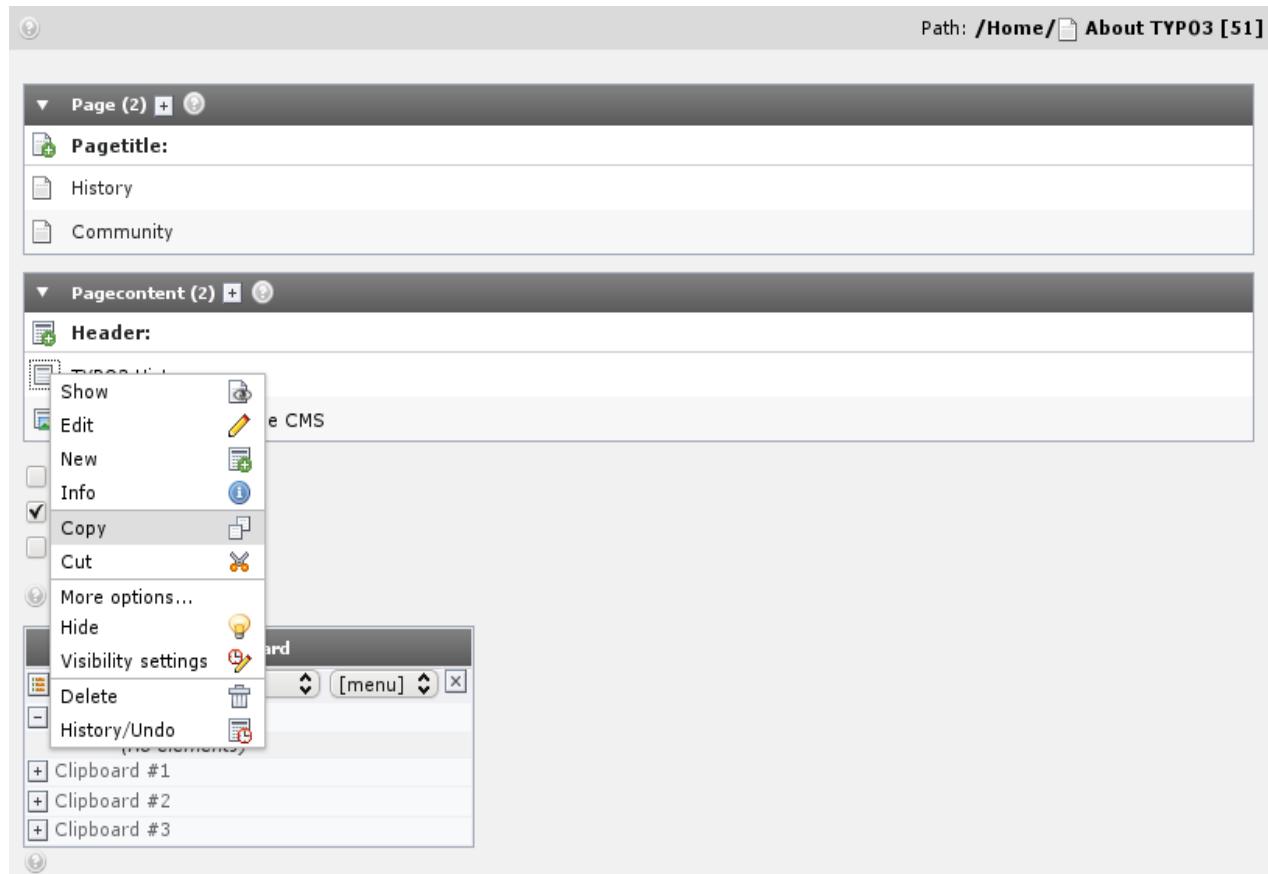
List モジュールはデータベースコンテンツを管理する為の、非常に強力な機能を幾つか備えています。少しの間そのことについて考えて見ましょう：全てのページとページコンテンツに関する仕事はページ・モジュール（そのために設計されています！）で行われました。我々が行ったテンプレートの編集はテンプレート・モジュール（そのために設計されています！）で行われました。しかしより低レベルの、舞台裏で、リストモジュールは、ページやページコンテンツ・エレメント、テンプレート・レコード、ドメインレコード、ユーザーとユーザーグループ、ニュースアイテムや、TYPO3 が扱うことのできるどんなエレメントも同時に扱うことができる究極の場所です！

リストモジュールを効果的に利用する

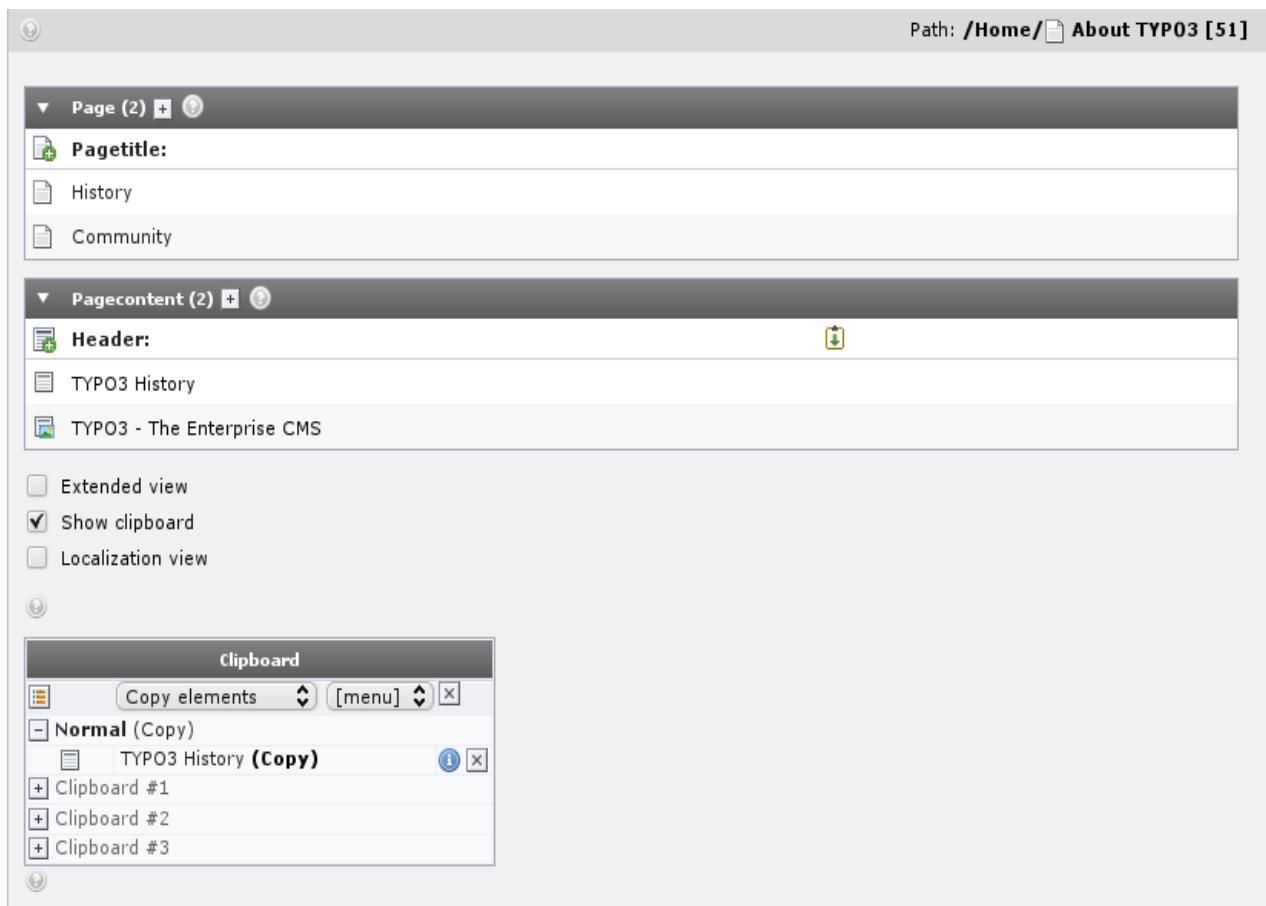
あなたは既に、コンテンツエレメントのあるページから別のページへ移動するのにクリップボードを使ったことがあるかも知れません。しかしその舞台裏で何が起こっているのか確認してみましょう：



「About TYPO3」ページには二つのコンテンツ・エレメントが存在します。ページコンテンツを List モジュールで表示し、「Clipboard」チェックボックスを有効にし、エレメントの「Copy」を選択して見ましょう。

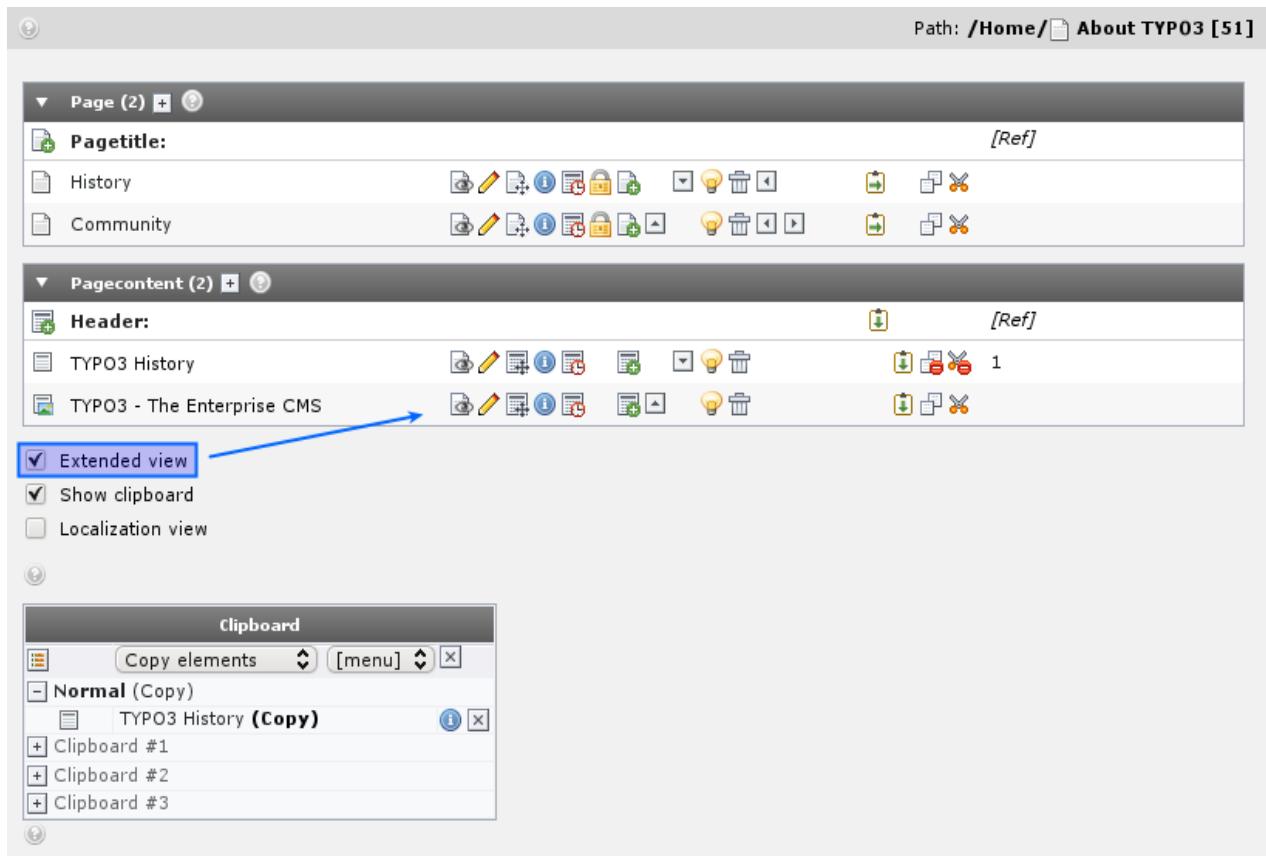


このエレメントが今では表示されているクリップボード（表示されるには List モジュールをリフレッシュする必要があります）に登録されていることに注目してください。



もし他のエレメントを選んだなら、最初のものが取り除かれます。エレメントを「Cut」した場合も同じです—Copyではなく「Cut」に登録されるだけです。

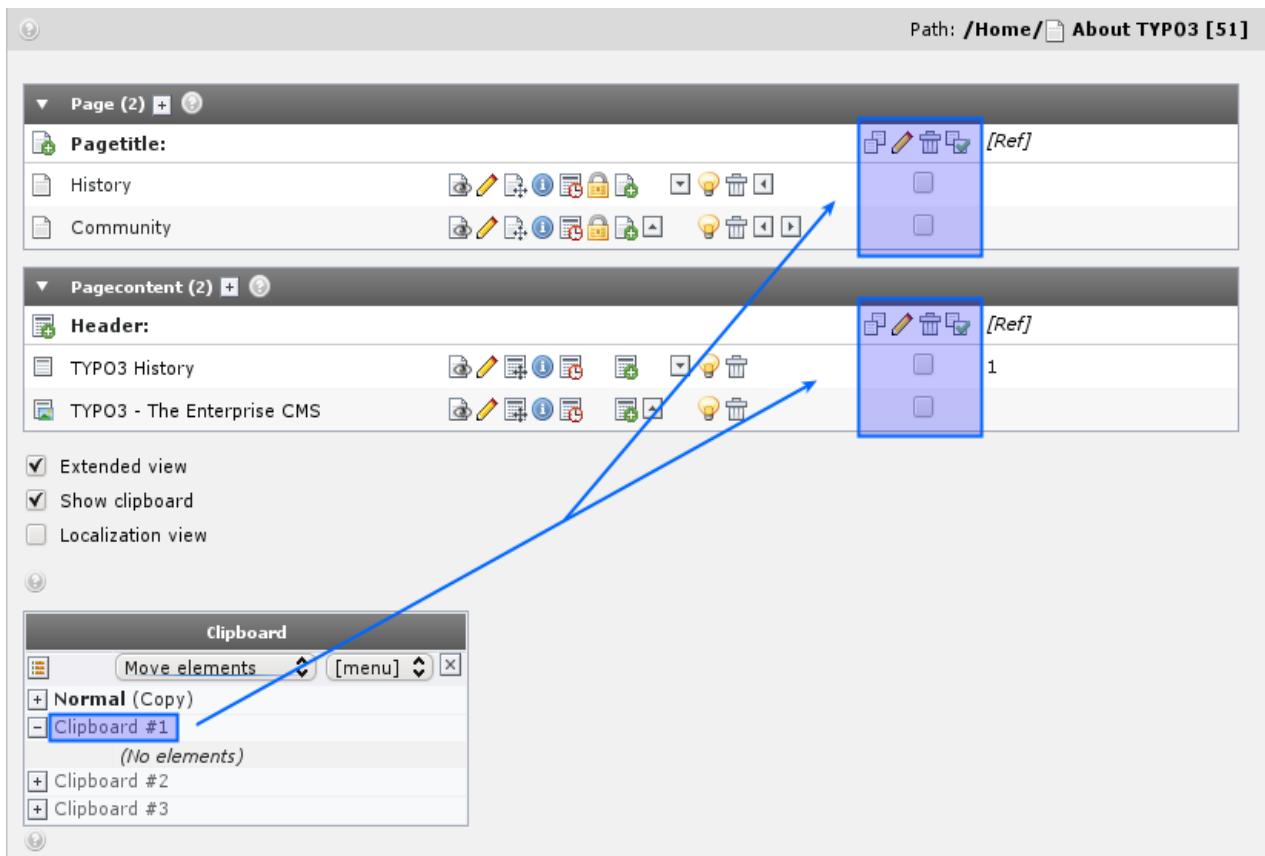
もし「Extended view」チェックボックスを有効にしたならかっこいい小さなボタンが並んだパネル全体が表示されます。そこにはコンテキストメニューを絶えずアクティブにしていなくても、重要なショートカットが全部並んでいます：



これらのボタンで遊んでみてください！

数字付きクリップボード・パッド—たくさんのエレメントを管理する

クリップボードに戻り、今度は「数字付きパッド」の一つを選んでください：



そうするとクリップボードへのエレメントをチェックして選択することができます—これで一度に一つだけでなく複数のエレメントを選択することができます！

最初の二つのエレメントを選択し「Transfer...」ボタンを押します：



それらのエレメントは移動の為、クリップボードに登録されています：



それらを別のページにペーストするのは、たゞねまわっているのではなくそのページに行き（？自信なし）「Paste into」アイコンをクリックします：



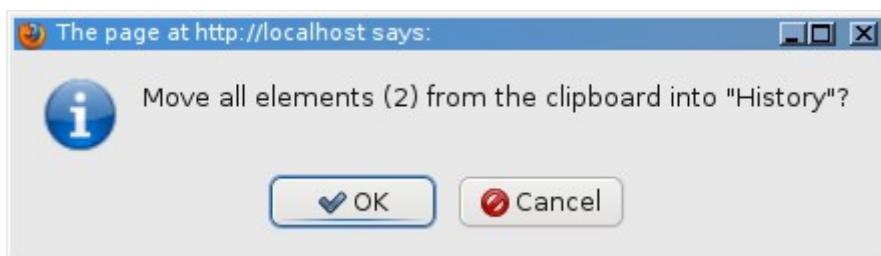
Pagecontent (4)

Header:

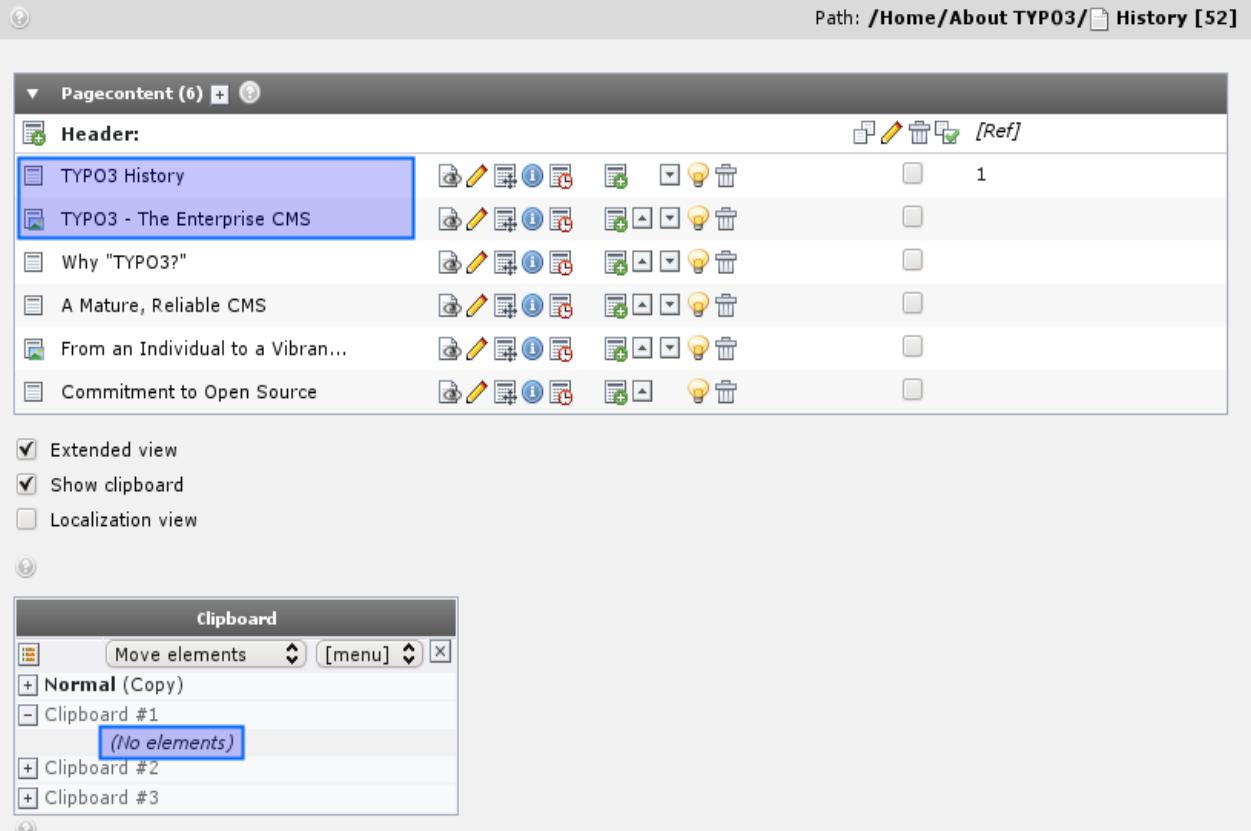
- Why "TYPO3?"
- A Mature, Reliable CMS
- From an Individual to a Vibrant...
- Commitment to Open Source

Paste in clipboard content

警告を確認すると…



…二つのエレメントがページのトップに移動し、クリップボード・ペイン#1が空になっているのに気づくでしょう：



Path: /Home/About TYPO3/ History [52]

Pagecontent (6)

Header:

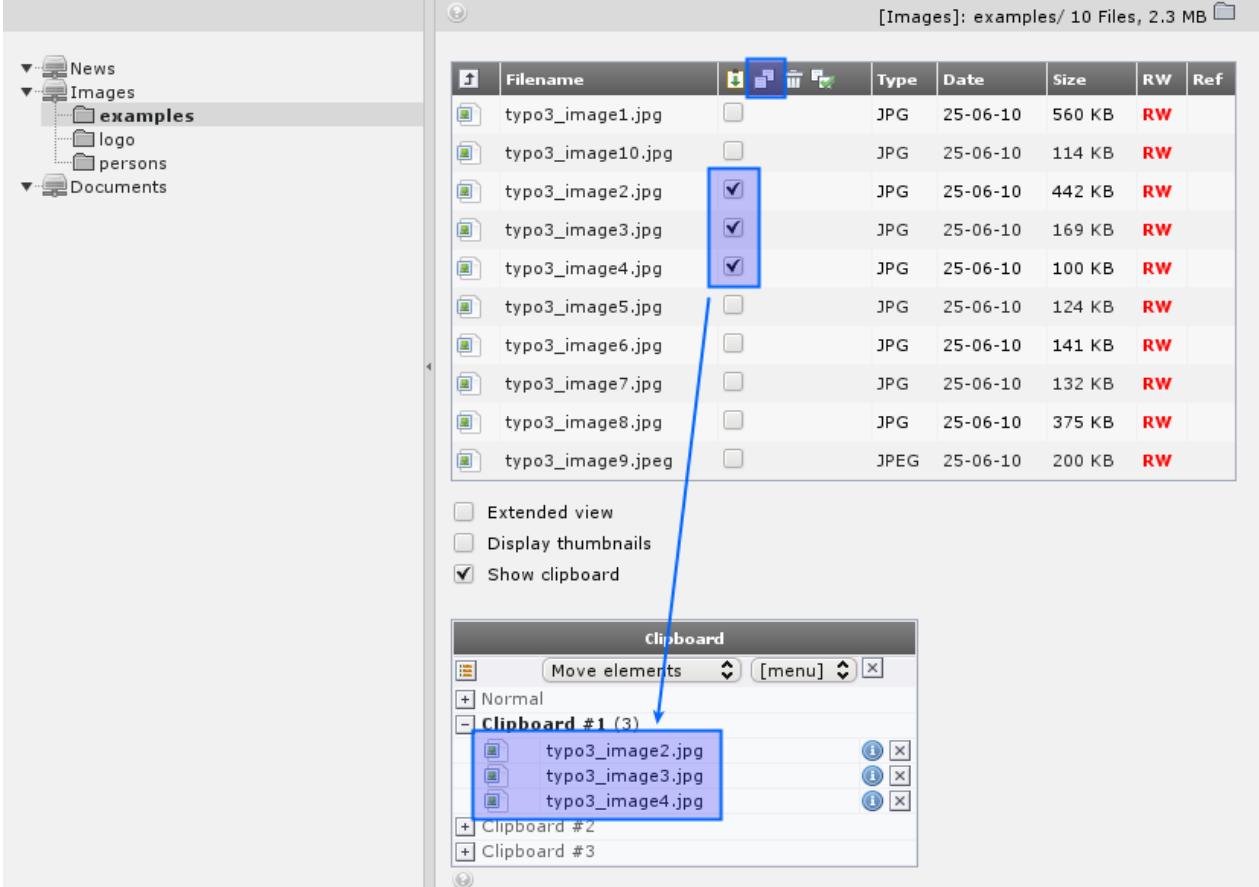
- TYPO3 History
- TYPO3 - The Enterprise CMS
- Why "TYPO3?"
- A Mature, Reliable CMS
- From an Individual to a Vibrant...
- Commitment to Open Source

Clipboard

- Move elements
- Normal (Copy)
- Clipboard #1 (No elements)
- Clipboard #2
- Clipboard #3

ファイルを管理する

Filelist モジュールのファイルに対しても同じことができます。手短な例ですが一同原理であることが分かるでしょう：



The screenshot shows the TYPO3 Filelist module interface. On the left is a tree view of the file structure:

- News
- Images
 - examples
 - logo
 - persons
- Documents

The "examples" folder is selected. On the right is a table view of files in the "examples" folder:

Filename	Type	Date	Size	RW	Ref
typo3_image1.jpg	JPG	25-06-10	560 KB	RW	
typo3_image10.jpg	JPG	25-06-10	114 KB	RW	
typo3_image2.jpg	JPG	25-06-10	442 KB	RW	
typo3_image3.jpg	JPG	25-06-10	169 KB	RW	
typo3_image4.jpg	JPG	25-06-10	100 KB	RW	
typo3_image5.jpg	JPG	25-06-10	124 KB	RW	
typo3_image6.jpg	JPG	25-06-10	141 KB	RW	
typo3_image7.jpg	JPG	25-06-10	132 KB	RW	
typo3_image8.jpg	JPG	25-06-10	375 KB	RW	
typo3_image9.jpeg	JPEG	25-06-10	200 KB	RW	

Three files are selected: "typo3_image2.jpg", "typo3_image3.jpg", and "typo3_image4.jpg". A blue box highlights the checkboxes for these files. A blue arrow points from this selection to the "Clipboard" panel on the right:

Extended view
 Display thumbnails
 Show clipboard

Clipboard

- Move elements
- [menu]

+ Normal

- Clipboard #1 (3)

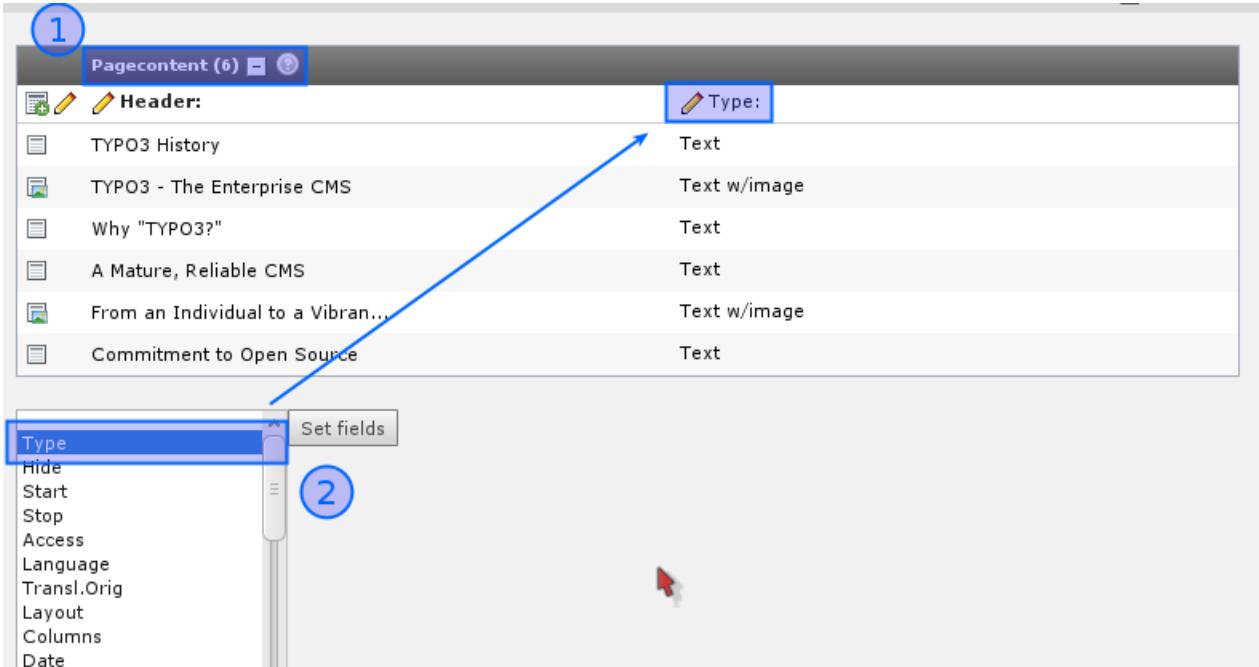
- typo3_image2.jpg
- typo3_image3.jpg
- typo3_image4.jpg

+ Clipboard #2

+ Clipboard #3

選択的編集

リストボックスはエレメント用のチェックボックスを別の目的—選択的複数編集にも使っています。これを有効にするには、まず最初にリストモジュール・テーブルのタイトル(#1)をクリックする必要があります：

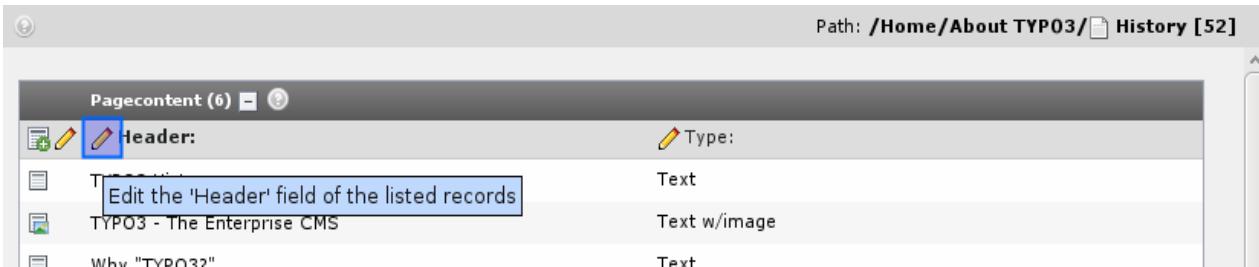


	Type:
TYPO3 History	Text
TYPO3 - The Enterprise CMS	Text w/image
Why "TYPO3?"	Text
A Mature, Reliable CMS	Text
From an Individual to a Vibrant Community	Text w/image
Commitment to Open Source	Text

これによって拡張機能が有効になります。ここで同じように表示させたい追加のフィールドをテーブルから選ぶ事ができます(#2)。ここでは「Type」を選びましょう。これによって既に表示されている「Header」フィールドに加えて「Type」フィールドが現れます。

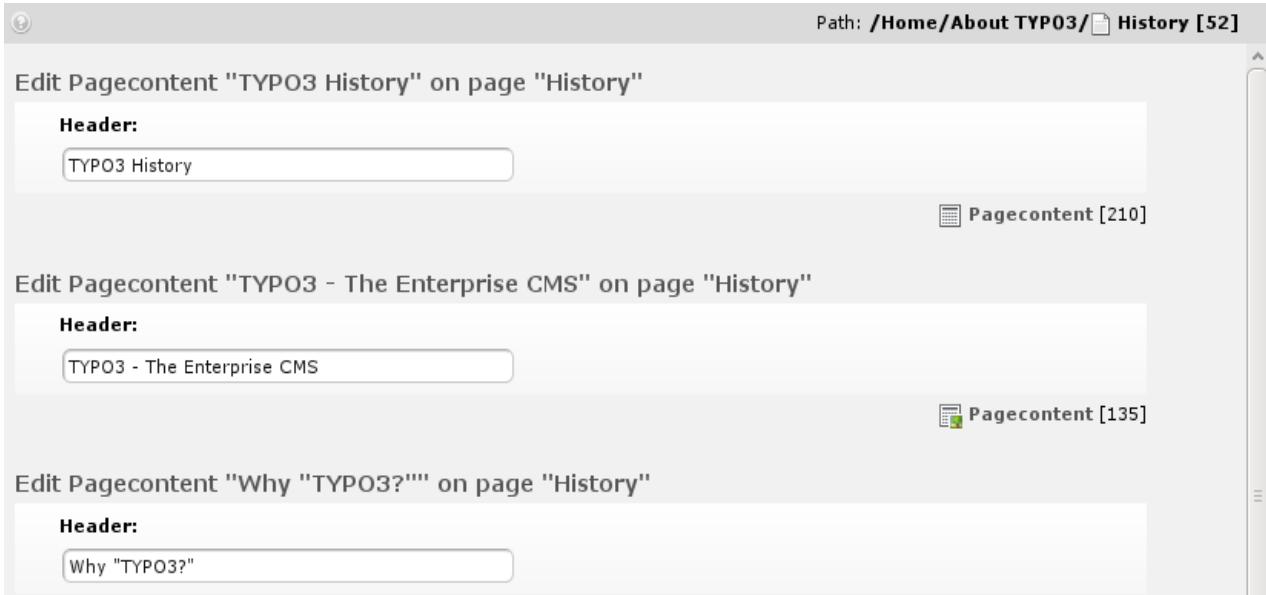
全てのヘッダを編集する

「Header」ラベルの隣にある小さな鉛筆をクリックするだけです：



	Type:
TYPO3 History	Text
TYPO3 - The Enterprise CMS	Text w/image
Why "TYPO3?"	Text

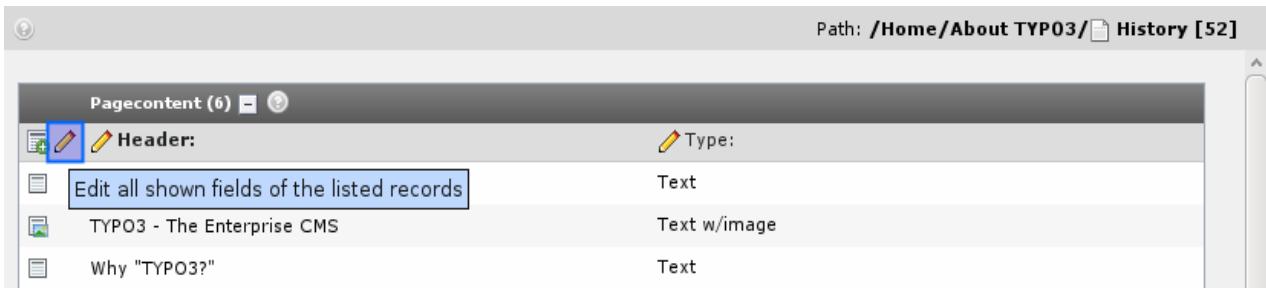
このような表示に変わらはずです：



The screenshot shows three separate 'Edit Pagecontent' dialogs stacked vertically, all sharing the same page identifier 'History'. Each dialog has a 'Header:' field containing text. The top dialog has a 'Header:' field with 'TYPO3 History'. The middle dialog has a 'Header:' field with 'TYPO3 - The Enterprise CMS'. The bottom dialog has a 'Header:' field with 'Why "TYPO3?"'. Each dialog also has a 'Pagecontent []' button at the bottom right.

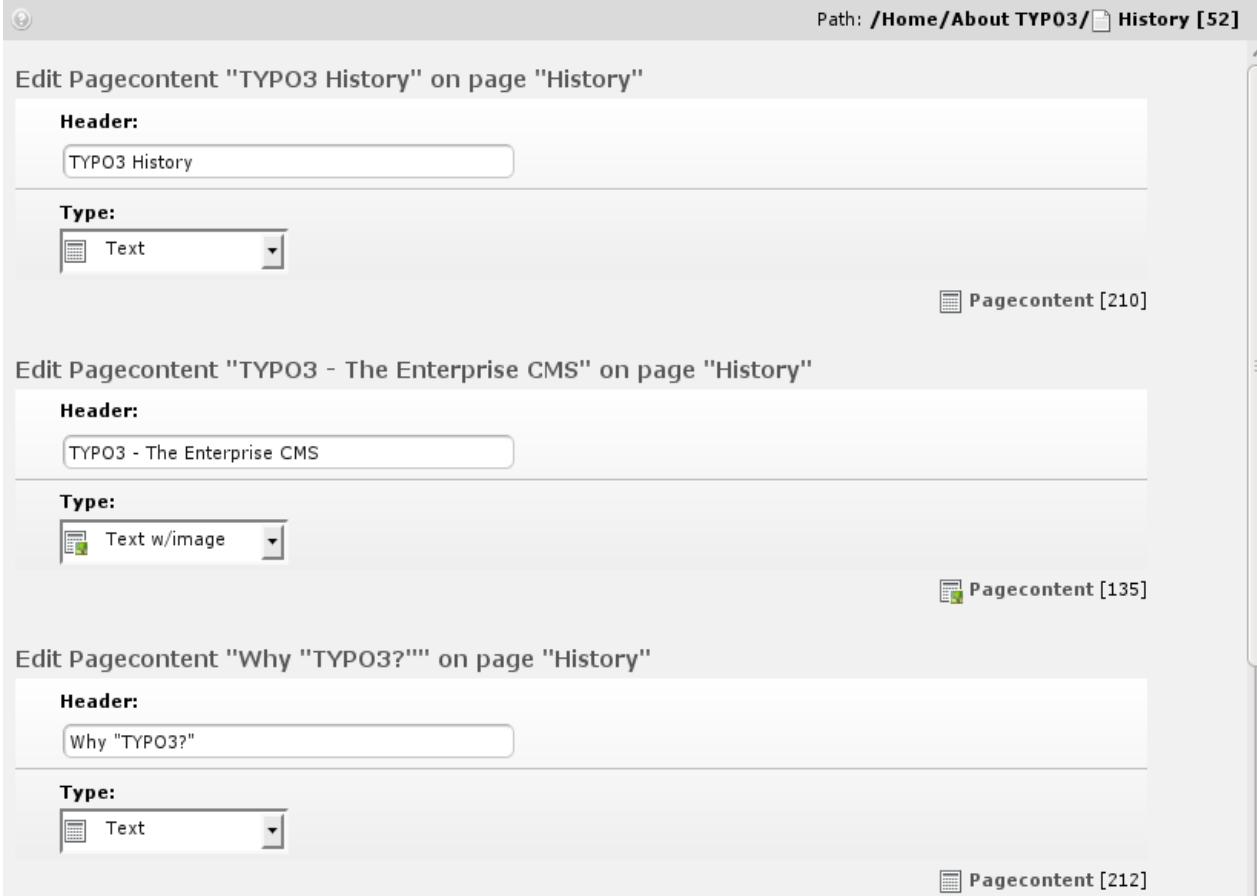
この機能を使えばたくさんのレコードの同じフィールドを一括して編集することができます！ 非常に楽です！

ヘッダーとタイプのフィールドを一度に編集することもできますーもう一つの編集用鉛筆を使うだけです：



The screenshot shows a 'Pagecontent (6)' list view. The list contains three items: 'Edit all shown fields of the listed records' (Type: Text), 'TYPO3 - The Enterprise CMS' (Type: Text w/image), and 'Why "TYPO3?"' (Type: Text). Each item has an edit icon (pencil) to its left. The top item is currently selected.

その結果はほとんど形ですがフィールドが、一つ追加されています：

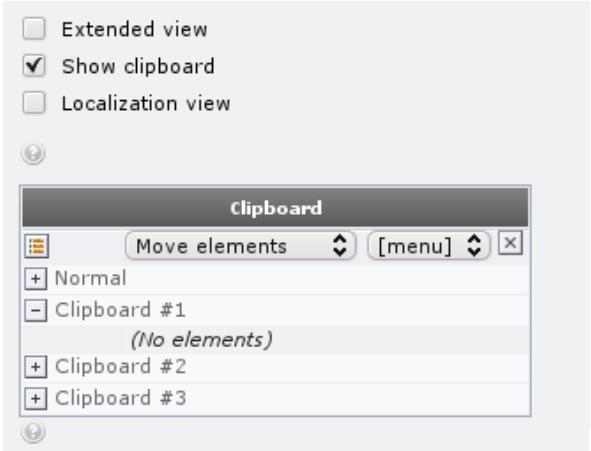


The screenshot shows three separate edit screens for page content:

- Edit Pagecontent "TYPO3 History" on page "History"**
 - Header:** TYPO3 History
 - Type:** Text
- Edit Pagecontent "TYPO3 - The Enterprise CMS" on page "History"**
 - Header:** TYPO3 - The Enterprise CMS
 - Type:** Text w/image
- Edit Pagecontent "Why "TYPO3?"" on page "History"**
 - Header:** Why "TYPO3?"
 - Type:** Text

Each screen includes a "Pagecontent [count]" link at the bottom right.

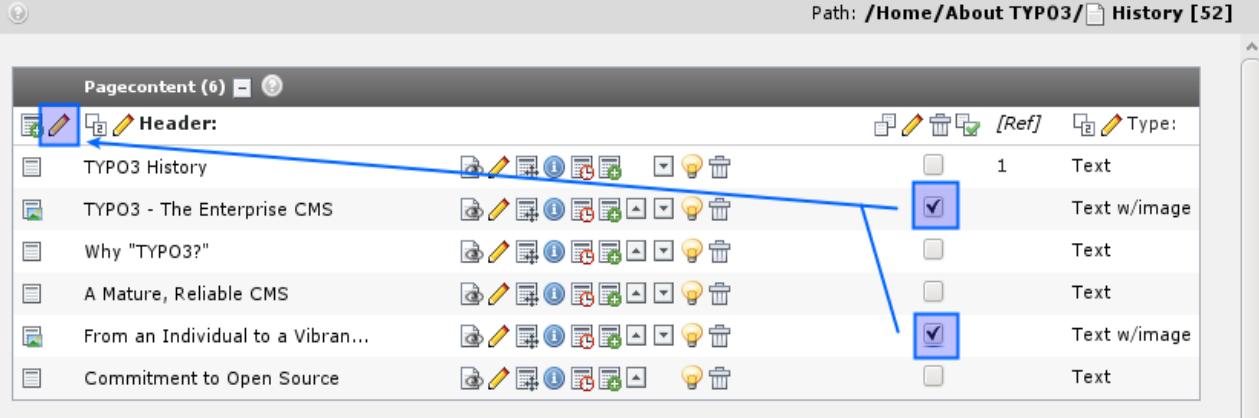
ここで、クリップボードを有効にし、数字つきのクリップボードを選択します：



The screenshot shows the clipboard configuration and the clipboard list:

- Clipboard configuration:**
 - Extended view
 - Show clipboard
 - Localization view
- Clipboard list:**
 - Clipboard #1 (No elements)
 - Clipboard #2
 - Clipboard #3

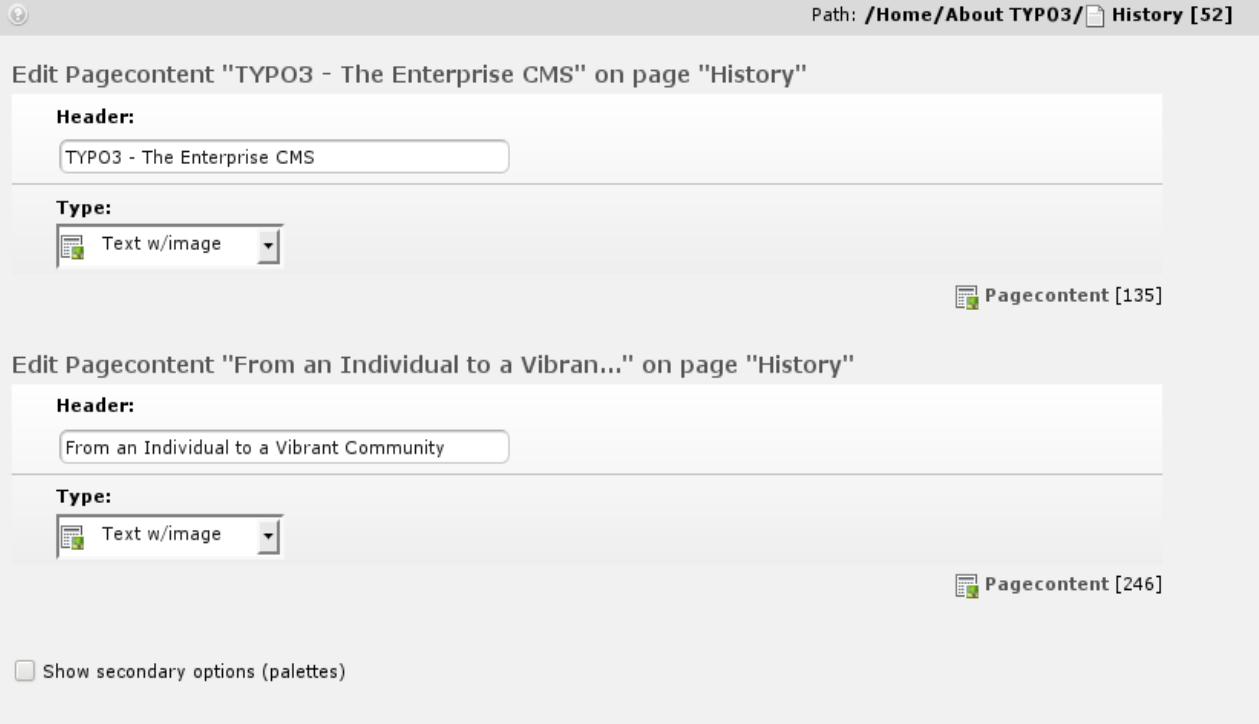
本当にすごいのは、もしリストされているレコードのうち幾つかにのみチェックを入れたなら：



The screenshot shows the TYPO3 Backend's list view for 'Pagecontent (6)'. The list contains six items, each with a toolbar. Two items in the list have checkboxes checked in their toolbars. Arrows point from these checked checkboxes to the corresponding checked checkboxes in the list view, demonstrating that selecting in the toolbar applies to the entire list.

Header:	Type:
TYPO3 History	Text
TYPO3 - The Enterprise CMS	Text w/image
Why "TYPO3"?	Text
A Mature, Reliable CMS	Text
From an Individual to a Vibrant...	Text w/image
Commitment to Open Source	Text

そうしたらー予想してましたか？－チェックを入れた2つだけ表示されます！



The screenshot shows two separate edit forms for page content. The top form is for 'TYPO3 - The Enterprise CMS' and the bottom form is for 'From an Individual to a Vibrant Community'. Both forms have 'Header' and 'Type' fields. In both cases, 'Header' is set to the respective page title and 'Type' is set to 'Text w/image'. The 'Type' field is a dropdown menu with 'Text w/image' selected.

Header: TYPO3 - The Enterprise CMS

Type: Text w/image

Header: From an Individual to a Vibrant Community

Type: Text w/image

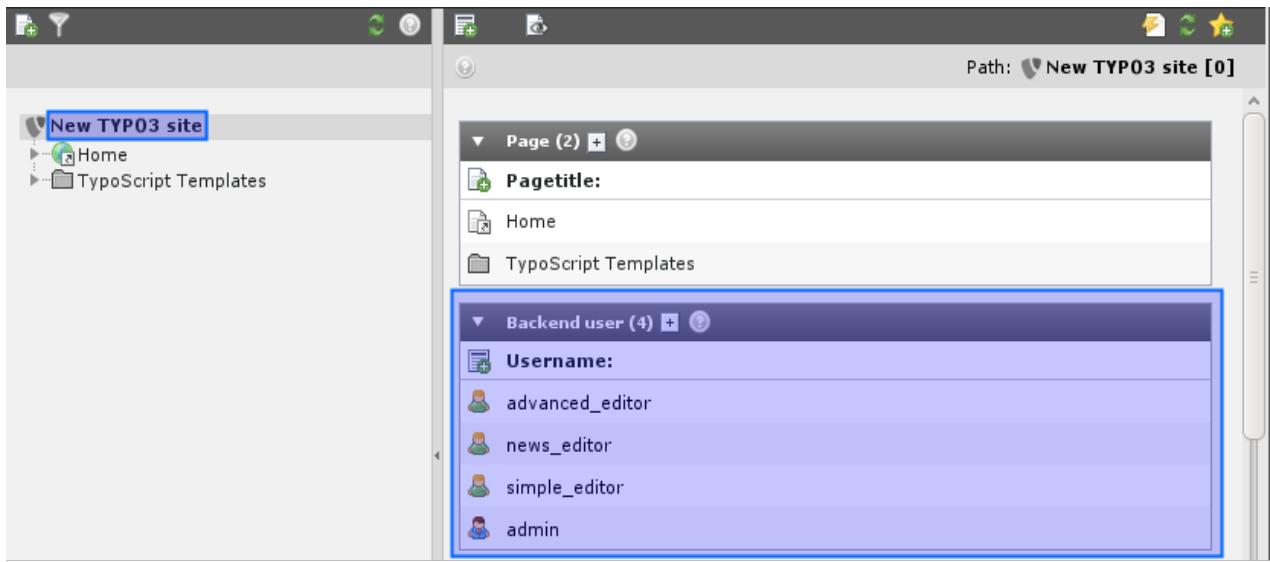
強力なしろものです。

さあ、残りのボタンについては自分で調べてください！ このテスト用ウェブサイトで、それが可能なうちに色々遊んで見てください。

ユーザー管理

分散型の管理

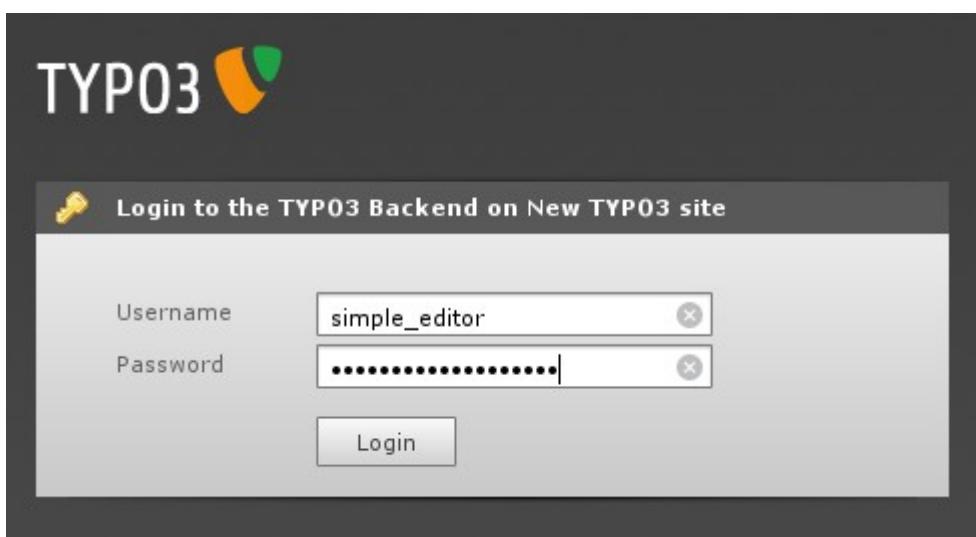
このインストロダクション・パッケージを動かそうとするための最後のステップは、分散型の管理—CMSに求められる核となる機能—について調べることです。我々は既にフロントエンド・ユーザーとバックエンド・ユーザーの違いと、バックエンド・ユーザーがページツリーのルートページに配置されていることについて説明しました：



バックエンド・ユーザーズ

インストロダクション・パッケージには、出荷時に4つのユーザーが設定されています。それぞれに何かできるか見てみましょう。そうするのに一番よい方法は、adminからログアウトし、これらのユーザーの一つとして、一つずつログインして見ることです。

"simple_editor"



"simple_editor" としてログインし、Page モジュールを開き、"Examples" を編集するためを選択すると、このような画面が表示されるでしょう：

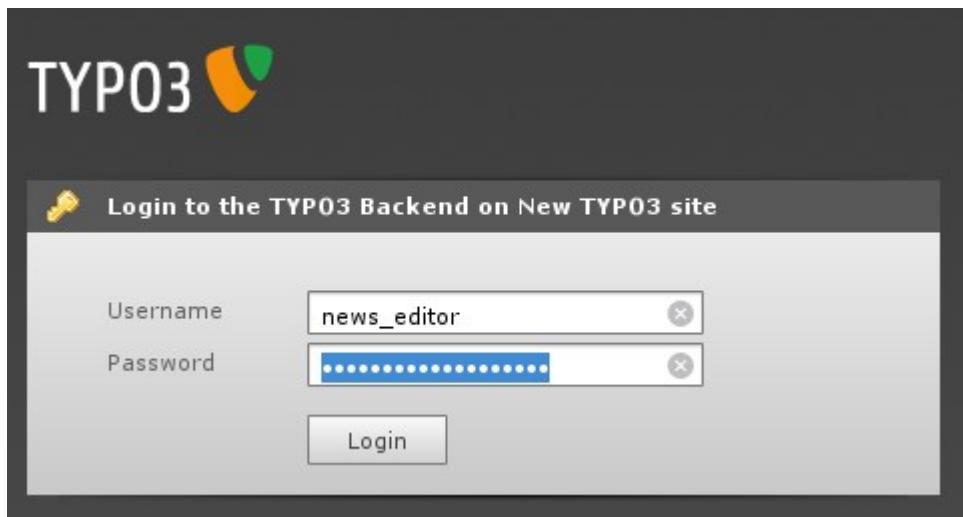
"Examples" ページとそのサブページのみ表示されています。"simple_editor" はウェブ・サイトのそのブランチのみ編集することが許可されています。しかしそれは制限の管理が反映されているだけでなく、システムをより直観的に、よりユーザー・フレンドリーにしています。見れば分かるように、大半のバックエンド・モジュールも simple_editor には表示されていません。左側のメニューには「Page」と「View」モジュールと「File」「Help」モジュールが含まれています。

画像とドキュメントは"Filelist" モジュールで管理されます。"simple_editor" は fileadmin/user_upload/documents/ フォルダにリンクされた "Documents" フォルダだけを見るすることができます。そうやって彼が見る必要のないフォルダは全て隠されています。

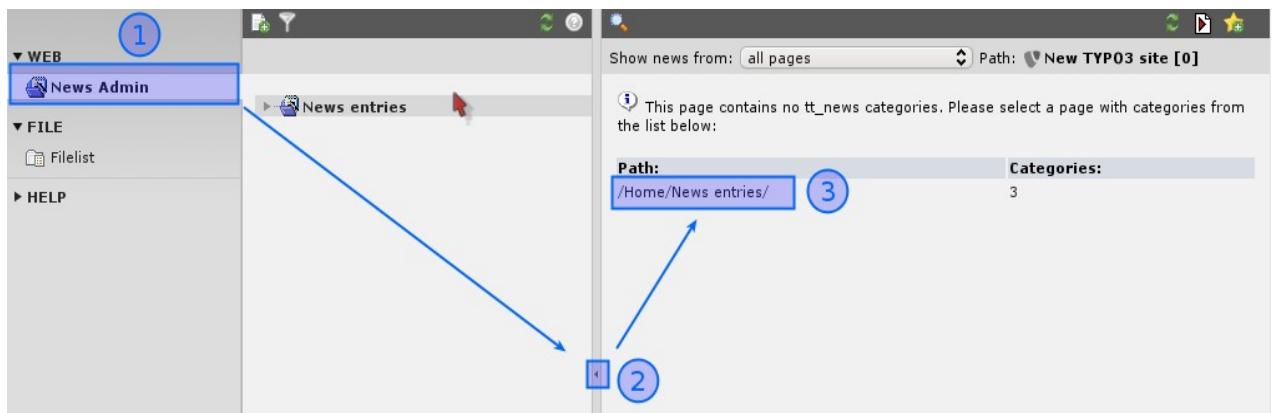
Filename	Type	Date	Size	RW	Ref
TYPO3_Logo_Guide_v3.pdf	PDF	25-06-10	206 KB	RW	

"news_editor"

今度は"news_editor"としてログインしましょう。



"news_editor"はニュースを書くことのみ任されています。彼はそのウェブサイトの他のコンテンツを気にする必要はありません。ニュースは「News-Admin」モジュールを使って管理されます。simple_editorと同じように彼は、彼にとって必要なものだけを見ることができます。



では"News Admin" (#1)モジュールを選択し、サイドバー(#2)を閉じ、表示されたパス (#3)を選択しましょう。"News Admin"モジュールで、ユーザーは新しいニュースを作成し、編集することができます。

今度は"Filelist" モジュールを見てみましょう。

"news_editor" もまた制限されたフォルダ構成の一部を見ることができます。しかし彼は fileadmin/user_upload/news/ にあるドキュメントのみを見ることができます。

"advanced_editor"

今度は"advanced_editor"としてログインしましょう。

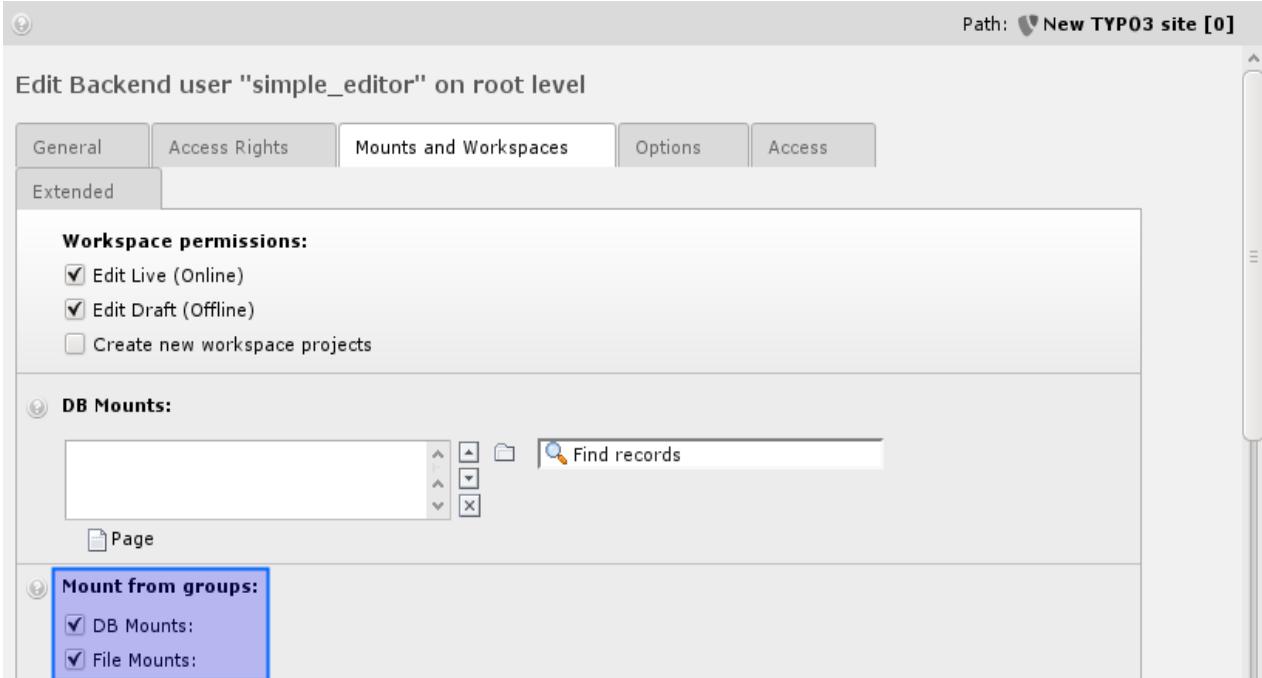
"advanced_editor" は、ずっと多くのモジュールとページ構造を見ることができます。彼は news_editor や simple_editor と同じことができ、それ以上のこともできます。そのように、誰に対してもそれぞれに必要なモジュールやページに制限することが可能です。Filelist モジュールを見てみましょう。

"advanced_editor"は fileadmin フォルダ全体を見ることはできません。しかし"News"と"Documents"に加えて別の"Images"フォルダにアクセスすることができます。

ユーザー・パーミッションの設定

さてユーザーの「simple_editor」と「news_editor」「advanced_editor」はどのように設定されているのか知りたくなりました！「admin」としてログインし、調べて見ましょう。3つのユーザーの「Edit」を選択します。ほとんど同じ設定になっているのが分かると思います。しかしどれも違ったグループが選択されています。

「Mounts and Workspaces」タブで「**Mount from groups:**」の両方にチェックが入っています。そのユーザーがどのページとどのフォルダにアクセスできるかは、グループレベルで設定されている権限に依存します。



The screenshot shows the TYPO3 Backend User Management interface. The title bar says "Edit Backend user "simple_editor" on root level". The top navigation bar has tabs: General, Access Rights, Mounts and Workspaces (which is selected and highlighted in blue), Options, and Access. Below the tabs is an "Extended" button. The main content area has sections: "Workspace permissions:" with checkboxes for Edit Live (Online) and Edit Draft (Offline), and a checkbox for Create new workspace projects (unchecked); "DB Mounts:" with a list box and a "Find records" search bar; and "Mount from groups:" with checkboxes for DB Mounts (checked) and File Mounts (checked). The "Mount from groups:" section is highlighted with a blue box.

パーミッションをグループに基づいて管理するのはよい習慣です。

グループ

simple_editor が属している Simple editors グループを調べてみましょう。

General

"General"タブでグループ名を編集し、そのグループの短い説明を書きとめておくことができます。もし Sub-Group を一つ選択したら、そのグループの全ての権限が引き継がれます。simple_editor のユーザーは「Simple editors」グループと「All users」グループの全ての権限を引き継ぎます。

Path:  New TYPO3 site [0]

Edit Backend usergroup "Simple editors" on root level

General Access Lists Mounts and Workspaces Options Extended

Disable:

Group title: Simple editors

Description:
The simple editors group demonstrates a handy and realistic set of permissions and options for every day ~~backend~~ users who simply manages content and pages. More detailed and advanced features are hidden for 

Sub Groups:

- Administrators
- Advanced editors
- All users
- News editors

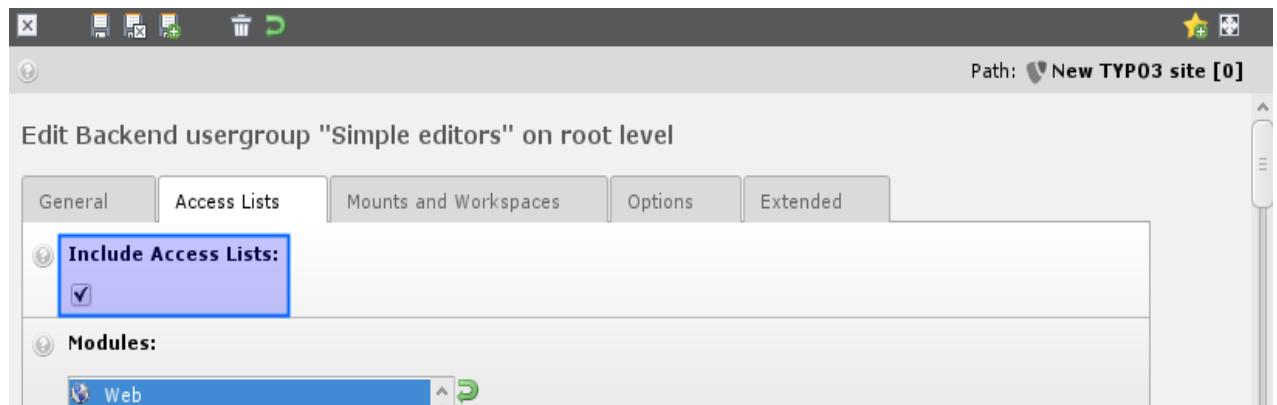
Important: Hold down the CTRL key while toggling elements in this list!

 Backend usergroup [1]

Show secondary options (palettes)

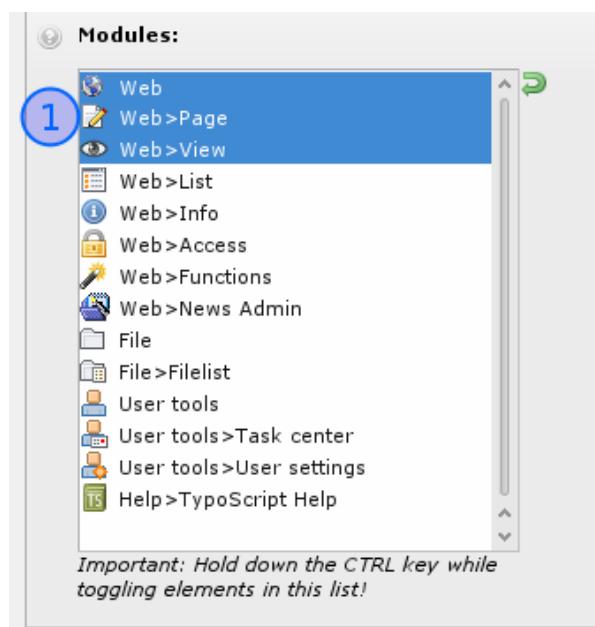
Include Access Lists

「Include Access Lists」はここで注目すべき重要なポイントです。というのは、それこそがこれらのオプションを拾い上げるの理由だからです！ 所属しているグループ全員に適用される DB mounts と Filemounts とは別に。



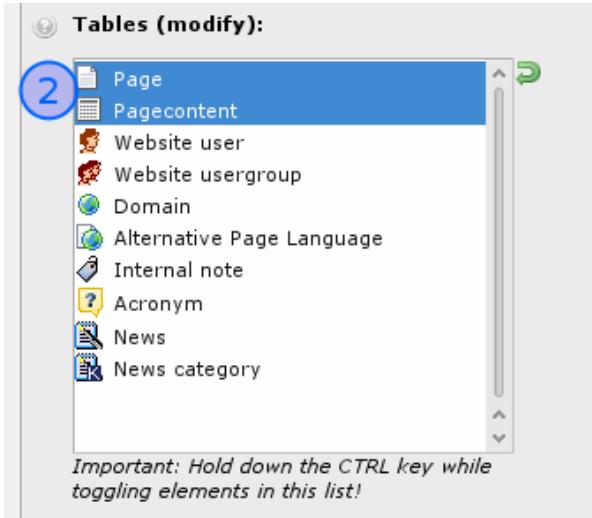
Modules

アクセス・リストを覗くと、(#!) のような画面が見えるでしょう。このグループのメニューは「Page」と「View」モジュール（残念ながらあなたはこれらのコードがメニューで見知っている名前のどれに相当するか、覚える必要があります…）へのアクセスが許可されています。



Tables (modify)

simple_editor が編集を許可されているテーブルは(#2)のように選択されています。

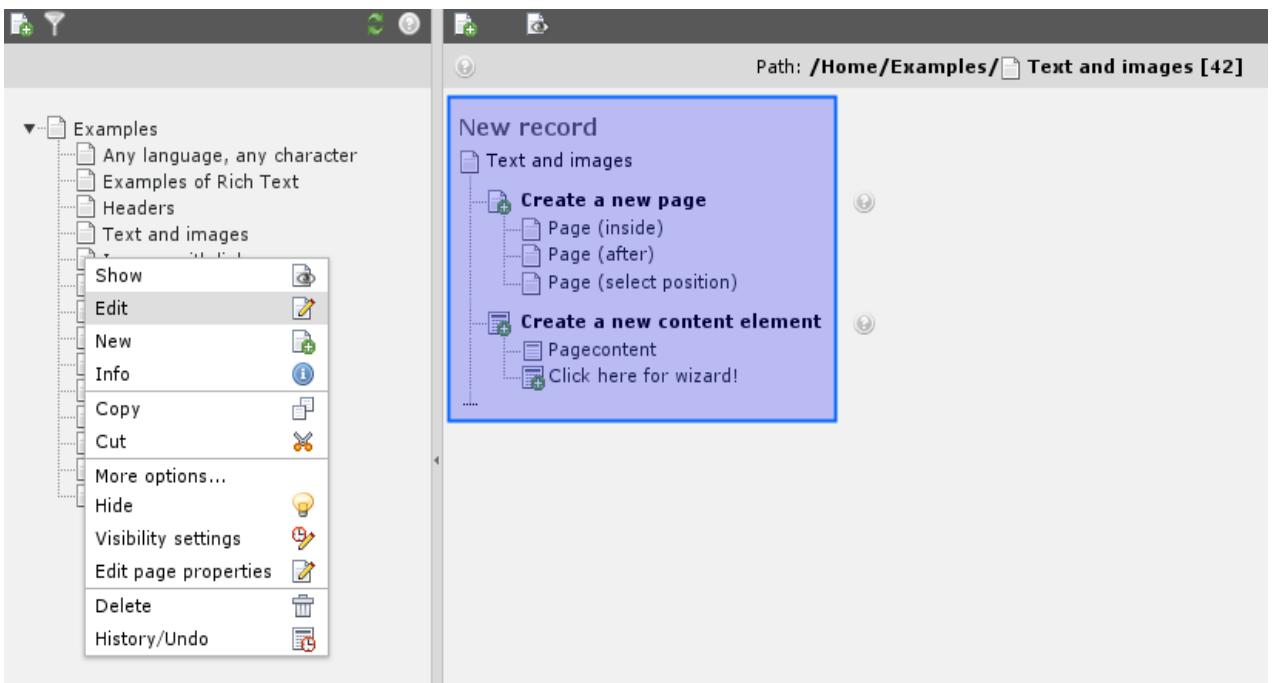


Tables (modify):

- Page
- Pagecontent
- Website user
- Website usergroup
- Domain
- Alternative Page Language
- Internal note
- Acronym
- News
- News category

Important: Hold down the CTRL key while toggling elements in this list!

"simple_editor" としてログインし、新しいエレメントを作成しようとしてみてください：



Path: /Home/Examples/ Text and images [42]

New record

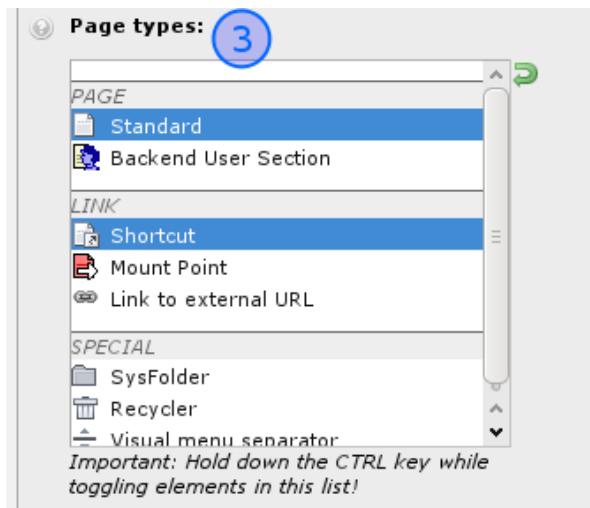
- Text and images
- Create a new page**
 - Page (inside)
 - Page (after)
 - Page (select position)
- Create a new content element**
 - Pagecontent
 - Click here for wizard!

ページとページ・コンテンツのみ作成可能です。ユーザーを作成したりニュース・エレメントを作成することはできません。ページとコンテンツ・エレメントのみです。

なぜこのようになっているのでしょうか？ それは、"simple_editor" はこれ以上のことには関わるべきではないからです！ 彼はニュースを更新する担当では無いからです、いいですか！

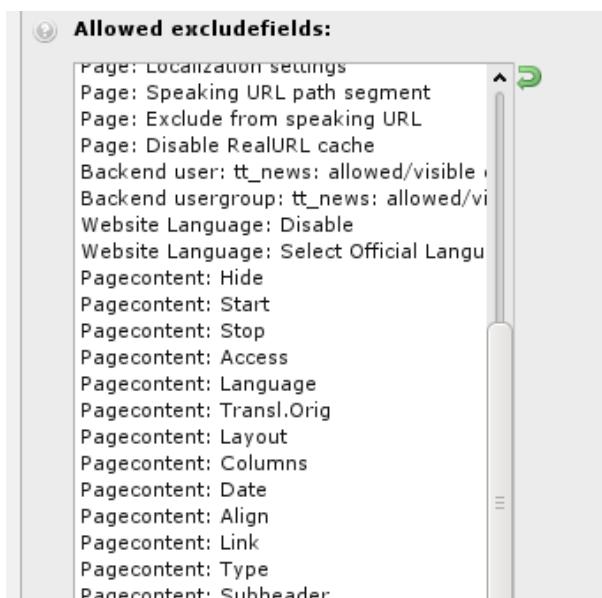
Page types

このフィールド(#3)は Simple editor グループが選択可能なページ・タイプを指定します。しかし、もし simple_editor が新しいページを作成した際は、ページ・タイプを変更することができません。



それは Page-Type が「allowed Excludefields」に含まれていないからです：

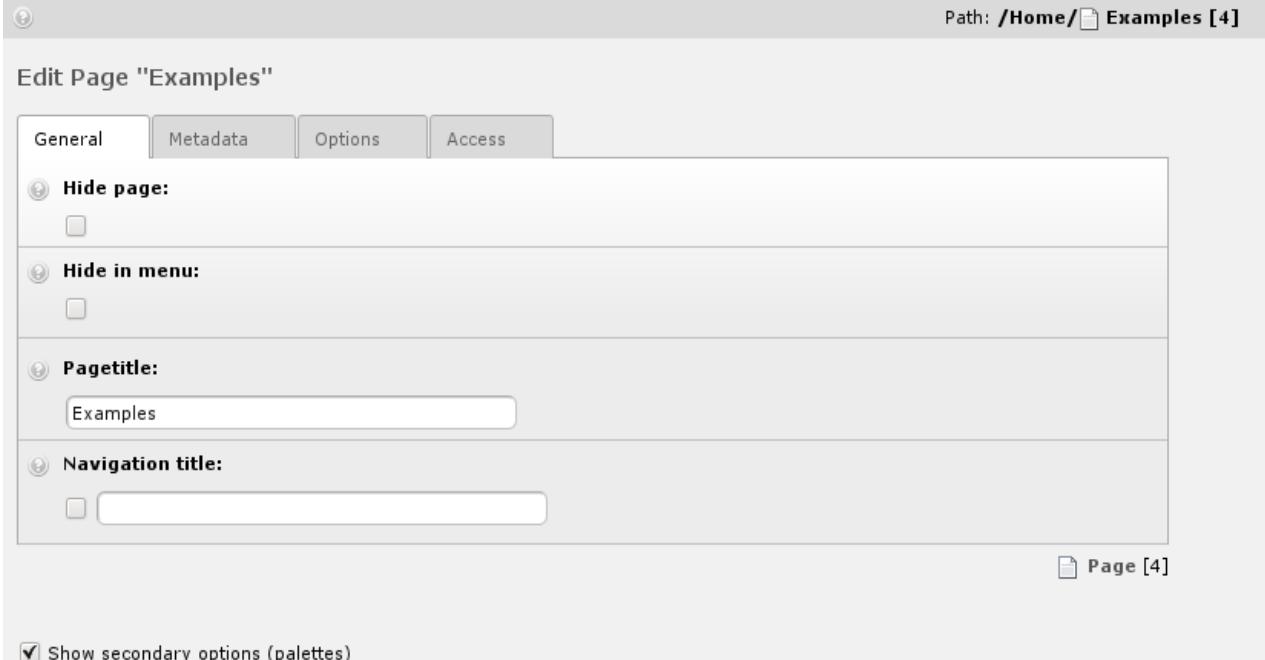
Allowed Excludefields



この一覧は長いです。エクステンションをインストールすればさらに長くなる可能性があります。これは非常に強力です。しかしそれを理解するには少し背景を説明する必要があります。

TYPO3においてテーブルとフィールドの設定（内部的な PHP の配列、\$TCA）がされた際、幾つかのフィールドは「`excludeFields`（除外されたフィールド）」としてマークされます。これはそれらのフィールドは、あなたが特別な許可を与えない限りーそれが「`Allowed Excludefields`」で拾い上げることです！ー編集できなくなっています。

simple_editor がページ・ヘッダを編集する際、どんな画面になっているか見てみるとよく分かります：

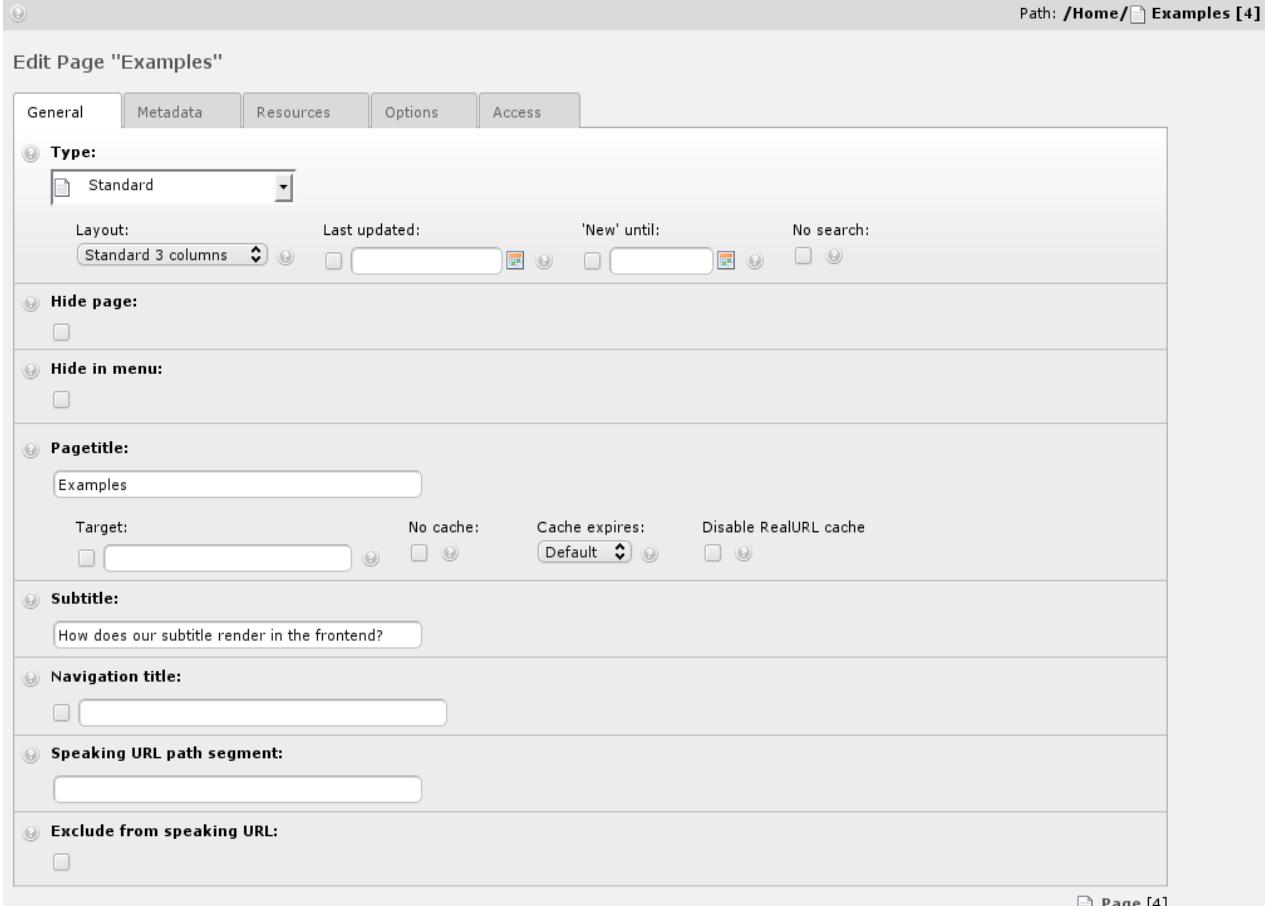


The screenshot shows the 'Edit Page "Examples"' interface. The top navigation bar includes the TYPO3 logo, the page title 'Edit Page "Examples"', and the path 'Path: /Home/ Examples [4]'. Below the title, there are tabs for 'General', 'Metadata', 'Options', and 'Access', with 'General' selected. The 'General' tab contains several configuration fields:

- Hide page:** An input field with a checked checkbox.
- Hide in menu:** An input field with a checked checkbox.
- Page title:** A text input field containing 'Examples'.
- Navigation title:** An input field with a checked checkbox.

At the bottom right of the main content area is a 'Page [4]' button. At the very bottom of the screen, there is a checked checkbox for 'Show secondary options (palettes)'.

それほどたくさんフィールドがありません。特に"admin" でログインした時に表示されるものと比べると。



The screenshot shows the 'Edit Page "Examples"' interface with a more comprehensive set of fields. The top navigation bar and path are identical to the previous screenshot. The 'General' tab is selected, and the configuration fields include:

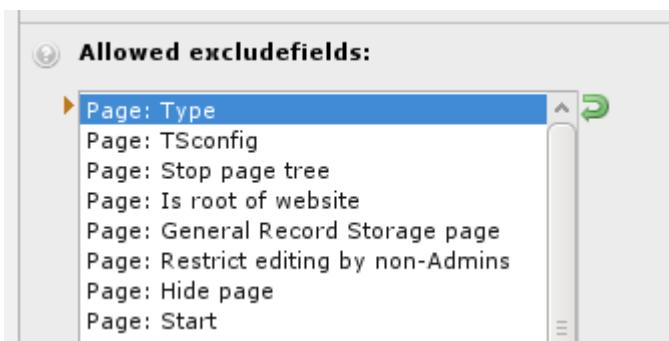
- Type:** A dropdown menu set to 'Standard'.
- Layout:** A dropdown menu set to 'Standard 3 columns'.
- Last updated:** A timestamp and a 'New' until date selector.
- No search:** A checked checkbox.
- Hide page:** An input field with a checked checkbox.
- Hide in menu:** An input field with a checked checkbox.
- Page title:** A text input field containing 'Examples'.
- Target:** A dropdown menu.
- No cache:** A checked checkbox.
- Cache expires:** A dropdown menu set to 'Default'.
- Disable RealURL cache:** A checked checkbox.
- Subtitle:** A text input field containing 'How does our subtitle render in the frontend?'.
- Navigation title:** An input field with a checked checkbox.
- Speaking URL path segment:** An input field.
- Exclude from speaking URL:** An input field with a checked checkbox.

At the bottom right of the main content area is a 'Page [4]' button.

この違いの理由は

- ページの大半のフィールドは"excludeFields"としてマークされているので、デフォルトでは編集できなくなっています—そして
- simple_editor が権限を引き継いでいる All Users グループには、これらの"excludeFields"のうちの少ししかアクセスが許可されていません。

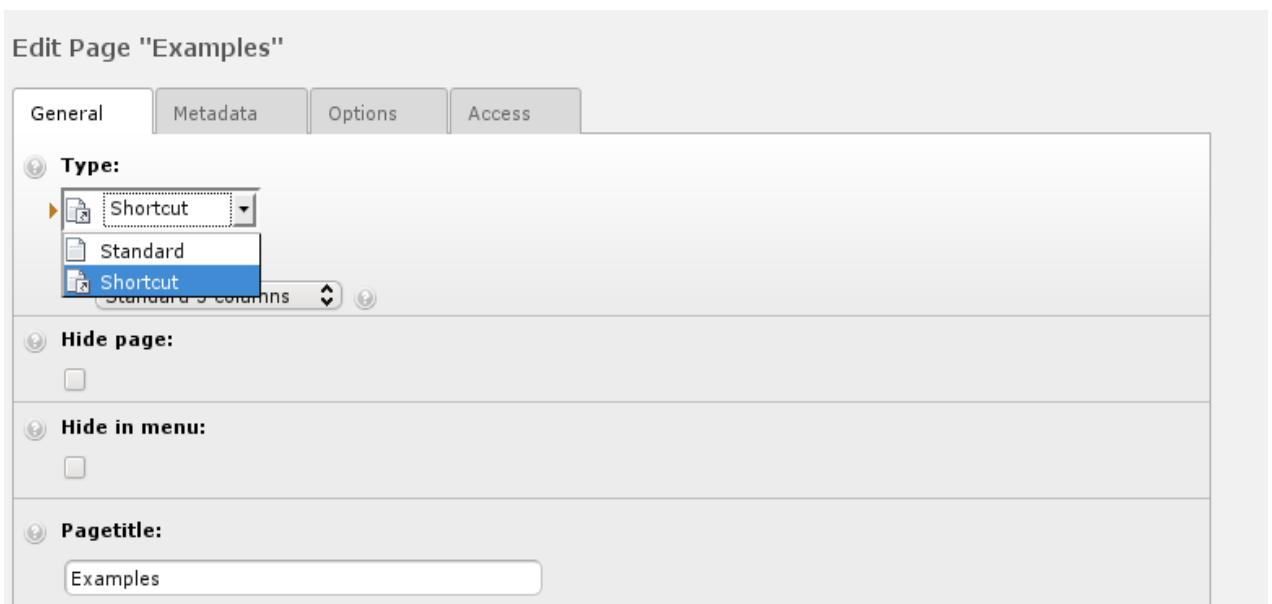
では simple_editor グループを編集し、Page-Type フィールド("Page: Type")を選択し、グループを保存しましょう。



Allowed excludefields:

- Page: Type
- Page: TSconfig
- Page: Stop page tree
- Page: Is root of website
- Page: General Record Storage page
- Page: Restrict editing by non-Admins
- Page: Hide page
- Page: Start

そして simple_editor としてログインし、page レコードを編集しましょう。



Edit Page "Examples"

General Metadata Options Access

Type:

- Shortcut
- Standard
- Shortcut

Hide page:

Hide in menu:

Page title:

Examples

今度は simple_editor は page-type を編集することができます。しかし page types のセクションで設定されていたように、standard と shortcut の選択肢しかありません。

Explicitly allow/deny field values:



Pagecontent: Type:

- [Deny] Special
- [Deny] Header
- [Deny] Text
- [Deny] Text w/image
- [Deny] Image
- [Deny] Bullet list
- [Deny] Table
- [Deny] Filelinks
- [Deny] Form
- [Deny] Search
- [Deny] Login
- [Deny] Multimedia
- [Deny] Media
- [Deny] Textbox

グループに対してどのタイプのコンテンツ・エレメントの使用を許可するか、制限することができます。もある編集者に対して `tt_news` のようなプラグインの使用を許可する場合は、タイプの"Insert Plugin"と、サブセクション"Pagecontent: Plugin:"で使用するプラグイン自体を許可することが重要です。



Pagecontent: Plugin:

- [Deny] Indexed search
- [Deny] News



作用を反転させる

この設定の働きをインストール・ツールで反転させることができます。

`[BE][explicitADmode] = explicitAllow` をセットすると、グループに対して許可しないタイプを選ぶのではなく、許可するコンテンツ・エレメントを選択する必要があります。

実際、そうすることをお勧めします。一つには、デフォルトでは一つも許可されないため、より安全です。加えてより直観的にパーミッションを設定することができます（許可を外していくのではなく、与えていくので）。

DB Mounts

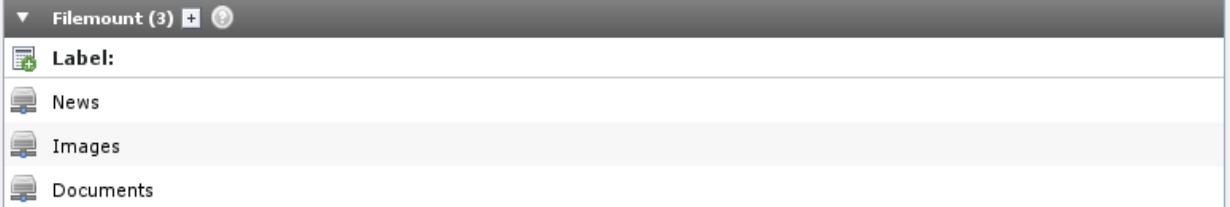
DB mounts (データベース・マウント)は、ユーザーがページツリーの特定の場所にしかアクセスできないように制限するために使います。それぞれのマウントは、ツリー上のページに一致します。ユーザーはマウントされたページとそれぞれのサブ・ページにのみアクセスできます。



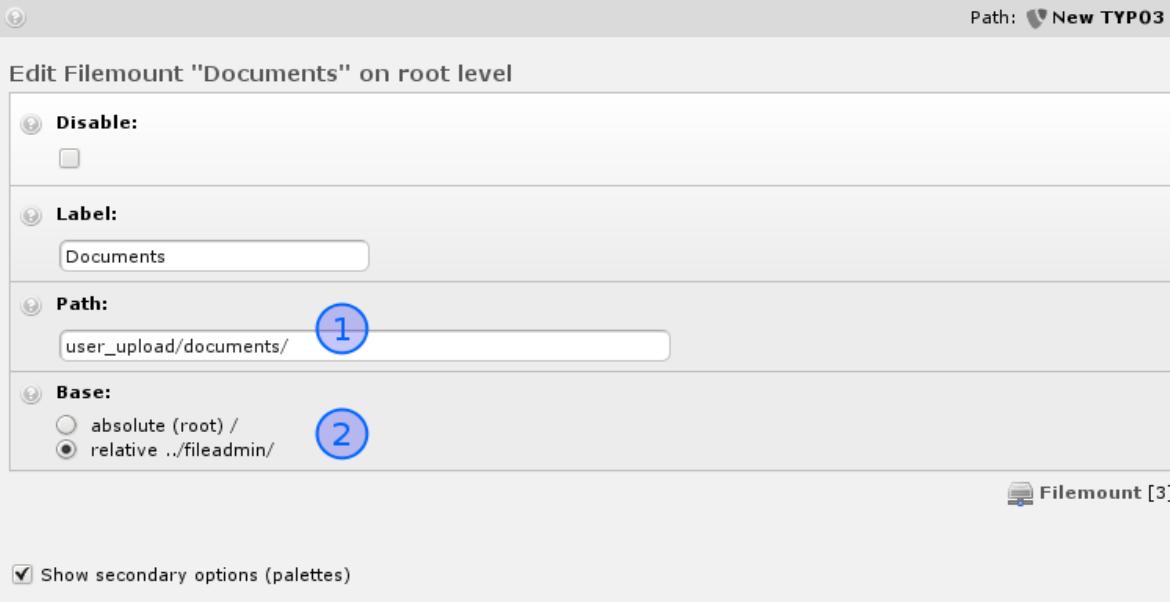
お分かりのように特定のユーザーにページ・ツリーの特定の部分へのアクセス許可を与えるのにこれ以上簡単な方法はありません—フィールドの値にそのページをセットするだけです。あるいは2ページでも！ あなたは好きなだけ"DB mounts"を追加することができます！

File Mounts

simple_editor グループに割り当てられたファイル・マウントは同じくページ・ツリーのルートに作成されたシンプルなレコードに関係付けられています：



それを編集してみれば、それがいかに論理的に設定されているか分かります：

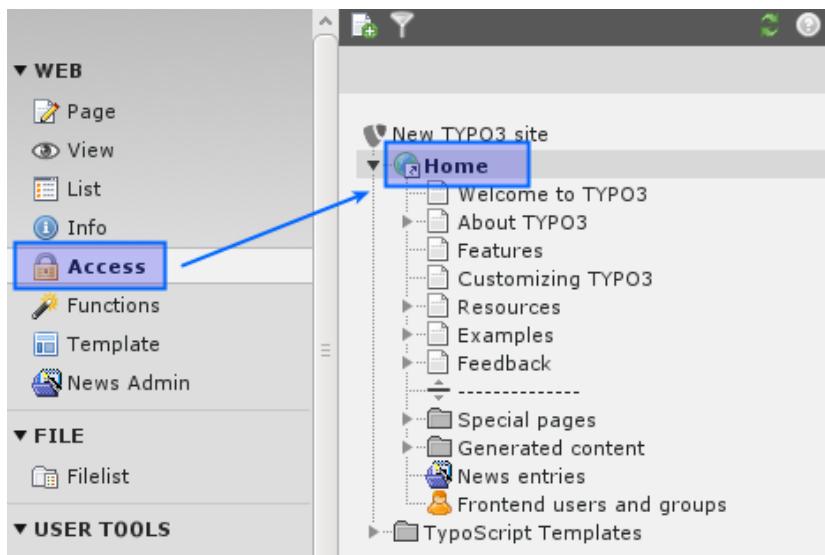


単に、"user_upload/documents/" ディレクトリが PATH として入力され(#1)、"BASE" フィールドでそれを"fileadmin/" ディレクトリ配下の相対的パスとして解釈するよう設定しています(#2)。単純です。このレコードに関連付けられたユーザーは、Filelist モジュールで、このディレクトリがマウントされることになります！

ページ・パーミッション

"DB mounts"に関する注意点が一つーもしユーザーが DB マウントされたページおよびそのサブ・ページのリード・アクセス・パーミッションを持たない場合は、あなたがどのように設定しようが関係ありませんー機能しないでしょう！ では、リード・アクセスとは何でしょう？ それぞれのページは UNIX サーバーにおけるファイルシステムのようなアクセスの為のパーミッション設定ー持ち主のユーザーがいて、持ち主のグループがいて、そしてそれに異なる 5 種類のカテゴリ：ページの読み取り、ページの編集、ページの削除、サブページの追加、ページコンテンツの追加、のパーミッション設定が存在します。通常はデフォルトの設定のままで十分です。アクセスを許可するのに DB マウントを使うのが最も簡単な方法でしょう。何かうまくいかないことに遭遇したら、単に全てのパーミッションを"on"にセットしましようーthat will make green starts over the full line (下図を参照)。もちろん、この一部始終を知りたければ、[Inside TYPO3 document](#) に進みなさいーここで難しい説明が得られるでしょう。

おそらく、どのようにページ・パーミッションを設定すればよいかを説明するには、ページ・ツリーの現在のパーミッションがどうなっているかを見るのが一番でしょう。 「Access」 モジュールで確認できます。



もし「admin」欄一つだけ表示されているならば、一番上のドロップダウンで「User overview」の代わりに permissions を選択する必要があります。

Permissions 

Path: / Home [1]

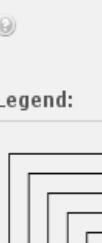
Permissions

Depth: 1 levels 

	Owner	Group	Everybody	Lock
Home	      advanced editor	     All users	     	[+]
Welcome to TYPO3	      advanced editor	     All users	     	[+]
About TYPO3	      advanced editor	     All users	     	[+]
Features	      advanced editor	     All users	     	[+]
Customizing TYPO3	      advanced editor	     All users	     	[+]
Resources	      advanced editor	     All users	     	[+]
Examples	      advanced editor	     All users	     	[+]
Feedback	      advanced editor	     All users	     	[+]

Special pages	      [deleted]	     All users	     	[+]
Generated content	      advanced editor	     All users	     	[+]
News entries	      advanced editor	     All users	     	[+]
Frontend users and g...	      advanced editor	     All users	     	[+]

Legend:



1 Show page: Show/Copy page and content.
2 Edit content: Change/Add/Delete/Move content.
3 Edit page: Change/Move page, eg. change pagetitle etc.
4 Delete page: Delete page and content.
5 New pages: Create new pages under this page.

Definition: 'content' is records from all tables on a page - except from records from the table 'pages' (Pages).

 : Access Granted
 : Access Denied

どのユーザーとグループがどのページを編集できるか、一目で分かります。allow/deny アイコンをクリックすると、パーミッションを変更することができます。

ページの所有権を確認していくと、simple_editor が幾つかのページを実際に所有していることが分かります。彼がそのページを作成したのかも知れません。あなたがページを作成すると、自動的にあなたがそのページの所有者になります。しかし一番重要なポイントは「All users」グループが全てのページのオーナー・グループであることです。そして「All users」は「Simple editors」のサブグループであると同時に「Advanced editors」のサブグループでもあるため、そのグループの全てのメンバーはそれらのページにアクセスすることができます。しかし彼らはそれぞれの DB マウント内でのみ作業するよう制限が掛かったままです。しかしこの設定では、ページのオーナーだけが削除できるようになっています。

もし編集者が新しいページを作成すれば、彼がそのページのオーナーとなり、彼のメイングループ（複数のグループに所属している場合は一つ目のグループ）がオーナーグループとしてセットされます。しかし、Page TypoScript の設定によってデフォルトを変更してもかまいません。

その page TypoScript の設定を覗いてみましょう。admin ユーザーとして「Home」ページを編集し、「Resources」タブを選択します。

Path: / Home [1]

Edit Page "Home"

General Shortcut Resources Options Access

TSconfig:

```

TCEFORM.tt_content.section_frame
addItems {
    30 = Frame 3, width 2/3
    31 = Frame 4, width 1/3
}

// If an editor creates a page it should be visible to all editors
TCEMAIN {
    // group "all users"
    permissions.groupid = 5

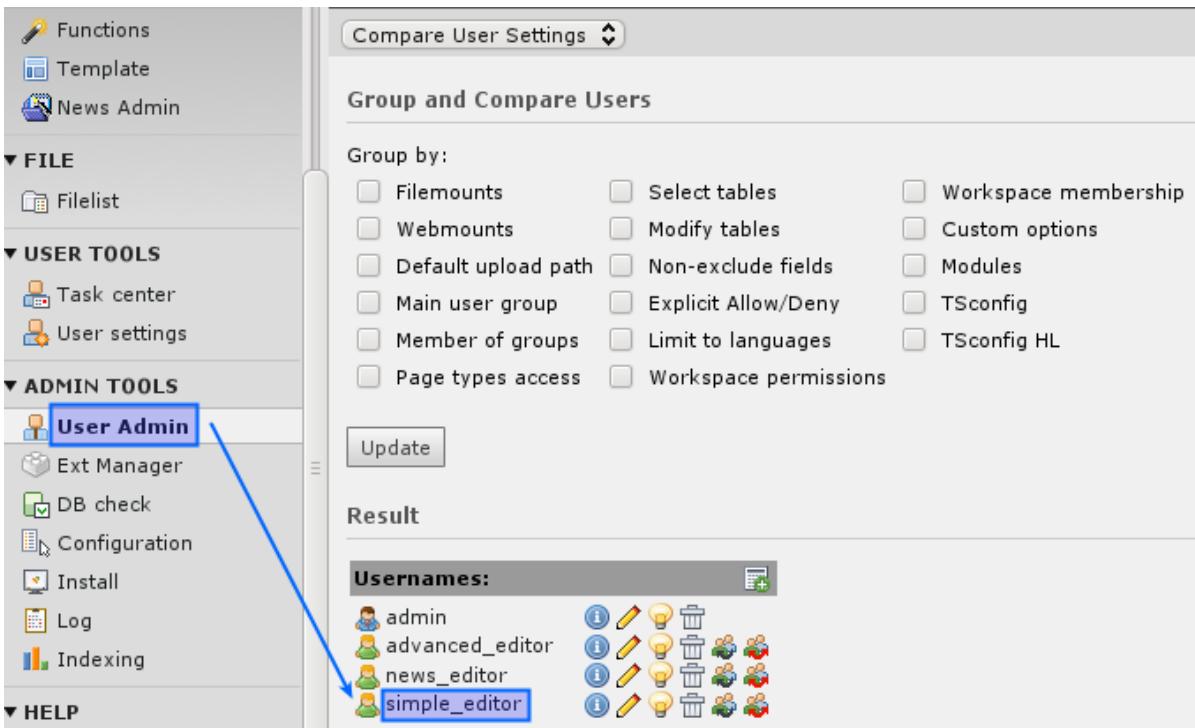
    user = show,edit,delete,new,editcontent
    group = show,edit,delete,new,editcontent
    everybody =
}

```

「TypoScript configuration」セクションでバックエンドの動作をコントロールすることができます。TSconfigを使って何ができるか、ここでは説明しませんが、バックエンドの振る舞いを一ページ・ベースで！一変更できるということを覚えておいてください。全体像をつかむには [TSconfig Reference](#) を参照してください。

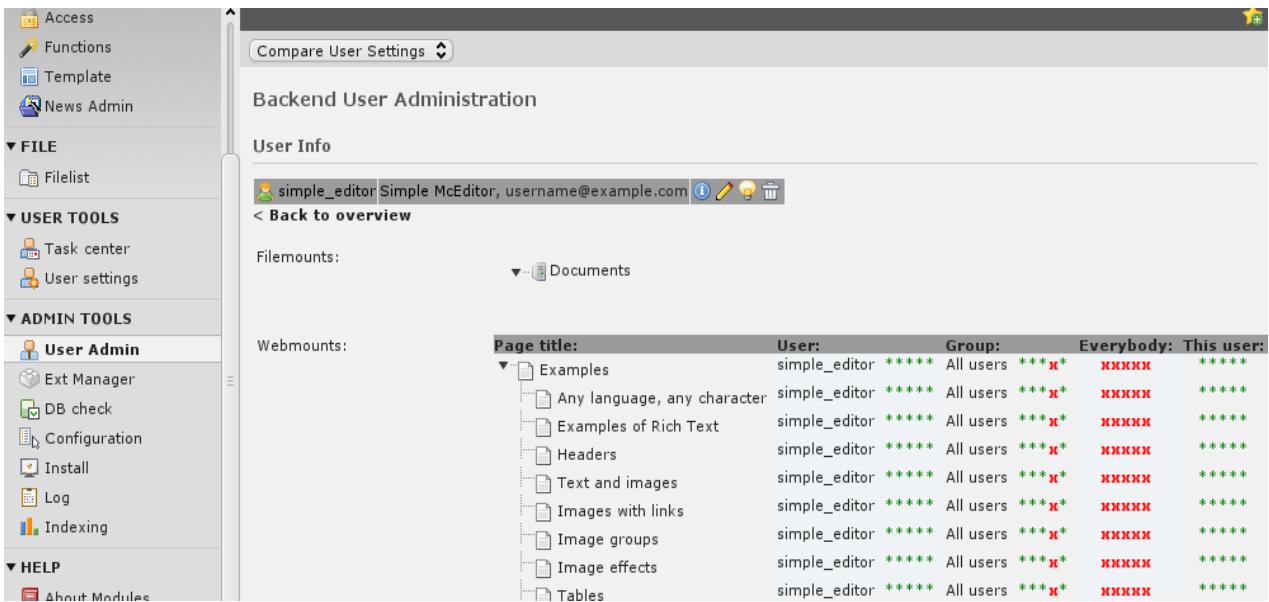
設定の検証

「User Admin」モジュールを使って、パーミッションが正しく設定されているかどうか、実際に検証することができます。



The screenshot shows the TYPO3 User Admin module interface. On the left, a sidebar lists various tools: Functions, Template, News Admin, FILE, USER TOOLS (Task center, User settings), ADMIN TOOLS (User Admin, Ext Manager, DB check, Configuration, Install, Log, Indexing), and HELP. The 'User Admin' item is selected and highlighted with a blue box and a blue arrow pointing to the main content area. The main content area is titled 'Compare User Settings' and shows a 'Group and Compare Users' section. It includes a 'Group by:' list with checkboxes for Filemounts, Webmounts, Default upload path, Main user group, Member of groups, Page types access, Select tables, Modify tables, Non-exclude fields, Explicit Allow/Deny, Limit to languages, and Workspace permissions. Below this is an 'Update' button. The 'Result' section shows a table titled 'Usernames:' with four entries: admin, advanced_editor, news_editor, and simple_editor. Each user has a row with icons for edit, delete, and other user-related actions. The 'simple_editor' row is also highlighted with a blue box and a blue arrow pointing to it.

こうすると彼女用の組み合わさったパーミッションがどうなっているか、直ぐに分かります。

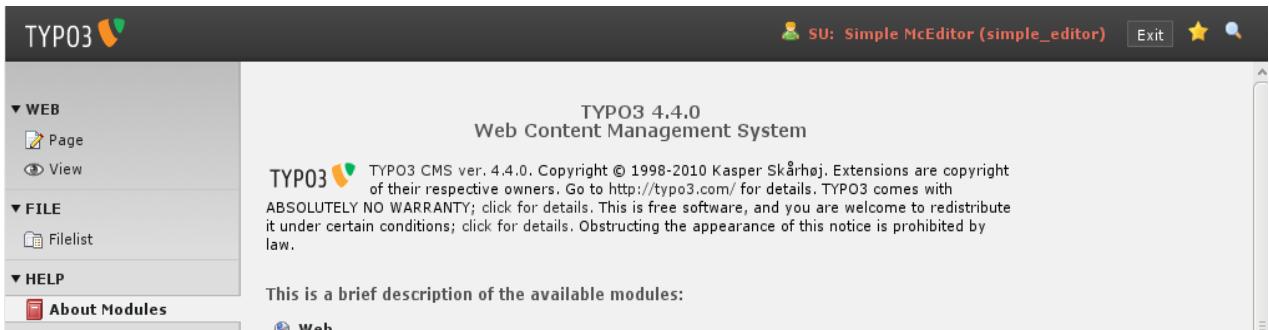


The screenshot shows the 'Backend User Administration' interface. On the left, a sidebar lists various tools: Access, Functions, Template, News Admin, FILE (Filelist), USER TOOLS (Task center, User settings), ADMIN TOOLS (User Admin, Ext Manager, DB check, Configuration, Install, Log, Indexing), and HELP (About Modules). The main area is titled 'Compare User Settings' and shows 'Backend User Administration' for 'simple_editor'. It displays 'User Info' for 'simple_editor' (Simple McEditor, username@example.com) and lists 'Filemounts' (Documents) and 'Webmounts' (Examples). The 'Webmounts' table shows permissions for various page titles:

Page title:	User:	Group:	Everybody:	This user:	
Examples	simple_editor	*****	All users ***x*	XXXXX	*****
Any language, any character	simple_editor	*****	All users ***x*	XXXXX	*****
Examples of Rich Text	simple_editor	*****	All users ***x*	XXXXX	*****
Headers	simple_editor	*****	All users ***x*	XXXXX	*****
Text and images	simple_editor	*****	All users ***x*	XXXXX	*****
Images with links	simple_editor	*****	All users ***x*	XXXXX	*****
Image groups	simple_editor	*****	All users ***x*	XXXXX	*****
Image effects	simple_editor	*****	All users ***x*	XXXXX	*****
Tables	simple_editor	*****	All users ***x*	XXXXX	*****

最初の2つの緑色の星は「読み取許可」と「新コンテンツの作成」を意味し、赤いバツ印は「編集、削除、ページ作成が不可」を示しています。

しかし、赤い「Switch to user」アイコンをクリックして、バックエンド・ユーザーに成りますこともできます。そうするとそのユーザーとしてログインした状態になり—そしてもしログアウトすれば、元の状態に戻るでしょう。

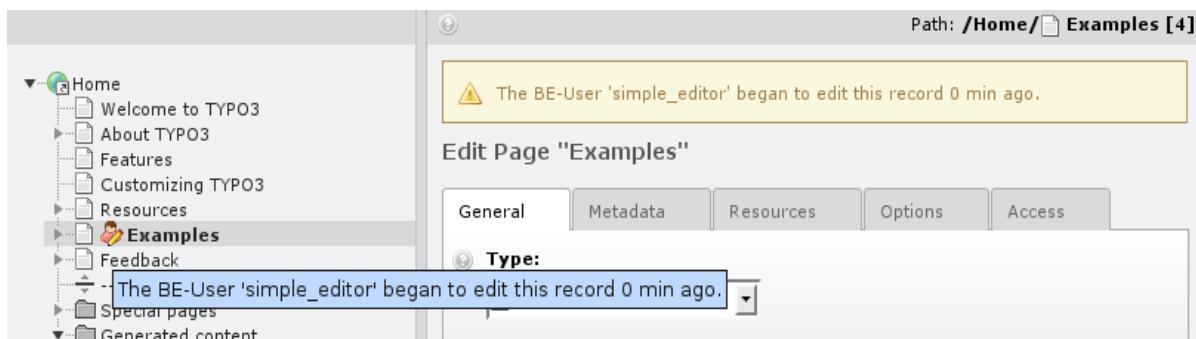


The screenshot shows the TYPO3 4.4.0 Web Content Management System. The sidebar includes WEB (Page, View), FILE (Filelist), and HELP (About Modules). The main content area is titled 'TYPO3 4.4.0 Web Content Management System' and displays a brief description of available modules: 'This is a brief description of the available modules: Web'.

User Admin はユーザーの設定を確かめたり、ユーザーを比較したり等できるすばらしいモジュールです。あなたが多くのユーザーを抱えていて、彼らの権限がちゃんと管理できているかどうか確認するためには必須です！

レコードがロックされている？

異なるユーザーでログインしてログアウトした際に、このようなアイコンが表示されているのに気づいたかも知れません：



これは誰か他の人が現在このページを編集中であることを、ユーザーに警告しているに過ぎません—TYPO3においてレコードが実際にロックされているのではありません。人々が利用できるなら、レコードへのアクセスを許可するべきだからです。しかしこの警告は人々が衝突を避ける手助けとなるので、うまい方法です。

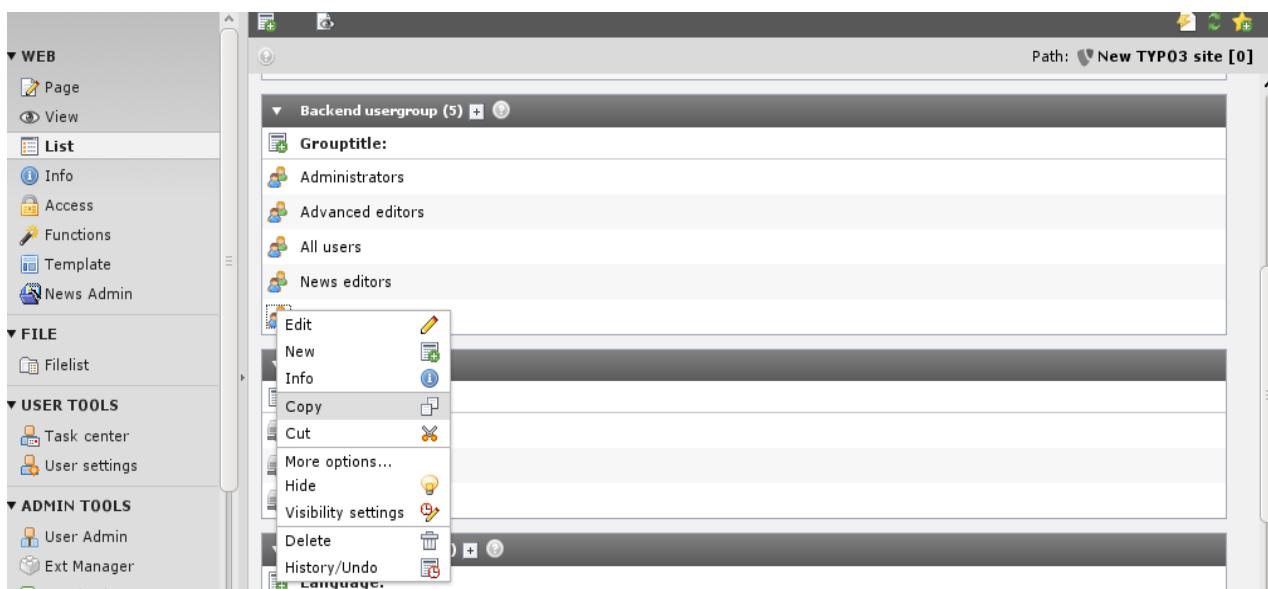
ユーザーがコンテンツ・レコードの編集際には必ず内部的なフラグがセットされ、2時間続きます。もしユーザーがこのレコードを `save & close` あるいは `close` ボタンで閉じるとそのフラグは削除されます。しかし、ユーザーが編集するために単に別のページを選んだ場合は、フラグは残ったままになります。なので、もしレコードの編集を終えたなら、`close` ボタンを使うことを推奨します。

イントロダクション・サイトの新しいユーザーを作成する

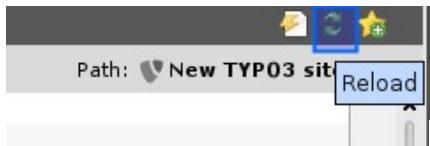
では、そろそろ「Resources」とそのサブ・ページを担当するユーザーを作成して見ましょう。

ステップ1：新しい「Resources editors」ユーザーグループを作成する

ユーザー・グループとユーザーは単なるレコードです。バックエンド・ユーザー・グループの「Simple editors」をコピーしましょう。



リストをリロードします。



そして、コピーしたレコードをリストの中にペーストします。

Backend usergroup (5)

Grouptitle:

- Administrators
- Advanced editors
- All users
- News editors
- Simple editors

Paste in clipboard content

そして新しく作成されたバックエンド・ユーザー・グループ「Simple editors (copy 1)」を編集しましょう。グループのタイトルとDBマウントを変更します。

Edit Backend usergroup "Simple editors (copy 1)" on root level

General Access Lists Mounts and Workspaces Options Extended

Workspace permissions:

- Edit Live (Online)
- Edit Draft (Offline)
- Create new workspace projects

DB Mounts:

- Resources
- Examples [4]
- Resources [62] /Home/
- Page

ステップ2：ユーザーの作成

ユーザーは単なるレコードですー「Backend user」レコードを作成します：

Path: New TYPO3 site [0]

Page (2)

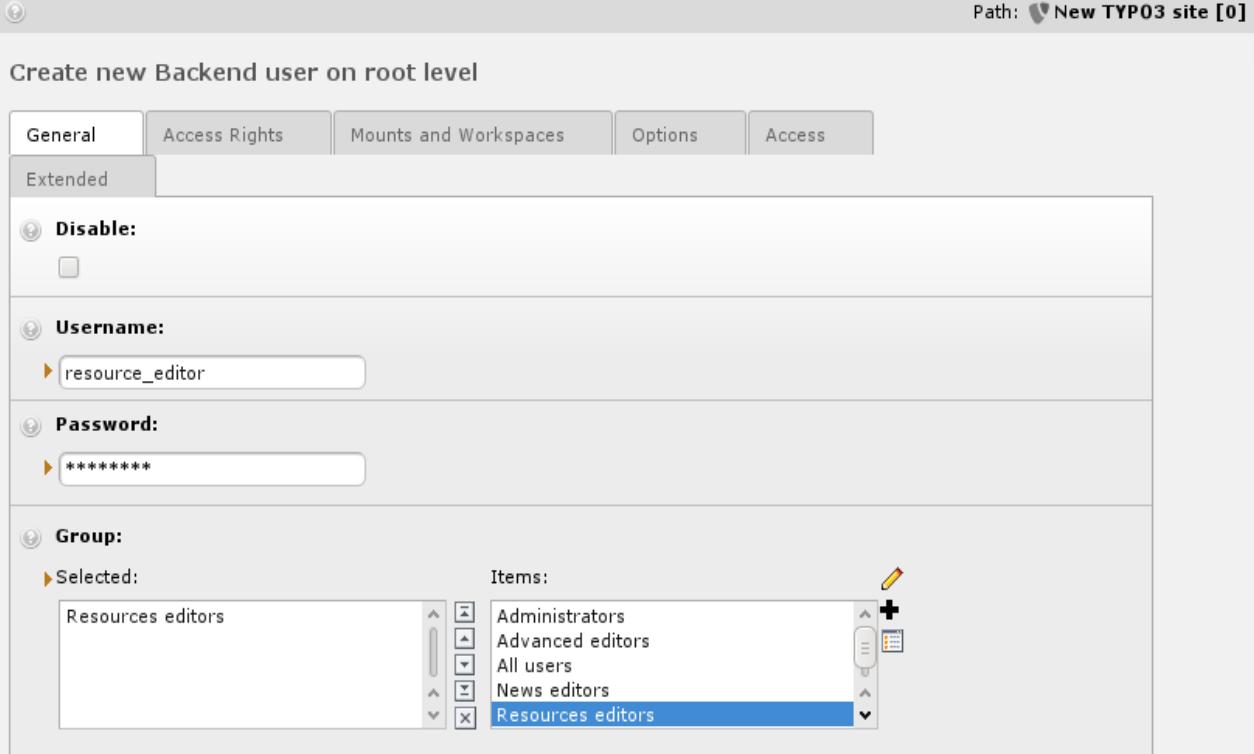
Backend user (4)

Username:

- New record editor
- news_editor
- simple_editor
- admin

Backend usergroup (5)

username、password、group メンバーシップを入力します：



Create new Backend user on root level

General Access Rights Mounts and Workspaces Options Access

Extended

Disable:

Username: resource_editor

Password: *****

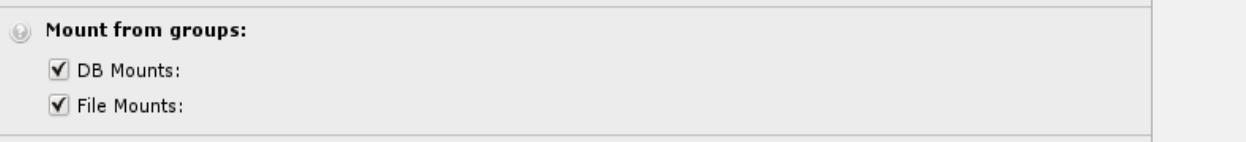
Group:

Selected: Resources editors

Items:

- Administrators
- Advanced editors
- All users
- News editors
- Resources editors

「Mount from Groups」にチェックが入っていることを確認します：



Mount from groups:

DB Mounts:

File Mounts:

レコードを保存し、Admin-Toolのスイッチ・ユーザー機能を使って新しいバックエンド・ユーザーを確認します。

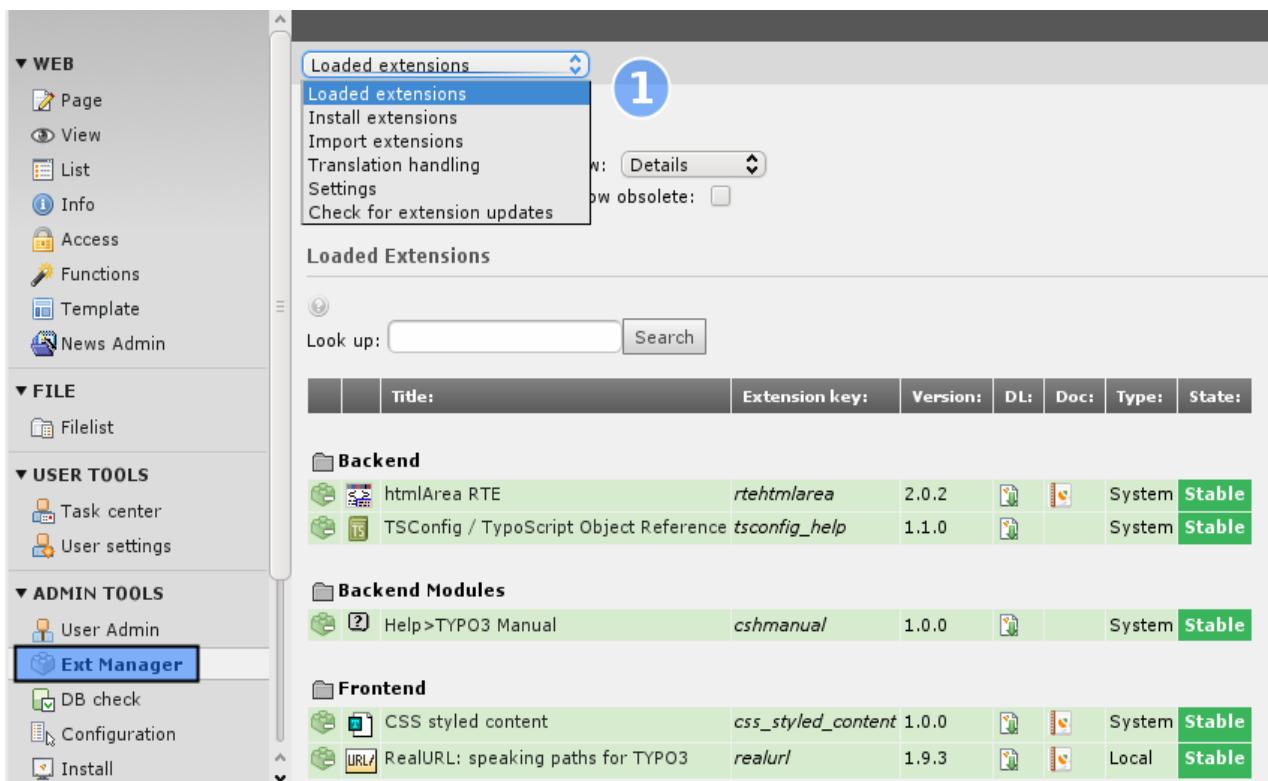
The screenshot shows the TYPO3 User Administration module. The left sidebar contains navigation links for Access, Functions, Template, News Admin, FILE (Filelist), USER TOOLS (Task center, User settings), ADMIN TOOLS (User Admin, Ext Manager, DB check, Configuration, Install, Log, Indexing), and HELP (About Modules, TypeScript Help). The main content area is titled 'Compare User Settings' and 'Group and Compare Users'. It includes a 'Group by:' section with checkboxes for various user settings like Filemounts, Webmounts, and Workspace membership. Below this is an 'Update' button. The 'Result' section is titled 'Usernames:' and lists five users: admin, advanced_editor, news_editor, resource_editor, and simple_editor. Each user has a set of icons next to their name. A tooltip 'Switch user to: resource_editor [switch-back mode]' is shown over the resource_editor entry. At the bottom, a message says '(All cached group-lists updated.)'.

うまくいっています：

The screenshot shows the TYPO3 Page Editor. The left sidebar includes WEB (Page, View), FILE (Filelist), and HELP (About Modules). The main content area shows a page structure with 'Resources' (Consultancies, Documentation, TYPO3 Association) and 'Pagecontent' (LEFT, NORMAL, RIGHT columns). The NORMAL column contains a 'Text' field with the content 'TYPO3: A True Open'. The RIGHT column contains a 'Text' field with the content 'Pick Up a Book!'. The top right shows the user 'SU: resource_editor' and the path '/Home/Resources [62]'.

エクステンション・マネージャを少しだけ覗いてみる

TYPO3は最初からたくさんの機能を備えています。しかしまっと色々な機能がエクステンション（拡張機能）として提供されています。そのようなエクステンションを使えばTYPO3の機能を高めたり、全く新しい機能を追加したりできます。コア機能の多くでさえエクステンション（プラグイン）として提供されています。そのためその機能を使うか使わないか自分で選択することができます。エクステンション・マネージャで全てのエクステンションの管理ができます。ここではほんの少しだけエクステンション・マネージャに紹介したいと思います。adminとしてログインし、extension managerモジュールに切り替えます。



The screenshot shows the TYPO3 backend interface with the 'Ext Manager' module selected in the sidebar. The main area displays a list of loaded extensions, categorized into Backend, Backend Modules, and Frontend. Each extension entry includes its title, extension key, version, download link, documentation, type, and state (Stable). A sub-menu titled 'Loaded extensions' is open at the top, showing options like 'Install extensions', 'Import extensions', 'Translation handling', 'Settings', and 'Check for extension updates'. A blue circle with the number '1' is overlaid on the 'Loaded extensions' menu item.

Category	Title	Extension key	Version	DL	Doc	Type	State
Backend	htmlArea RTE	rtehtmlarea	2.0.2	Download	Documentation	System	Stable
Backend	TSConfig / TypoScript Object Reference	tsconfig_help	1.1.0	Download	Documentation	System	Stable
Frontend	Help>TYPO3 Manual	cshmanual	1.0.0	Download	Documentation	System	Stable
Frontend	CSS styled content	css_styled_content	1.0.0	Download	Documentation	System	Stable
Frontend	RealURL: speaking paths for TYPO3	realurl	1.9.3	Download	Documentation	Local	Stable

モジュールの一番上で、幾つかのサブ・モジュール(#1)を選択することができます。全てのロードされているエクステンション（loaded extensions.）の一覧を表示することができます。これは有効になっているエクステンションの一覧です。サブ・モジュールの「Install extension」で既にダウンロードされている、あるいはシステム・エクステンションとして最初から付属しているエクステンションをインストールしたり、アンインストールしたりすることができます。多くの場合、TER (TYPO3 Extension repository)からエクステンションをダウンロードしたいと思うでしょう。「import extension」サブ・モジュールを使うと可能です。「Translation handling」はバックエンド用の言語選択と、翻訳チームによって管理されているTYPO3のコアおよび全てのエクステンションの言語・パックのダウンロードを管理します。「Settings」で特定のTERミラーサイトを選択し、エクステンションをアップロードするためのlogin情報を設定することができます。もし何も問題無く動いていれば、何も変更する必要はありません。「Check for extension updates」はどのエクステンションの新しいバージョンが存在するか、素早く確認するのに役立ちます。

では、ロードされているエクステンションの一覧を見てみましょう。

Loaded Extensions							
	Title:	Extension key:	Version:	DL:	Doc:	Type:	State:
Backend							
  htmlArea RTE	rtehtmlarea	2.0.2	 	System		Stable	
  TSConfig / TypoScript Object Reference	tsconfig_help	1.1.0	 	System		Stable	
1  2  Modules	3	4	5	6	7	8	
  Help>TYPO3 Manual	cshmanual	1.0.0	 	System		Stable	
Frontend							
  CSS styled content	css_styled_content	1.0.0	 	System		Stable	
  RealURL: speaking paths for TYPO3	realurl	1.9.3	 	Local		Stable	

アイコン(#1)をクリックすることでインストールしたりアンインストール(「Install extensions」モジュールで)することができます。エクステンションのタイトル (#2) が表示されています。しかしエクステンション・キー (#3)の方が重要です。そのキーは typo3conf/ext/ の下に作られるエクステンション用のフォルダ名となり、TypoScript のパスを定義し、さらに多くのことがエクステンション・キーに依存しています。バージョン (#4) と状態(#8) はエクステンションの開発者の判断に基づきセットされています。エクステンション自体(#5)あるいはもしエクステンションにマニュアル(#6)が付属していれば、ダウンロードすることができます。エクステンション・タイプ(#7) の「System」は最初から TYPO3 core に付属していたことを示し、エクステンション・タイプの「Local」は typo3conf/ext/extensionkey で利用できます。

「shy」とマークされているエクステンションもあります。あまり重要でないエクステンションでリストが長くなり過ぎないようにするためにです。それらのリストを見るには「Display shy extensions」をクリックするだけです。

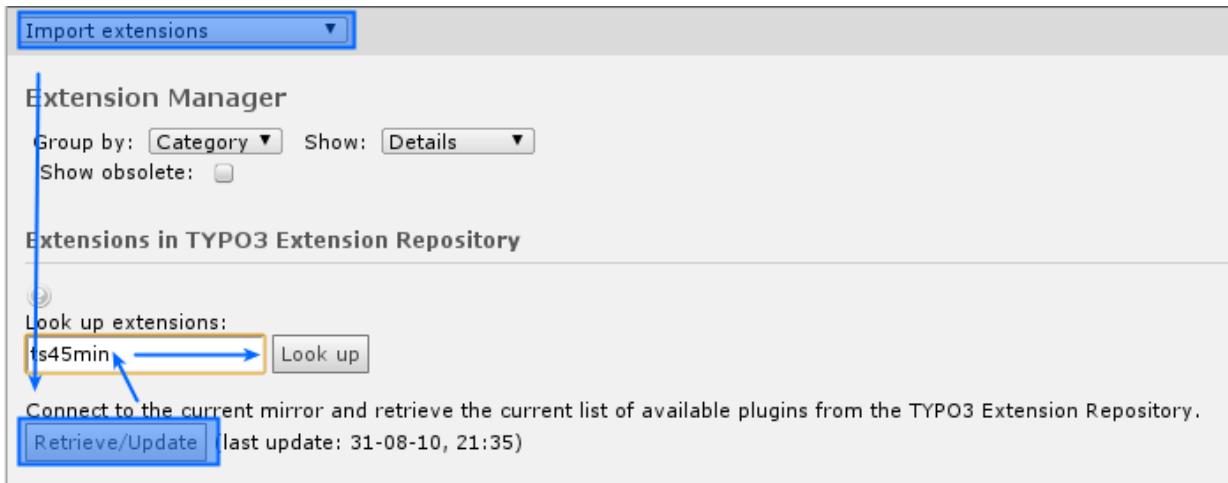
Loaded extensions

Extension Manager

Group by: Category Show: Details

Display shy extensions Show obsolete:

では、新しいエクステンションをインストールしてみましょう。そうするにはサブ・モジュールを「Install extensions」に切り替えます。



Import extensions ▾

Extension Manager

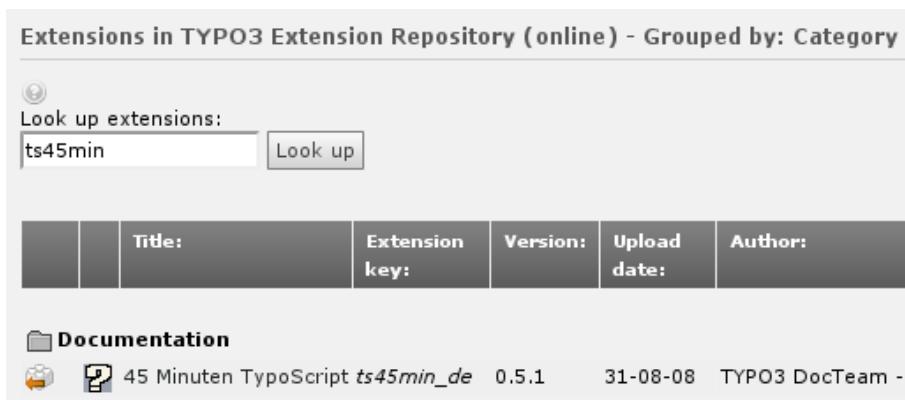
Group by: Category ▾ Show: Details ▾
Show obsolete:

Extensions in TYPO3 Extension Repository

Look up extensions: ts45min

Connect to the current mirror and retrieve the current list of available plugins from the TYPO3 Extension Repository.
 last update: 31-08-10, 21:35

TER から利用可能な最新のエクステンションの一覧を取得するには「Retrieve/Update」ボタンをクリックします。では ts45min エクステンションを探して見ましょう。



Extensions in TYPO3 Extension Repository (online) - Grouped by: Category

Look up extensions: ts45min

	Title:	Extension key:	Version:	Upload date:	Author:
--	--------	----------------	----------	--------------	---------

Documentation

  45 Minuten TypoScript ts45min_de 0.5.1 31-08-08 TYPO3 DocTeam -

OpenOffice (.sxw)と一緒に出荷されているマニュアルをダウンロードしインストールすることができます。今回の場合は、モジュールや機能はなく、ロードされているエクステンションの一覧からダウンロードできるドキュメントだけです。I

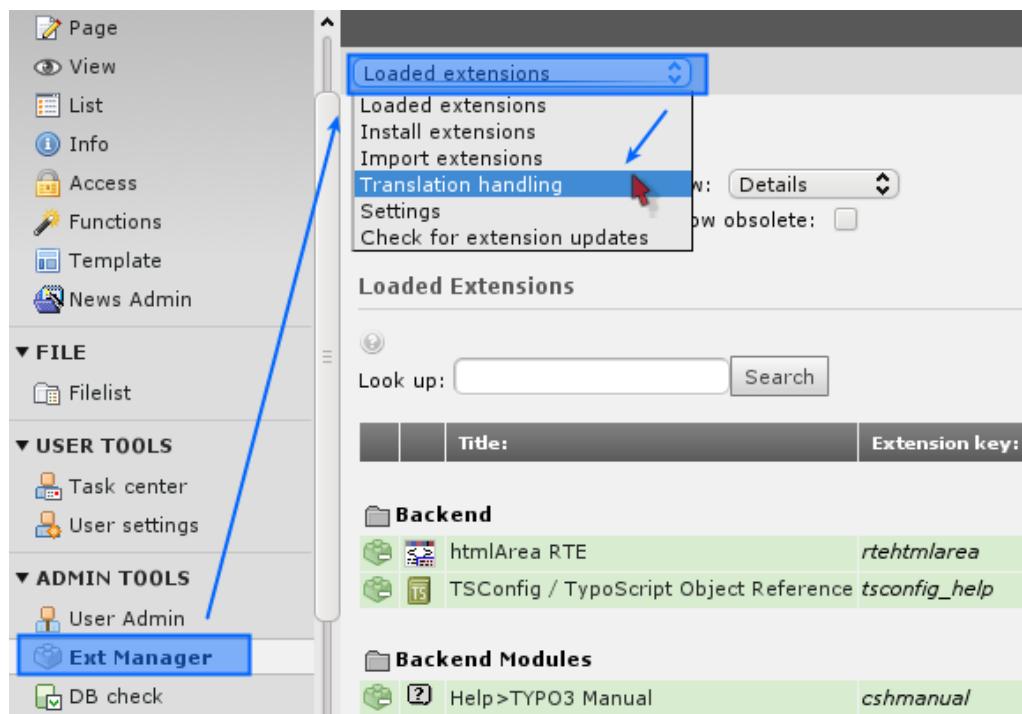


エクステンションのセキュリティ

エクステンションのセキュリティ検査はなにも使われていないことを心に止めておいてください。インストールしているエクステンションを詳しく調べてください。もし何かセキュリティ上の問題を見つけたなら、セキュリティ・チーム (security@typo3.org) に連絡してください。

バックエンドの言語を変更する

通常、編集者はTYPO3を自国語で利用したいと思うものです。それであなたは彼のためにはTYPO3の言語を変更する必要があります。第一番目に、必要なランゲージパックをダウンロードしなければなりません。そうするには、エクステンション・マネージャーを開き、「Translation handling」を選択します。



次にダウンロードしたいランゲージ・パックを選択します。ユーザーに提供したいと思う全てのランゲージパックを選択します。

Translation handling

Extension Manager

Translation Settings

Translation Settings

Languages to fetch:

- Chinese (Trad) - [Chinese (Trad)]
- Croatian - [Croatian]
- Czech - [Czech]
- Danish - [Danish]**
- Dutch - [Dutch]
- Esperanto - [Esperanto]
- Estonian - [Estonian]
- Faroese - [Faroese]
- Finnish - [Finnish]
- French - [French]

For the selected languages the EM tries to download and install translation files. It replaces the `csh_*` extensions that were used to install core translations before.

To request an update or installation for already loaded extensions, see below

Save selection

「Save selection」ボタンを押して選択結果を保存します。いつでも選択を変更することができます。なので、今必要な言語のみ選択してください。

Translation Settings

Translation Settings

Languages to fetch:

- Brazilian Portuguese - [Brazilian Portuguese]
- Bulgarian - [Bulgarian]
- Catalan - [Catalan]
- Chinese (Simpl) - [Chinese (Simpl)]
- Chinese (Trad) - [Chinese (Trad)]
- Croatian - [Croatian]
- Czech - [Czech]
- Danish - [Danish]**
- Dutch - [Dutch]
- Esperanto - [Esperanto]

For the selected languages the EM tries to download and install translation files. It replaces the `csh_*` extensions that were used to install core translations before.

To request an update or installation for already loaded extensions, see below

Save selection

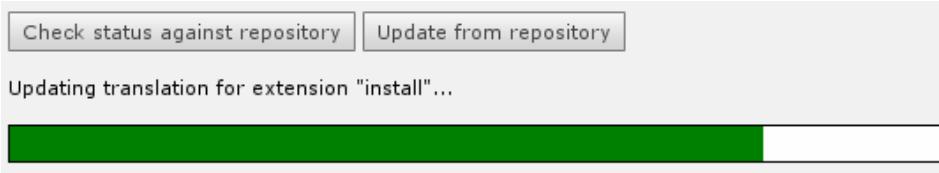
Translation status

Check status against repository **Update from repository**

選択を保存した後で、実際のステータスとリポジトリの違いを比較することもできれば、そのままリポジトリからランゲージパックをアップデートしダウンロードすることもできます。updateだけ押してください。どのエクステンションのランゲージパッケージをダウンロード中かを示すプログレス・バーが表示されるはずです。通常は緑色のバーとそれぞれのエクステンション・キーにあなたの言語のための緑色の「UPD」という印が表示されるはずです。幾つかのエクステンションではあなたの言語に翻訳されていない

こともあります。その場合は「N/A」と表示されるはずです。

パッケージを全部ダウンロードし終えることができない場合があるかも知れません。もう一度 update ボタンを押すだけです—欠けている部分を取得しようとするはずです。



Check status against repository Update from repository

Updating translation for extension "install"...

This table shows the update results of the translations of the loaded extensions.
If you want to force a full check or update, delete the `l10n` zip-files from the `typo3temp` folder.

Extension key	Danish	Dutch
cms	UPD	UPD
lang	UPD	UPD
sv	N/A	UPD
css_styled_content	UPD	UPD
tsconfig_help	N/A	UPD
context_help	UPD	UPD
extra_page_cm_options	UPD	UPD
impexp	UPD	UPD
sys_note	UPD	UPD

今までのところ、あなたはランゲージ・パックをダウンロードしたに過ぎません。次にあなたの「User settings」を変更し自分の言語を選択する必要があります。「User settings」モジュールに切り替え、自分のアカウント用に使いたい言語を選択します。

User Settings - [admin]

Personal data Startup Edit & Advanced functions Admin functions

Your name Your email address Notify me by email, when somebody logs in from my account New password New password, again Language

English
Danish - [Danish]
Dutch - [Dutch]

Save Configuration Reset Configuration and Clear Temporary Data Clear Temporary Data

新しい設定を保存します。そうすればあなたの設定が更新されたというメッセージが表示されるでしょう。メイン・モジュールを見れば、それらがあなたの選択した言語で表示されていることに気づくでしょう。「User settings」をもう一度押すと、そのページもまた翻訳されているのに気づくでしょう。

User Settings - [admin]

User Settings
User settings were updated.

Personal data Startup Edit & Advanced functions Admin functions

Your name Your email address Notify me by email, when somebody logs in from my account New password New password, again Language

Danish - [Danish]

Save Configuration Reset Configuration and Clear Temporary Data Clear Temporary Data

これであなたは自分のバックエンドの言語の変更を終えました。全ての編集者は同じことを自分で行う必要があります。

もしあなたが新しい編集者を作成する場合は、バックエンドユーザー・レコードを作製する段階で、「default language」を選択することで彼らの手間を省いてやることができます。TYPO3に初めてログインした際に、その言語が用いられます。



Name:	Advanced McEditor
Email:	username@example.com
Default Language:	English
Last login:	01:00 01-01-1970

 Backend user [3]

「デフォルト・ランゲージ」はデフォルトの設定に過ぎないことを心に止めておいてください。もし既にログインしていたならば、「User settings」モジュールを使って、自分で自分の言語に変更する必要があります。

トラブルシューティング

人に優しいURLs

デフォルト状態のTYPO3は、?id で渡されるパラメータによってページを特定します。なので、<http://www.your-site.example.org/index.php?id=4> と入力すれば examples のページが返ってきます。TYPO3 の全てのページには id が付いているので、その id さえ分かればページを表示できます。しかし、あなたのサイトを訪れる訪問者に対しては <http://www.your-site.example.org/examples/> という url の方がより良いでしょう。TYPO3 ではこの機能はエクステンションとして提供されています（実際には幾つか種類があります）。イントロダクション・パッケージでは「RealURL」と言うのを取り入れています。何か特別な URL のスキームが必要な場合は、そのマニュアルを参照してください。

イントロダクション・パッケージでは何も設定しなくても RealURL が動くはずです。もしちゃんと動作せず、フロントエンドでクリックするたびに Welcome ページにリダイレクトされるようなら realurl を無効にした方がいいかも知れません。そうするには、リストモジュールで、「home」ページにある「ntroduction Package」テンプレートを選択し、その setup フィールドに次のように入力してください：

```
config.tx_realurl_enable = 0
```

テンプレートレコードを保存し、全てのキャッシュをクリアします。全てのリンクが人が判読可能な URL ではなく、?id= という形に変わります。そして全てのページのリンクをたどることができるようになるでしょう。

[we need to show the clear cache with screenshot – users do not know how to do this]

TYPO3 における画像処理について

もし運があまり良くなければ、これまでのスクリーン・ショットの中の画像の幾つかが、あなたの自身のサーバーでは表示されないでしょう。それはおそらくあなたのサーバーで ImageMagick がうまく検地できなかつたためです。おそらく、すごいことが起こるのを何も確認できなかつたのではないかでしょう。

これらの問題を解決するに役立つ [installation documentation](#) を参照してください。またインストールに関する質問を受け付けるための [mailing list](#) があることも覚えておいてください。

history モジュールにおける差分の色分け

history モジュールで差分が色分けして表示されるには、サーバーに unix ツールの diff がインストールされている必要があります。もしされていなければ、色分けされた差分は表示されません。しかし色が付いていない状態で違いが表示されます。

次のステップへ

TYPO3はたくさんのドキュメントを **documentation library** に備えています。それらは4つのセクションに分かれています。チュートリアル・セクションはステップ・バイ・ステップで特定のトピックを紹介するドキュメントを集めています。TYPO3あるいは関連するソフトウェアのインストールについてのドキュメントが必要な場合は、インストール・セクションの中で見つかるでしょう。The Core Documentation はTYPO3のコアに関するものと、主に舞台裏のテクノロジーについて述べたものです。このドキュメントの対象となるグループは、エクステンションとコアの開発者です。Extension Manuals セクションには、マニュアルが付属しているエクステンションの全てのマニュアルがあります。様々なドキュメントがたくさん存在するため、時として初心者の方が何から始めたらいいのか分かりづらくなっています。そこで次に読むべきドキュメントとして以下のものをお勧めしておきます。

編集者向けチュートリアル

TYPO3 Tutorial for Editors: この編集者の為のベーシックなチュートリアルは、既に存在する TYPO3 のウェブサイトにコンテンツを追加したり、更新したりする方法を説明しています。その仕事を成し遂げるための、最もベーシックなステップ・バイ・ステップの説明がされています。このチュートリアルでは全ての機能はカバーされていません。最もよく使われるものだけです。

Internal Manual (Module): システム・エクステンションの `cshmanual` はヘルプメニューの中にバックエンドモジュールを追加します。TYPO3 のオンライン・ユーザーマニュアルは、このインストールされた TYPO3 で利用できるヘルプ（コンテキスト・センシティブ・ヘルプ）から構成されています。そこには TYPO3 のコア・モジュール、インストールされているバックエンド・モジュールやデータベース・テーブルなどのうち、ログインの資格によって利用可能なものの一般的な説明が見つかるでしょう。

管理者を目指す人向けのチュートリアル

Modern Template Building: The modern Template Building は HTML テンプレートをあなたのウェブ・ページの骨組みとして利用する方法について述べ、TYPO3 で自分のウェブサイトを構築するための最初のステップの助けとなるでしょう。

Futuristic Template Building: TYPO3 はコンテンツを表示する場所を指定するのにカラム（縦の欄）のコンセプトを採用しています。もしあなたのウェブサイトのデザインがカラムに合わなかったり、もっと柔軟にコンテンツ・エレメントを配置する必要がある場合は、TemplaVoila エクステンションが、TYPO3 上で非常に柔軟なデザインを実現する手助けをしてくれるでしょう。そのコンセプトがこのチュートリアルで説明されています。

Ts in 45 minutes: TypoScript は強力な設定用言語ですが、記述用の言語ではありません。このチュートリアルでは、TypoScript の基本的となるコンセプトを説明し、最も重要な機能やオブジェクトに関する最初の概要を説明します。

リファレンス

Tsconfig: ページ、そしてユーザー TSconfig で色々な部分でバックエンドの動作を変更することができます。ラベルを変更したり、フィールドを隠したり表示させたり、パラミッショやデフォルトの値を設定したりすることができます。これらは通常 Page-TSconfig あるいは User-TSconfig フィールドで行われます。このリファレンスはTYPO3 でどのようなオプションが利用可能か教えてくれます。

TSRef: TypoScript リファレンスは、フロントエンドの表示を設定するのに使う、別の機能やオブジェクトについて定義しています。大抵の場合、あなたは全てのビルト・インのコンテンツ・エレメントに対応する設定と共に提供されている `css_styled_content` エクステンションを使うことになるでしょう。もし何かを変更したいと思ったなら、TSref で可能なオプションを探することができます。

セキュリティに留意する

TYPO3 の開発者たちは、セキュリティを非常に重要視しています。TYPO3 Security Team は起こりうるセキュリティ・インシデントを処理します。彼らはそれを吟味し、影響を検討します。もし TYPO3 あるいはエクステンションに実際に脆弱性があると判明した場合は、セキュリティ・チームがその問題の解決に向けて取り組みます。彼らはエクステンションの作者に連絡し、修正がテストされリリースされたなら、アドバイザリーを発行します。広報の通知が自分のメールボックスに配達されるように typo3-announce メーリングリストに [登録](#) するよう強くお勧めします。TYPO3 セキュリティ・チームはあなたのインストールした TYPO3 がセキュアなものになるように幾つかの [additional resources](#) も提供しています。